

預證券ニ前項ノ記載ナキトキハ、當會社ハ債權者ニ於テ一部出庫ヲ認メタルモノト看做シ、之ヲ取扱フハシ、此場合ニ於ケル供託金ハ質權設定當時ノ受寄物ノ總個數ヲ以テ、債權金額ヲ除シ得タル金額ヲ、受寄物一個ノ供託金割合ト定メ、之ヲ算出スヘシ

第二十七條 質權設定後ニ於ケル寄託者ノ一部出庫ニ關シ、質權者ト當會社トノ間ニ特約アル場合ニ於テハ、預證券所持ハハ質權者ニ債務ノ一部ヲ支拂ヒ、之ニ對スル貨物内渡請求ヲ求メ、之ヲ當會社ニ提出スヘシ

今一部出庫ニ關シ此三箇條ヲ通觀スルニ、(一)供託ニ依リ一部出庫ヲ求ムルヲ得ルコト、(二)質受銀行及質入人ハ一部出庫ヲ禁スル者ヲ約シ、之ヲ預證券及質入證券ニ記載シ得ルコト、(三)供託金ノ割合ヲ約シテ之ヲ兩證券ニ記載セハ、之ニ依リテ取扱フコト、(四)禁止モ供託金ノ割合モ記載ナキトキハ、寄託物ノ個數ニテ質金額ヲ除シ(利息モ亦之ニ伴フ)之ヲ出庫數ニ乘シタル金額ヲ供託セシメテ、出庫ヲ許スコト、(五)貸出銀行ト倉庫トノ間ニ特約アルトキハ、一部辨濟ヲ爲サシムルコト、爲ルヘシ、而シテ商法ノ之ニ關スル規定ヲ觀ルニ

第三百八十條ノ二 受寄物カ同種類ニシテ同一ノ品質ヲ有シ、且ツ分割スルコトヲ得ヘキ物ナルトキハ、預證券ノ所持人ハ債權額ノ一部及ヒ其辨濟期マテノ利息ヲ供託シ、其割合ニ應ジテ、寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得、此場合ニ於テ、倉庫營業者ハ供託ヲ受ケタル金額及ヒ返還シタル寄託物ノ數量ヲ、預證券ニ記載シ、且、旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

前項ニ定メタル一部出庫ニ關スル費用ハ、預證券ノ所持人ノ負擔ス

第三百八十條ノ三(第一項) 前二條ノ場合ニ於テ質入證券所持人ノ權利ハ供託金ノ上ニ存ス
此規定ニ依レハ、一部出庫ヲ請求シ得ル條件ハ(一)寄託貨物カ同種類ニシテ同一ノ品質ヲ有スルコト、(二)貨物カ差支ナク分割シ得ルコト、(三)出庫數量ニ比例スル債權額及其利息ヲ倉庫ニ供

託スルコトノ三者ニシテ、例ヘハ小麥粉(米利堅粉)ノ中、米國製(ゴールド)ナル同種類ノ物百袋ヲ寄託シ、其質入證券ニ依リテ貳百五拾圓ヲ日步貳錢ニテ六十日間、某銀行ヨリ借入レタルトキ三十袋ヲ出庫セントスルトキハ、

$$\frac{\text{¥250}}{100(\text{袋})} \times 30 = \text{¥75 (債權額)} \quad \frac{\text{25} \times 75}{100(\text{年})} \times 60 = 90 \text{錢} \quad \left\{ \begin{array}{l} \text{全期間} \\ \text{ノ利息} \end{array} \right\} \quad \text{¥75} + \text{¥0.90} = \text{¥75.90}$$

即チ七拾五圓九拾錢ヲ供託シテ、其出庫ヲ求ムルコトヲ得ルカ如シ、此場合ニハ別ニ出庫部分ニ對スル保管料、立替金(之アラハ)ヲ倉庫ニ支拂フヘキヤ言フ俟タス、而シテ預證券ニ出庫ノ數量ヲ記入セシムルノ義務ヲ、倉庫ニ負ハシメタルハ、證券ノ代表貨物カ減少シタル當然ノ結果ニシテ、之ヲ帳簿ニ記入セシメタルハ、證券發行ノ當時記入セシメタル理由ニ等シク、此記載事項ニ變更ヲ來シタルカ爲メナリ、又一部出庫ハ預證券所持人ノ便宜ニ出テタルモノナルヲ以テ、其費用ヲ負擔セシムルハ、當然ナリトス。

又第三百八十條ノ三ハ供託金ニ依リテ全部又ハ一部ノ出庫ヲ許ス場合ノ當然ノ規定ニシテ、斯クテ質權者ヲシテ、出庫セル寄託物ノ對價タル供託金ノ上ニ權利ヲ有セシメ、以テ其損害ヲ防キタルナリ。

明治四十四年商法改正前ニ於テハ、一部出庫ニ關スル供託ノ規定ナカリシモ、實際上不便ナリシヲ以テ、多數ノ倉庫ハ、證券及營業規則ニ於テ之ヲ許ス旨ヲ掲ケテ、實行シ居タル如シ、然レトモ法ニ規定ナキ一部出庫ノ供託ヲ認ムルハ元來違法ノ處置ニシテ、倉庫ハ之カ爲メニ質入證券所

持人ニ蒙ラシメタル損害ニ對シ、責任ヲ負フヘキ理ナリシナリ、改正商法カ前記ノ條文ヲ挿入シタルハ、畢竟此不便ヲ除カンカ爲メニシテ、極メテ適當ノ處置ナリト信ス、蓋シ之カ爲メニ便益ヲ受クルハ預證券所持人ニシテ、倉庫ハ固ヨリ、質權者タル銀行ト雖モ、殆ント損害ヲ蒙ルノ虞之ナケレハナリ。〔現今ノ倉庫ノ營業規則ニハ「一部出庫ヲ謝絶スルコトアルヘシ」ト定メ、前記ノ如キ條文ナシ、預證券ノ券ヲ使用セサル爲メナルヘキモ、倉庫證券質入ノ場合、銀行ノ通知狀ニ依リテ、出庫ヲ許シ居レリ。〕然レトモ、單ニ貸方タル銀行ノ側ヨリ考フルトキハ、倉庫ト特約ヲ結ビ、出庫數ニ應スル金額ヲ辨濟セシメ、出庫指圖書(貨物内渡請求書)ニ依リテ出庫セシムルヲ便トスヘク、或ハ一步ヲ進メテ次ニ述フルカ如ク現物ヲ質受シ、之ヲ自己ノ名ニ於テ倉庫ニ寄託シ、禁流通貨物預證書ヲ收メ亦指圖書ニ依リテ出庫セシムルコト最モ安全ナルヘキナリ、但シ後ノ方法ヲ採ルトキハ、一旦質入シタル貨物ヲ賣渡スニ由ナク、貨物所有者ノ不便甚シキカ如ク見ユルモ、質入後賣却ノ目的ナキ者ニハ(是レ實際ニ多キヲ占ム)何等不便ヲ生セサルヘシ。

(貨物受取證) 以上述ヘタル出庫ノ方法ハ、預證券及質入證券ヲ發行シタルトキノモノナレト、禁流通貨物預證書(後ニ詳説ス)又ハ保管貨物通帳ヲ發行シタルトキモ、亦右ノ方法ニ準シテ出庫セシムルノ習ヒニテ、唯此ノ場合ニハ左ノ如キ「貨物受取書」ヲ以テ、之ニ代用セシムルコトアルノ差異アリ。

(貨物引渡請求書) 倉庫ニ依リテハ、質權者タル銀行カ動産質トシテ現品ヲ預リ、其貨物ノ代理占有ヲ依頼シタルトキハ、之ニ對シテ禁流通貨物預證書ヲ交付シ置キ、斯クシテ質入主カ借入金

貨物受取證

一 臺灣三溫糖		
藏番	越 5	番號
口高	二五〇	記號
壹個ノ量	一〇〇斤	渡先
		〇BB
		圓
		二、一一八

右之貨物正ニ受取候也

寄託主 小林商店 印

昭和四年八月八日

三菱倉庫株式會社御中

ノ全部又ハ一部ヲ辨濟シタルトキハ、銀行ヨリ「貨物引渡請求書」ヲ乞ヒ受ケ、之ニ依リテ貨物ノ全部又ハ一部ヲ出庫セシムルモノト爲セルモノアリ。

(三) 質入貨物ノ競賣 質入證券ノ所持人カ其債務ノ辨濟期ニ至リ、支拂ヲ受ケサルトキハ寄託貨物ニ對シ競賣權ヲ行フコトヲ得ルヤ勿論ナルモ、質權者ヲシテ輕々シク貨物ヲ賣却セシムルハ、預證券所持人及ヒ質入證券ノ裏書人ヲ保護スルノ方面ニ於テ、聊カ遺憾ナキ能ハサルヲ以テ、此ノ如キ場合ニハ、先ツ手形ニ關スル規定ニ從ヒテ拒絕證書ヲ作ラシメ、其日ヨリ一週間ヲ經過シタル後ニアラサレハ、寄託物ノ競賣ヲ請求スルコトヲ得スト定ム(商法第三百六十八條及第三百六十九條)是レ此間ニ證券上ノ債務者ヲシテ此事實ヲ知

ラシメ、以テ辨濟ノ機會ヲ得セシメンカ爲ニ外ナラサルナリ、然レトモ此ノ如ク、債務者ヲ保護スルニ過キタル、面倒ナル規定ヲ設ケタル爲メ、却テ證券ノ流通ヲ阻碍スルニ至リタルハ、後ニ述フル所ノ如シ。

茲ニ注意スヘキハ質入證券所持人ニ對スル當面ノ債務者ハ何人ナルヤノ點ニテ、舊商法ノ解釋トシテハ、或ハ第一質入裏書人ナリト云ヒ、或ハ預證券所持人ナリト云ヒ、議論ノ岐ル、所ナリシカ、改正法ハ明文ヲ以テ預證券所持人カ物的有限ノ責任ヲ負フヘキモノト爲セリ。

第三百六十七條ノ二 預證券ノ所持人ハ寄託物ヲ以テ預證券ニ記載シタル債權額及利息ヲ辨濟スル義務ヲ負フ。

即チ質入證券ノ所持人ハ、貨物處分前ニ於テ、預證券所持人ニ對シ債務ノ履行ヲ請求スルコトヲ得ルノ理ニテ、實際上ニ於テモ質權者タル銀行カ、預證券所持人ヲ知り得ル場合ニ於テハ、一應之ヲ請求シ、故ラニ競賣等ノ煩ヲ爲サ、ルヘキモ、預證券ハ質入後轉轉シ、其現有者ヲ知ルコト能ハサル場合ナキヲ保セス(但シ日本ノ現狀ニテハ此ノ如キコト稀ナリト云フ)隨テ預證券所持人ヲシテ、倉庫ノ營業所ニ就キ、辨濟ヲ爲サシムルコトヲ規定シタルモ、此場合、期日ニ倉庫ニ元利金ヲ持參セサルトキハ、質權實行ニ依ルノ外ナク、此際ハ拒絕證書ヲ要スルモノト爲セリ(商法第三百六十七條ノ三及第三百六十八條)

右ノ規定ニ從ヒテ貨物ヲ競賣(註)シタルトキハ、其代金ヲ如何ニスヘキヤ、又競賣ノ收得金ニテ債務ヲ完済シ能ハサルトキハ如何ト云フニ。

倉庫ハ競賣代金ノ中ヨリ、先ツ競賣ニ關スル費用、受寄物ニ課スヘキ租稅、保管料、其他保管ニ關スル費用、及立替金ヲ控除シタル後、其殘額ヲ質入證券ト引替ニ質權者ニ支拂フ可キ定メニシテ、質權者更ニ此中ヨリ債權額、利息、拒絕證書作成ノ費用ヲ控除シ、尙ホ剩餘アルトキハ之ヲ倉庫ニ返シ、倉庫ハ又之ヲ預證券所持人ニ證券引換ヘニ拂渡スヘキモノトス。(商法第三百七十條)

凡ソ質權者ハ貨物ニ重キヲ置キテ金員ヲ貸興スルモノニシテ、寄託物ノ價格多少下落スルモ、債權額其他ノ辨濟ニ不足ヲ生スルカ如キ患ヒナカラシムルモノナレト、相場著シク下落スルカ、又ハ品質意外ニ損敗セル等ノ爲メニ、競賣代金ヲ以テ債權ノ全部ヲ辨濟スルコト能ハサル場合ナキヲ保セス、此ノ如キ場合ニハ質入證券ノ所持人ハ、其裏書人ニ對シテ、其不足額ヲ請求スルコトヲ得ルモ、質入證券ハ競賣代金ヲ倉庫ヨリ受取ルトキ、之ト引換ヘニ返還スヘキモノナルヲ以テ請求上ノ不便少カラス、商法ハ此不便ヲ除クカ爲メニ、倉庫ヲシテ證券所持人即質權者ヘ支拂ヒタル金額ヲ、質入證券ニ記入シタル後之ヲ返還シ、且其旨ヲ帳簿ニ記載セシムルコト、爲セリ。

(商法第三百七十條)

商法第三百七十二條ハ「質入證券ノ所持人ハ先ツ寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケ、尙ホ不足アルトキハ其裏書人ニ對シテ不足額ヲ請求スルコトヲ得」セシム、此場合ニ於テハ手形法中償還請求ノ規定ニ從ヒ、期日後二日以内ニ拒絕證書ヲ作ラシメテ、其直接ノ前者ニ對シ、拒絕證書作成ノ日又ハ其後二日以内ニ償還請求ノ通知ヲ發シ、斯ク通知ヲ受タル者モ亦、自己ノ讓受ケタル裏書人ニ對

シ、通知ヲ受ケタル日又ハ其後二日以内ニ償還請求ノ通知ヲ發セサルヘカラス、其金額ハ債權金額ノ不足金、期日以後ノ法定利子(年六分ノ割合)拒絶證書作成ノ手数料其他ノ費用ニシテ、自己ノ後者ヨリ請求ヲ受ケタル裏書人ハ、其支出金額及支拂日以後ノ法定利子、並ニ支出諸費用ナリ、是等ヲ請求スルトキハ、質入證券ニ拒絶證書及ヒ償還計算書ヲ添ヘサルヘカラサルコト等、亦手形ノ場合ニ等シ。(商法第三百七十二條第二項)

前記條文ニ依レハ裏書人ハ不足額ニ對シテ責任ヲ負フヲ以テ、寄託物カ滅失シタルトキハ責任ナシト云フ者アレト、是レ徒ニ文字ニ拘泥スル僻論ニシテ、滅失ノ場合ハ不足ノ最モ著シキ場合ナレハ、之カ全部ヲ裏書人ニ請求スルモ、法文ノ解釋上何等不條理アルコトナシ、但斯ノ如ク解ストキハ、當面ノ債務者タル預證券所持人ハ毫モ責任ヲ負ハサルカ如キコト、爲レトモ、物の有限ノ責任ヲ負ヒタルモノナレハ、是亦已ムヲ得サルノ結果ト云フヘク、又一面ヨリ觀レハ、第一質入裏書人ハ、此不測ノ損失ヲ避ケンカ爲ニハ、寄託貨物ニ保險ヲ附スルコトヲ得ヘキヲ以テ(實際上入庫貨物ハ保險ニ附シタルモノ多キヲ以テ、保險會社ノ支拂ハサル損害ノ場合ノ外前記ノ如キ憂ナシ)、若シ之ヲ附セスシテ損害ヲ蒙ルコト、ナルモ、悔ユルコトナカルヘキノ理ナリ。

質入證券ノ流通ヲ獎勵センニハ、質入證券所持人ノ便宜ヲ圖ルト同時ニ、所持人カ其權利ヲ行使スル上ニ於テ怠慢アリタルトキハ、裏書讓渡人(質入證券ノ)ヲシテ其義務ヲ免レシメ、成ルヘク早く其關係ヲ消滅セシムルコト必要ナルヲ以テ、質入證券ノ所持人カ辨濟期ニ至リ、支拂ヲ受ケザリシ場合ニ於テ、拒絶證書ヲ作ラシメザリシトキ、又ハ拒絶證書作成ノ日ヨリ、二週間内ニ寄託物ノ競賣ヲ請求セザリシトキハ、裏書人ニ對スル請求權ヲ失ヒ、裏書人ハ全ク償還ノ義務ヲ免ル、モノト爲セリ。(商法第三百七十三條)

此ノ如ク我商法ハ拒絶證書ノ作成ニ關シ、專ラ手形ニ關スル規定ヲ準用シ、二日以内ニ拒絶證書作成、二週間内ニ競賣、公證人、執達吏等ノ面倒ナル手續ヲ爲サシムルモ、倉庫證券ノ記載事項ハ手形ノ如ク簡單ナラス、且ツ倉庫證券ハ各品各品質ニ付キ各通ヲ作ルノ習ヒニテ、一時ニ數十枚拒絶證書ヲ作成スルノ必要ナキニアラス、活潑ナル商取引ニ適セサルハ勿論、競賣法ニ依リテ競賣セシムルトキハ、其代價モ大ニ減少スヘキカユエニ、銀行モ質入者モ共ニ損失ヲ蒙ルニ至ル、是レ此規定ノ我當業者ニ悅ハレサル所以ナリ。

而シテ預證券所持人及ヒ質入證券裏書人カ、質入證券ノ所持人ニ對シテ負フ責任ハ頗ル重大ナルノミナラス、一方ニ於テハ普通ノ債權ト異リ、質物ヲ以テ擔保セラル、ノ利益アルヲ以テ、亦證券ノ流通獎勵上其權利請求ノ有効期間ヲ次ノ如ク一箇年又ハ六ヶ月ト爲シ、辨濟期日ヨリ此期間ヲ過キテ請求セザルトキハ時効ニ因リテ消滅スルモノト爲セリ。(商法三百七十四條)

(甲)質入證券所持人ノ請求權

- 一、預證券所持人ニ對スル請求權ノ時効
- 二、質入證券裏書人ニ對スル請求權ノ時効

一 年(辨濟期ヨリ)
 六 月(寄託物ニ付キ辨濟ヲ受ケタル日ヨリ)

(乙) 質入證券裏書人ノ請求權

一、其前者(讓渡人)ニ對スル請求權ノ時効

六ヶ月(償還ノ日ヨリ)

舊商法ニハ、質入證券所持人カ、債務者其他ノ裏書人ニ對スル請求權ノ時効ヲ一ケ年ト爲セルニ、手形償還義務ノ時効ハ六ヶ月ナリシヲ以テ、政府ノ商法改正案ニテハ、手形ノ時効ト權衡ヲ得セシメンカ爲メ、之ヲ六ヶ月ト爲シタルトコロ、質入證券ノ時効ハ其マ、通過シタルモ、手形ノ時効ハ衆議院ノ修正案ニ從ヒ一ケ年ト爲リタル爲メ、全然舊法ト相反スルノ結果ヲ見ルニ至リタルモノナリ(商法第四百四十三條)立法ノ經路ハ兎ニ角、斯ク改メタル結果如何ト云フニ、質入證券裏書人ノ責任ヲ輕減スルモ、其所持人ノ權利ヲ薄カラシメ、幾分質受ヲ躊躇セシムルノ憾ミ之ナキヲ保セサルヘシ。

(註) 競賣 動産ノ競賣ハ留置權者、先取特權者、質權者、其他民法又ハ商法ノ規定ニ依リテ、其競賣ヲ爲サントスル者ノ委任(書而上)ニ依リ競賣ヲ爲スヘキ地ノ區裁判所屬ノ執達吏之ヲ爲シ、委任ヲ受ケタル執達吏ハ競賣ノ場所及日時ヲ豫メ公告シ、少クモ五日ヲ經テ之ヲ行フヘシ。(競賣法參照)

(三) 穀物ノ出庫 寄託貨物ノ種類ハ地方ニ依リテ同シカラサレト、各倉庫平均、米穀ノ如キハ、從來出入最モ多カリシ爲メカ、其出庫手續ノ如キモ亦比較的發達セルカ如シ、今某倉庫ノ之ニ關スル手續ヲ見ルニ、先ツ廻米市場ニ在リテ問屋ノ代理人ト爲リ、其賣買ヲ媒介スル仲買ノ如キ者、荷主ニ代リテ次ノ如キ「米穀藏出通知書」ヲ作り、之ヲ渡先(買受主)ニ渡セハ、渡先ナル某ハ

右通知書ノ俵數ト割合(出來値ノ)ニ依リテ算出セル代金ヲ添へ、之ヲ倉庫ニ差出スヘシ、然ルトキハ倉庫ノ出庫係ハ、次頁ニ掲ケタル「米穀代金計算書」(又ハ「米穀廻しはかき」)ト、「米穀出庫指圖書」ノ連結セルモノヲ、他ノ部分ヨリ割キ取リテ渡ス故ニ、之ヲ貨物方ニ示シ、双方立會ノ上實際ノ辨廻ヲ定メ、精算代金ヲ算出シテ過不足金額ヲ支拂ヒ、現品ヲ受取ルヘシ、而シテ「米穀取立代金計算書」ハ倉庫内部ノ係カ計算ニ用フル紙片、又「米穀出庫傳票」ハ證券臺帳記入ノ

昭和 年 月 日			昭和 年 月 日		
品名	俵數	割合	品名	俵數	割合
口高	荷主	渡先	口高	荷主	渡先
藏番	荷印	藏所	藏番	荷印	藏所
番號	番號	要	番號	番號	要
要	要	要	要	要	要

右代金引換ニ現品御渡相成度候也

東京廻米問屋市場
代

藏御中

米穀取立代金計算書

イ 受付 號 100 昭和 年 月 日

寄託主		榊	収入日	金額	仕拂日
買主					
仲次人					
藏番	廻				
證券番號		項目			
口高		見積代金			
號		精算代金			
品名個數		供託金			
相場		差引殘高			
數量		金高			
摘要		釣錢			
		不足金			
		延滞日歩			

米穀代金計算書

イ 受付番號 100 昭和 年 月 日

右藏出榊廻濟次第此計算書御持參勘定 可被下候也 但殘金ノ毎日二時限御仕拂可申候 帝國倉庫株式會社	榊	總量	相場	個數	品名	買主
		不足金	釣錢	精算代金	見積代金	項目
						金額

米穀出庫傳票

イ 受付番號 100 昭和 年 月 日

寄託主	
藏番	
證券番號	
品名	
個數	
摘要	

藏出通知書日附 月 日

米穀出庫指圖書

イ 受付番號 100 昭和 年 月 日

貨物方御中 出庫係	寄託主	殿
	買主	殿
	藏番	
	證券番號	
	口高	
	記號	
	品名個數	
榊		
廻		

月 日 渡濟

此指圖書ノ效力ハ當日限

材料ニ供スル傳票ナリ。

(四)見本ノ抽出及ヒ寄託物ノ點檢 寄託者若クハ預證券所持人ハ、其寄託物ヲ讓渡ス爲メ、時々之ヲ點檢シ、若クハ其保存ニ必要ナル處分ヲ爲シ、又ハ見本トシテ一部分ヲ引出ス必要アリ、又質入證券ノ所持人即チ質權者ハ、寄託物ニ依リ自己ノ債權ヲ擔保セラル、モノナレハ、同シク現品ノ狀態ヲ檢査スル必要アルヲ以テ、倉庫營業者ノ迷惑ト爲ラサル限り、即チ營業時間内ハ何時ニテモ右ノ行爲ヲ爲スコトヲ得トハ、商法第三百七十五條ノ規定スル所ニシテ、見本ノ抽出カ受託物ノ全部ノ價格ニ著シキ影響ヲ及ホスノ虞アリト認ムルトキハ、預證券及ヒ質入證券ニ其旨ヲ記入スルカ、又ハ相當ノ金額ヲ倉庫ニ供託セシムヘシトハ、某倉庫ノ定ムル所ナリ、孰レモ當然ノ定メニシテ、商法カ質入證券所持人(銀行)ニ保存處分、及見本抽出ヲ許サ、ルハ、質入證券所持人ハ他人ノ貨物ヲ處分スヘキモノニ非ラサルヲ以テ、見本抽出ノ必要ハ素ヨリ之ナク、假令保存處分ヲ必要ナリトスルモ、這ハ預證券ノ所持人ヲシテ、之ヲ爲サシムルコトヲ得ルカユエナリ。

第四節 倉荷證券

(一)倉庫證券發行ノ主義 嘗テ述ヘタルカ如ク、倉庫證券ヲ發行スル主義ニ、二枚主義(複券主義)、一枚主義(單券主義)及ヒ折衷主義(混用又ハ併用主義)ノ三種アリ。

(二)枚主義) トハ佛、白、奧、伊、並ニ我邦從來ノ制度ノ如ク、預證券及質入證券(略シテ預質

證券ト稱ス)ノ二者ヲ同時ニ發行スルモノニテ、其長所ハ一旦質入シタル貨物ヲ、其マ、賣却シ得ルニ在レト、單ニ質入ノミ、若クハ讓渡ノミノ場合ニモ、必ス二證券ヲ發行スルノ煩アルコト、質入後賣却ノ場合ニハ法律關係複雜ナルコト等ノ短所アリ、此主義ヲ制定シタルハ佛國ニシテ、佛國モ初メハ一枚主義ナリシヲ、千八百五十八年ノ法律ニ依リ、二枚主義ニ改メテ今日ニ至リ、奧地利モ初メ一枚主義ナリシヲ千八百八十九年ニ改メテ二枚主義ト爲シ、伊太利モ亦此主義ニ依レリ、獨逸ニ於テモ一枚ヲ二枚ニ改ムルノ說ナキニテラサリシモ、其新商法ハ一枚主義ヲ固守シ、唯州ニ依リ二枚主義ヲ採ルモノ之アルノミ、而シテ此制度ヲ按出シタル佛國ハ、モト英國、和蘭等ノ制度ヲ視察シ、更ニ一層巧妙ナラシメンカ爲メニ二枚制度ヲ作りタルモノナルカ、實際ニ於テハ、我邦ノ如ク或ハ二枚連結ノマ、銀行へ擔保トシ、或ハ荷爲替附貨物ヲ銀行名義ニテ倉庫ニ保管セシメ、顧客内出ヲ欲スルトキハ、之ニ應スル金額ヲ銀行ニ支拂ヒ、其「出庫指圖書」ヲ求メテ之ヲ倉庫ニ差出サシムルモノ少カラス、質入證券ノミヲ使用スル場合ハ却テ少ク、伊太利ノ如キモ亦此ノ方法ヲ採レルモノ多シト云フ、其他奧地利、白耳義等ニ於テモ、亦質入證券ノミニ依ル割引若クハ貸出ヲ行フコト極メテ少ク、我邦モ亦然リ、由是觀之ニ枚證券カ實際ニ適セサルハ世界共通ノ現象ニシテ獨リ我邦ニ限リタルニアラス、隨テ我商人カ之ヲ斥クルハ證券ノ法規ニ通セサル爲メノミアラスシテ、要スルニ(一)法律關係ノ複雜ナルト、(二)質權者ニ不便不安アルト、(三)質權者カ幾分專横ナルト、(四)一枚ノ簡便ナルニ及ハサルトノ爲メナリトス。

(一枚主義) ハ獨、米、蘭、英諸國ノ採用スル所ニシテ、一枚ノ預證券ノミヲ發行シ、賣買質入執レニモ使用セシムルモノナルカ故ニ、二枚ニ比シ簡便ニシテ、之ヲ質受スル銀行ハ質入證券ヲ質受シタルカ如キ不安、不便ナク、倉庫モ亦一通ニテ手數ヲ要セサルノ利アリ、唯此證券ノ缺點トスル所ハ、一旦質入シタル貨物ヲ賣却スル場合ノ不便ニ在ルモ、斯ノ如キハ、少クモ我邦ノ實際ニ於テハ、之ヲ行フ者稀ニシテ、若シ之ヲ行ハントスル場合ニハ、質受銀行ノ承諾ヲ得(相當ノ金額又ハ擔保ヲ差入ルレハ可ナラン)貨物ヲ出庫スルコトヲ得ルヲ以テ、單ニ證券ニ依リ賣却シ得スト云フニ止リ、全然賣却ノ便ヲ奪ハル、モノニアラス、而シテ英國ニ於テハ、此缺點ヲ補フ爲メ、質入ノ場合又ハ手附賣買ノ場合ニハ一旦預證券(Warrant)ヲ倉庫ニ返付シ、之ニ代ユルニ賣買證券(Cash Warrant)及「ウエイト、ノート」(Weight Note)ノ二證券ヲ以テシ、質入ノ場合ニハ賣買證券ヲ銀行ニ差入レテ、貸出ヲ求メ、又手附賣買ノトキハ之ヲ賣主ノ手元ニ留メ置キ「ウエイト、ノート」ニ依リテ入庫貨物ヲ讓渡スコトヲ得セシムルヲ以テ、結局折衷主義(又ハ二枚主義)ニ類スルモノト謂フヘシ。

(折衷主義) 茲ニ折衷主義トハ(一)千八百八十八年露國法及ヒ我邦ノ改正商法ノ如ク、寄託者ノ請求ニ依リ、或ハ預證券及ヒ質入證券ノ二枚ヲ發行シ、或ハ預證券一枚(我邦ニテハ之ヲ倉荷證券ト云フ)ノミヲ發行スルモノト(二)獨逸「ブレイメン」ノ如ク、原則トシテハ預證券一枚ノミヲ發行シ、其後質入ノ必要ヲ生シタルトキ、舊證券ヲ持參シテ質入證券ノ交付ヲ求ムルモノヲ含ム、前述英國ノ制度ノ如キモ亦寧ロ此主義ノ第二ニ屬スルモノト見ルヲ可トス、而シテ此主義ノ(第一)ハ所謂混同主義、併用主義ト稱スルモノニテ、法律關係二枚主義ノ場合ヨリ更ニ複雜ヲ來スノ弊アリトシテ非難セラル、所ナルカ、我邦ニテハ商法改正ノ原案カ二枚主義ナリシヲ、當業者ノ反對熾ナリシ爲メ、貴族院ニ於テ一枚主義ヲ加へ、遂ニ露國法ト類スルニ至リシモノトス。

露國商法、千八百八十八年ノ商法ハ、當事者者ヲシテ二枚及ヒ一枚ノ中執レカ一ヲ撰ムコトヲ得セシメ(第七百八十五條)若シ二枚ヲ撰ヒタルトキハ、預證券ニテ寄託物ヲ讓渡シ、質入證券ニテ質入セシム。又一枚ヲ乞ヒ受ケタルトキハ、其證券ニテ寄託物ヲ讓渡シ、又ハ質入セシム、之ニ質權ヲ設定スルニ當リテハ、證券讓渡ノ旨及ヒ債務者ノ氏名、住所、債權額、及其辨濟期等ヲ裏書シテ、之ヲ質權者ニ交附シ、此氏名、金額等ハ公證セシムルカ、又ハ倉庫ノ帳簿ニ記入スルコトヲ要ス、質入セラレタル證券ハ裏書ニ依リテ之ヲ讓渡(質入)スコトヲ得ヘキモ、裏書人ハ償還義務ヲ負ハスト爲セリ(第八百八條乃至第八百十條)

(二)倉庫證券ノ性質 商法第三百八十三條ノ二ニ曰ク、倉庫營業者ハ寄託者ノ請求アルトキハ預證券及質入證券ニ代ヘテ、倉荷證券ヲ交付スルコトヲ要ス。

倉荷證券ニハ預證券ニ關スル規定ヲ準用ス。ト、即チ其第一項ニ依リ、寄託者ハ寄託貨物ニ對シ、預證券及ヒ質入證券ヲ請求スルモ、又ハ倉荷證券ヲ請求スルモ任意ナルコトヲ示スト同時ニ、始メ預證券及質入證券ノ發行ヲ求メ置キ、後ニ至リ之ヲ倉荷證券ニ引換フルコトヲ得ヘク、又先ツ倉荷證券ヲ求メ置キ、後ニ預證券及質入證券

ニ引換フルコトヲ得ル旨ヲ明カニシ、其第二項ニ於テ倉荷證券ノ性質ヲ預證券ト同一視シ、其規定ヲ之ニ準用スヘキモノト爲セリ、隨テ之ニ記載スヘキ事項ハ預證券ニ記載スヘキ要件ニ等シク（商法第三百五十九條）倉庫ハ發行ノ際、重ナル事項ヲ其帳簿ニ記入スルノ義務アリ（第三百六十條）證券所持人ハ寄託物ヲ分割シ、各部分ニ對スル倉荷證券ヲ定ムルコトヲ得（第三百六十一條）倉庫ト所持人トノ間ニ於テハ、寄託ニ關スル事項ハ證券ノ定ムル所ニ依リ（第三百六十二條）倉荷證券モ亦當然ノ指圖證券ナルヲ以テ、裏書禁止ノ記載アル場合ノ外、記名式ノ場合ニ於テモ尙ホ之ヲ讓渡スコトヲ得ヘク（第三百六十四條）又物權證券ナルヲ以テ、之ヲ發行シタル以上ハ、之ニ依ラサレハ寄託貨物ヲ處分スルコトモ、又倉庫ニ對シ出庫ヲ定ムルコトモ爲シ得ス（第三百六十五條、及第三百七十九條）引渡證券ナルヲ以テ、寄託貨物ヲ受取ルコトヲ得ヘキ者ニ、證券ヲ引渡シタルトキハ、其引渡ハ貨物ノ上ニ行使スル權利ノ取得ニ付キ（毛戸博士ハ、權利ノ取得ニ付キ）ハ「權利ヲ以テ第三者ニ對抗スルニ付キ云々」トスヘキモノナリト云ヘリ）寄託貨物ノ引渡ト同一ノ効力ヲ生スルカ故ニ（第三百六十五條）例ヘハ質權設定ノ目的ヲ以テ、質權者ニ倉荷證券ヲ引渡シタルトキハ、質權者ハ斯クテ設定サレタル質權ニ關シ、第三者ニ對抗スルコトヲ得ルナリ。

其他證券滅失ノ場合（第三百六十六條）證券所持人カ寄託物點檢、見本摘出、保存行爲ヲ爲スコトヲ得ルコト（第三百七十五條第一項）證券所持人カ寄託物ヲ受取ラサル場合ノ處分（第三百八十一條）倉庫證券所持人ニ對シ、貨物ノ滅失又ハ毀損ノ場合ニ負フ責任ノ時効（第三百八十三條）等ハ

孰レモ預證券ノ規定ヲ適用セララルモノトス、隨テ預質證券ノ場合ト同様、記名式或ハ指圖式ニ限ルモノトス（但シ所謂選擇持參人式（何某殿又ハ持參人ヘ「ト云ヘル）ニハ爲シ得ト云フ説アリ）

(三) 倉荷證券ノ運用 寄託主カ倉荷證券ヲ求メ置キタル後、全部又ハ一部ヲ出庫セントスルトキハ、其割合ニ應スル保管料、立替金其他ノ費用ヲ支拂ヒ、證券ニ指定ノ事項ヲ記入シテ記名調印ノ上會社ニ差出スヘク、内出ナルトキハ、會社ハ證券裏面ノ受取欄ニ認印ヲ押捺シテ之ヲ返付スルコト、總テ預質證券ノ場合ニ等シク、又倉荷證券ニ依リテ寄託物ヲ賣却セントスルトキハ、證券ノ裏面ノ讓渡欄ニ讓渡ノ年月日、讓渡人ノ記名捺印、及ヒ讓受人ノ記名ヲ爲シ、之ヲ讓受人ニ渡セハ可ナリ、即チ此簡單ナル手續ニ依リテ、寄託物ノ所有權ハ、讓受人ニ移リ、寄託物引渡請求ノ債權モ亦固ヨリ移轉セラル、モノトス。

然レトモ之ヲ質入スルニ當テハ少シク趣ヲ異ニスルモノアリ、普通當業者ノ行フ所ヲ見ルニ、之ヲ以テ手形割引ノ擔保物ト爲スニ在リテ、所定ノ約束手形（又ハ爲替手形ヲ振出シ、之レヲ借主ニ引受ケシメタルモノヲ用ユ）ヲ受取ルト同時ニ、倉荷證券ニ讓渡ノ裏書ヲ爲サシメテ之レヲ預リ、別ニ「若シ辨濟セサルトキハ、銀行ニ於テ任意ニ貨物ヲ處分スルモ異議ナキ」旨ノ差入證ヲ受取リ置クヲ常トス、即チ從來預質證券連結ノマ、擔保ニ供セシメタルト同一方法ニ依ラシムルモノニシテ、唯異ル所ハ從來ニ比シ記入ノ手數少キト、印紙カ合計拾貳錢ヲ要セシモノ（爲替手形ヲ用ヒタルモノト假定ス）九錢ニテ足ル、コト、爲リタルノ差アルニ過キスト云フ、願フニ

此方法ハ質受銀行ニ取リテハ最モ安全ノ策ナリト雖モ、質入ノ場合ニ讓渡ノ裏書ヲ爲サシムルカ如キハ違法ナラサルナキカ、之ヲ違法ナラストスルモ、他ニ適當ノ方法之ナキカ、倉荷證券ノ裏書ノミニ依リテ質權ヲ設定スルコト能ハサルカ。

此問題ハ從來議論ノ岐ルル所ニシテ、嘗テ銀行ハ讓渡ノ裏書ヲ爲セル預質證券ヲ擔保トシテ差出サシメタルモ、擔保ノ目的ヲ以テ讓渡ノ裏書ヲ爲サシムルカ如キハ、虛偽ノ行爲ナリト云フ説アリ、判決例(大審院、及大阪控訴院^(三十七年六月))モ亦之ヲ認メタルヲ以テ、當業者ハ不安ヲ感シ、更ニ流質ヲ約セル前記ノ如キ差入證ヲ添付セシメタルニ至リタルモノトス、然ルニ其後之ヲ有效ナリト爲ス説現ハレ、内部ニ於テ擔保ヲ目的トシナカラ、表面所有權移轉ノ意思表示ヲ爲スコト、即チ眞ノ目的ニ超過スル行爲ヲ爲スハ、法律上信託行爲ノ一種ニテ虛偽ノ行爲ニアラス、裏書人ハ全ク所有權移轉ノ意思ナキニアラス、若シ「辨濟スルコト能ハサル場合」ニ於テハ、之ヲ移轉スルノ意思アルモノナルヲ以テ、當事者間ニハ質權設定ノ效力ヲ生シ、唯第三者ニ對シテハ所有權移轉ノ效力ヲ生スルモノト爲シ、現ニ大審院判決例ノ如キモ、亦此法理ヲ認ムルモノノ如シ。

大審院判決例(大正三年五月一日判決、約束手形金請求ノ件)……手形ノ所持人カ取立委任ノ裏書ヲ爲シタル場合ニ於テ、手形ニ其目的ヲ附記セズ、所謂信託的讓渡裏書ヲ爲シタルトキハ、當事者ノ意思ハ被裏書人ノ名ニ於テ、裏書人ノ爲メニ、手形上ノ權利ヲ行使セシムルニ在ルヲ以テ、當事者間ニ於テ取立委任ノ效力ヲ生スルト同時ニ、第三者ニ對スル關係ニ於テハ手形權利移轉ノ效力ヲ生シ、被裏書人カ手形上ノ權利者ト爲リ、裏書人ハ第三者ニ對シテ、其權利ヲ主張スルコトヲ得サルモノトス。

此法理ヲ正當ナリトシ、扱其結果ヲ考フルニ、讓渡裏書ヲ爲セル倉荷證券(又ハ預質證券)ヲ擔保トシ、其引渡ヲ受ケタル銀行ハ、直ニ質權ヲ取得シ、前述ノ如ク之ヲ以テ第三者ニ對抗スルヲ得ルト同時ニ、辨濟期ニ元利金ノ支拂ヲ受ケサルトキハ、寄託物ノ所有權ヲ取得スルコトト爲ルカユエニ、流質ヲ約セル場合ト異ナラサルニ至ル、銀行カ最初ヨリ讓渡裏書ヲ爲サシムル其目的ハ、畢竟此點ニ在リテ、豫メ裏書セシムルハ其期限ニ臨ミ、特ニ裏書ヲ爲サシムルノ煩ヲ避ケンカ爲ナリ、唯流質ヲ約セル場合ト異ル點ハ、流質ノ場合ニハ、期限ニ至リ辨濟セサル迄ハ、銀行ハ單ニ質權者タルニ止ルモ、前記ノ如ク讓渡裏書ヲ爲シ置クトキハ、期限前何時ニテモ、第三者ニ對シテ有效ニ之ヲ讓渡シ、質入人ハ斯ク讓受ケタル第三者ニ對シテハ、其權利ヲ主張スルコトヲ得ス、又銀行ハ特ニ讓受ヲ爲サルモ、第三者ニ對シテハ常ニ所有權ヲ以テ對抗スルコトヲ得ルノ差アリ、是レ銀行者ニ取リテハ最モ安全ナル方法ニシテ、法理上ニ於テハ手形ト此證券ノ外、別ニ差入證ヲ要求シ置クノ必要之ナキモノトス。

此方法ヲ難スル者アリ、曰ク、「質權ヲ設定セントシテ所有權ヲ交付スルハ、謂レナキ權利ノ拋棄ニシテ、若シ債權者ニ惡意アラシカ、裏書交付ヲ受ケタル證券ヲ他ニ運用シテ、其所有權ヲ行使スルモ、以テ如何トモスヘカラス、強テ是等ノ不利益ヲ豫防セント欲セハ、一々債權者ヨリ證券ヲ取り置クノ必要アルヘキモ、債權者若シ之ヲ出スヲ肯ンセサルトキハ、其不便少カラサルヘシ……」此ノ如キハ一ニ債權者萬能ノ餘波ト云フノ外ナク、縱令其結果ニ於テ、日常サシタル支障

ヲ生セストスルモ、債務者一般ノ權利、延テハ日本商人ノ人格ヲ尊重スル上ニ於テ、餘リニ屈辱的態度ニ非ラサルカヲ疑フモノナリ、又曰ク「倉荷證券ノ質入裏書ニ就テハ商法ニ何等ノ規定ナキヲ以テ、民法上ノ一般指圖債權質入ノ規定ニ從ヒ、證券面ニ質入ノ裏書ヲ爲スヘシ、斯クスルトキハ質權者ハ有效ニ貨物上ノ質權ヲ取得シ、債務者ハ質權ヲ設定スルノミニテ、目的以上ノ負擔ヲ免ルヘシ云々」ト。

吉田氏モ亦嘗テ大阪銀行通信錄(第六十八號、明治四十四年九月)ニ於テ「倉荷證券モ一種ノ指圖證券ナルカ故ニ、民法第三百六十六條ニ依リ、倉荷證券ニ質入裏書ヲ爲シ、質權設定ヲ爲シ得ルモノト解セサルヲ得ス、此裏書ヲ爲シタルトキハ、動産質權ヲ得ルト同時ニ、權利質モ設定セラル、モノト信ス、否倉荷證券ノ質入裏書ハ倉荷證券正面ノ使用ナリ、即チ質權設定方法ニシテ、見返品ト爲スコトハ寧ロ變法ト謂ハサルヲ得ス、商法ニ於テ倉荷證券ニ對スル質權設定方法ヲ規定セサリシモノハ、船荷證券又ハ貨物引換證ト同シク、一般ノ原則ニ委ネ、當然質入裏書ヲ以テスルモノト認メラントタルモノナルヘシ、此解釋ヲ誤ナク、質入裏書ヲ爲シ得ルモノトスレハ、約束手形又ハ差入證等授受ノ要ナク、印紙ノ如キモ僅ニ參錢ニテ足り、債務者及銀行共ニ非常ノ便利ヲ得ルコトナラン、知ラス倉庫業者ハ如何ナル確信アリテ、倉庫證券ノ裏面ニ質入裏書ノ欄ヲ設ケサリシヤ云々」ト。

是等ノ說ハ一應理由アルコトニテ、現在ノ慣習カ、債權者ニノミ安全ニシテ、債務者ニ薄ク、又手數モ費用モ多キ缺點アルハ事實ナレトモ、斯ル缺點アルカユエニ現行商法ヲ改メテ「倉荷證券ヲ質入シタルトキハ、質入證券ノ規定ヲ準用ス」トスヘシト云ヘル說ノ可否ナレハ兎ニ角、現行法カ多少ノ缺點アルニモセヨ、此マ、ニテ、倉荷證券ノミニ依リ、完全ニ質入スルコトヲ得ルヤ否ヤ、先ツ此問題ヲ解決シテ、然ル後始メテ現在慣習トノ優劣ヲ比較スルコトヲ得ヘキ筈ナリ、乞フ少シク之ヲ論セン。

凡ソ質入證券ヲ質入スルニ當リテハ、之ニ債權額、利子及辨濟期ヲ記入シテ、之ヲ質受銀行ニ交付セハ足レリ、第三者ニ對抗スルニハ預證券ニモ記載スルコト云フマテモナシ、又此手續ニ依ラサレハ質權ヲ設定スルコト能ハサルハ法ノ明定スル所ナリ、然レトモ倉荷證券ニハ此規定ヲ準用スルノ明文之ナキヲ以テ、宛モ貨物引換證若クハ船荷證券ヲ質入スル場合ノ如ク、單ニ質入ノ目的ヲ以テ銀行ニ引渡セハ足り、何等裏書等ノ手續ヲ要スルコト之ナキ筈ナリ、是レ商法三百六十五條ニ依リ、第三百三十五條ノ規定カ適用セラル、結果ニシテ、即チ寄託貨物其モノヲ質入シタルト同一視スルモノナリ、隨テ質入證券ニ依ル質權、及ヒ之ト分離セル預證券ニ依ル質權ニ關シテハ、論議ノ餘地ナキニアラサレトモ、此質權ノ動産質タルヤ疑フヘカラサルナリ、然ルニ銀行カ讓渡ノ裏書ヲ爲サシムル所以ノモノハ、元來流質ヲ約セシメンカ爲メニシテ、其上差入證ヲ徵シ、之ニモ流質ヲ明カニスルハ、嘗テハ擔保差入ノ爲メノ讓渡裏書ハ無効ナリトセラレタルカ爲メニ外ナラス。

倉荷證券ハ物權證券ナルト同時ニ債權證券ナルヲ以テ、前述ノ如ク單ニ證券ノ引渡ノミニ依リテ質權ヲ設定シタル場合ニ於テモ、動產質權ヲ設定スルト同時ニ、債權質(即チ權利質)ヲモ設定スルコト、爲ルヤ、倉荷證券ハ指圖證券ニシテ、貨物ノ引渡ヲ求ムル指圖債權ヲ表ハスモノナルヲ以テ、民法第三百六十六條ニ從ヒ、其ノ證書ニ質權ノ設定ヲ裏書セサレハ、其債權ノ質入ヲ以テ第三者ニ對抗スルコト能ハサルヘシ。

民法第三百六十六條 指圖債權ヲ以テ質權ノ目的ト爲シタルトキハ、其證書ニ質權ノ設定ヲ裏書スルニアラサレハ、之ヲ以テ第三者ニ對抗スルコトヲ得ス

倉荷證券ヲ讓渡ストキハ、貨物ニ伴フ物權及債權ハ、當然讓受人ニ歸屬スルモノナレハ、此趣旨ヨリ考フルトキハ、商法立法ノ精神ハ、動產質權設定ト同時ニ債權質モ亦設定セラル、ノ特例ヲ開キタルモノト看做スモ強チ不當ニアラス、然レトモ民法ノ規定ニ從ヒ、證券ニ質入裏書ヲ要スルモノト看做スモ、這ハ指名債權即チ權利質ニ關スル要件、而モ、之ヲ第三者ニ對抗セシムル要件ニ過キスシテ、其設定ハ(一)質入契約ヲ結フコト(二)證券ニ讓渡ノ裏書ヲ爲スコト(三)其證書ヲ交付スルコトノ三要件ヲ以テ足レリトス、假ニ第三者ニ對抗シ得サル質權ハ薄弱ナリトシテ、之ヲ第三者ニ對抗セシムル爲メ、質入裏書ヲ要スルモノトスルモ、斯クシタルモノハ權利質ニシテ、銀行ハ主タル債權カ辨濟セラレサル場合ニ、此債權ヲ直接ニ取立ツルコトヲ得ルニ過キス、若シ金錢上ノ債權カ質權ノ目的ナルトキハ、取立ノ結果其金錢ハ直ニ銀行ノ所有ニ歸スト雖モ、

金錢以外ノ物ヲ目的トスルトキハ、取立ニ依テ得タル物ノ上ニ質權ヲ成立セシムルカユニ、取立手續ヲ履行シタル後、始メテ動產質ニ變スルモノトス、質受銀行ノ目的トスル所ハ動產質ニ在ルモノナルニ、斯ノ如ク迂廻シテ始メテ動產質ト爲ル權利質ノ如キハ、之ヲ設定スル蓋シ其本意ニアラサルヘシ。

若シ商法及民法ヲ解シ、證券ニ質入裏書ヲ爲シテ差入レタル權利質設定行爲(及第三者對抗條件)カ、當然動產質ヲモ設定スルモノトスルモ(論者或ハ斯ク見タルカ、若クハ權利質ト動產質トヲ混同シタルニアラサルカ)故ラニ權利質ヲ設定スル行爲ニ依リテ動產質ヲ設定スル必要ナク、單ニ證券ヲ交付シテ直ニ動產質權ヲ設定スレハ可ナルノミナラス、倉庫證券ニ依リ權利質ヲ設定スルモ、當然動產質ニ及フモノナルヤ否ヤハ問題ニシテ、讓渡ノ場合ニ讓渡ノ裏書カ債權ノ讓渡ト爲ルハ、法ノ規定ヨリ推論スルヲ得ルモ、質權ノ場合ハ之ト趣ヲ異ニスル所ナキ能ハサル也。

要之倉荷證券ニ裏書スル質入ノ直接ノ結果ハ、權利質ヲ生スルニ在リ、一方ニ於テ動產質ハ單ニ證券ノ引渡ノミニ依リテ之ヲ爲スコト得ルヲ以テ、若シ當事者ノ意思カ動產質ト權利質トヲ併セ成立セシムルニ在リテ、證券ニ裏書シ、交付スルトキハ、兩種ノ質權カ成立スルモノナルヤ明カナルモ、既ニ引渡ノミニ依リテ動產質權カ成立スル以上ハ、何ヲ苦ンテ債權質ヲモ併セ成立セシムルノ必要アルヤ、殊ニ債權質ナルモノハ元來條件附債權ノ讓渡ナルヲ以テ、證券ニ質入ノ旨ヲ裏書スルト同時ニ、債權讓渡ノ裏書ヲモ爲シ置クノ要アリ、サレハコソ第三者ニ對抗セシムル爲

メ、特ニ質權ノ設定ヲ裏書セシメ、之ヲ制限スル所以ナレトモ、孰レニセヨ論者ノ快シトセサル讓渡ノ裏書(設定行爲ニハ之ノミテ可ナリ)ヲ要スルモノナルヲ知ラスヤ、然リ而シテ證券ノ引渡ニ依リテ動産質權ヲ設定スルノミナルトキハ、辨濟期ニ至リ辨濟ナキ場合ニハ質入人ハ證券ナキ爲メ、固ヨリ出庫スルコト能ハサルモ、銀行モ亦讓渡ノ裏書ナキ證券ヲ所持スルノミニテ、之ヲ倉庫ニ呈示シ、出庫ヲ求ムルコト能ハサルヘク、擔保ノ利益ヲ減殺スル所以ナレハ、此點ニ於テモ債權質ヲ設定シ置クノ必要アルヘシト云ハンカナレトモ、斯ル場合アレハコソ、豫メ讓渡ノ裏書ヲ爲サシメ置クモノニテ、假リニ豫メ讓渡ノ裏書ヲ爲シ置クヲ危険ナリトセハ、其ノ期ニ至リ之ヲ爲サシムルヲ妨ケサルナリ、假リニ債權質ヲモ設定シ置クヲ便ナリトスルモ、主タル債權ノ辨濟ナキ場合ニ質債權ヲ取立テタル結果ハ、亦寄託物ノ上ニ動産質權ヲ有スルノミニ止リ、更ニ讓渡(所有權)ノ裏書ヲ爲サシムルノ要アルコト、單純ナル動産質ノ場合ト異ナラサルニ至ル、即チ無用ノ質權設定ニ終ルヘキナリ。

顧フニ現行法ノ下ニ於テハ、實際慣習ノ如ク豫メ、讓渡裏書ヲ爲シ、之ヲ差入レシムルハ、銀行業者ヨリ見テ已ムヲ得サル處置ナルヘク、唯之カ爲メ幾分債務者ニ不安ヲ與フルコト、爲ルヲ以テ、此矛盾ヲ避ケンニハ、現行法ヲ改正シテ質入證券ノ規定ヲモ準用スルカ、何等カノ工夫ヲ爲サ、ルヘカラス、尙ホ論者ハ銀行ヨリ返リ證ヲ受取り置クトキハ債務者ノ不安ヲ除クコトヲ得ルカ如ク考フルモ、這ハ唯當事者、即チ銀行ト債務者トノ關係ノミニ止ルヲ以テ、此ノ如キ證書ア

レハトテ、銀行ニ惡意アリテ、證券ヲ第三者ニ讓渡スコトヲ防キ得ルモノニアラス、唯銀行ニ要債スル場合ノ立證ニ幾分便ナルノミナリトス、又論者ハ讓渡ノ裏書ヲ爲シテ差入ル、ヲ以テ、銀行ハ專横ナリ、債務者ハ卑屈ナリト云フモ、債務者カ多少ノ弱味ヲ有スルハ固ヨリ當然ニテ、從來内外共ニ盛ンニ用ヒ來レル禁流通證券ノ如キモ、之ヲ銀行名義ニテ發行セシメ、當事者間ニハ擔保差入ノ契約アルモ、寄託物ヲ銀行ノ任意ト爲セル點ニ於テハ前述ノ方法ト異ルナク、外國ニテモ、佛、伊、米各國之ニ依リ、次節ニ述フルカ如ク、米國倉庫協會(千九百三年、十二月、華盛頓ニ於ケル)ニ於テ當業者ノ一人ナル「ゴツドレイ」氏ノ如キハ、盛ンニ此方法ヲ鼓吹シツ、アルニアラスヤ、是ヲ以テ余ハ債權銀行カ、幾分勝手ニ過クルヲ認ムルト同時ニ、某氏ノ如ク「日本商人ノ人格」ナトニ關スル問題ニハアラサルヲ信スルモノ也。

(質入後ノ内出) 倉荷證券ヲ質入シタル場合ニ於テ、寄託物ノ一部ヲ出庫センニハ、如何ナル手續ニ依ルヘキヤ、商法第三百八十三條ノ三ハ之ヲ規定シ

商法第三百八十三條ノ三 倉荷證券ヲ以テ質權ノ目的トシタル場合ニ於テ、質權者ノ承諾アルトキハ、寄託者ハ債權ノ辨濟期前ト雖モ、寄託物ノ一部ヲ返還ヲ請求スルコトヲ得、此場合ニ於テ倉庫營業者ハ返還シタル寄託物ノ種類、品質及ヒ數量ヲ倉荷證券ニ記載シ、且ツ其旨ヲ帳簿ニ記載スルコトヲ要ス

ト爲セリ、從テ、債權ノ期限前一部ヲ出庫セント欲セハ、質權者即チ銀行ニ其割合ノ金額ヲ辨濟シ其承諾書(例ヘハ貨物内渡請求書)ヲ求メ、之ヲ倉庫ニ提出セサルヘカラス、辨濟ハ此場合法規

上ノ要件ニハアラサレトモ、事實上ノ要件ニシテ、辨濟セサレハ承諾セサル筈ナレハナリ、而シテ預證券ノ場合ノ供託ニ依ル一部出庫ノ如ク、同種類同品質ノモノナルコト、金額カ數量ニ比例スヘキコトナトノ制限ハ、固ヨリ之ナキヲ以テ、寄託貨物ノ如何ニ拘ラス、苟モ銀行ノ容認スルタケノ金額ヲ支拂ヘハ可ナルノ理ナリ、然レトモ實際ニ於テハ亦營業規則等ニ於テ、預證券ノ場合ノ取扱ニ準スルモノ多キカ如シ。

倉荷證券質入後、辨濟ニ依リテ内出ヲ求ムルコトヲ得ルハ、前述ノ如クナレトモ、預證券ノ場合ノ如ク、債權額ノ一部及其辨濟期限マテノ利息ヲ倉庫ニ供託シテ、之ヲ求ムルコトヲ得ルヤ、此點ニ付テハ消極、積極、兩説ニ岐ル、所ナルカ、凡ソ供託ハ辨濟期前、債務ノ一部(又ハ全部)ヲ免レシムル、變則ノ取扱ナルヲ以テ、法ニ明文アリテ始メテ、之ヲ行フヲ得ヘキモノナルニ、法ハ倉荷證券ニ付テ之ヲ規定セス、又預證券ノ規定ハ之ヲ準用スルモノナルニ、其一部供託ヲ許スハ質入證券利用後ノ預證券所持人ニ關スルモノニテ、倉荷證券質入後、何等ノ證券ヲモ有セサル、其所持人ニ適用スヘクモアラサレハナリ、然ラハ銀行カ豫メ倉庫ト特約ヲ結ヒ「債務者カ割合ニ應スル元利金ヲ持參セハ、一部出庫ヲ許サレタシ」ト爲シ置カハ如何ト云フニ、此場合ニ於テモ倉庫ハ果シテ何人カ債務者ナルカ之ヲ知ルニ由ナキ筈ナレトモ、假リニ債務者ヲ知ルヲ得タルトスルモ、斯クテ出庫セシムルハ、亦倉庫カ銀行ニ代リ其辨濟ヲ受クルモノニテ、銀行ハ總括的承諾ヲ與ヘタルモノト謂フヘク、決シテ一部ノ供託ニハアラサルナリ。

又法ハ寄託物ノ一部ノ返還ヲ請求スルコトヲ得ト爲セトモ、一部ノ返還ヲ請求シ得ルハ、即チ全部ノ返還ヲ請求シ得ル所以ナレハ(其反對ニ全部ヲ許スモ、之ヨリ一部ヲ許ストハ推定シ難シ)徒ニ文字ニ拘泥シテ一部ニ限ルカ如ク考フルハ、大ナル誤解ナリト知ルヘシ、蓋シ百俵ノ中九十九俵ヲ出庫シ得テ、残りノ一俵ヲ出庫シ得サルノ理ナク、又始メ五十俵ヲ出庫シ得ハ、残りノ五十俵ノ出庫モ亦一部出庫ナラサルヘカラサレハナリ。

又債權ノ一部辨濟ニ依リ、倉庫カ一部出庫ヲ行ヒタル場合ニ、其債務者カ支拂停止ヲ爲シ、其辨濟カ舊商法第九百九十條ニ所謂「支拂停止前三十日以内ニ破産者カ爲シタル期限ニ至ラサル債務ノ支拂」ト爲ルモノナルトキハ、其辨濟ハ無効ト爲リ、既ニ渡シタル貨物ハ之ヲ取戻スコト能ハサルニ至ルヘク、斯クテハ倉庫證券ノ流通ニモ影響スヘシト云フ者アレトモ、此場合ハ債權者ニモ債務者ノ資力ヲ誤認シタルノ過失アリ、又此ノ如キ例ハ稀ナルヘケレハ、其弊ハ蓋シ些少ナルヘシト信ス。

(流質ノ契約) 質入證券ニ依リテハ流質ヲ契約スルコト能ハサレトモ、倉荷證券ノ讓渡ニ依リテ流質ヲ契約シ得ルカト云フニ、讓渡ノ裏書ニ依リテ之ヲ提供シ、手形割引ノ擔保トシテ質入シタル場合ト、又一派ノ論者ノ如ク此證券ノミノ裏書ニ依リテ質入シタル場合トヲ問ハス、質入證券ニ依ル質入ノ如キ特別ノモノニアラサルヲ以テ、流質ヲ約スルモ亦有效ナラサルヘカラス、然レトモ前者ノ場合ニハ讓渡ノ裏書アルヲ以テ此必要ナルヘキモ、後者ノ場合ハ債權質ニシテ、辨濟

ナキ場合ハ單ニ其債權ヲ取立テ得ルニ過キサレハ、此必要之アルヘキナリ、又後ノ場合ハ債權質カ成立ツト同時ニ動産質カ成立ツ場合ナリトスレハ如何ト云フニ、此場合ニ於テモ亦流質ヲ約束シ置カサレハ、直ニ貨物處分ノ效力ヲ生セシムルニ由ナカルヘシト信ス。

(四)倉荷證券ノ形式 明治四十四年四月京都ニ於テ第五回日本倉庫聯合會ノ開催セラル、ヤ、倉庫證券ノ約款、及ヒ倉荷證券ノ様式ヲ一定スルノ必要アリトシ、調査委員ヲ擧ケ、委員ハ起草委員ニ附託シ、其研究ノ餘決定セラレタルモノアリ、コ、ニ挿入セル倉荷證券ノ雛形ハ、三菱倉庫株式會社カ之レニ依リ、定メタルモノニシテ、其約條ハ嘗テ示セル預質證券ノソレト稍異ル所アルヲ以テ(預質證券ハ現在使用セス)次ニ改正ノ趣旨ヲ説明スヘシ。(原案ハ東京側ノ委員カ立案シ、各地委員ノ案ヲ綜合シ、高根博士ニ其研究ヲ委嘱シ、大阪側ノ修正意見ヲモ加ヘテ決定シタルモノナリ)

第一項 ハ倉庫カ損害賠償ノ責ヲ負ハサル場合ヲ示シタルモノニシテ舊約條(前掲預證券及質入證券ヲ見ヨ)ニ於テハ「天災事變其他抗拒スヘカラサル云々」トアリシヲ「天災地變」ハ當然「抗拒スヘカラサル災厄」中ニ合マルヘキモノトシテ、之ヲ省キ、尙ホ輕過失ニ基ク損害ノミヲ負擔スル旨ヲ定メタリ。

(「保管上特別ノ注意ヲ要スル貨物ニ付テハ、特ニ其申出ナケレハ、倉庫ハ其特別ノ注意ヲナサ、リシ爲メニ生シタル損害ニ付テハ責任ヲ負ハス」ト云ヘル約條ヲ挿入スヘシトノ説アリシモ、這ノ券面ノ約條ニ挿入スルヲ要セス、營業規則中ニ掲グルヲ以テ是レト爲セリ。

第二項 モ亦免責約條ノ一ナルモ、這ハ火災ニ因ル損害ニシテ、舊約條一ノ二ヲ改メタルモノナリ、即チ火災ニ因リテ受寄物ニ損害ヲ生シタル場合ニハ、第一項ト此項ノ結果、次ノ如クナルヘシ。

(イ) 保險者ニ填補ノ責アルトキ

(ロ) 寄託者ノ希望ニ依リ、火災保險ヲ附セザリシトキ

(ハ) 倉庫會社ニ故意又ハ重大ナル過失ナキトキ

(ニ) 直接間接ヲ問ハス、爆發ニ因ル損害

ハ損害賠償ノ責ヲ負ハサルノ意ニテ、(イ)ノ場合ニ責ヲ負ハサルコト、重過失又ハ惡意アルトキハ責ヲ負フコトハ當然ナルモ、(ハ)ヲ挿入セルハ、大阪側ノ意見ニ依リ、斯クシテ輕過失ニ因ル損害ヲ負擔セサルヲ示スト同時ニ、其損害ニ對シ責ヲ免ル、モノトス」テフ原案カ、違法ノ如ク見ユルヲ防カントスルニ在リ。

第三項 ハ舉證ノ責任ヲ寄託者ニ移シタルモノニシテ、元來倉庫ハ、損害カ自ラ善良ナル管理者ノ注意ヲ怠リタル爲メニアラサルコトヲ證明スヘキモノナレトモ、這ハ特約ヲ以テ、之ヲ寄託者ニ負ハシムルモ妨ケナシト云フニ在リ。

第四項 ハ賠償金額ヲ約束セルモノニテ、損害額ノ算出ハ時價ニ依ルコト、並ニ其限度ヲ明カニシタルモノナリ、即チ民法第四百二十條ニ依リ、賠償金額ヲ豫定セルモノニテ、舊約條ノ二ヲ敷衍シタルモノナリ、

民法第四百二十條 當事者ハ債務ノ不履行ニ代キ、損害賠償ノ額ヲ豫定スルコトヲ得、此場合ニ於テハ裁判所ハ其額ヲ増減スルコトヲ得ス。

第五項(現在ノ第六項) ハ保險契約ニ關スルモノニシテ、通常ノ場合、倉庫ハ保險契約者ト爲リ、寄託者ヲ被保險者トシ、受寄物ニ對シテハ總テ保險ニ附スルヲ原則トシ、若シ之ヲ附スルコトヲ欲セサル者アルトキハ、寄託申込書ニ其旨ヲ附記セシメテ、後日ノ證左トシ、尙ホ保險ニ關スル事項ハ倉庫ト保險者ノ間ノ特約ニ依ルコトヲ規定シ、一方保險會社トノ特約書ニハ、特ニ寄託者ノ委任ニ依ラサル旨ヲ記載スルモ、火災保險ノ金額、會社名等ハ別欄ニアルヲ以テ、是等ハ營業規則ニ掲グルハ足リ、單ニ第五項ノ如ク定ムレハ可ナリト云フニ在リ。

又舊約條四ニハ「受寄物損敗云々」ノコトアルモ、是レ亦營業規則ニ記載セハ足レリト爲セリ、又舊約條三ノ如キモ當然ノコトニシテ、貨物一個ノ保險金額モ明カナルコトナレハ、是亦營業規則ニ記載スヘシトナリ。

第六項(現在ノ第八項) 満期後ノ保管料ハ損害賠償ノ性質ヲ有スルヲ以テ「満期後ハ保管料ノ二倍ニ相當スル損害賠償ヲ請求ス」トスル方適當ナランモ、暫ク在來ノ慣例ニ從フ。

第二章 倉庫ノ業務 倉荷證券

丑第1號

倉荷證券

寄託主 小林行昌殿

一綿糸拾個

約條

- 一、本證券所持人ハ左ノ諸項ヲ約諾セルモノトス
 一、氣候ノ變遷、防疫、鼠害、虫害、貨物ノ性質若クハ
 拒ハズヘカ、荷造、不完全、又ハ直接ト間接トナリ受寄物ハ生
 シタル損害其當會社又ハ其使用人ノ故意又ハ重
 大ナル過失ニ直接原因セサル損害ニ付テハ當會社
 其責ニ任セズ
 二、火災保險者カ損害補ノ責任ヲ有スル損害若クハ
 寄託者ノ申出ニヨリ火災保險ニ付セサル貨物ノ
 火災ニ因ル損害モ亦當會社ニ任セズ
 三、火災保險者カ損害補ノ責任ヲ有スル損害若クハ
 寄託者カ損害補ノ責任ヲ有スル損害若クハ
 損害カ當會社ノ責ニ歸スヘキモノトス
 四、受寄物ノ損害ニ付テハ當會社ノ賠償額ハ損害額
 時ノ時價ヨリ損害額ニ付テハ當會社ノ賠償額ハ損害額
 超過スル時價ヨリ損害額ニ付テハ當會社ノ賠償額ハ損害額
 當會社ハ保管場所所持人ノ承諾ヲ經テ申込價額ニヨリ受寄物ノ積
 換又ハ保管場所所持人ノ變更ヲ爲スコトアルヘシ

場保	期保	入庫日	量		記號
			平均	總量	
東京市日本橋區江戸橋倉庫	昭和四年四月三日	昭和四年一月一日	貳拾五	貳百五	赤飛車20 荷造 蓮包

- 六、受寄物ノ火災保險ニ關スル事項ハ總テ當會社ト保
 險者トノ契約ニ據ルモノトス
 七、當會社ハ證券所持人ニ告知ヲナスシテ火災保險
 者ヲ變更スルコトアルヘシ
 八、保管期間満了ノ際出庫又ハ期間更新ノ手續ヲナサ
 ニヨリ當會社ハ任意受寄物ヲ處分スルコトアルヘ
 シ
 九、證券所持人ハ受寄物ニ對スル保管料、手数料、立替
 金又ハ出入、運搬、検査、見本ノ抽出、荷造ノ修理、
 防疫其他處分及保存ニ關スル費用ヲ負擔スヘシ
 十、當會社ニ於テ通知又ハ他告知ヲナス場合ニハ管轄區
 裁判所ノ登記事項ヲ掲載スル新聞紙中ノ一種又ハ
 數種ヲ以テ之ヲ爲ス
 十一、本約條ニ記載セサル事項ハ總テ當會社倉庫營業
 規則ニ據ル
 十二、前各項ノ約條ハ保管期間満了後ト雖モ其効力ヲ
 有スルモノトス

要摘	火災保險		保管料
	保險者	期間	
	三菱海上火災保險株式會社 明治火災保險株式會社	自入庫日時至出庫日時	壹ヶ月壹個ニ付 〇圓八錢〇厘〇毛 金壹千五百圓也 壹個ニ付壹百五拾圓也

前記ノ貨物券面ノ約條ニ從ヒ正ニ預リ候寄託主又ハ其指圖人
へ本證券引換ニ可相渡候也

東京市京橋區越前堀貳丁目六番地ノ四

三菱倉庫株式會社東京支店

支配人

何 某印

昭和四年一月四日

欄 取									
昭和 月	昭和 月	昭和 月	昭和 月	昭和 月	昭和 月	昭和 月	昭和 月	昭和 月	昭和 月
日年	日年	日年	日年	日年	日年	日年	日年	日年	日年

受		欄 渡 讓				
昭和 月	昭和 月	昭和 月	昭和 月	昭和 月	昭和 月	日 附
貳月拾日年	貳月四日年	日年	日年	日年	日年	日年
五	五					讓渡人氏名印
個	個					讓受人氏名
零	五					會社式 中村商店 印
	個					會社式 中村商店 印
會社式 中村商店 印	會社式 中村商店 印					當會社 認印

第八項(現在ノ第十項) 催告ハ本人ニ對シテ直接ニ爲スル原則トシ、且ツ斯クスル方、便ナレトモ、本人ノ知レサル場合アル

ヘキヲ以テ、豫メ新聞紙ニ廣告シテ之ヲ爲スモノト、特約シ置キタルモノトス。

受取人ノ式 原案ハ選擇持參人式ヲ採用シタルモ、這ハ倉庫證券ノ從來ノ慣例ニ反スル急激ノ變化ニシテ、且ツ寄託者ニ於

テ紛失、盜難等ノ場合ニ危険ナリトシテ、之ヲ從來ノ如キ指圖式ニ改メタリ。

裏面 挿入鏤形ニハ裏面ニ「受取人氏名印」ナル欄アルモ、標準鏤形ハ大阪側ノ修正意見ニ依リ之ヲ省ケリ、其理由ハ、貨物

出庫ノ場合ニ、一々證券所持人ノ記名捺印ヲ求ムル事ハ、倉庫ノ手數少カラス、且若シ倉庫ニ於テ其記名捺印ナキニ保管貨

物ヲ渡シ、又ハ偽造ノ記名捺印ヲ得テ渡スカ如キ事アラハ、損害ヲ蒙ルノ虞アルヲ以テ、之ヲ抹消スルニ如カスト云フニ在

リ。

(注意) 挿入鏤形カ標準鏤形ト異ル所ハ、後者ノ裏面ニハ「受取人氏名印」ノ欄ナキニ、前者ニハ之アルト、後者ニ「出庫欄」又ハ「出庫個數」トアルヲ、前者ニハ「受取欄」又ハ「受取個數」トアルノ點ノミニテ、其他ハ全ク同シ。元來此標準ハ大體ヲ示ス趣旨ニテ、細目ハ各會社ノ營業規則ニ揭ケ、又證券約條ノ如キモ、些細ノ點ハ規定約條ニ反セサル限り、任意之ヲ定ムルモ可ナリト云フニ在リ、四十四年十月一日ヨリ發行スルコト、爲シタルモノナリ。

第五節 禁流通預證券

(一)性質及運用 倉庫會社ヘ貨物ヲ預ケ入レタル場合ニ、預質證券又ハ倉荷證券ノ交付ヲ求メス、單ニ禁流通貨物預證券ヲ受取ルコト少カラスト云ヘリ、此證券ハ果シテ如何ナル目的ト、如何ナル性質トヲ有スルカ。

禁流通貨物預證券ト云フハ、三菱倉庫株式會社及中央倉庫ニシテ、滋澤倉庫ハ別扱貨物預證、商業倉庫ハ禁流通物品預證券、三井銀行箱崎倉庫ハ禁流通預證券、大阪住友倉庫ハ禁流通貨物保管證書ト云フ(卷末ノ見本參照、三菱倉庫ノ分ハ英文ナク、裏面ニ内受取ノ欄ヲ設ケ)

流通ヲ禁セル預證券ハ、單ニ貨物ノ保管ヲ證明セル書類ニ過キス、我商法ノ所謂預證券ニアラサルカユエニ、物權的效力ヲ有スルモノニアラスシテ、預ケ主カ唯倉庫ニ保管ヲ託シアル、證左トシテ受取リ置クニ止マルモノトス、然ルニ我商法ノ規定セル二枚證券制度ニハ、嘗テ述ヘタル如ク、拒絕證書、競賣條件ノ如キ、面倒ナル手續アルヲ以テ、從來三井倉庫ト三井銀行、三菱倉庫ト三菱銀行ノ如キ間ニ於テハ、預質證券ニ對シテ金融ヲ爲スヨリモ、寧ロ此種ノ證券ニ對シテ貸付クルヲ好ムノ風アリ、是レ先ツ特約證ニ依リ貨物ヲ銀行ニ差入レ、更ニ銀行ノ名義ヲ以テ倉庫ヨリ此保管證券ヲ受取リ置クトキハ、銀行ハ極メテ安全、且ツ取立ニ際シ萬一貨物ヲ處分スルカ如キトキハ、拒絕證書トカ競賣トカ云ヘル如キ面倒ナク、便利少カラサレハナリ、加フルニ質入後一部出庫ノ場合ニ於テハ、此保管證券ハ他人ニ讓渡スコト能ハサルモノナルヲ以テ、直ニ銀行ニ相當ノ差金ヲ爲シ、貨物内渡請求書(出庫指圖書)ヲ乞ヒ受ケ、倉庫ニ持參シテ、貨物ヲ受取リ、別ニ問題ヲ生セサルノ利アリ(銀行カ質入證券ヲ質受シ、預證券ヲ借主ニ渡ストキハ、借主ハ預證券ヲ讓渡スト同時ニ、債務者タル資格ヲ讓受人ニ移スコト、爲ルモ、此場合ニハ銀行ト預ケ主即チ借主トノ間ニハ、單ニ物ノ信用ノミナラス、人ノ信用モアル故)然レトモ、保管證券ヲ預ケ主名義ト爲シ、之ヲ擔保ニ取ルモ、此證券ハ物權的效力ナク、單ニ證明ノ具ニ過キササルヲ以テ、銀行ハ之ニテハ不安全ノ場合ナキヲ保セス、又銀行ノ物トシテ銀行名義ノ預證券ト爲スハ、預ケ主ノ不面目、危険少カラサルカユエニ、此便宜手段モ、缺點ナキニアラス、要ハ倉庫證券ノ實質ヲ

改ムルニ在ルヘシ、即チ改正法カ倉荷證券ノ規定ヲ加ヘタル所以ナレトモ、之ニ質入證券ノ規定ヲ準用セサルカユエニ、多少ノ不便アルコト、前節ニ述ヘタルカ如シ。

(二)特別ノ便益 禁流通證券ハ前述ノ如ク、貨物所有者即チ借主ニ對シ對人信用ヲ保持スルコト、貨物ヲ處分シテ貸金ニ充當スル手續ノ簡易ナルコト等ノ便益アル外、質入後一部出庫ノ場合ニ於テモ、亦質入證券ヲ使用シタル場合ニ比シテハ固ヨリ、二證券ヲ其マ、質入シ、或ハ倉荷證券ヲ用ユルニ比シテ、稍利益ナル點アリ、何トナレハ(一)質入證券ヲ使用シタル場合ニハ一部供託ノ手續ニ依ルモ尙ホ預證券ヲ倉庫ニ持參シ、其都度之ニ記入セシムルノ不便アリ又(二)二證券連結ノマ、若クハ倉荷證券ニ讓渡ノ裏書ヲ爲シテ質入シ置クトキハ、前述ノ如ク相當ノ元利金ヲ銀行ニ支拂ヒ、其出庫指圖書(貨物内渡請求書)ヲ求メ、之ニ依リ出庫ヲ求メ得ルコト、禁流通證券ノ場合ノ如クナレトモ、這ハ銀行カ便宜策トシテ取扱フモノニテ、此場合ニ於テモ亦内出ノ數量ヲ證券面ニ記載スヘキ管ナレハ、其不便ハ(一)ノ場合ト異ルコトナシ、然ルニ禁流通證券ハ銀行名義ノ普通ノ保管證ニテ、倉庫ハ其銀行ノ爲メニ代理占有ヲ爲スモノナレハ(寄託者ハ現物ヲ銀行ニ質入シ、銀行ハ倉庫ニ寄託シテ、之ニ其代理占有ヲ爲サシムルモノナリ)銀行發行ノ内渡請求書ノミニ依リテ、貨物ヲ引渡スモ間然スル所ナク、實際ニ於テハ寄託者ハ此請求書ヲ用ヒテ入庫貨物ヲ賣却シ得ルノ便アリ。〔尤モ倉荷證券ヲ質入シ、之カ流通ヲ禁シテ禁流通證券ト爲ストキハ、此目的ヲ達シ得ヘシ、但シ此場合ハ普通ノ物權證券ナルコト言フチ候タス〕

又質入證券ニ質入裏書ヲ爲サシメタル場合ハ固ヨリ、二枚證券若クハ倉荷證券ニ讓渡裏書ヲ爲サ

シメテ受取り置クモ、倉庫ノ帳簿ハ依然寄託者、即チ借主ノ名義ナルヲ以テ、若シ借主カ強制執行ヲ受クル場合アラハ、倉庫ニ依リテハ其差押ヲ拒ムコト能ハスト考フル者之ナキヲ保セサルヘキモ、禁流通證券ノ場合ニハ、銀行名義ノ寄託物ナルヲ以テ、倉庫ハ之ヲ避クルヲ得ヘシ、想フニ米國ナトニテ、禁流通證券及銀行名義ノ倉荷證券ト爲ス方法ヲ勸ムル者アル所以ナルヘシ。

禁流通證券ハ管ニ質入ノ場合ニ便アルノミナラス、其他ノ場合ニ於テモ亦便ナルコトアリ、例ヘハ本店ノ名ニ於テ某商品ヲ寄託シ、漸次市内ノ各所ニ散在スル支店ノ必要ニ應シテ、入用ノ都度出庫指圖書ヲ用ヒ出庫セシムル場合ノ如シ。

禁流通證券ニハ上述ノ如キ種々ノ便益アルヲ以テ、我國ニテハ舊制度以來廣ク之ヲ用ヒ、倉荷證券ノ創定後ト雖モ之ヲ用ユル者少カラス、外國ニテモ、佛蘭西、伊太利ノ如キハ熾シニ此方法及二枚證券連結ノマ、ノ質入法ヲ運用シ、米國ニテモ近年之ヲ歡迎スル傾アルモノ、如シ(禁流通預證券ノ佛語ハ Recépissé non transmissible「禁流通證券」又ハ Recépissé de depot「保管證書」又

英語ハ Non-negotiable receipt「禁流通預證券」ナリ)

千九百三年十二月上旬、米國「ワシントン」ニ於テ開催サレタル、米國倉庫業者協會(The American Warehousemen's Association)ノ例會ニ於テ、會員 Philip Godley 氏カ提出シタル「商業倉庫證券ノ運用及危険」ト題スル論文(始メ銀行員ニ對シ演說セシモノ)中ニハ、禁流通預證券若クハ銀行名義ノ預證券(我邦ノ倉荷證券ニ當ル)ノ便益ヲ説キ、其一ハ銀行名義ナルヲ以テ安全ナルコト、

他ハ一部出庫ノ場合ニ出庫指圖書ノミニテ足ルニ在リト爲セリ。

第六節 倉庫ノ賃貸及出保管

茲ニ倉庫ノ賃貸トハ、所謂貸庫ノ謂ヒニシテ、倉庫業者ハ貨物ノ保管ニ差岡ナキ限り、荷主ノ依頼ニ應ジ、倉庫ノ一部ヲ區劃シ、相當ノ料金ヲ申受ケテ之ヲ使用セシムルコトアリ、此場合ニハ普通一定ノ賃貸期間ヲ定メ、入庫貨物ノ種類ヲ限定シ、規定ノ賃借證書ヲ差出サシメ、其鎖鑰ヲ借主ニ渡シ、借主ハ營業時間内ハ何時ニテモ約束中ノ貨物ヲ出入スルコトヲ得ルモ、漫ニ他人ニ轉貸スルコトヲ得ス、借庫證書ノ一例次ノ如シ。

印紙

借庫證書

一 號第 號室 戶前

此借庫料一ヶ月金

但 入庫ノ約

右ハ貴社營業規則確諾之上前記商品入庫ノ約束ヲ以テ借庫致候ニ付テハ借庫料出金方其他借庫人ノ義務ハ總テ貴社御規則之通履行可致候若シ貴社ニ於テ該借室明渡シ御必要ノ場合ニハ御通知ノ日ヨリ三十日以内ニ必ス明渡シ

可申候依テ借庫證書如件

昭和 年 月 日

株式會社橫濱貿易倉庫
御 中

而シテ倉庫カ保管料ヲ收メテ寄託貨物ヲ保管スルハ、一見借庫料ヲ徴收シテ其倉庫ニ借主ノ貨物ヲ入レシムルト大差ナキカ如クナレトモ、既ニ述ヘタルカ如ク、倉庫カ貨物ノ保管者トシテ、荷主ノ貨物ヲ預リタル場合ニ於テハ、善良ナル注意ヲ以テ保管シ、例外ノ場合ノ外、損害賠償ノ責ニ任セサルヘカラス、又荷主ノ請求アレハ倉庫證券ヲ發行スル等、種々ノ義務ヲ負フモノナルモ、借庫ハ民法ノ所謂賃貸借ニシテ、借主ノ目的ハ單ニ建物ノ使用權ニ在リ、倉庫ハ賃貸者トシテ其使用ニ必要ナル設備ヲ爲シ、使用シ得ルカ如クニシテ、使用セシムレハソレニテ足リ、倉庫證券發行ノ義務ハ勿論貯藏貨物ニ關シテハ、一切責任ヲ負フコトナキモノトス、然ラハ倉庫ハ賃貸倉庫及貯藏貨物ニ就テハ全然無關係ナルヤト云フニ、倉庫ハ其所有ノ倉庫ヲ平穩ニ使用セシムルヲ約シタルマテナルヲ以テ、賃貸シタル倉庫又ハ貯藏貨物ニ異常アルコトヲ發見スルトキハ、之ヲ賃借人ニ通知シ、且ツ賃貸期間内ト雖モ、直ニ其返還ヲ求ムルコトアルヘク、又貯藏貨物ノ損敗又ハ賃借人ノ不注意ニ因リ、倉庫又ハ他ノ貨物ニ損害ヲ及ホシタルトキハ、其賠償ヲ求ムルヲ常

トス。

倉庫ノ責任右ノ如ク輕少ナルヨリ、借庫料ハ固ヨリ、保管料ト同視スヘキニアラス、開港場等ノ倉庫中ニハ往々外國人ニ對シ貸庫ト稱スル名稱ノ下ニ保管ノ責ニモ任シ、貸庫料、保管料ヲ併セ徵收スルモノアリトカ(純粹ノ保管料ヲ倉敷保管料ト稱スルモノアレト是ハ別ナリ)ニテ、是等ハ素ヨリ例外ナレト、普通ハ一箇月坪若干、(註)又ハ大藏若干、中藏若干、小藏若干等ノ如ク、建坪ノ多少ニ依リテ倉庫ノ大小ヲ分チ、月ノ十五日前後ニ依リテ一箇月分ト半箇月分トヲ分ツモアレハ、又倉庫ノ繁閑ト貨物ノ種類、荷主ノ良否等ニ依リテ、其都度適宜ニ割合ヲ定ムルモアリ、要スルニ貸庫ノ如キハ、双方ノ都合上稀ニ之アルモノナルヘケレハ、料金ノ如キモ別ニ重キヲ措カサルナラン。(貸庫ハ營業者間ニ行ハル、コトアルモ、商人ニ貸スコトハ稀ナリト云フ)

(出保管) 商人カ其商品ヲ自己ノ倉庫ニ入庫シタルマ、倉庫證券ノ發行ヲ求ムルコトヲ得ハ、倉庫モ亦商人モ、共ニ便益ヲ享クルナルヘシ、我邦ニテ出保管ト稱スルハ、即チ此目的ヲ達センカ爲メ、倉庫會社カ商人ノ私有倉庫ニ藏置セル貨物ヲ、其マ、倉庫ノ保管ニ移ス目的ヲ以テ、其建物ヲ商人ヨリ借り受ケテ之ニ保管スト云ヘル形式ヲ採リ、其商品ノ倉庫證券ヲ發行スル場合ノ手段ニ外ナラス、畢竟商品ヲ擔保ニ供スル一策トシテ、證券ノ發行ヲ求ムルモノニテ、米國ノ代理人保管ノ如キモ亦、此一種ニ屬スルモノトス、唯我邦ノ出保管ニハ、商人ヲ倉庫ノ代理人トシテ保管セシムルカ如キコト之ナキ差アルノミ、(種類 Custodian warehouse 參照)

今此方法ノ利害ヲ考フルニ、其利益ハ(我邦ニテハ銀行ノ信用簿キ製造會社ナトカ、倉庫社員ノ出張ヲ求メテ、出保管ト爲シ、其證券ニ依リテ數年金融ヲ仰キタルコトアリト云フ)

- 一、商人ハ、其商品ヲ倉庫ニ運ヒ、入庫スルノ手数ヲ要セス、唯倉庫ノ事務員ヲシテ検査、秤量セシムルニ止ルコト。
- 二、商人ハ其倉庫ヲ使用セシムルヲ以テ保管料モ安ク、出入庫賃等ヲ省キ得ルコト。
- 三、倉庫モ亦手数少クシテ保管料ヲ得ルノ利益アルコト。
- 四、入庫貨物充滿シ寄託ノ申込ヲ拒ムカ如キ場合モアランカ、他人ノ倉庫ヲ賃借シテ、積込ムノ必要アルニ、斯ル場合ニ、此方法ニ依ルトキハ、双方ニ便ナルコト。
- 五、商人自身ノ所有貨物ナレハ、利害ノ感深ク、其保護上ノ注意厚ク、倉庫カ保管スト云フハ單ニ表面上ニ止ルコト。

然レトモ此方法ニハ種々ノ弊害アリ、例ヘハ

- 一、私人ノ倉庫ハ往々ニシテ不完全ナルモノ之アリ、之ニ藏置セル貨物ニ對シ、保管及ヒ證券發行ノ責任ヲ有スル倉庫ニハ不安心ノ感アルコト。
- 二、倉庫ノ鍵ハ普通、倉庫ニ引渡シ置クヲ以テ、見本ノ摘出、保存ノ爲メノ手入等ノ場合ニハ、一々倉庫員ノ立會ヲ求ムルノ不便アルコト。
- 三、萬一寄託主ニシテ不誠實ノ者ナランニハ、合鍵ナトニテ、貨物ヲ出庫スルノ危險アリ、隨テ證券ノ信用ヲ害スルコト。

四、商人及其倉庫ノ確實ナル者ノミニ許シ、其他ヲ謝絶スルコトハ安全ノ策ナレトモ、情誼上
 斯クスルコト能ハサル場合アルコト。
 五、倉庫證券ハ倉庫會社ヲ信用シテ始メテ流通スヘキモノナルニ、私有倉庫ノ保管貨物ニ對ス
 ル證券ハ概ネ信用薄ク、延テ其會社ノ證券全體ノ信用ヲ害スルノ虞アルコト。
 六、保管料少ク出入庫賃等ヲ收メ得サルノ不利アルコト。
 等ニテ、現今倉庫ニ依リテハ之ヲ歡迎セスト聞ク、其重ナル理由ハ顧フニ六、五、四ニ在ルヘシ
 ト信ス、何トナレハ信用アル商人ノ堅牢ナル倉庫カ倉庫會社ノ附近ニ在リテ、此者ヨリノ依頼ナ
 レハ、一乃至三ノ短所ハ之ヲ補フニ難シトセサレハナリ。

第七節 火災保險

(一)緒言 倉庫ノ寄託貨物カ、火災ニ因リテ燒失シタルトキハ、其損害ハ何人ニ歸スヘキヤト云
 フニ、倉庫ノ過失ニ出テタルトキハ倉庫之ヲ賠償セサル可カラサルモノナルモ、寄託主ノ特別ナ
 ル委任ヲ待タス、規則トシテ火災保險ヲ附スルノ習慣アル倉庫ニ於テハ、火災保險ヲ附セザルト
 キハ、假令倉庫ノ輕過失ニ出テタル場合ト雖モ、損害賠償ノ責ニ任セスト爲ス者アリ、又過失ニ
 因ラサル場合ハ當然荷主ノ負擔ニ歸スヘキモノニシテ、火災保險ヲ附セザル貨物ハ、當ニ寄託者
 又ハ證券所持人ニ不安ノ念ヲ抱カシムルノミナラス、之ヲ擔保トシテ手形ノ割引ヲ依頼スル場合

ニ於テモ銀行ハ之ヲ引受ケサルヘク、若シ引受クルモ割引料高カラサルヲ得ス、サリトテ各寄託
 者カ一々保險ニ附スルトキハ手數モ多ク、料金モ割高ナルノ不利アルヲ以テ、大抵ノ倉庫業者ハ
 荷主ノ爲メ特約保險會社或ハ特約以外ノ會社ト契約ヲ結ヒ、低廉ナル保險料ヲ以テ保管貨物ノ火
 災保險ヲ取扱フヲ常トス、(註)尤モ荷主カ特ニ不必要ナリトシテ其旨ヲ明ニシタル場合、若クハ
 他ノ倉庫ノ保管セル物品ヲ再保管スル場合、及ヒ不燃質物ノ如キハ例外ニテ、又火災保險ニ附シ
 タル貨物ノ一部ヲ引渡シタルトキハ、保險金額モ其割合ニ應ジテ減少スルモノト定ム、而シテ保
 險ニ關スル事項ハ、凡テ倉庫會社トノ特約(又ハ火災保險約款)ニ一任シ、荷主ハ其契約事項ヲ
 知ラサルノ習ヒナレトモ、倉庫ハ荷主即チ被保險者ノ爲メニ保險ヲ附シ、自ラ保險契約者ト爲リ
 テ、保險料支拂ノ責ニ任スルモノニシテ、保險會社トノ特約證ニハ、荷主ノ委任ニ依ラサル旨ヲ
 記載シ置クヲ以テ、荷主ハ商法第四百二條ノ規定ニ依リ、當然保險金受取人ト爲レトモ、倉庫ノ
 規則ニテハ、必ラス倉庫ノ手ヲ經テ之ヲ受取ルヘキモノト爲セリ、又保險金額ハ申込ノ額ニ依ル
 モ、之ナキカ又ハ不當ナルトキハ、會社ノ認定ニ依ルモノト定ム、寄託者又ハ證券所持人カ、保
 險契約ノ效力ニ關シ、影響ヲ及ホスヘキ事項ヲ告ケサルトキハ、之カ爲メ生シタル損害ハ、會社
 其責ニ任セサルモノトス、會社ハ寄託者又ハ證券所持人ニ告ケスシテ保險會社ヲ變更スルコトヲ
 得ト定ム。
 〔再保管ハ實際上貨物ヲ引取ルニアラス、信用少キ倉庫
 カ保管セル貨物ノ證券名義ヲ改ムルモノナリト云フ〕
 因ニ云フ、保險ノ期間ハ普通入庫ヨリ出庫マテニテ、保險金額ハ時價又ハ其八九掛、若クハ荷主ノ申込値段ニ依ル、而シテ

時價ニハ引取値段トテ商館ノ賣値段、即チ問屋カ商館ヨリ買入ル、値段(輸入品)ト、問屋値段トテ問屋ノ賣値段及ヒ小賣値段等アルモ、普通ハ問屋値段ニ依ルカ如シ。

[註] 塊地利ニテハ、法律ヲ以テ倉庫カ受寄貨物ニ火災保險ヲ附スヘキコトヲ強制シ、又佛國ハ我邦ノ如ク會社ノ規則ニテ大抵保險ニ附スルコト、定ム。

[註] 倉荷證券ノ約條ニ於テ、輕過失ニ因ル損害ハ負擔セスト爲ス者多シ。

(二)我邦ノ火災保險契約 ニ關スル要旨ヲ述フヘシ。

我邦ノ火災保險會社ハ各種ノ保險料率ヲ協定セルカ、倉庫ニ關スル料率ハ次ノ四種ニ大別スルコトヲ得ヘシ。

(1)私有倉庫 ノ保險ハ建物及收容貨物トモニ一般料率ニ從フ(拙著高等商業數學上卷、保險ノ部參照)

(2)一般工場ノ倉庫 工場構内ニ在リ、單ニ貯藏ノ目的ニ使用セラル、倉庫及「タンク」ハ特定ノ料率ニ依ル、保税倉庫トシテ使用セラル、モ、又ハ倉庫營業者ニ依リテ占有セラル、モ、總テ此料率ニ從フモノトス。

料率 動力室ヨリ四十尺以外ニ在ルトキハ、保險金百圓ニ付(一ヶ年)

工場内倉庫火災保險料表

貨物	建物		
	第一級	第二級	第三級
普通品	〇.一〇	〇.三五	〇.四五
A 危險品	〇.三五	〇.五五	〇.六五
B 危險品	〇.五〇	〇.七五	一.〇〇
特別危險品	一.〇〇	一.五〇	二.〇〇

(四十尺以内及十五尺以内ハ別ニ之ヲ定ム、危險品ノ種類ハ後ニ示スヘシ)

(3)紡織工場ノ倉庫 大體(2)ニ準スルモ幾分安シ。

(4)營業倉庫 ノ保險料ハ一般商業倉庫ト農業倉庫トヲ區別セス(燻蒸ノ場合ヲ除ク)、大體左記ノ如ク定マレリ、此料率ハ建物及ヒ收容動産ニ對シテ適用セラレ、荷扱上屋及税關構内モ亦同率ヲ用フルモノトス。〔事務室、住宅等ハ〕〔普通ノ料率ニ依ル〕

(A)契約ノ種類 倉庫貨物ノ火災保險契約ニハ(一)單一保險契約ト稱シ、各倉庫ニ對シソレソレ保險金額ヲ特定シ、例ヘハ甲倉庫ニ二萬圓、乙倉庫ニ三萬圓ト云ヘルカ如ク定ムル場合ト(二)包括保險契約トテ、各棟共通ニ金額ヲ定メ、例ヘハ甲、乙ヲ包括シテ五萬圓ト定ムル場合トノ二種アリ、(一)ハ責任額ヲ知ル上ニ於テ便ナルヲ以テ、(二)ニ比シ一割低シト云フ。

(保險會社ニ於テハ、總テ協定料率書ニ據ルヘキ二個以上ノ物件ニ對シ、共通ノ一金額ヲ定ムル契約ヲ包括契約ト稱シ、包

括物件中最高ノ料率ヲ適用ス、(二個以上ノ構内ニ在ルモノヲ包含スルヲ許サス)工場ノ倉庫ニ於テハ斯ル場合、即チ二個以上ノ倉庫ノ收容動産ニ對シ、金額ヲ區別セテ、共通ノ金額ヲ以テ契約スルトキハ、是等倉庫料率ノ中最高ノモノニ、更ニ一割ノ割増ヲ附加シタル料率ヲ、其全部ニ對シテ適用スル定メナリ)

(B)貨物ノ種類 火災保險會社ニ於テハ、倉庫ノ收容品ニ限ラス、總テノ貨物ヲ大別シテ(甲)普通品及ヒ(乙)危険品ニ大別シ、危険品ヲ更ニ分テ(A)級(B)級及ヒ特別危険品ノ三種ニ分ツ、(A) (B)ハ倉庫ノ危険品ト同様ニシテ、倉庫會社ハ保險會社ノ分類ヲ採用シタルモノ、如シ(保管料ノ部參照)而シテ特別危険品ハ次ノ如キ種類ニシテ、倉庫ハ普通此種ノ貨物ヲ引受ケサルヲ以テ保管料表ニモ之ヲ掲ケサルナリ。

特別危険品 ハ例ヘハ「アセチレン」(炭酸「カルシニウム」)、二硫化炭素「セルロイド」及「ザイロナイト」、鹽酸加里「エーテル」、煙火、火藥、雷管其他各種爆發物「マツチ」(フリキ板張函入ニアラサルモノ)、油類(但華氏百五十度以下ニ於テ燃焼性瓦斯ヲ發散スルモノ)、酒精類、黃磷ノ類ナリ。

同一倉庫内(營業倉庫ニ限ラス)ニ於テ危険品及普通品カ混藏セラル、場合ニハ、貯藏セラル、各種危険品ノ料率中最高ノ料率ヲ、其建物及在中スル混藏貨物全部ニ對シ徵スルモノトス、而シテ保險會社ハ倉庫及收容品ノ「特定條項」トシテ(イ)危険品ヲ貯藏セサル場合、(ロ)危険品Aノミヲ庫入スルコトヲ得ル場合、(ハ)危険品A及Bヲ庫入スルコトヲ認メタル場合(ニ)危険品總テヲ庫入スルコトヲ認メタル場合(此場合ニ於テモ特別危険品ハ専用ノ建物ニ藏置キシ、且ツ一般倉庫ヨリ三十間以上ヲ隔テシム)ヲ分チテ、各料率ヲ適用ス。

(C)建物ノ等級 保險會社ハ一般建物ヲ四級ニ分チ居レト、營業倉庫ノ建物ハ次ノ五級ニ區別セリ、但シ大體特種級ヲ除ク外ハ、一般ノ分類ニ準スルカ如シ、而シテ建物ヲ五種ニ分ツトキハ、其收容貨物ノ料率モ亦自カラ五種ニ區別セラル、コト、爲ルナリ。

- (一)特種級 トハ耐火の建物の中理想的ノ建築ニシテ、窓及出入口ニハ總防火戸及防火扉ヲ備フルコトヲ要ス、例ヘハ(一)煉瓦造ハ壁ノ厚十三吋以上ナルコトヲ要シ、(二)鐵筋「コンクリート」造ナレハ、外壁ハ六吋厚以上、界壁ハ八吋厚以上、屋根ハ三吋厚以上ニテ、材料タル鐵筋、砂利「セメント」等ニ就テモ詳細ノ定メアリ、(三)土藏造ハ壁及屋根ノ骨組ニ木又ハ竹ノ木摺ヲ打チ、之ニ四吋乃至十吋厚上壁土ヲ塗込ミタルモノヲ云フ、(四)其他石造(八吋以上)、張付煉瓦造等種々ノ規定アリ。
 - (二)第一級 煉瓦造(壁厚十三吋以上)、鐵筋「コンクリート」造、土藏又ハ石造ニシテ、屋根モ亦防火性トシ、防火戸及防火扉ヲ備ヘタルモノ。
 - (三)第二級 第一級ノ建物ニシテ防火戸及扉ヲ備ヘサルモノ、又ハ煉瓦造、石造、鐵筋「コンクリート」造、土藏造ニシテ必スシモ、是等ノ定義ニ適合セサルモノ、木骨煉瓦張又ハ石張ノ建物等ヲ含ム。
 - (四)第三級 木骨堅瓦セメント塗、堅瓦漆喰塗、亞鉛引鐵板張又ハ其他ノ不燃燒質物ヲ以テ周壁ト爲シタル建物及鐵筋「コンクリート」造ノ建物ヲ云フ。
- 第四級 前記各級以外ノ構造ニシテ、屋根ハ第一級ノ如ク耐火的ノモノヲ云フ。

(D)料率 倉庫貨物ノ火災保險料モ亦(一)建物ノ構造、(二)貨物ノ種類、(三)地域ニ依リテ異リ、今第一區内(東京府、埼玉縣等)ノ料率ヲ示セハ次ノ如シ。〔之ヨリ一割引トシ「ガソリン、ボン」〕〔ア〕アレハ、更ニ一割ヲ引クト云フ〕

營業倉庫火災保險料表 (乙號、即チ燒失區域ノ分)

貨物	建物				
	特種級	第一級	第二級	第三級	第四級
普通品	〇・一八	〇・二五	〇・三八	〇・六五	〇・九五
危険品	A級	〇・四〇	〇・五五	〇・九五	一・二〇
	B級	〇・六〇	〇・八〇	一・二〇	一・四〇
特別危険品	一・二〇	一・四〇	一・八〇	三・〇〇	三・五〇

一般ノ料率ハ同一区域内ニ在リテモ、土地ノ等級ニ依リテ料率ヲ異ニスルヲ以テ、直ニ前記ノ料率ニ比較シ難キモ、平均シテ普通ノ料率ヨリ低廉ナルカ如シ。
右ノ外野積貨物、金物及石炭ニ關シテハ特定ノ料率アリ、又上屋、加熱乾燥等ニ對シテハ、一定ノ割増金ヲ加フルモノトス。

〔註〕 素履内及野積貨物 ハ構造ノ如何ニ拘ラス、第四級ノ料率ヲ適用ス。
塊狀ノ金物及鉄鐵 ハ庫入ト否トナ間ハ第一級ノ料率ヲ適用ス。
此他箱入ニアラサル金物類、及ヒ石炭(野積、上家内又ハ倉庫内)ニモ特定ノ料率アリ。
割増料率 (一)荷扱上屋及税關構内ニ在ル建物……建物ノ種類ニ依リ百圓ニ付十錢又ハ二十五錢ヲ加フ。
(二)加熱乾燥ノ割増金モ亦建物ノ種類ト乾燥方法トニ依リテ異レリ。
(第一、第二級) (第三、第四級)
蒸汽乾燥ノ場合……〇・二五
其他ノ場合……〇・五〇

(三) 燻蒸 ノ場合ナ二種ニ分ツ、即チ(甲)二硫化炭素、青酸瓦斯、硫化水素ニ依ル燻蒸ヨリ生スル損害ハ一切填補ノ責ニ任セス(乙)一酸化水素ノ燻蒸ヲ行ハントスルトキハ、豫メ保險協會ノ承認ヲ受ケ、燃料ハ「コークス」又ハ木炭ヲ用ヒ送入量ハ發生瓦斯ノ八分以下、水素ノ量ハ三分以下ニシテ、二人ノ分析者ヲシテ三十分毎ニ各自瓦斯ノ分析ヲ行ハシメ之ヲ記録セシメサルヘカラス、此場合ノ割増金ハ百圓ニ付一日一錢ナリトス。但シ、亞硫酸瓦斯ノ燻蒸ハ一定ノ割増金(一、二級ハ五十錢、三、四級ハ一圓)ヲ收メ、日割計算ヲ以テ之ヲ許ス(但シ一ヶ月分チ最少限度トス)

(四) 屋根 合成物質ハ百圓ニ付五錢、可燃質ハ五十錢ヲ加フ。
(五) 地震 神戸、横濱ノ如キ土地ノ内外協定率ニハ、百圓ニ付二圓ノ割増金ニテ、地震ニ因ル損害ヲ填補スト定ム。

(E) 短期契約 十二箇月未滿ヲ期間トスル保險契約ハ、總テ高率ノ短期料率ヲ適用スル(倉庫ニテモ)定メナルモ、營業倉庫ニ對シテハ、一箇月マテ毎ニ年率ノ十二分ノ一ノ割合ニテ契約ス、但シ一箇月未滿ノ場合(例ヘハ二十日間)ニハ短期料率ヲ適用シ、中途解約ノ場合ニ於テモ一箇月未滿ノ端數ニ對シテハ割戻ヲ行ハサルモノトス、從來百圓ニ付一日何程ト定ムル日歩保險ナルモノ行ハレタレトモ、大正六年九月以來之ヲ用ヒスト云フ。

(米穀、肥料ノ如キ普通品チ一級ノ建物ニ藏置シ、一割引トスルトキハ、一箇年百圓ニ付二十二錢五厘ニシテ、一箇月一錢九厘ト爲ル、米一俵チ十五圓トスレハ、其保險料ハ一箇月二厘八毛五絲ト爲ルヲケナリ。)

(三) 米國ノ倉庫保險 モ亦同國ニ於ケル一般火災保險ノ一種ナルコト、我邦ニ異ラサレトモ、亦趣ヲ異ニスル點少カラス、次ニ其要點ヲ述フヘシ。

(1) 損害ノ種類 倉庫ノ保險ハ火災保險ヲ主トスルモ、其他ノ損害ヲモ填補スルコトアリ、例ヘハ南「カロライナ」及「カリフォルニア」州ノ如キ地震ノ虞アル地方ニテハ、其損害ヲ負擔シ、多クノ

地方ニ於テ、風害 (Tornado) ヲ填補シ、「ミスシッビー」ノ下流地方ニテハ洪水ノ損害ヲ負擔ス、而シテ穀物倉庫ニテハ爆發ニ對シテモ保險スト云フ、而シテ倉庫業ニ特別ナル保險ハ、倉庫業ノ過失ニ因ル損害ヲ支拂フモノ (Warehouseman's Error and Omission Insurance) ニシテ、即チ倉庫證券上ニ記載セル商品名稱ノ誤記、荷主ノ出庫指圖書ニ對シテ引渡シタル場合ノ錯誤、證券ノ重要約款ニ從フ監督上ノ責任ニ對スルモノナトニシテ、是等ノ保險料ハ倉庫建物ノ基礎料率ニ對シ百弗ニ付二十五仙ヲ加フルモノトス。

倉庫會社ハ、保管料其他ノ費用並ニ立替金ニ對シ、受寄物ニ關シ留置權ヲ有スルモ、火災ニ因リ之ヲ失フ場合アリ、即チ一種ノ被保險利益ナルヲ以テ、是等ノ未收費用及立替金ニ對シテ、保險ヲ附スコトアリ (Warehouseman's Accrued Charges' Insurance) 割増料率ハ百弗ニ付二十五仙乃至四十仙ニシテ、紐育ニテハ三十五仙増ナリト云フ。

(2) 特種ノ作業 揚穀倉庫、棉花壓搾所、煙草仕譯所ノ如キ特種ノ作業ヲ行フ倉庫ニ於テハ、保管場所ト其他トヲ嚴格ニ區別シ、一定ノ距離ヲ設ケシムルコト我邦ノ如シ、而シテ商品倉庫ニ於テハ、倉庫内ニ於ケル作業ヲ嚴重ニ制限シ、通則トシテハ貨物ノ保存ニ必要ナル作業ノ外之ヲ許サス、加工、改装ノ如キモ斯ル目的ノ外認メサルモノトス、特別ノ必要アリテ制限外ノ作業ヲ行ハントスルトキハ、一々保險會社ノ認可ヲ受クヘキ定メナリ、而シテ保險會社ハ倉庫ノ構造、貨物ノ手入ノ外、管理上ノ注意如何ヲ重要視シ、之ニ依リテ料率ヲ異ニシ、或ハ契約ヲ取消スコトアリ

例ヘハ喫煙禁止 (No Smoking) ノ札ヲ掲ケテ、之ヲ勵行セシメ、嘗テ「ファイラデルフィア」ノ大倉庫會社ニ於テ、之ヲ守ラサル爲メ契約ヲ解除セラレ、又某羊毛倉庫ニ於テハ、幾多ノ參觀人ヲ案内スルトキ、社員モ參觀人モ共ニ入庫ノ際「シガー」ノ火ヲ消サ、リシニ、偶保險會社ノ検査員ニ發見セラレ、検査員ハ一言ノ尋問モセス、直ニ本社ヘ電話ヲ掛ケテ、契約ヲ無効トシ、之カ爲メ四日間無契約状態ニアリシト云フ。

(3) 保險契約 米國ニ於テハ穀物棉花ノ如キ重要農産物ニ關シテハ、州ニ依リ倉庫ニ命シ強制的ニ保險ヲ附セシムルモノ少カラサレトモ、一般商品ノ如キハ任意ニシテ、唯習慣上一般ニ之ヲ付スルカ如シ、而シテ保險契約ヲ取結フニ當リテモ、次ノ二種アリ。

(甲) 寄託者カ任意ニ附スル場合 此場合ニモ一々保險證券ヲ受取ル場合ト、單ニ包括的ノ證明書ヲ受取リ、一部販賣又ハ質入ノ場合ニハ、其部分ノ保險會社ノ證明書ヲ受ケ、之ヲ送狀又ハ約手ニ添附スル場合トノ別アリ、後者ハ畢竟一種ノ便法ナレトモ、此外寄託者カ其貨物ヲ販賣スル場合ニ、買主ニ對シ、自己ノ保險證券ヲ示シ、自ラ證明書ヲ作りテ交付シ、買主ハ其後保險會社ノ承認ヲ經ルコトアリ、穀物集散地ニ於テモ漸次行ハレツ、アリト云フ。

(乙) 倉庫業者カ包括契約ヲ爲ス場合 一般商品倉庫ハ或建物ノ入庫貨物全部ニ對シ包括保險ヲ約シ (米國ニテハ一棟以上ヲ許サス、即チ我邦ノ單一保險ニ當ル) 之ニ對シテ包括保險證券 (Blanket Policy) ヲ受取リ、毎日ノ終リニ在庫高ヲ保險會社ニ通知シ、其申込金額ヲ以テ保險金額ト

爲ス場合アリ、倉庫ノ任意ニ保險金額カ變更セラル、爲メカ、之ヲ呼ンテ自動保險 (Automatic Insurance) ト稱ス、紐育ニテモ二、三之ヲ行フモノアリ、南北「カロライナ」州ノ州立棉花倉庫制度モ亦此方法ニ依リ、毎週州内ノ倉庫ヲシテ州立倉庫監督局ニ在庫高ヲ報告セシメ、局ヨリ保險會社ニ通知スル組織ナルカ、此方法ハ一般ニ行ハル、モノニハアラサルカ如シ。

(4) 危險品ノ保管 危險品ヲ大別シテ植物纖維ト其他ノ危險品、即チ有毒又ハ嫌惡スヘキ藥劑若クハ化學品、爆發物等ノ二種ト爲スコトヲ得、是等ノ貨物ハ特別ノ倉庫ニ保管スヘキモノニテ、商品倉庫ニ於テ是等ノ危險品ヲ保管スルトキハ、我邦ニ於ルカ如ク、一般的ニ保險料ヲ高ムルコト、爲ルヲ以テ、各特別ノ構造ト設備トヲ有スル倉庫ニ保管シ、一般商品倉庫ノ保險料ヲ減少セシムルト共ニ、危險品ノ保險料モ亦低減セシムヘシ、危險品ニ保險ヲ附スルトキハ、保險會社ハ特別ノ構造ト嚴重ナル取扱法ヲ要求シ、之ヲ守ラシムルヲ以テ、保險料モ普通ノ倉庫ニ藏置スル場合ニ比シ低廉ナラシムルヲ得ヘシ。

危險品ノ倉庫ニハ纖維倉庫 (Fibre warehouse) ト危險品倉庫 (例ハ、Chemical warehouse ノ如シ) トノ別アリ、無纖維倉庫 (Non-fibre warehouse) ハ可燃性ノ植物纖維 (棉花、麻類、枯草、藁ノ類) ヲ藏置キセサルモノニシテ、保險料ハ纖維倉庫ニ比シテ低廉ナレトモ、尙ホ藥品等ヲ收ムルトキハ、左程低廉ナラサルヲ以テ、米國東部地方ニ於テハ特約ニ依リ、危險ナル植物纖維及ヒ藥品、化學品爆發品等約八十種ヲ除外シ、其他ノ貨物ノミヲ保管スル旨ヲ定メタルモノアリ、即

チ特約倉庫 (Stipulated Warehouse) ナルモノニシテ、普通ノ無纖維倉庫 (Non-Stipulated Non-Fibre W.) ニ比シ、一層低廉ナリ、紐育市ニ於テハ、特約無纖維倉庫ノ保險料ハ特約セサルモノニ比シ基礎料率ノ千分ノ二 (百弗ニ付二十仙) 安ク、桑港ニ於テハ三十仙安シト云フ、而シテ此種ノ特約ヲA特約ト稱シ、若シ倉庫カ除外品ヲ庫入シタルトキハ、直ニ特約率ハ消滅シ、建物モ收容貨物モ共ニ纖維倉庫ノ料率ヲ徵收セラル、定メナリ、化學品倉庫モ亦建築ヲ適當 (保險會社ノ所定) ニ爲シ、管理ト取扱法ニ注意スル旨ヲ約ス (之ヲB特約ト稱ス) ルトキハ、其料率ハ却テ特約ナキ普通ノ倉庫ノ料率ヨリ低廉ニシテ、A特約ト無特約トノ中間ニ在リト云フ。

西部地方、就中太平洋岸ニ於テハ、倉庫カ有害品拒絶契約書ヲ差出シ (東部地方ノA及Bヲ合併セルカ如キモノ) 所謂制限倉庫 (Restricted W.) ト爲ルトキハ、無制限ノ倉庫 (Un-Restricted) ニ比シ、約三分ノ一安シト云フ。

(5) 保險料 倉庫ノ建物ニ對スル料率ハ即チ收容貨物ノ料率ノ基礎料率 (Base-rate) ト爲ルモノニシテ、之ニ對シ各商品ノ性質ニ依リテ異ル割増料金 (Susceptibility charges) ヲ附加スルモノトス、此割増料金ハ保險會社ノ検査及料率局 (全國ニ亘リテ調査ス) ノ定ムル所ニシテ、各地方ニ對シ行フヘキ料率表ヲ公ニスルモノトス、此表ハA、B、C順ニ、千四百内外ノ商品名ト料率ヲ精密ニ列記シタルモノニテ、一例トシテ大紐育ノ倉庫ニ用ヒラル割合ヲ見ルニ、(一九二四年) 商品ニ依リ最低三仙 (百弗ニ付一箇年) ヨリ五仙、七仙、十仙ト遞増シ、三十五仙ヨリ最高一弗ニ至ルモ

ノトス。

〔註〕割増料率 三仙(鉛、鐵床)、五仙(鐵ノ鑄物、鐵釘、鐵道大釘)、七仙(條又ハ棒鐵、羊毛等)、十仙(玻璃鐵器)、三十六仙(造花、菓子、日本及支那産品、卷煙草)、四十仙(廣告用品、種子)、四十七仙(新規ノ家具)、五十仙(兩入瓦斯マントル)、六十仙(藥劑、化學品、其他ノ酸類、爆發品、毒品、レコード)、八十仙(切手、繪圖書)、九十六仙(フィルム)、一弗(紙、換入ノ版畫、劇場ノ背景及劇場用具等ノ外、單ニ「商品」トノミ記シタルモノ、所有者カ其性質ヲ知ラサルモノ、若クハ明記スルコトヲ好マサルモノニ適用セラル)

第八節 代金ノ取立

倉庫營業ノ本色ハ貨物ノ保管取扱ニ在リテ、金錢ノ受託取立ノ如キハ、固ヨリ好シテ爲ストコロニアラスト雖モ、前述ノ如ク法律ノ規定ニ依リ、是非トモ供託セラルヘキモノハ勿論、法律ノ規定ハ之ナキモ、寄託主ノ便宜ヲ圖ル上ヨリ寄託物賣却代金ノ取立ヲ取扱フヲ常トス、即チ寄託主カ其寄託貨物ヲ賣却シタル場合ニ、其都度買受主ト共ニ倉庫ニ出張シ、現物引渡ニ立會ヒ、代金ノ受渡ヲ了スルカ如キハ、不便少カラサルヲ以テ、其取立ヲ倉庫ニ依頼シ、倉庫ハ寄託主ノ依頼狀ニ依リテ、代金引換ニ貨物ヲ引渡シ、代金ニハ相當ノ利子ヲ附シテ、若シ禁流通證券ナルトキハ、此證券ト引換ヘニ荷主ニ返却スルモノトス、此場合ニ手数料トシテ、百圓ニ付キ五錢前後ノ報酬ヲ申受クル向モアレハ、又顧客ニ對スル好意トシテ全ク無手数料ニテ取扱フモアリ、前節「米穀出庫指圖書」ニ依リテ、現物ト引換ニ代金ヲ受取ルカ如キ、又次節甲地ヨリ乙地ニ輸送スル受

託貨物ノ代金取立ヲ依頼スルカ如キ、皆此適例ナリ。

第九節 貨物ノ轉送

倉庫ハ又寄託者ノ便宜ヲ圖リテ、保管貨物ノ轉送ヲ取扱フコトアリ、例ヘハ東京ノ倉庫ニ預ケ入レタル貨物ヲ、大阪ノ商人ニ賣渡スカ、又ハ自ラ大阪ニテ受取ラントスルトキハ、其證券ニ大阪渡シノ裏書ヲ乞ヒ受ケ、賣渡ノ場合ニハ更ニ讓渡ノ裏書ヲ爲シ、貨物大阪着ノ上、之ヲ大阪ノ倉庫ニ呈示シテ貨物ノ引渡ヲ求ムルカ如シ、是レ頗ル便利ノ方法ニシテ盛ンニ行ハルルニ至ラハ、貨物ノ轉賣ハ益盛ンニ、證券ノ利用愈巧妙ナルニ至ルヘシト雖モ、此方法ハ兩地ノ倉庫カ同一營業者ニ屬スルカ、若クハ豫メ轉送取扱ノ旨ヲ契約セルモノナルカ、兎ニ角相互連絡アル場合ニアラサレハ實行シ難キモノナルニ、我邦ニ於テハ商品ノ轉賣未タ倉庫ニ保管セル貨物ヲ、其儘甲地ヨリ乙地ニ移スカ如ク、進歩スルニ至ラサルヲ以テ、他ノ倉庫ト連絡ヲ有スルモノ、如キハ比較的少ク、唯同一ノ倉庫カ甲地ニ本店ヲ置キ、乙地ニ支店又ハ出張所ヲ設クルカ如キ場合ニ、稀ニ轉地ノ取扱ヲ爲スノミニテ、要スルニ此種ノ業務ハ未タ幼稚ナルカ如シ。

倉庫ニヨリテハ、貨物ノ轉送ト共ニ代金ノ取立ヲモ行フモノアリ、例ヘハ東京ノ甲商人、大阪ノ乙商人へ入庫貨物ヲ賣渡シ、其運送方及ヒ代金ノ取立ヲ依頼セントセハ、倉庫證券ニ讓渡ノ裏書ヲ爲スト同時ニ、代金引換ヘニ貨物ヲ引渡サレ度キ旨ヲ明カニシタル後、倉庫ニ呈示シテ前ノ如

ク大阪渡シノ裏書ヲ爲サシメ、之ヲ大阪ノ買受主ヘ送附シ、貨物到着セハ大阪ノ商人ハ之ニ證券記載ノ金額ヲ添へ、其地ノ倉庫ニ提出シテ貨物ヲ受取ルハ、普通ノ轉送ト異ナルコトナシ、而シテ寄託主カ既ニ質入證券ヲ以テ、銀行等ヨリ金員ヲ借入レタル後、貨物ノ轉送ヲ依頼セントスルトキハ、必ス質權者タル其銀行ノ承諾ヲ求メ置クヘキモノトス。

轉地スヘキ貨物カ甲倉庫ヲ出テ、乙倉庫ヘ移ル間、換言スレハ貨物輸送ノ責任ハ、何レノ倉庫カ負擔スヘキヤト云フニ、普通荷主ヨリ轉送ヲ依頼セラレタル仕向倉庫ノ負擔スル所ナレハ、仕向倉庫カ運送取扱人、運送人(通運會社、郵船會社ノ如キ)ノ撰擇及ヒ運送ニ關スル注意ヲ怠ラザリシコトヲ證明スルトキハ、貨物ノ喪失、毀損又ハ延着ニ付キ責任ヲ負フコトナシ、而シテ火災保險ハ貨物ヲ運送人ニ引渡シタル時ニ解除セラレ、運送保險之ニ代ルノ定メニシテ、其保險金額ハ別ニ約束ヲ以テ定メサル時ハ、貨物發送ノ地ニ於ケル其時ノ價格、及ヒ到達地マテノ運賃、其他ノ費用ヲ合計シタルモノトシ、貨物到達シタルトキハ、更ニ證券面ノ火災保險ヲ附スルヲ常トス。以上ハ某倉庫ノ行フ所ニ據リテ述ヘタルモノナレトモ、三菱倉庫ノ如キハ前節ノ代金取立、並ニ貨物轉送ニ關スル取扱手續、及ヒ手数料等ハ隨時依頼者ト協議ノ上定ムルコト、シ、別ニ之ニ關スル規則ヲ設ケサルカ如シ。

三菱倉庫株式會社ノ營業規則ニ依レハ、貨物運送中ニ於ケル倉庫ノ賠償責任額ハ、保險會社ヨリ得タル運送保險金額ヲ以テ其限度ト爲スヲ以テ、此倉庫モ亦當然運送保險ヲ附シ、其保險金ノ支拂ヲ受クル限り、責任ヲ負フノ意思ナルカ如シ。

第十節 割引ノ周旋

倉庫會社ハ寄託主ニ、其發行ニ係ル倉庫證券ヲ擔保トシテ、手形ノ割引ヲ求メ度キ旨ヲ依頼スルトキハ、特約銀行ニ打合せ置キ、低利ノ日歩ニテ割引ニ應セシメ、其他質入證券ノ利用上ニモ、銀行ヲシテ特別ノ便宜ヲ供セシメ、以テ證券ノ流行ヲ敏活ニシ、金融ヲ疎通セシム、茲ニ割引ノ周旋トハ即チ此謂ヒナリ。

第十一節 荷爲替附貨物ノ取扱

荷爲替附貨物ノ荷受主カ、運送業者ヨリ貨物ヲ引取ラントセハ、先ツ銀行ヘ爲替金額ヲ支拂ヒテ貨物引換證(船荷證券ノ場合モ亦同シ)ヲ受取り、之ヲ運送業者ニ呈示セサルヘカラス、然ルニ荷受主ハ往々手元不如意ノ爲メ引換證ヲ受取ル能ハス、爲メニ自カラ商機ヲ失シ損失ヲ招クコトアルハ勿論、運送業者モ亦貨物堆積ノ不便アルヲ免レサルヲ以テ、倉庫ハ運送業者及ヒ荷受主ノ便宜ヲ圖ランカ爲メ、先ツ運送業者ヲシテ其名ヲ以テ貨物ヲ寄託セシメ、之ニ對シテ左ノ如キ引換證付貨物受取證ヲ交付シ置クコトアリ、斯クテ此間幸ニシテ荷受主カ爲替金額ヲ調達シテ銀行ヨリ、引換證ヲ受取り、貨物ノ引渡ヲ請求シタルトキハ、保管料、立替金、其他保管ニ關スル費用ハ固

第 號
引換證附貨物受取證

記號	荷造	數量	火災保險	保管料	荷受人
荷送人	引換證番號	引換證作成年月日	引換證作成人氏名	要 摘	

前記貨物裏面之約條ニ從ヒ正ニ受取申候也
 東京市 區 番 地
 帝國倉庫株式會社
 昭和 年 月 日 支配人 姓 名 印
 右貨物運送業者 殿

約 條

- 一 寄託者ハ左ノ條項ヲ約諾スルモノトス
 寄託物保管中當會社ニ於テ損失ノ責ニ任スルハ雨漏、物盜、紛失ノ場合ニ限ル
 天災事變強盜其他抗拒スヘカラサル災厄ニ罹リ又ハ鼠喰、蟲入、其他寄託物ノ性質氣候ノ變遷ヨリ生シタル損害ハ當會社ハ其責ニ任セス
- 二 保管期間ハ三ヶ月間トス保管滿期ニ至リ寄託物ヲ出庫チナサ、ルカ又ハ寄託繼續等ノ手續ヲ意リタルトキハ滿期後ハ二倍ノ保管料ヲ申受クヘシ且商法第三百八十一條ノ規定ニ從ヒ處分スルコトアルヘシ
- 三 保管料及倉入諸入費ハ當社規定ノ割合ニ依ル
- 四 荷受人ヨリ當社ニ對シ貨物ノ引渡シヲ請求シタル時ハ貨物引換證引換ニ之レカ引渡シチナスヘシ
- 五 運送人ノ請求ニ依リテハ當社ハ貨物引渡シノ際荷受人ヨリ貨物引換證面記載ノ運賃及諸掛徴收ノ手續ヲ行フヘシ
- 六 貨物引渡ノ際ニハ保管料立替金其他寄託ニ關スル費用ヲ貨物受取人ヨリ取立ツヘシ
- 七 第五項ノ貨物引換證及第六項ノ運賃諸掛ハ本受取證引換ニ運送人ニ交付スヘシ
- 八 本受取證引換買運送人又ハ債權ノ擔保トナスコトヲ禁ス
- 九 以上

ヨリ、運送業者ノ依頼アルトキハ、引換證面記載ノ運賃及ヒ諸掛ヲ徴收シタル後、貨物ヲ引渡シ、引換證ニ運賃諸掛ヲ添ヘテ運送業者ニ交付シ、豫テ渡シ置ケル貨物受取證ト引換フヘシ。

倉庫業者「引換證付貨物受取證」ヲ發行シテ、一時荷主ノ爲メニ貨物ヲ保管スルモ、右ノ如ク、幾干モナク荷受主ノ資金調達セラル、トキハ、倉庫ノ周旋モ亦簡單ナリト雖モ、荷受主ハ往々資金融通ノ見込容易ニ立タサルカ、又ハ融通ノ望ハ之アルモ、商機切迫シ、空シク手ヲ拱キテ之ヲ待ツ能ハサルコトアリ、倉庫ハ此場合ニ於テモ、荷受主ノ爲メ自ラ爲替金額ヲ銀行ニ支拂ヒ、引換證ヲ乞ヒ受ケ、之ヲ運送業者ニ呈示シテ受取證ヲ引戻シ、貨物カ銀行ト運送業者トニ對シテ有シタル關係ヲ絶チテ、恰モ荷受主ヨリ質入シタルカ如キ状態ト爲シ、然ル後荷受主ノ爲メニ、證券發行其他ノ方法ニ依リテ貨物ヲ販賣セシメ、買受主又ハ荷受主カ出庫ヲ求ムルトキハ、前ト同様、保管料、普通立替金等ノ外、爲替金額ヲ支拂ハシメ、之ト引換ニ貨物ヲ出庫セシムヘシ。

右ノ方法ハ未タ廣ク行ハル、ニ至ラスト雖モ、三菱倉庫、若クハ東神倉庫ノ如キハ、屢之ヲ取扱ヒ、荷主ノ便利少カラスト云フ。

以上我邦倉庫業者ノ普通ニ行フ業務ハ、略述ヘ終レルモ、此他倉庫ニヨリテ、荷主ニ代リテ米穀取引所又ハ商品取引所ニ對シ貨物ノ受渡ヲ爲シ、運送業者ト特約ヲ結ヒテ、貨物引換證ノ未着ニ拘ラス荷揚ヲ爲シ、引換證ノ到着スルマテ之ヲ保管シ、或ハ擔保品トシテ庫入シタル生絲ヲ、外國商館等ヘ賣込マントスル荷主ノ爲メニ、特ニ持込持歸ノ手數ヲ爲ス等、荷主ニ對スル特別ノ

便宜ヲ與フルモノアルモ、此等ノ業務ハ有無ハ倉庫ニヨリテ同シカラサルカ故ニ、茲ニ之ヲ列舉シテ詳説スルノ必要ナルヘク、若夫英國其他斯業ノ發達セル諸國ノ倉庫内ニ行ハル、競賣ノ如キハ、證券ノ流通サヘ尙ホ微々タル如キ我邦ニ於テハ、到底之ニ其實行ヲ望ム能ハサルヘシ。(註ニトハ取引所若クハ倉庫ニ附屬セル競賣場ニ於テ、定時ニ預證券ヲ競賣リスルノ謂ヒニテ、競賣法ニ依リ執達吏ノ行フカ如キ競賣ニアラス)

第三章 農業倉庫

第一節 農業倉庫ノ意義及特色

(一)意義及發達 農業倉庫トハ農業倉庫法ニ據リ認可ヲ受ケテ設立セラル、農産物倉庫ニシテ、主トシテ穀物及繭ヲ保管スルヲ以テ目的トシ、農家ノ經濟上ノ利益ヲ圖ルト同時ニ生産技術ノ改良ヲ促シ、且ツ穀物ノ配給ヲ便ニシ、其市價ノ調節ヲ圖ラントスル公益的倉庫ナリ、從テ其經營ハ産業組合、若クハ農會ノ如キ公益團體、或ハ市町村ノ如キ地方ノ自治體ニノミ之ヲ許シ、營利會社ノ經營ヲ許サ、ルモ、國ト府縣トハ其建築費ヲ補助シ、所得稅、營業收益稅等ヲ免除スル等特別ノ保護ヲ與フルト同時ニ、種々ノ監督ヲ加フルモノトス、即チ獨逸ノ穀物倉庫、米國ノ農家倉庫ニ類スルモノナレトモ、從來我邦ニモ米券倉庫ト稱シ、専ラ米穀ノミヲ保管スル倉庫アリ、山形、秋田、熊本、鳥取、廣島、滋賀、三重、香川、新潟等數縣ニ限ラレタルモ、山形縣ノ倉庫ノ如キ

ハ三百年來ノ歴史ヲ有シ、其他ノ米券倉庫ト共ニ(一)保管米ニ對スル金融、(二)米穀ノ依裝及改造、(三)其賣買、(四)小作米ノ徵收、(五)米穀ノ輸送、(六)保險事業ノ代辦、(七)産米ノ品評會(八)肥料、農具、良種ノ購買紹介等ニ關シ農家ノ利益ヲ圖リタリシカ、是等ノ倉庫モ往々地方米穀商人、銀行等ノ機關ト爲リ、専ラ農家ノ利益ヲ進捗セシムル點ニ於テ遺憾ナキ能ハス、且ツ其所在地モ數縣ニ過キサリシヲ以テ、此制度ニ改良ヲ加フルト同時ニ洽ク全國ニ普及セシメ、農家全體、就中中農小農ヲシテ利益ニ浴セシムルト共ニ、依テ以テ米價ノ調節オモ圖ラントシ、大正六年七月始メテ農業倉庫法ヲ制定シタルモノナリ、建築費ノ補助其他ノ保護ト宣傳トハ著シキ効ヲ奏シテ、爾來急速ノ増加ヲ示シ、各地ノ米券倉庫モ亦其組織ヲ改メテ此種ノ倉庫ト爲シ、僅ニ酒田、鶴岡ニ之ヲ存スルノミト爲リ、既ニ述ヘタル如ク、昭和三年九月末ノ建坪約二十萬坪、收容力ハ米穀千五百萬俵、砂糖五千三百俵、繭二百二十萬貫ニ達スルニ至レリ。

(註) 農業倉庫 我邦ノ農産物倉庫ニハ茲ニ謂フ所ノ農業倉庫ノ外(一)農家ノ私有倉庫(二)産業組合ノ附屬倉庫(三)國有倉庫等ノ外、普通都會地ニ在ル商業倉庫アルコト、種類ノ部ニ述ヘタルカ如シ、然ラハ「農業倉庫」トハ何ソヤト云フニ、農業倉庫法ニ據リ、認可ヲ受ケテ設立セラル、一種ノ公認倉庫ニシテ、前記ノ如ク穀物及繭ノ保管ヲ主トスルモ、營利事業ニアラス、然レトモ農業倉庫法ニ準據スル外ハ商法ノ規定ニ據ルモノトス、經營主體カ殆ント産業組合ナルコト管テ述ヘタル所ノ如シ。

(二)特色

(1)寄託者及保管貨物 農業倉庫モ固ヨリ倉庫業ナルヲ以テ、主タル業務ハ保管ニ在リト雖モ、商業倉庫ノ如ク製造會社若クハ商人ノ爲メニ、原料品、製成品或ハ仕入品ヲ保管シ、ソレ等ノ者ノ

爲メニ金融ノ便ヲ與フルニアラス、地方ニ於ケル農家ノ米穀、藪等ヲ保管スルヲ以テ目的トシ、商人ハ在庫品ヲ買入レタル場合、保管期間内ニ限り保管スルコトヲ得ルノ差アリ、換言スレハ寄託者ハ例外ノ場合ノ外地主又ハ小作人ニ限ル、即チ次ノ如シ。(法第一條)

(一) 農業ヲ營ム者

(二) 土地ニ付權利ヲ有スル者(即チ地主等)

(三) 販賣組合又ハ其聯合會

(四) 是等ヲ買入レタル者(即チ商工業者)

(五) 前記以外ノ保管(但シ業務規定ヲ以テ定メ、前記ノ保管ニ差支ヘナキ場合ニ限ル)。之ヲ許スハ其經營上ノ不利ヲ補ハシメンカ爲メナリ。

保管貨物ハ地主、自作農、小作農等(一)(二)ノ者ノ生産シ、又ハ小作料トシテ受入レタル(一)穀物(二)藪(三)其他勅令ヲ以テ指定シタル物品ニ限り、唯前記(五)ノ場合ニ限り、寄託者ト貨物ノ種類トニ拘ラス保管スルコトヲ得セシム、而シテ穀物トハ米、麥、粟、稗、黍即チ五穀ト稱スルモノ、外、蕎麥、燕麥、玉蜀黍及大豆、小豆等ノ荳菽類モ包含セラル、勅令ヲ以テ指定セラレタルモノハ、現在ニ於テハ僅ニ、沖繩縣及鹿兒島縣等ニ於テ生産セラル、黒糖及白下糖ノ二種ニ限ラル、モ、嘗テ現況ノ部ニ於テ示セル如ク、實際ニ於テハ、(五)ノ規定ニ依リ果實、木炭、肥料、糞工品等ヲ保管スルモノトス、即チ農業倉庫ノ保管スル貨物ハ次ノ如ク區別スルコトヲ得ヘシ。

(二) 穀物 (一) 藪 (之ニ普通ノ農業倉庫カ他ノ貨物ト共ニ保管スル場合ト、販賣組合又ハ聯合會

カ販賣ノ爲メニ保管スル場合トノ二種アリ) (三) 其他ノ貨物(例外ノ場合)。

(2) 検査ト混合保管 米穀其他ノ重要農産物ニ對シテハ、各府縣之カ検査ヲ勵行シ、其検査所ニ於テ生産検査(生産地ニ於テ、生産當時一回之ヲ行フ、府縣内ノ受渡ハ之レニテ可ナリ)及ヒ移出検査(移出ノ際、若クハ移出セントスルモノニ付一回之ヲ行フ)ヲ行フモ、倉庫ニ庫入スルニ當テハ更ニ検査ヲ行フノミナラス(入庫検査)、貯藏期間長期ニ亘ルトキハ、出庫ノ検査オモ行ヒ、以テ市場ノ信用ヲ維持スルヲ勉ム、入庫検査ハ貨物ノ價値ヲ高メ、品種ニ依ル賣買上ノ便利ヲ與ヘ亦入庫品ノ改良ヲ促ス外、混合保管ヲ行フ場合ニ於テ殊ニ其必要ヲ見ルモノトス、蓋シ混合保管ハ同品種同等級ノ貨物ヲ、所有者ヲ區別セスシテ藏置スルモノナルヲ以テ、必ス検査ヲ行フヲ要シ、殊ニ其検査ハ嚴格公平ニシテ、成ルヘク細別セラル、ヲ可トスレハナリ。

我邦ニ於テハ普通ノ商業倉庫ハ、米穀ト雖モ一般ニ混合保管ヲ行ハス、唯米券倉庫ニ於テ之ヲ行ヒ(甲)或ハ俵裝ヲ解キテ全然混合シ(酒田鶴岡地方)、(乙)或ハ俵裝ノマ、混合シタルモノ(熊本、廣島地方)アリシカ、農業倉庫中ニモ亦之ヲ行フモノ之アルカ如シ。畢竟(一)米穀カ代替性ヲ有シテ混合ニ適スルコト(二)保管上倉庫ノ容積ヲ減シ、勞費ヲ省キ、保管料ヲ低減シ得ルコト(三)銘柄取引ヲ促シ、大量賣買ニ便ナルコト、(四)倉庫ニ信用アレハ、證券ノ利用ニモ便ナルコト等ノ利益アルカ爲メナレトモ、米ハ種類、品質區々ニシテ特殊ノ品質ヲ有シ、且ツ我邦ノ飯ハ其マ、味ハル、モノニシテ、「パン」ノ原料タル外國ノ小麥ト趣ヲ異ニスルヲ以テ、混合保管カ如何ナ

ル程度マテ行ハル、ヤ疑問ニ屬ス、米國ノ如キ混合保管ノ盛ニ行ハル、國ニ於テモ、太平洋岸ノ農家ハ今尙ホ袋入ノマ、別置スルコトヲ希望シ、之ヲ行フ倉庫多キヲ見レハ、特別ノ目的ヲ有スル場合ノ外、混合保管ノ效力少キニアラスヤト考ヘラル、殊ニ繭ノ如キ品質ノ微細ノ差異カ價格ヲ左右スル場合ニ於テ然リトス。

〔註〕 混合保管 ハ從來我邦ノ法制ニ明文ナク(舊商法ニハ之アリタルモ)法律上疑義アリタルヲ以テ「農業倉庫法」ハ第七條ニ於テ之ヲ行ヒ得ルコトヲ定メタルモノナリ。

(3)加工其他ノ業務 農業倉庫ハ寄託物ノ改装、荷造ヲ行フ外、調製ヲ行フコトアリ、調製トハ乾燥、糲摺、精撰、精白等ノ作業ニシテ、加工及仕分ニ外ナラス、其他運送又ハ販賣ノ仲立又ハ取次ヲ行フモ、是等ハ農業倉庫ニ限ラス。

(4)倉庫證券 農業倉庫ハ請求ニ依リ單券ナル倉荷證券ヲ發行シ、必ス農業倉庫證券ナル文字ヲ記載シ、混合保管ナルトキハ、亦其旨ヲ記載スルヲ要ス、他ノ倉庫業者ノ發行スル預質證券又ハ倉荷證券ニハ斯ル文字ヲ記載スルコトヲ得ス、從來ノ米券倉庫中ニハ、預質證券ヲ發行シタルモノアリ、改正前ノ農業倉庫法ハ一枚、二枚隨意制ヲ採リタレトモ、現今普通ノ倉庫ハ一般ニ倉荷證券ノミヲ使用シ、唯複券主義ハ商法ノ規定中ニ存スルノミナルヲ以テ、農業倉庫法ハ斷然不便ナル複券主義ヲ捨テ、單券主義ニ改メタリ。

大正十五年三月新ニ聯合農業倉庫ヲ認ムルヤ、同時ニ聯合農業倉庫證券ナルモノヲ認メ、再保管

ヲ引受ケタル聯合倉庫ヲシテ、寄託者ニ對シ、此種ノ證券ヲ發行スルコトヲ許セリ、再保管ハ普通ノ倉庫業者カ行フ場合少キヲ以テ、特ニ此種ノ證券ナケレトモ、改正法ハ聯合倉庫ノ必要ヲ認メテ之ヲ設クルコト、爲セリ。

(5)金融ノ方法 從來ノ米券倉庫ハ其保管部カ發行シタル「入庫票」ニ對シ、金融部カ貸付ヲ行ヒ(關西地方)、或ハ正式ノ倉庫證券ヲ發行シ、之ニ對シ同一經營者タル銀行カ之ニ對シ貸付ヲ行ヒ(秋田地方)、繭倉庫ノ如キモ自ラ貸付ヲ行フ者少カラサリシカ、農業倉庫法ハ此實狀ニ鑑ミ、自己ノ證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ爲スコトヲ許シ、更ニ聯合農業倉庫證券若クハ他ノ農業倉庫カ取リタル農業倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ行ヒ得ルモノト爲セリ、普通ノ商業倉庫モ銀行ト姉妹會社ノ關係ニ在ルモノ少ラサルモ、倉庫自ラ貸出スモノハ稀ナルニ、農業倉庫ニ於テハ便宜上之ヲ許セリ、尤モ米國ニ於テモ、冷蔵倉庫ノ如キハ一般ニ寄託者ノ約束手形ヲ割引スル方法ニ依リ、寄託物擔保ノ貸付ヲ行ヒ、此種ノ貸出増加スルトキハ、取纏メテ銀行ニ持參シテ再割引ヲ求メ、農産物ノ販賣上便宜少カラス、小生産者若クハ小商人ノ如キハ、此手段ニ依リテ苦境ヲ脱シタル者多キノミナラス、此方法ハ其他ノ倉庫例ヘハ穀物、羊毛、棉花ノ如キモノニモ行ハレ、更ニ一般商品ノ倉庫中モ亦之ヲ行フ者アリ、所謂「フィラデルフィア」式倉庫(Philadelphia-plan warehouse)ナルモノニシテ、此種ノ倉庫業者ハ、銀行業ノ許可オモ受ケ、兩者ヲ兼業ト爲スモノモ之アリト云フ。

〔註〕 貸付法 農業倉庫カ信用組合ニ依テ經營セラル、トキハ、信用部ニ於テモ亦對人信用ノミニ依ル普通ノ貸付ヲ行フコトヲ得ルヲ以テ、實際ニ於テハ信用部カ倉庫部ノ發行スル單純ナル入庫票ニ依リ、貸付ヲ行フ場合少カラズ、其手續簡單ナル爲メ一般ニ歡迎セラルト云フ、而シテ農會又ハ公益法人ハ自己ノ倉庫證券ヲ擔保トシテ貸付ヲ行フコト能ハサルヲ以テ（法第五條第三項）銀行又ハ信用組合ト聯絡ヲ取ルノ必要アルヘシ。

(6) 公益的性質 農業倉庫カ單ニ上記ノ如キ保管、金融上ノ特質ヲ有スルニ止マラハ、敢テ公益機關トシテ特別ノ保護監督ヲ與フルノ必要ナキモ、農家就中小農ノ經濟的利益ヲ圖ルト同時ニ、生産技術ノ改良ヲ促シ、穀價ノ調節ヲ圖ラントスル點ニ於テ、公共的利益ヲ有シ、從テ一層重要ノ程度ヲ加フルモノトス、經營者ヲ非營利團體ニ限ルハ畢竟之カ爲メニシテ、前記諸業務ノ外、(一)小作料ノ標準ヲ定メ、地主ニ代リ共徴收ヲ行ヒテ農村ノ爭議ヲ緩和シ(二)検査ヲ嚴正ニ行ヒ、調製、乾燥ヲ完全ニシ或ハ品質會ヲ開催シテ、品質ノ改良ヲ促シ、(三)品種ヲ統一シテ大量取引ニ便シ(四)共同販賣、平均賣、縣外販路ノ開拓等ノ手段ヲ講シテ、米穀ノ配給及其市價ノ調節ヲ圖ルカ如キモ、亦此目的ニ出ツルモノナリ。

第二節 農業倉庫ノ利害

(甲) 農業倉庫ノ利益

農業倉庫カ如何ナル利益ヲ與フルヤハ、前節ニ於テモ略述ヘタル所ナルカ、更ニ之ヲ要説スレハ次ノ如シ。

(一) 保管 地方ノ農家殊ニ地主ハ米穀ヲ貯藏スル爲メ、各自倉庫ヲ所有セサルヘカラス、其建設費用、保管ノ勞苦モ少カラサレトモ、専門ノ倉庫ニ寄託スルトキハ、僅少ノ保管料ヲ以テ是等ノ失費ト手數トヲ避クルヲ得ヘシ、殊ニ米穀ハ貯藏中蟲害、鼠害、變質等ノ損害ヲ醸シ易ク、一般ニ梅雨期ニ於テ品質モ低落スルモノナレトモ、之ヲ完全ナル倉庫ニ藏置スルトキハ、「コクゾール」又ハ二硫化炭素等ノ燻蒸法ヲ施シ得テ、或程度マテ是等ノ損害ヲ避ケ得ルノ利益アリ、倉庫ハ自然ノ變質、淋滅其他不可抗力ニ因ル損害ハ之ヲ負擔セサルモ、雨漏、窃盜、紛失、火災、鼠害等ノ損害ハ多ク之ヲ負擔スルノ利益ヲ與フ。

(二) 改装、加工 寄託物中米穀ノ俵又ハ叭造ニ就テハ、地方應若クハ同業組合ノ検査規則アリテ、詳細ニ定メラル、ヲ以テ、之ニ反スル荷造ノモノハ改装ヲ行ハサルヘカラス、其繩切、鼠喰等ノ損傷アルモノモ亦改装ノ必要アリ、而シテ寄託者ハ多ク一重俵又ハ叭入ト爲シテ委託スルヲ以テ縣外ノ移出ハ之ヲ二重造ト爲シ、散荷ノモノ（之ハ稀ナレト）アレハ、之ヲ成俵ト爲サ、ルヘカラス、即チ改装、荷造ノ必要アル所以ニシテ、農業倉庫ハ實費ヲ以テ之ニ應スルヲ常トス、其他収摺、火力乾燥、精白、繭ノ乾燥等、個人ノ行フヲ不利トスル作業ヲ行フノ利アリ。

〔註〕 米穀ノ加工 米ハ穀ノマ、貯藏スルトキハ蟲害、變質ノ患少ナク、玄米ニ比シ安全ナルヲ以テ、古來備荒貯蓄等ニハ之ヲ用ヒ、現今ニ於テモ自家用ノ爲メ、或ハ勞力ノ不足等ヨリ、尙ホ穀ノマ、貯藏スル習慣アリ、農業倉庫ハ之カ依頼ニ應スルヲ以テ、自然収摺ノ設備ヲ爲スノ必要アリ、殊ニ梅雨期ヲ經過シタル夏期ニ於テ之ヲ行フ場合ニ於テ然リトス。其他火力乾燥、精白等相當ノ機械ト熟練トヲ要スルモノハ、農業倉庫ノ如キ共同機關ニ於テ之ヲ行フヲ便トス。

(三)金融 地方ノ農家就中、中小農ハ新米ノ出盛リ時代ニ於テ肥料代金、租税、其他家政上ノ費用ヲ支拂ヒ、若クハ借入金ヲ返却スルコトハ、内外揆ヲ一ニスル習慣ナレハ、市價ノ如何ヲ問ハス賣却ヲ餘儀ナクセラル、コトアリ、農家カ一般ニ資金ヲ要スル時節ニ於テハ、共ニ賣急キテ「賣崩ス」(forced dumping)コト、爲リ、自然米穀商人ニ左右セラル、コト、爲ルモ、之ヲ倉庫ニ託シテ、倉庫自身又ハ銀行ヨリノ貸付ヲ求ムルコトヲ得ハ、能ク此ノ如キ不利益ヲ避クルコトヲ得ヘシ、獨逸ノ穀物倉庫、最近著シク勃興セル米國ノ農家倉庫ノ如キモ、主タル目的ハ此賣崩ノ弊ヲ除キ、以テ米穀商人ノ横暴ヲ防カントスルニ在リ、我邦農業倉庫法ノ制定モ亦重キヲ此點ニ置キタルハ、同法提案ノ際仲小路農相ノ言明シタル所ナリ。

農業倉庫カ金融ノ便ヲ供スルハ、入事票又ハ倉荷證券ニ依リテ自ラ貸出シ、或ハ證券ヲ銀行ニ提供スルノ便ヲ與フル外、販賣ノ委託ヲ受ケタル場合ニ、單ニ資金ノ受取書ノ如キモノニテ、前貸ヲ行ヒ、若ハ買主カ代金ヲ支拂フ迄立替拂ヲ行フコトアリ、是等ヲ「前渡」ト稱シ、委託主ノ便宜少カラス、是等ノ資金ハ政府ノ低利資金ナトノ外、産業組合聯合會、若クハ産業組合中央金庫ニ對シ、自ラ發行セル倉庫證券ヲ借入レテ、之ヲ擔保ニ供シ、或ハ自ラ受入レタル證券ヲ再擔保ニ供シ、比較的低位ノ資金ヲ求ムルコトヲ得ヘシ。

(四)販賣方法 從來農家カ其米穀ヲ米穀商人ニ賣却スルヤ、其數量小口ナルトキハ、往々商人ニ致サル、ノ不利アリ、商人モ亦各農家ニ就キ一々品質辨目ノ検査ヲ爲シ、見本取引ナルトキハ、

現品ト相違セサルヤ否ヤヲ調査スルノ手數、相違セル場合ノ値押等種々ノ不便アル外、他地方ヨリ大口ノ注文アルモ、之ヲ引受ケ得サルカ如キ不利アリ、從テ從來ハ移出検査ノ際、例ヘハ二等米カ十俵、二十俵出ツルモ、之ヲ三等米トシテ買手ニ提供スルカ如キ不利アリタルモ、農業倉庫ニ於テハ精密ナル検査ヲ施シ、嚴格ナル等級ヲ附シテ大量販賣ヲ行フヲ以テ、斯ノ如キ弊ヲ除クコトヲ得ルニ至レリ。

農業倉庫ノ販賣ニハ(一)寄託者ト仲買、問屋、消費者團體ノ如キ買手トノ間ニ立テテ、賣買ノ取次ヲ爲ス場合ト(二)寄託者ノ依頼ニ依リテ販賣シ、若クハ消費者團體ノ買付委託ヲ行フ場合(多クハ委託販賣ナリト云フ)即チ委託販賣トノ二種アリ、委託販賣ノ場合ハ、多ク競争入札ノ方法ニ依リ、一定ノ販賣日ヲ設ケ(例ヘハ三日、五日、又ハ二ノ日、八ノ日ノ如シ)一車ヲ單位トシ、地方又ハ大都會地ノ商人ヲシテ入札セシメ(他地方ハ電話、電信ヲ用フ)、或ハ消費地ノ問屋ニ委託シ、若クハ消費者ノ團體ト特約ス、此特約ハ豫メ賣買代價ヲ協定シ、例ヘハ深川正米市場ノ標準相場ヨリ格上ケ何程、格下ケ何程ノ如ク定メ、毎回平均的ニ出荷スル方法ナリ。

米穀ノ販賣ヲ行フニ當リ、委託、特約、競争入札孰レノ方法ニ依ルヲ問ハス、「平均賣」ト稱スル方法アリ、毎月一回以上一定ノ期日ヲ定メ、寄託者ヲシテ一定數量ヲ販賣セシムル方法ニシテ、豫メ之ヲ行ハントスル者ノ販賣數量ヲ豫定シ、之ヲ十等分(二月ヨリ十一月マテ)若クハ十二等分シタル數量ヲ毎月販賣セシムルヲ云フ、愛知、三重、福井、富山、諸縣ノ或地方ニ於テハ、之

ニ關スル同盟會ヲ設ケ、其實行ヲ獎勵シツ、アル由ナルカ、此方法ハ畢竟農家ヲシテ秋期ニ於ケル急迫ノ投資ヲ避ケシムルニ在リ、廣ク行ハル、ニ至ラハ、米價ノ調節ニ貢獻スル所アルヘキノ理ナルカ、是亦農業倉庫ノ如キ機關ニ依ラサレハ、實行ヲ期シ難キモノナルヘシ。

(五) 産米ノ検査 農業倉庫ニ於テハ、入庫米ニ對シ、僅少ノ手数料若クハ無手数料ニテ入庫検査ヲ行ヒ(長期貯藏ノモノニ對シテハ更ニ出庫検査ヲ行フ)生産検査又ハ移出検査ヲ行フノ勞費ヲ省キ、混合保管ヲ行フニ便シ、品種ノ統一ヲ圖リ、間接ニ品種改良ノ效果ヲ現ハサシム。

(六) 小作米ノ徵收 小作米ノ徵收ハ從來地主ノ最モ勞苦ト爲セシ所ニシテ、之ヲ取立ツル際、先ツ歩合ヲ定メ、各俵毎ニ一々榭目(又ハ重量)品質、俵裝等ヲ検査スルノ必要アリテ、此間ノ交渉往々圓滑ヲ缺クコトアリ、小作人モ亦之ヲ地主ノ倉庫ニ運搬スルノ時間ト勞力トヲ冗費シ、受渡上ノ談判ヲ餘儀ナクセラレタルモ、農業倉庫ハ(一)地主ノ委託ヲ受ケテ小作米ノ徵收ヲ行ヒ、(二)或ハ地主ノ共同徵收組合カ倉庫ト聯絡ヲ取リテ徵收シ、倉庫ノ入庫票若クハ倉荷證券ヲ以テ納入セシメ、滞納アルトキハ倉庫ヨリ督促セシムルコト、爲シ、感情ノ衝突ヲ免レ、小作標準米ノ格差ニ對スル補償米、獎勵米等ノ受授ニモ便ス、地主ニ於テハ此外其不要倉庫ヲ倉庫ニ提供シ倉庫ハ之ヲ借入レテ許可ヲ受ケ、小作人トノ距離ノ遠近ニ從ヒ、便宜上此倉庫ヲ利用セシメ、或ハ差配人ヲ置クノ經費ト手續トヲ省キ、其他納稅事務ヲ代辨セシムルカ如キ利益アリ。

(七) 運送業務 保管業務ハ運送業務ニ對シ最モ密接ノ關係ヲ有スルモノニシテ、商品カ產地ニ於

テ買集メラル、間、並ニ之ヲ仲繼地點、若クハ消費地ニ輸送シタル後ハ、必ラス一時ハ貯藏セサルヘカラス、即チ米國ナトニ於テ鐵道會社カ倉庫ヲ兼營シ、進ンテ港灣ノ終點役務オモ營ム所以ナレト、倉庫會社自ラモ亦之ヲ取扱フトキハ、獨リ顧客、運送會社ノ便少カラサルノミナラス、自己ノ收益ヲ増加スル手段トモ爲ルヘシ、農業倉庫法第二條ニ於テ、受寄物運送ノ仲立又ハ取次ヲ以テ、其業務ノ一ニ數ヘタル所以亦是ニ在リ、入庫貨物ハ本支店間ノ輸送、他倉庫ヘノ輸送、買手ヘノ輸送、聯合倉庫ヘノ再保管等ノ必要アリ、運輸事務モ少カラサルヲ以テ、運送契約ノ取結ヲ仲立シ、若クハ之カ取次ヲ行フハ勿論、船車ノ積卸其他ノ荷役、其準備タル上屋作業、配達、引取等ノ小運送ニ對シテモ亦相當ノ任務ヲ行ヒ、寄託主ノ便宜ヲ圖ルト同時ニ、是等ノ經費ヲ輕減セシメサルヘカラス、我邦ノ農業倉庫中此邊ノ注意ニ缺クル所アルハ遺憾ナリト謂フヘシ。

(乙) 其他ノ利益

以上ハ農家ヨリ觀タル利益ナルカ、此他米穀商人、銀行、運送會社、保險會社、取引所ノ如キ他ノ營業者ニ對スル利益、消費者、其他國民經濟上ニ於テモ亦利益少カラサルハ、上來述ヘタル所ニ依リ略推知スルコトヲ得ヘキモ、尙ホ二三ノ利益ヲ補說スレハ次ノ如シ。

(八) 商人ノ便益 ハ前ニ於テ述ヘタル外(一)購入シタル米穀ニ對シテ倉荷證券ヲ發行セシメ、之ヲ擔保トシテ銀行等ヨリ融通ヲ受クルトキハ、賣價ノ二、三割ヲ以テ買入ル、コトヲ得、(二)產地ノ仲買人又ハ問屋ハ素俵ヲ集メテ二重俵ト爲サシムルノ便アリ、又他地方ノ註文ヲ受ケタルト

キハ、在庫品ヲ利用シ、直ニ之ニ應スルコトヲ得、(三)消費地ノ問屋モ亦之ヲ利用シ、産地商人ノ仲介ヲ省キテ、直接簡易ニ買入ル、コトヲ得ヘク、又之ニ依リ地方在米ノ多寡、米價ノ氣配ヲモ察知スルコトヲ得ヘシ。

(九)消費者ノ利益 消費者ノ團體ナル購買組合、又ハ大工場、病院、學校、官公署等大量ノ消費者ハ、直接農業倉庫ヨリ買入レ、中間商人ノ利益ヲ省クノ利アリ、其數量モ毎月平均何車ト約シ、代價ハ其月中ノ某正米市場ノ平均相場(新聞等ニ依ル)ト爲スコトヲ得、俵裝モ特ニ袋又ハ叭若クハ一重俵ト爲サシムルコトヲ得ヘシ。

(一〇)國民經濟上ノ利益 農家、商人、消費者ニ對スル利益ハ總テ國家全體ノ利益ナレト、其他(一)倉庫カ改良セラレ、貯藏方法カ發達スル爲メ、一般的ニ米穀ノ減量カ減少スルコト、(二)金融ノ便、平均賣ノ普及等ニ因リ、秋穫期以後ノ米價低落ニ因ル米ノ濫費ヲ防キ、從テ供給量ヲ増加シ、端境期ニ入ルモ、不足ヲ告ケ暴騰ヲ來スノ弊ヲ避クルコト(昭和二年ノ春夏ニ於テ米價比較的高カリシハ、前年カ不作ナリシヲ過信セルヨリ地方在庫米(地主ノ)カ多カリシ爲メニシテ、七、八月ノ低落ハ、順調ノ氣候ト一般財界ノ不況トニ因ル低落見越ノ爲メノ賣品ヲ原因トス、是レ一ツハ農業倉庫發達ノ結果ナリト云フヘシ)(三)間接ニ備荒貯蓄ノ作用ヲ完カラシム(四)政府カ米穀法ニ依リ買上クルニ便ス、(五)小作爭議ヲ減少スル等種々ノ利益アルヘシ。

(丙)農庫倉庫ノ弊害

農業倉庫ハ如上ノ利益ヲ有スルト同時ニ亦幾多ノ缺陷アリ、即チ次ノ如シ。

(一)保管上ノ不注意 倉庫ノ建築不完全ニシテ、保管上ノ注意不充分ナルトキハ、第一ノ利益タル優良ナル保管機關タルコト能ハサルハ固ヨリ、自然倉庫證券ノ信用ヲ害シ、之ニ依ル賣買、金融モ困難ト爲リ、斯業ノ利益ハ盡ク没却セララル、ニ至ルヘシ。

(二)等級別ノ不公平 米穀ノ等級別ハ斯業ノ根柢ニシテ、混合保管ノ如キハ、之ニ因リ始メテ行フコトヲ得ルモノナルカ、其検査粗漏ニシテ統一ヲ缺クカ、検査員ニシテ熟練ヲ缺キ手心ヲ加フルカ如キコトアラシカ、寄託者ハ減少シ、證券ハ信用ヲ失ヒテ用ヲ爲サ、ルニ至ルヘシ、元來米ハ產地ニ依リテ其品質ヲ異ニスルノミナラス、同一地方ニ於テモ、其種類少カラス、品位ノ如キモ、米質、色澤、形狀、乾燥等種々ノ標準ニ依リテ區別スルトキハ、十數等ニモ分ツコトヲ得ヘシ、然ルニ實際ノ便宜上三四等又ハ五等ニ類別スルニ止ルヲ以テ、此點ニ於テ既ニ幾分カ粗雑ナル弊アルモノナルニ、検査員カ智識ト熟練トヲ缺キ、萬一外部ノ壓迫ニ左右セラレテ依估ノ検査ヲ行フニ於テハ、其弊害ヤ圖ルヘカラス、此點ニ於テハ府縣ノ検査員ヲ農業倉庫ニ配置シテ、出入庫ノ検査ヲ行ハシムレハ、斯ル弊害ヲ緩和スルコトヲ得ヘシ。

(三)投機取引 農業倉庫ハ證券ニ依ル賣買ヲ行ハシメ、殊ニ代金ノ二、三割ヲ以テ賣買スルコトヲ得セシムルヲ以テ、先物取引ニ便シ、自カラ投機取引ヲ助長スルノ弊アリ、取引所ノ受渡ヲ便ニスルコトモ亦之ヲ促ス所以ナレト、斯ル組織市場以外ニ於テ、投機賣買ヲ誘フ結果ハ農民ノ特色

タル質實剛健ノ美風ヲ傷クル弊ナキニアラス、加フルニ農業倉庫自ラ思惑ヲ試ミ、自己ノ買上米ヲ貯藏スルカ如キコトアラハ、其弊害少カラス、農業倉庫ハ法規上斯ル賣買ヲ爲スヘキモノニアラサレトモ、販賣組合カ自ラ賣買ヲ行ヒ得ル點ヲ利用シ、此種ノ賣買ヲ行フ者アリト云ヘト、之カ爲メ多數ノ組合員及入庫者ニ迷惑ヲ及ホシ、其信用ヲ害スルニ至ラハ、斯業ノ衰滅ヲ招クニ至ルヘシ、米國ノ穀物倉庫ニモ往々此種ノ弊アリト聞ケト、我邦ニ於テハ農業倉庫ノ特殊ノ性質上、特ニ其監督ヲ嚴重ニセサルヘガラス。

(四)金融ニ基ク弊害 ハ前記投機取引ノ外、農家カ之ヲ利用シテ資金ヲ借入ル、結果、往々徒ニ之ヲ消費シテ奢侈ノ風ヲ順致シ、返濟時期ニ至ルモ、元利金ヲ支拂フコト能ハサルカ如キ弊ナキニアラス、返濟期ニ至リ、擧テ米穀ヲ賣出ストキハ、是カ爲メ暴落ヲ來スコトアリ、平均賣ハ即チ斯ル弊害ヲ除カントスル方法ナレトモ、未タ一般ニ行ハル、ニ至ラサルヲ以テ、倉庫、銀行共ニ貸出ノ手心ヲ加ヘ、農民自ラモ亦大ニ戒心スルノ必要アルヘシ。

此他金融ノ便アル爲メ、米價ヲ故ラニ高値ニ維持シテ消費者ヲ害シ、(端境期ニ低キ利益ハアレト)、又原料繭ヲ高クシテ生絲家ヲ害スルノ弊ナキニ非ラサルモ、元來農家ノ利益ヲ増進センカ爲メニ設ケラレタル制度ナレハ、多少是等ノ弊アルモ已ムヲ得サル所ナルヘシ。

尙ホ金融ヲ受クル一方ニ於テ、保管料ト金利ノ失費アルヲ考慮セサルヘカラス、農業倉庫ノ保管料ハ幾分低廉ナレトモ、期間長キニ亘ルトキハ、相當ノ金額ニ上ルヘク、金利モ亦少カラサルヲ

以テ、若シ倉庫ニ寄託シテ賣捌ノ時期ヲ待チ、其賣價ト入庫當時ノ市價トノ差カ、是等ノ失費ト貨物ノ品位低下、步減等トヲ補フニ足ラサルトキハ、却テ損失ト爲ルノ虞アルヲ注意セサルヘカラス、而シテ是等ノ金利ト保管料トハ、結局消費者ノ負擔ニ歸ス場合多ク、消費者ハ仲介商人ヲ省キ、市價ノ暴騰ヲ免ル、利益ヲ享クルモ、之カ爲メ一部ハ相殺セラル、ノ理ナリ。

(五)地主ト商人ノ獨占 農業倉庫ノ目的ハ主トシテ中小農家ヲシテ利用セシムルニ在ルヲ以テ、地主カ寄託スルハ從タル關係ニ在ル筈ナルモ、倉庫利用者ハ往々地主ニ止リ、小作米ヲ以テ滿タサル、コトアリ、是亦間接ニハ小作人ノ側ニモ便ナルニハ相違ナキモ、成ルヘク是等ノ弊ヲ減少セシメサルヘカラス、而シテ商人ハ在庫米ヲ買入レタル場合、保管期間ヲ限リテ寄託スルコトヲ得ルモノト爲セシハ、商人ニ獨占セラル、ノ弊ヲ除カシカ爲ナレトモ、是亦商人カ買集ムル機關ト爲リ、主トシテ渠等ニ利用セラル、コト珍シカラサルヲ以テ、當業者ハ此種ノ弊ヲ除クニ留意シ、政府ノ監督モ亦此邊ニ着眼シ、場合ニ依リテハ法規ノ改正ヲ行ヒテ、制限スルヲ要ス、蓋シ建築費ノ六割マテモ補助シテ設立シ、免稅其他ノ特典ヲ與ヘタル公益倉庫ヲシテ、主トシテ營利商人ニ利用セシムルカ如キハ、寔ニ謂レナケレハナリ。

(六)國民經濟上ノ不利益 農業倉庫ノ設立ヲ獎勵スルハ、上記ノ如キ種々ノ利益ヲ舉クル目的ニシテ、就中農家ノ經濟的利益ヲ圖ランカ爲メト、米穀ノ需給ヲ調節スルニ在ルモ、前記ノ諸弊害アリテ之ヲ除クコト能ハス、從テ利益ヲ完フスルコト能ハサルトキハ、第一ニ舊來ノ私有倉庫ノ

一部ヲ無用ニ歸セシメタル不利益ト、建築費ニ對スル多額ノ補助金、並ニ所得税、營業收益稅、營業稅、地方稅(取得稅)、印紙稅ノ免除、低利資金ノ融通等ノ犧牲トヲ償フ能ハサル不利益アルヲ免レス、之ヲ農家救濟策及食糧政策ノ見地ヨリ觀ルトキハ、相當ノ犧牲ヲ拂フコトハ已ムヲ得サル所ナレトモ、是等ノ保護政策カ效ヲ奏セサルトキハ、畢竟社會的冗費ト爲ルノ虞ナキニアラス、殊ニ之カ爲メ一般倉庫ノ私營ヲ妨クルノ害アルコトヲ考フルトキハ、徒ニ社會政策ノ如キ美名下ニ、倉庫ノミヲ増加セシムルカ能事ニハアラサルヘシ。

[註] 建設補助金 ハ昭和二年度ノ豫算ニ於テ、國庫ノ分九六六、〇〇四、府縣ノ分二、四三三、七七八四ニ上レリ。

第三節 農業倉庫ノ經營

(一)經營者 農業倉庫ニハ普通ノ農業倉庫(即チ單獨農業倉庫ト稱スルコトヲ得)ト聯合農業倉庫トノ二種アリテ、普通ノ農業倉庫業ニモ亦次ノ二種アリ。

(第一種) 生産者、地主、質權者ノ米穀、繭、指定貨物、其他(法第一條、第一項第一號)

(第二種) 販賣組合又ハ其聯合會ノ販賣スル繭(法第一條、第一項第二號)

第一種ノ經營ハ産業組合、農會、農業ノ發達ヲ目的トスル公益法人、市町村及ヒ之ニ準スヘキモノニアラサルハ、之ヲ許サスト雖モ、最モ適當ニシテ、數ノ多キハ産業組合ナルヲ以テ、實際上大部分之ニ依リテ營マル、ハ、既揭統計表ノ示スカ如シ、從來ノ米券倉庫ノ如キモ、殆ント組合

組織ニ限ラレ(産業組合ニハ限ラサレトモ)、獨逸ノ穀物倉庫、米國ノ農家倉庫ノ如キ孰レモ皆然リ、而シテ産業組合中如何ナル種類カ之ニ適スルヤト云フニ、貯金、貸付ノ便アル信用組合ト、生産物ノ販賣ニ便ナル販賣組合トヲ兼ヌル信用販賣組合ヲ便トスヘシ、但シ單ニ貯藏ノ目的ニ止マラハ利用組合ニテモ可ナルヘク、又販賣モ委託販賣ニテ足レリトセハ、信用單營ノ組合ニテ差支ヘナカルヘシ、實際ニ於テハ(昭和三年九月末日)産業組合經營ノ倉庫數二、四一一(總數二、五四四ノ中)ノ中重ナルモノハ、次ノ如シ。

- (一)信用、販賣、購買、利用……………八九八
- (二)信用、販賣、購買……………八五二
- (三)信用、購買……………一五四
- (四)信用……………一一八
- (五)販賣……………七五
- (六)販賣、利用……………七四

第二種ノ聯合倉庫ハ命令ヲ以テ指定セル産業組合聯合會ニ限リ、施行規則第四條ニ於テ、繭ノ販賣ヲ目的トスル販賣組合聯合會ニシテ、助成金ノ交付又ハ其許可ヲ受ケタル共同繭倉庫ニ限ラル、而シテ聯合倉庫業者ハ産業組合聯合會ニ限ルモノトス。

(二)設計、地位及構造 農業倉庫ヲ建設セントスルニ當テハ、保管貨物ノ生産狀態、其集散、移出入ノ數量ヲ調査シテ、大體ノ收容力ヲ考査シ、然ル後之カ設計ヲ行ハサルヘカラス、或ハ從來ノ地主所有ノ倉庫ヲ買入レテ修繕シ、若クハ借庫ニ依リテ經營スルコトヲ得ヘキモ、若シ新ニ建築セントスル場合ニハ、組合自身ノ出資金ト政府及府縣ノ獎勵金トヲ計算シ、更ニ産業組合中央

金庫ノ借入金オモ考慮スヘシ、而シテ其位置ヲ定ムルニ當テハ、米穀、繭等寄託物ノ庫入ニ便ナル土地ヲトスルハ言フマテモナケレト、販賣ノ便宜上、停車場若クハ河川港灣ノ荷役ニ便ナル地

區ヲ撰擇シ、從來ノ組合事務所ノ附近トカ、役場ノ附近トカヲ目標ト爲スヘカラス。

〔註〕 假二百坪(五間ニ十間)ノ本倉(戸前、事務室ヲ除ク)ヲ新築スルモノトセハ、一坪百五十圓ト見テ、之ニ一萬五千圓ヲ要シ、戸前五十坪、坪八十圓トシテ四千圓、事務室十坪、之ヲ千二百圓、附屬五坪四百圓トスルトキハ、合計二萬六千圓ヲ要スヘシ、此外土地三百坪ヲ坪五圓ニテ買入レ得ルモノトシテ、此代金千五百圓、總計二萬一千圓ヲ要ス、此内建物ノ建築ニ對スル補助金ヲ大凡一萬圓(政府ハ四割以内、地方費ニ割迄ナルヲ以テ、約五割ト見ル)ト見ルトキハ、一萬千圓ニテ足ルモ、此外運轉資金、即チ貸出金、儀裝代立替金等ニ、最盛期三萬圓位ヲ要スルモノトセハ、結局百坪ノ倉庫ニ四萬圓内外ヲ要スル勘定ト爲ルナリ、此内建築費ハ拂込出資金、準備金等ニテ足レリトスルモ、三萬圓ノ運轉資金ハ貯金若クハ借入金ヲ以テ之ニ充テサルヘカラス。

農業倉庫ノ收入モ亦主タルモノハ保管料ニシテ、其他販賣手数料、利子ノ差額、荷造料差額等アリ、支出ハ給料ヲ主トシ、借庫料、建築費利子(出資金ニ對シテ配當スレハ、此必要ナシ)損害賠償、煙蒸費、保險料、印刷其他ノ雜費ナリトス。

保管料ノ割合ハ區々ナレトモ、米ナレハ荷役賃混合保管二錢、別置保管三錢位ナレハ可ナラン。
倉庫ノ敷地ハ(一)道路ニ沿ヒテ、道路面ト均シクスルコト(二)附近ニ家屋就中危險性ノモノ、存在セサルコト(三)土地高燥ニシテ排水ノ便アルコト(四)地形東西ニ長クシテ、周圍就中西方ヨリ南方ニカケ樹木ヲ植込ムコト(五)敷地ノ坪數ハ建物ノ二倍ヲ標準トシ、且ツ増築ノ餘地ヲ存スルコト、等ニ注意スヘシ。

建築ニハ(一)土藏(二)煉瓦造(三)石造(四)「コンクリート」造、(五)板造等種々アリ、利害區々ニシテ、例ヘハ板造ハ建築費少キモ、火災、蟲鼠害多ク、耐久力少ク、又煉瓦造ハ建築後數年間水

分ヲ含ミ、費用モ少カラサル缺點アリ、石造モ石材產出地ニハ適スルモ、其他ニハ經費上適セス

(石造ハ棉花其他高價品ニ適ス)ト雖モ、防火、盜難、蟲鼠害ヲ防クニハ適ス、京濱當業者ノ經驗ニ依ルモ、米穀ニ最モ適スルハ土藏造ナリト云フ、經費多カラス、保存ニ適スレハナラン、但シ地方在來ノ土藏ノ如ク、單ニ火災、盜難ニノミ注意シ、蟲害、變質ヲ防ク點ヲ考慮セサル建築ノモノハ之ニ適セサルナリ。(石造、煉瓦造ナラハ、内部ニ土ヲ三四寸塗レハ可ナリト云フ)

〔註〕 土藏ノ建築法、及米ノ貯藏法 土藏ノ建築材料、構造共ニ、出入庫カ類繁ナルヲ、貯藏期間長キニ依リテ多少ノ差異アルヘキモ、經驗家ノ談ニ依レハ次ノ如シ。

(一) 軒ノ高サハ地廻リ迄三間ヲ適度トス、一戸前ノ建坪ハ成ルヘク廣ク取ルヘシ、地盛ハ地上二尺五寸位行フヘシ。(但シ地盤ニ依ル)

(二) 地盤ハ「コンクリート」ニテ固メ、床ハ濕氣ヲ避クル爲メ杉ノ厚板ヲ用フヘシ。(東京ニテハ土間ニテ可ナリト云フ)

(三) 出入口ヲ北ニ設ケ朝夕ノ日射ヲ避クヘシ、若シ南向又ハ西向ナラハ、日蔽ヲ兼ネ傘下見ヲ設クヘシ。

(四) 兩妻ニ風窓ヲ設ケ、普通ノ窓ノ大サハ二尺三寸ト一尺八寸ニシ、濕氣ト日射ヲ避ケ、風通ヲヨクスヘシ。

(五) 屋根ハ切妻トシ、厚ク土ヲ塗リ、急勾配トシ、空氣抜ヲ設クヘシ。

(六) 周圍ヲ幅、深共四尺位堀リ、砂ヲ入ルレハ可ナルモ、鼠害ヲ防ク爲メ溝渠ヲ設クルハ不可ナリ。

(七) 倉庫ヲ年中使用セス、秋季二箇月位空倉トスヘシ。

(八) 庫内ノ掃除ヲ怠ラス、鼠穴ヲ防キ、蟲ヲ除去シ、一年一回内面ニ鹽ノ苦汁ヲ撒布スヘシ、步減ト蟲害ヲ減スルノ効アリ。

(九) 枕木ヲ床板ヨリ一尺位ニ置キ、四方ノ壁ヨリ少クモ四五寸(又ハ一尺)離レテ積ミ、高十俵位ヲ適度トスルモ、十一月ヨリ六月迄ハ四五俵ト爲スモ害ナシ(東京ニテハ)、上部ニ菰又ハ藁ヲ覆フトキハ保存ニ効アリト云フ。

(十) 毎年夏季ニ於テ少クモ一回ニ硫化炭素、若クハ「コクゾール」液(「クロール、ピクリン」)ヲ使用シテ煙蒸シ、以テ蟲害ヲ除クヘシ。

松井工學士ノ意見 農商務省囑託松井工學士ハ大正十年九月ヨリ十一年二月ニ亘リ、官命ヲ帶ヒ
歐米各國ニ於ケル穀物貯藏設備ニ關スル調査ヲ行ヒタルカ、今同氏ノ意見ニ依リ、米穀貯藏ノ必
要條件ト稱スルモノヲ見ルニ、大要次ノ如シ(大正十三年六月、農商務省、食糧局發行「穀物貯藏設
備ニ關スル調査」第二章參照)。

- (一)米ノ貯藏ト温度及湿度……凡ソ米ノ貯藏ハ低温低濕ヲ理想トス、是レ高温高濕ナルトキハ、米ノ膨脹ヲ來シ、害虫發生シ
菌類「バクテリア」モ亦繁殖シテ、米ヲ腐敗又ハ酸酵セシムル爲メニシテ、其程度如何ニ就テハ未タ決定的結論ヲ得サルモ、
松井氏ノ説ニ依レハ、最高チ我邦秋期ノ程度トシ、温度ハ華氏五十度以下、湿度百分ノ六七十以下ナレハ可ナルヘシト云
フ、秋期ニ於テ良ク乾燥シタル米ハ、水分百分ノ十三、東北地方産ノ乾燥不良ノモノニテモ百分ノ十七位ニシテ、百分ノ
十三位カ最良ノ條件ナルヘシ、温度ハ上昇スルモ湿度ヲ低ク保ツコトヲ得ハ、略同一ノ結果ヲ得ラルヘシ。梅雨期ニ虫害
腐敗カ多ク、初秋ニ良好ニシテ、貯藏米ハ五六月ノ交ヨリ八月ニ於テ湿度ヲ増シテ増量シ、十月十一月ニ於テ減量スルヲ
見テモ、湿度ノ關係ノ重要ナルヲ推知シ得ヘシ。
- (二)虫害……米ノ貯藏上最モ困難トセラル、ハ虫害ニシテ、其種類ノ主ナルモノハ「こくわすと」「のこぎりこく
わすと」「おほこくわすと」「こくわすと」トシ「ばくが」「くが」等ニシテ、其繁殖力頗ル強ク、穀物ヲ喰ヒテ飽クコトヲ
知ラサルヲ以テ、貯藏上最モ注意ヲ要ス。
- (三)菌類……即チ微ハ殊ニ玄米及白米ニ發生シ、就中多キハ毛黴ト青黴ニシテ、往々熱ヲ伴ヒ、穀物ヲ變質セシメ、遂ニ全
ク使用ニ適セサルニ至ラシムルコトアリ、其發生ハ一定ノ湿度ト温度ニ由ルヲ以テ、特ニ是等ノ點ニ注意セサルヘカラス。
- (四)「バクテリア」……モ亦濕氣ニ因リテ發生シ、米ヲ腐敗セシムルコトアリ。
- (五)鼠害……鼠ニハ普通ノ鼠ト二十日鼠ノ二種アリ、孰レモ貯藏ヲ減量セシムルコト著シ。

(六)其他ノ災害……ニハ火災、風災、水災、震災等アリ、歐米ノ穀物倉庫ニハ此外塵芥爆發ナルモノアリ、貯藏中ノ穀物ヨ
リ生セル微細ノ粉末ト爲リタル塵芥カ引火スルト同時ニ大爆發ヲ爲シ、多大ノ損害ヲ蒙ラスコトアルヲ以テ、米國政府ハ
一九一八年種々ノ調査及實驗ヲ行ヒ、之カ報告ヲ發表シ、當業者ノ注意ヲ促シ居レリ、此他基礎工事カ不完全ナル爲メ傾
斜又ハ顛覆スルカ如キモ一災害ニ數フルヲ得ヘシ。

穀物貯藏ニ適スル建築ハ畢竟前記ノ諸害ヲ除クニ在リテ、我邦ニ於テハ從來開放主義ヲ採リ來レ
ルマ、改ムル所ナキモ、歐米ニ於テハ近時密閉主義ヲ可トシ、先ツ小規模、不完全ナカラ、外界
ト遮斷セル「シロ」ヲ造リ、漸次改良セル「シロ」(即チ「ビン」)ヲ造ルニ至リタルカ、冷蔵倉庫ノ
如キモ亦密閉主義ノ一發現ニ外ナラス、我邦ハ太平洋上ノ島國ニシテ其空氣狀態ハ穀物貯藏ニ對シ
不適當ナル上、梅雨期ノ如キハ湿度飽和點ニ達シ、温度モ高クシテ害虫ノ發生ニ適スルヲ以テ(秋
ノ乾燥期ニ於テモ、尙ホ湿度ハ飽和點ノ七八十%ヲ下ラサルヲ常トス)斷然開放主義ヲ改メ、密閉
主義ヲ採ルヲ得策トス、俵裝ノ改良カ一重ヨリ二重ニ及ヒ、更ニ紙裝ヲ可トスルニ至レルハ、密
閉主義ノ良好ナルヲ證明スルモノニテ、尙ホ一步ヲ進メ真空貯藏、二酸化炭素(CO₂)内ノ貯藏ノ如
キモ、研究ノ價值アルヘシ。

密閉貯藏カ温度及湿度ニ對スル便益ヲ與フルハ勿論ナルカ、倉庫ノ外壁カ熱及濕氣ノ不傳導體ヲ
以テ被覆セラレ、窓、出入口其他ノ口カ密閉セララルル装置ナルトキハ、庫内ハ密閉ノ際ニ於ケル

状態ヲ永ク保ツコトヲ得ヘシ、而シテ之ニ附屬シテ溫度及濕度ノ調節機 (Air Conditioning Machine)ヲ用フルトキハ、穀物貯藏ノ如何ナル要求ヲモ充シ得ヘシ、唯建築費ハ稍多額ヲ要スル缺點アリ、農村穀槽ニテモ一萬石收容ノモノニテ三萬圓乃至五萬圓ヲ要スル(機械共)モ、之ニ依リテ蟲菌害、鼠害ヲ防クコトヲ得、萬一卵、幼虫等ヲ發見セハ、二硫化炭素、「クロールピクリン」「ホルマリン」等ヲ吹入ル、必要アレト、是亦密閉スルトキハ容易ニ行フコトヲ得ベシ、尤モ風火震水災ノ如キハ開放ト異ル所ナキヲ以テ、其材料、基礎工事、設計、工事監督等ニ注意スル外、防禦ノ途之ナキモノトス。

密閉倉庫ニハ(一)冷蔵倉庫ト(二)穀槽トノ二種アレド、更ニ穀物倉庫ヲ出入方法ニ依リテ區別スルトキハ(一)包裝穀物ヲ貯藏スル爲メ、普通倉庫ニ密閉裝置ヲ施セル我邦新國立倉庫ノ如キモノ、(二)散荷ノ穀物ヲ貯藏スル爲メ普通倉庫ニ密閉裝置及穀類運搬裝置ヲ設ケタル、獨逸「オストハーフエン」穀物倉庫ノ如キモノ、(三)散荷ノ穀物ヲ貯藏スル爲メ特別ノ「ビン」ヲ設ケ、之ニ運搬裝置ヲ加ヘタルモノ、即チ米國ノ穀物倉庫ノ如キモノ、三種ト爲スコトヲ得、是等ノ優劣ハ穀物及其取扱方、販路、習慣等ニ依リテ同シカラサレトモ、包裝セルマ、永ク貯藏スルコトハ、種々ノ弊害ヲ生ジ、例ヘハ燻蒸ノ如キモ效力ヲ減シ、多クノ時間ヲ要シ、倉庫ノ收容力ヲモ減少セシ

ム、現ニ米ノ俵積ト散積トヲ比較スレハ、三十石ニ對スル六十六石ナリト云フ、然ルニ我邦ニ於テハ古來俵積ノミヲ用ヒ、散積ハ粗ニ之ヲ行ヒ、稀ニ玄米ニ應用スルコトアルノミナリ、其原因ハ想フニ(一)倉庫カ不完全ニテ散積ニ適セサルコト、(二)包裝ヲ急速ニシ取引ニ間ニ合セ難キコト、(三)時々改装スルノ不經濟ナルコト、(四)船車ノ設備不完全ニテ散荷ノ輸送ニ適セサルコト、(五)藁ハ米ノ副産物ナルユヘ、俵ヲ造ルコトヲ廢物利用ト考ヘタルコト等ナレトモ、倉庫並ニ船車ノ設備ヲ改良スルトキハ、散積ノ利益ヲ擧グルコトヲ得ルヲ以テ、今後ハ此方針ニ向テ進ムヲ得策トス、散積ニテモ穀物運搬具其他ノ附屬設備ヲ用フルトキハ、僅少ナル經費ヲ以テ短時間ニ出入スルコトヲ得ヘク、又自働秤量機、袋縫機械ヲ用フレハ、袋詰ノ必要ヲ生シタルトキハ直ニ之ヲ行フコトヲ得ヘシ、米國ニ於ケル或實例ニ依レハ、一臺ノ機械系統ニ依リ、一時間ニ約六十袋ノ穀物ヲ穀槽ヨリ出シ、之ヲ秤量シ、且ツ車積ニ爲セリト云フ、唯我邦ノ米ハ品質區々ニシテ、色澤香味ノ差別ヲ重ニスル習慣アルヲ以テ、小麥(原料品)ノ如ク容易ニ混合保管ヲ行ヒ難キ缺點アレト、品質ノ改良統一ト格付ノ公正トニ依リテ、此種ノ缺點ハ或程度マテ除クコトヲ得ヘシ。

(三)農業倉庫ノ保護及監督 農業倉庫ハ公益的性質ヲ有スルヲ以テ、種々ノ保護ヲ加ヘラル、ト同時ニ、業務上ノ監督、制限アリ、即チ次ノ如シ。

(甲)保護 ノ方面ニハ(一)建築費ノ補助、(二)諸税金ノ免除、(三)資金ノ融通及(四)名稱ノ独占、(五)業務上ノ特典等種々アリ、經營者ヲ制限シ、私人又ハ會社ノ經營ヲ許サ、ルカ如キモ、亦消極的ノ保護ト觀ルコトヲ得ヘシ。

(1)建築費ノ補助 ニハ(一)政府カ交付スル場合ト(二)道府縣カ交付スル場合トノ二種アリ、國費ノ補助ハ農業倉庫獎勵規則(大正六年八月農商務省令第十六號ニテ發布、昭和三年六月農林省令第八號ニテ改正)ニ依リテ交付セラル、即チ新築、増築、改築、若クハ移築シ、又ハ買入レントスル場合ニ於テ、道府縣カ交付スル補助金ニ對シ、ソレ等ノ費用ノ四割以内ニ於テ、道府縣ニ交付シ、道府縣ノ補助金ノ四倍ヲ超エサルモノトス(聯合農業倉庫ニハ之ヲ適用セサルコトアリ)。

(二)獎勵規則又ハ獎勵金交付ノ條件ニ違反シタルトキ、(二)成績不良ナルトキ、(三)道府縣カ獎勵金ノ殘額ヲ繰延交付ノ見込ナキトキハ、全部又ハ一部ヲ返還セシム、但シ實際ノ結果ヲ見ルニ、補助金ヲ受ケタル割合ハ、國ト府縣トヲ合セテ建築費ノ三分ノ一内外ナルカ如シ。

(2)諸税金ノ免除 ニモ(一)國稅タル所得稅、營業收益稅及營業稅ヲ免除スル外、(二)倉庫ノ敷地ニ關スル取得稅ヲ免除スル規定アリ、更ニ(三)印紙稅法(昭和二年改正)ニ於テ農業倉庫證券ヲ免稅スルコト、爲セリ、此外府縣ニ於ケル検査員ノ派遣手數料ノ免除又ハ輕減アリトス。

(3)資金ノ融通 産業組合トシテ借入ル、低利資金ノ外、農業倉庫トシテノ低利資金、産業組合中中央金庫ノ資金、簡易保險積立金等ヲ利用シ得ルノ便アリ。

(4)名稱 農業倉庫ナル名稱ハ、他ノ倉庫ニ許サス、其發行スル證券以外ノ倉庫證券ニハ、農業倉庫證券ナル文字ヲ用フルコトヲ許サ、ル規定ナリ。

(5)業務 組合員以外ノ者ノ爲メニ貸付以外ノ業務ヲ行フコトヲ許シタルハ、亦一種ノ特典ニシテ依テ以テ倉庫ノ利用ヲ補ヒ、收支ヲ償ハシメンカ爲メニ外ナラス。

(乙)義務ト監督 農業倉庫業者ハ、之ヲ設立スルニ當リテ業務規程ヲ具シ、行政官廳ノ認可ヲ受クルヲ要ス、認可申請書ニハ、敷地、建物、設備、收支概算等ヲ記シタル書類ヲ添ヘ、業務規程中ニハ(一)保管物品、(二)保管ノ順位、(三)保管方法、(四)保管料、(五)保管期間、(六)出入庫(七)證券發行、(八)混合保管ヲ行フトキハ、其範圍ト返還法等ヲ規定スルコトヲ命シ、是等ヲ變更セントスルトキハ、亦認可ヲ受クルヲ要ス。

行政官廳カ公益上必要ト認メタル場合ニハ(一)穀物又ハ繭ノ保管ヲ爲サシメ(二)受寄物ノ検査其他ノ行爲ヲ命スルコトヲ得、而シテ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ、書類、帳簿、業務財產ノ狀況ヲ検査シ、其他監督上必要ナル命令、處分ヲ爲スコトヲ得、次ノ場合ニハ事業ノ停止ヲ命シ、又ハ認可ヲ取消スコトヲ得ルモノトス。

(イ)業務執行又ハ財産ノ狀況ニ依リ、事業ノ繼續ヲ困難ナリト認メタルトキ。

(ロ)法令又ハ業務規程ニ違反シタルトキ。

(ハ)公益ヲ害シ、又ハ害スル虞アリト認メタルトキ。

此他法人ノ理事又ハ之ニ準スヘキ者カ農業倉庫法、又ハ之ニ據ル命令若クハ處分ニ違反シタルトキハ、十圓以上千圓以下ノ罰金ニ處ス。

(四)聯合農業倉庫 從來各町村ニ於テ小規模ノ倉庫ヲ建設シ、其數年ト共ニ増加スルモ、米穀ノ主要集散地ニ於テハ、規模大ニシテ資力ノ豊富ナル倉庫ヲ設クルノ必要アリ、從來產業組合ノ聯合會ハ、聯合會ニ於テ農業倉庫ヲ設立シ得ヘク、法規ノ改正ヲ望ミ居リタルカ、十五年ノ改正ニ於テ、之ヲ許スコト、爲セリ、但シ一般的ノ農業倉庫業ハ、單ニ籾ノ販賣ヲ目的トスル販賣組合ノ聯合會ニ限り、而モ共同籾倉庫及共同籾乾籾裝置助成規則ニ依リ助成金交付ノ資格アルモノニ止メ、普通ノ聯合會カ營ム倉庫ニ於テハ、再保管ヲ營マシムルコト、爲セリ、是レ主トシテ普通ノ農業倉庫ヲ壓迫スルノ虞アリタルニ由ルト云フ。

聯合倉庫ノ營ム業務ハ、原則トシテ普通ノ農業倉庫カ保管スル穀物及籾ヲ再保管スルニ在ルモ、他ノ聯合倉庫ノ寄託ヲ受ケタル物品モ亦之ヲ保管(第三次ノ保管)スルコトヲ得、又(一)保管ニ支障ナキ場合ニ限り、(二)業務規程ノ定ムル所ニ依リ、次ノ保管オモ行フコトヲ得ヘシ。

(1)農業倉庫カ寄託者ノ種類ト貨物ノ種類トニ拘ラス、寄託ヲ受ケタル物品、例ヘハ商人カ寄託シタル薪炭、雜貨ノ如シ。

(2)農業倉庫ヲ經營セサル普通ノ販賣組合若クハ販賣組合聯合會ノ販賣スル物品ニシテ、貨物ノ種類ニ制限ナク、直接寄託ヲ受クルモノナリ。

(3)他ノ聯合倉庫カ寄託ヲ受ケタル(2)ノ物品ノ再保管ヲ行フコト。

此他保管以外ノ調製、改装、荷造、運送又ハ販賣ノ仲立、取次、貸付オモ行フコトヲ得ヘシ、貸付ニ付テハ(一)自己ノ證券ニ對シ(二)受寄物ヲ他ノ聯合倉庫ニ再寄託ヲ爲シタル場合ニ、其聯合倉庫證券ニ對シ、(三)他ノ農業倉庫又ハ聯合倉庫カ擔保トシテ受入レタル農業倉庫證券又ハ聯合農業倉庫證券ヲ擔保トシテ行フコトヲ得、(三)ハ即チ再擔保ニ外ナラス。

農業倉庫業者カ、受寄物ヲ聯合倉庫ニ寄託セントスル場合、自ラ發行シタル證券アルトキハ、先ツ其裏書ヲ禁止シタル後之ヲ行フヘキ規定ニシテ、若シ此證券ヲ質入シタル後ナルトキハ、質權者ノ承諾ヲ求メサルヘカラス、斯クテ再保管カ成立スルトキハ、最初ノ寄託者(又ハ證券所持人)ト農業倉庫トノ關係ハ消滅シ、直接ニ聯合倉庫ニ寄託セルコト、爲ルナリ、畢竟法律關係ノ複雑ヲ避ケンカ爲メニシテ、若シ聯合農業倉庫證券ノ發行ヲ求メントスルトキハ、此裏書禁止ノ證券ヲ提出シ、證券ヲ發行セサルトキハ、農業倉庫ノ「之ナシト云フ證書」ヲ差出サ、ルヘカラス、是レ同一寄託物ニ對シ重複ニ證券ヲ發行スル弊ヲ避ケンカ爲メナリ。(法第二十二條乃至第二十四條)

第四章 英國ノ倉庫業

第一節 緒説及入庫手續

(一) 緒説 國家カ倉庫ノ行フ營業ノ範圍ヲ律スル主義ニ二種アリ、干涉主義及ヒ自由主義即チ是レナリ、干涉主義ハ或ハ國家ノ免許ヲ得サレハ開業スルコト能ハストシ、或ハ相當ノ保證金ヲ提供セシメ、其他業務ノ種類、兼業ノ許否ニ、倉庫業者ノ賣買、又ハ貸出禁止ニ、保管料ノ高低ニ、火災保險ノ強制ニ、些末ノ事項マテモ干涉スルモノナレトモ、自由主義ハ設立、保證金其他ニ於テ、大體上倉庫業者ノ任意ノ撰擇ニ委スルモノトス、英國ノ如キハ概ネ此自由主義ニ屬スルモノナレト、千九百八年倫敦港條例ニ依リテ組織セラレタル倫敦港務局 (Port of London Authority) ハ次ノ十倉庫ヲ會社ノ手ヨリ收メテ、自ラ之ヲ管理スルコト、シ、隨テ保管料、荷役賃等モ亦法規ニ依テ之ヲ定メ、從來公認「ドック」倉庫會社、外部ノ倉庫業者、埠頭所有者(一種ノ保管業者)間ニ行ハレタル料率ノ競争ハ、變シテ港務局對私設倉庫ノ競争ノミト爲リ、是レ斯拉漸次消滅シテ、劃一ノ料率ヲ收ムルノ傾向ヲ生シタリト云フ。

港務局ハ官公署ノ一部ニアラス半官半民ノモノナリ

London, St. Katherine, Victoria, Royal Albert, Millwall, East India, South West India, Tilbury Surrey, Commercial.

佛、埃、其他大陸諸國、米國ノ一部ニテハ尙ホ干涉主義ヲ存スト云フ。

英國ノ倉庫ハ商法施行前ノ我邦ニ於ケルカ如ク預證券一葉ヲ發行シテ、以テ賣買質入双方ニ使用セシムルモ、預證券ノミニテハ、到底金融上満足ナル便宜ヲ得ル能ハス、賣買證券及「ウエートノート」ノ如キ、補助的證券ヲ發行シテ以テ之ヲ助クルカ故ニ、事實上二枚證券主義ニ類スルカ如キ結果ト爲リ居レリ、此ノ如ク英國カ一枚主義ヲ守ル所以ハ、英國ハ倉庫證券ニ關スル特別ノ歴史ヲ有スルト、英國流モ亦一長所ヲ有スルカエヘナリ。

(二) 入庫手續 英國倉庫ノ入庫手續モ、會社ノ異ナルニヨリ、多少ノ差異ナキニアラサレト、今普通倫敦ニ行ハル、方法ヲ見ルニ、預主カ先ツ「庫入申込書」(Entry)ニ必要ノ事項ヲ記入シテ、貨物ト共ニ倉庫ニ送附スルトキハ、倉庫ハ検査ノ上庫入シ、之ニ依リテ臺帳ニ記入シ、別ニ貨物ノ種類、數量、番號等詳細ノ事項ヲ記載シタル、「倉庫領收證」(Dock Tally)ヲ渡スヘシ、然レトモ大規模ノ輸入商店ニテハ、通常二枚續キノ「申込書」(Indent)ヲ印刷シ置キ、其一方ヲ申込書ニ充テ他ノ一方ハ、倉庫會社ヲシテ捺印ノ上返附セシメ、以テ貨物ノ領收證ニ供スト云フ、而シテ此ノ種ノ領收證ハ、我邦ノ禁流通貨物預證書(單純ナル預リ證)ノ如ク、單ニ保管貨物ニ對スル債權的效力、即チ引渡請求權ヲ證明スルノ具ニ過キササルヲ以テ、之ニ依リテ貨物ヲ讓渡スコトヲ得ス。貨物ノ賣買等ハ必ラス物權的效力ヲ有スル預證券ニ依ラサルヘカラサルコト、猶ホ我邦ノ倉庫證券ニ於ケルカ如シ、尤モ領收證ノ所持人ハ、出庫指圖書ヲ發行シ、之ニ依リテ貨物ヲ讓渡シ得ル

コト、後ニ述フル所ノ如シ。

第二節 預證券

(一) 預證券ノ性質 單ニ貨物ノ保管ヲ託シ置クノミナルトキハ、右ノ如ク單純ナル領收證ヲ受取リ置ケハ、ソレニテ可ナルモ、若シ其寄託物ヲ賣却セントセハ、之ヲ返附シ、更ニ其旨ヲ述ヘテ「預證券」(Warrant)ノ交付ヲ乞ハサルヘカラス、預證券ニハ左ノ雛形ノ如ク、其倉庫カ預主ヨリ之ニ記載セル貨物ヲ預リタルコト、並ニ預主ノ指圖人又ハ其讓受人ニ、之ヲ引渡スコトヲ記載シアルヲ以テ、全ク貨物ヲ代表スルコト、爲ルナリ、而シテ此證券ハ時ニ「讓渡證券」(Transfer Order)ト稱スルコトアルモ、是レ主トシテ一個人ノ倉庫業者カ發行シタルモノヲ指スカ如シ。

Specimen of a dock warrant.
LONDON & ST. KATHERINE DOCKS COMPANY,
NEW STREET WAREHOUSES.

No. 625. Dated this 9th day of November, 1929.
WARRANT for Thirty Chests Indigo, imported in the s. s. *Indiana*, Capt. James Taylor, from Bombay, entered by Henry Green & Co. on the 7th November, deliverable to Henry Green & Co. or Assigns by endorsement hereon. Rent commences on the 7th November, and all other charges from the date of this Warrant.

Mark.	Numbers.		Weight.			
			Gross.		Tare.	
	Original.	Dock.	cwt.	qrs.	lbs.	lbs.
	<i>Particulars according to the above headings.</i>					

Teiger 20; Folio 450.

P. Brown, Warrant clerk.

J. White, Clerk

LONDON & ST. KATHERINE DOCKS Co.

右和譯

預證券種類形

倫敦セントカザリン倉庫會社

「ユニュー・ストリート」倉庫

千九百二十九年十一月九日

六二五號
十一月七日「ヘンリー・グリーン」商會庫入汽船「オンデ」アナ「船長」デュームス、ラー
「」ニテ買ヨリ輸入品。渡先「ヘンリー・グリーン」商會又ハ其裏書讓受人。監發拾箱預
證券。保管料十一月七日ヨリ起算。其他諸掛ハ當預リ證券ノ日附ヨリトス。

荷印	番	號	重		量	
			總	本	封度	封度
元番號	倉庫番號					
	以上ノロ					

一クスターニ二八
封度
一本ニ四クスター
一本ニ十三貫五四
七匁
本は「ヘンリー・グリーン」

元銀二〇、四五〇圓

書記 「ビー、ブラクソン」

預證券掛 「ビー、ブラクソン」

倫敦「セント。カザリン」倉庫會社

(二)預證券ノ運用

英國ニ於テ貨物ヲ代表スルモノハ、預證券一葉ノミナルヲ以テ、一方ニ於テハ之ヲ賣買讓渡ニ使用セシムルト同時ニ、他方ニ於テハ質入擔保ニ供セシメ、マタ質入貨物ヲ賣却セントスル時ハ、後ニ述フル「ウエート、ノート」及ヒ賣買證券ト交換セシムルノ定メニシテ、寄託主若シ寄託セントスル貨物ヲ分割セントセハ、最初預入レノ時ハ固ヨリ、既ニ預證券ヲ受取リタル後ニ至リテモ、便宜幾口ニモ分チ、各別ニ預證券ヲ請求スルコトヲ得ルモノトス、而シテ此等ノ小口預證券ハ、専ラ賣買ノ目的ニ供セラル、モノナルヲ以テ、普通之ヲ呼ンテ賣買證券(Sale Warrant)ト云ヒ、此種ノ證券ハ日々市場ニ持出シテ賣買セラル、カ故ニ、其代價モ亦相場表ノ中ニ記載セラル、ヲ見ルヘシ、例ヘハ羊毛預證券(Wool Warrant)相場何程、棉花預證券(Cotton Warrant)何程等ハ、倫敦經濟雜誌紙上ニモ常ニ掲載セラル、カ如シ。

Specimen of a sale warrant.
LONDON & ST. KATHERINE DOCKS COMPANY,
 NEW STREET WAREHOUSES.

No. 625.
 Dock Lot 85.

Dated this 15th day of November, 1920.

Prompt 30th November,
WARRANT for Thirty Chests of Indigo, imported in the s.s. *Indiana*, Capt. *James Taylor*, from *Bombay* entered by *Henry Green & Co.* on the 7th November, deliverable to *Henry Green & Co.*, or Assigns by endorsement hereon, subject to the undermentioned condition. Rent commences on the 7th November and all other charges from the date hereof.

Mark.	No.	Gross.		Tare.		Mark.	No.	Gross.		Tare.	
		cwt.	qrs.	lbs.	cwt.			qrs.	lbs.	cwt.	qrs.
<i>Particulars of the goods according to the above headings.</i>											

A Weight Note for the above goods has been issued, and no delivery will be made under this Warrant prior to the expiration of the above-named prompt without the production of such Weight Note. The possessor of the Weight note is entitled to this Warrant upon payment of the balance of the Purchase Money as expressed on the Weight Note, any time before the expiration of the prompt.

After the expiration of the Prompt the Weight Note will be of no validity.

Ledger 12; Folio 165.
J. White, Clerk.
P. Brown, Warrant Clerk.

LONDON & ST. KATHERINE DOCKS Co.

右和譯

「セールウケラント」印形

倫敦セントカザリン倉庫會社

六二五號
 倉荷八五

「ニユーストリー」倉庫
 相對ノ延ニラ賣捌キタル貨物

千九百二十九年十一月十五日

仕拂期日十一月三十日
 十一月七日「インクロー」商會庫入。其船「インクロー」號(乗組船長「インクロー」ニテ孟買ヨリ輸入品「インクロー」カ「インクロー」商會又ハ其賣捌受人へ、下記ノ條件ニ從ヒ引渡スヘキ蓋參拾箱預證券、保管料十一月七日ヨリ起算其他諸掛ハ當日附コトス

荷	印	番號	重		荷	印	番號	重	
			總	風				總	風
			本	ノガニ封度				本	ノガニ封度
			以上ノロケニ貨物ノ				明細ヲ認ム		

以上ノ貨物ニ對シテ「ウエート」ヲ發行シテ「ウエート」ヲ前掲ノ支拂期日前ハ右「ウエート」ヲ呈示セサルハ此預證券ヲ以テ發出チ爲ス事ヲ得ヌ。「ウエート」ノ所持人ハ支拂期限内何時タリトモ「ウエート」ニ認メタル通リ買入代金ノ殘金ヲ支拂フテ此預證券ヲ請求スルコトヲ得

支拂期日後ハ右「ウエート」ハ無効タルヘシ。

元帳一、二、一、六五頁
 預證券掛(ビー、アラカソ)

倫敦セントカザリン倉庫會社

(三) 寄託貨物ノ賣買及出庫

會社カ寄託貨物ニ對シ、單ニ倉庫領收證ヲ交付シタル場合ニ於テ

ハ、何人ニテモ荷主ノ出庫指圖書 (Delivery Order) ヲ呈示スル者ニ貨物ヲ引渡スノ定メナルヲ以テ、荷主ハ之ヲ以テ寄託貨物ヲ賣却スルコトヲ得ヘク、讓受人ハ之ヲ呈示シテ、更ニ自己ノ名義ノ領收證ヲ乞ヒ受ケ、便宜新ニ其指圖書ヲ發行スルコトヲ得ルカ故ニ、貨物ノ所有權ハ此場合ニ於テモ亦預證券發行ノ場合ノ如ク、容易ニ移轉セラル、ヲ見ルヘシ。

英國ノ出庫指圖書ナルモノハ、其性質元我邦ニ於テ使用セシ藏出報告 (或點ハ現今諸倉庫ノ使用シ居ル貨物受取證) ニ當リ、倉庫會社ニ對シ、寄託物ヲ記名人、其指圖書人、又ハ所持人ニ引渡スヘキ旨ヲ依頼セル用紙 (通常印刷シアリ) ニシテ、「何某又ハ所持人ヘ」ト記載セル所謂、持參人渡ノモノハ、素ヨリ裏書ノ必要ナケレト、指圖書ノモノハ爲替手形ト同シク、裏書ニ依リ讓渡ヲ爲スヘキコト、我邦ノ倉庫證券ト異ナラス、尙ホ英國ニテハ指圖書ニハ、一片ノ印紙ヲ貼用スヘキ規定アリ、普通用ヒラル、書式ハ左ノ如シ。

DELIVERY ORDER.
TO THE EAST INDIA DOCK Co., LONDON, 27th Jan, 1929.

Please deliver to Messrs. Ruse & Co., Limited, or Order
5 bags Tapioca marked A J C.
10 " Rice marked E A R.
ex. str. "Minnesota," Rangoon.
Toussend, Flecher & Co.

右和譯

出庫指圖書

倫敦東印度倉庫會社御中

倫敦一九二九年一月二十七

下記ノ貨物「ルース」商會又ハ同店指圖書先へ御渡被下度候

「タビオカ」 五袋 荷印 A J C.

米 十袋 " E A R.

蘭實發汽船「ミンキソタ」號揚ケ
「タクンセンポフベチナー」商會

倉庫會社カ預證券ヲ發行シタルトキハ、之ヲ呈示スルニアラサレハ、貨物ヲ引渡スコトナキヲ以テ、證券所持人ハ之ニ依ル外貨物ヲ讓渡スコトヲ得ス、又賣買證券ノ外別ニ「ウエイト、ノート」ヲ交付シタルトキハ、兩證券ヲ差出スニアラサレハ出庫ヲ許スコトナキモノトス。

寄託貨物ハ全部ト一部トヲ問ハス、隨意ニ引出シ得ルコト勿論ニシテ、預證券ヲ發行セザルトキハ、出庫指圖書ニ所要ノ高ヲ記入シ、何時ニテモ引出スコトヲ得レトモ、預證券、賣買證券「ウエイト、ノート」等ヲ交付シタルトキ内出ヲ爲サントセハ、預主ハ一旦之ヲ返附シ、更ニ殘部ニ對スル證券又ハ「ノート」等ノ交付ヲ求メサルヘカラス、是レ我邦ノ如ク同一證券ノ裏書ニ依リテ、一部出庫ヲ許スモノト趣ヲ異ニスル所ニシテ、一見不便ナルカ如キモ、法律關係ヲ簡單ナラシムルノ利アリ。

第三節 「ウエイト、ノート」及「ロット、ノート」

「ウエイト、ノート」(Weight Note)ト「ロット、ノート」(Lot Note)ハ名ヲ異ニスルノミニテ、實際ノ性質上別ニ差異アルモノニアラス、孰レモ倉庫會社カ預證券所持人ノ請求ニ依リ、其證券ノ代表スル、一團ノ保管貨物ニ對シ發行スル證券ニシテ、競賣若クハ質入貨物賣却ノ際ニ其必要ヲ見ルモノナリ。

英國ニテ盛ンニ行ハル、庫入貨物ノ競賣ハ、普通其代金ノ一部ヲ後拂ト爲スノ習ヒニシテ、此間

賣主ハ買主ニ對シ、期日ニ至リテ殘金ヲ請求スルノ權利ヲ有シ、買主ハ又賣主ニ對シ、殘金引換ヘニ預證券ノ交付ヲ求ムヘキ權利ヲ有スルコト、爲リ、預證券ノ性質曖昧ト爲リテ、到底此間ノ關係ヲ明カニシ、貨物ノ轉帳ニ便ナル能ハサルヲ以テ、賣主ハ買主ノ爲メニ、自己カ倉庫ニ對シテ有スル權利ヲ制限スル爲メ、「ウエイト、ノート」ナル證券ヲ乞ヒ受ケ、之ニ署名シタル後、直接ニ又ハ仲立人ノ手ヲ經テ、之ヲ買主ニ交付スルモノトス、此證券ニハ雛形ニ示スカ如ク、預證券ニ依リテ貨物ニ關スル事項ヲ記載シ、且ツ預主自ラ「買主カ賣買ノ條件ニ從フトキハ、ソレニ記載セル貨物ニ對シ、會社ノ發行シタル預證券ハ、買主ノ爲メニ支拂期日マテ保有スヘキ」旨ノ約款ヲ附記シ、倉庫ハ別ニ「此證券ノ所持人ハ、貨物ノ引渡ヲ求ムルノ權利アルモ、此場合ニハ之ニ相當スル預證券ヲ添附スヘキ旨」ノ注意ヲ加ヘ置クナリ。

而シテ一方ニ於テハ、倉庫ハ「ウエイト、ノート」發行ト同時ニ、賣主ノ所有セル原預證券ヲ賣買證券(Sale Warrant or Trade Warrant)ニ引換ヘ、此證券ニモ亦前述ノ如ク、「ウエイト、ノート」ヲ發行シタルヲ以テ、支拂日(Prompt Day)前ハ、之ニ伴フ「ウエイト、ノート」ヲ呈示スルニアラサレハ、證券引換ニ貨物ヲ引渡スコトナキ旨ヲ記載スルモノトス。

(註一)「ロット、ノート」ハ絹製品、陶器、肩掛ノ如キ個數計算ノ商品ニ對シ發行スル、一種ノ「ウエイト、ノート」ニシテ又別ニ「ゲージ、ノート」(Gauge Note)ナル「ウエイト、ノート」アリ、酒精類ノ如キ、容器ノ内容ヲ測リテ賣買スルモノニ用ト。

(註二)競賣(Auction)ノ諸種ノ物品又ハ不動産ニ就テモ盛ンニ行ハル、倫敦ニ於ケル有名ナル競賣場ハ Mining Lane (Mining Lane) 英國ノ倉庫業「ウエイト、ノート」及「ロット、ノート」 二七九

名)ノ倫敦商品販賣所 (London Commercial Sale Rooms) ニシテ、年々認可料數十磅ツ、ヲ納メ、特許ヲ得タル競賣人 (Auctioneer) ニ依リテ行ハル、競賣人ハ毎日一定ノ時刻ニ於テ、豫メ公表シタル競賣規約 (Conditions of Sale) 商品目錄、及ビ見本ニ依リテ、競賣ヲ開始シ、普通ハ本邦ニ於ケルカ如ク、買手ヲシテ、値段ヲ羅リ上ラシメ、最高價ヲ附セル者ヲ以テ買手トス、(競賣人、先ツ最高價ヲ附シ漸次、自ラ低下シ、買手ノ現ハル、ヲ待ツ法アリ、之ヲ和蘭競賣ト云フ) 斯クテ買手定マレハ、買手ハ買入代金ノ一部及ヒ競賣手数料 (Lot Money) ヲ支拂ヒ、其後普通二週間以内 (此期間ヲ Promptly 云フ、之ヨリ長キモノモアリ、長キハ六ヶ月ニ及フ) ニ殘金引換ニ貨物ヲ受取ルコトヲ得ルモ、其間ニ他ニ競賣スル者少カラス、此契約期間(競賣公告ニ記載シアリ)ニ殘金ヲ支拂ハサルトキ、手附金ハ沒收セラレ、貨物ハ其危險及計算ニ於テ、再ヒ競賣セラレ、モノトス。

此種ノ競賣ハ東印度會社時代ヨリ行ハレタルモノニテ、「ウエイト、ノート」ハ買手ノ此場合ノ權利ヲ證明センカ爲メニ作ラレタルモノナリ、入庫品ノ賣捌方法ハ(註三)ヲ見ヨ。

(註三) 英國ニ於テ倉庫ノ單純ナル受取證ヲ發達セシメテ、賣買ニ便ナル預證券ト爲シ、マメ「ワラント」ト「ウエイト、ノート」トカ各自目的ヲ異ニシテ流通スルニ當リ、種々ノ點ニ於テ媒介上ノ便ヲ與フルモノハ、即チ仲立人 (Broker) ニシテ仲立人ハ英國ノ倉庫制度ト密接ノ關係ヲ有ス。仲立人ハ曾ニ賣買ヲ周旋スルノミナラス、又銀行ノ如ク貸付ノ補助ヲモ爲ス、即チ仲立人ハ貨物賣却前寄託物ノ價格ノ四分ノ三ヲ限度トシテ貸出ヲ爲シ、之ニ對シ「ワラント」ヲ預リ置キ、「ウエイト、ノート」ノミヲ寄託者ノ手元ニ存セシム。寄託者後ニ至リ貨物ヲ賣却セムトスル時ハ、仲立人ヲシテ買主ヲ捜サシメ之ニ「ウエイト、ノート」ヲ引渡スモノトス。斯クテ買主ハ買受價格ノ二割乃至二割五分ヲ仲立人ニ仕拂ヒ、仲立人ハ更ニ之ヲ賣主ニ交付スヘク、後、仲立人ト賣主トノ間ニ於ケル精算アリテ、此取引ノ終了ヲ告グルモノトス。而シテ買主ハ卅日乃至九十日ノ期間ニ(延拂ヒニテ之ヲ「プロンプト」ト云フ) 殘金ヲ仕拂フ管ニテ、此期日及手附金、殘金等ハ仲立人ニ依リテ「ウエイト、ノート」ニ記載セラレ、モノナルカ、若シ買主仕拂ヲ爲サ、ルトキハ、手附金ハ勿論貨物上ノ權利ヲ喪失スヘシ。恰モ「ワラント」ノ仕拂期日即チ最初寄託者ノ借入レタル金額ヲ其期日ニ仕拂ハサルトキハ、債務者カ貨物上ノ權利ヲ失フカ如シ。

或ハ先ツ入庫品ヲ賣却シ、賣買成立後三日以内ニ、仲立人若クハ賣主ハ倉庫ヨリ「ウエイト、ノート」及ヒ「セール、ワラント」ヲ乞ヒ受ケ、手附引換ニ、「ノート」ヲ買主ニ交付シ、「ワラント」ニ依リテ仲立人又ハ銀行ヨリ借金スルモノアリ。

斯クテ「ウエイト、ノート」ヲ得タル買主ハ、我カ邦ニ於ケル質權設定後ノ預證券所持人ト同様ナル資格ヲ有スルヲ以テ、更ニ第二ノ買手ヲ求メ、此ノ證券ニ裏書シテ右ノ權利ヲ讓渡スコトヲ得ヘク、又一方ノ賣主ハ我邦ノ質權者ト同シク、代金皆濟マテハ其貨物ニ對スル完全ナル權利ヲ與フルコトナシ、而シテ其期日若クハ其以前ニ於テモ、買主カ約定代金ノ支拂ヲ了セハ、賣手ヨリ正式ニ裏書シタル賣買證券ヲ受取り、茲ニ完全ナル所有權ヲ得テ、爾後自ラ貨物ヲ出庫スルモ、又ハ新ニ自己ノ名義ニ書キ換ヘタル預證券ノ交付ヲ求ムルモ、一ニ所有者ノ意ノマ、ナリト雖モ、若シ滿期ニ至ルモ尙ホ支拂ナキトキハ、「ウエイト、ノート」ハ無効ニ歸シ、賣手ハ貨物ニ關スルスヘテノ權利ヲ恢復シ、且ツ最初買手ノ支拂ヒタル一部ノ代金ヲ沒收スルモノトス。

「ウエイト、ノート」ノ雛形左ノ如シ。

Specimen of a weight note
LONDON & ST. KATHERINE DOCKS COMPANY,
NEW STREET WAREHOUSES.

Dock Lot 85.
 Prompt 30th November,

Goods sold by private contract.

Dated this 15th day of November, 1909.

WEIGHT NOTE for Thirty Chests of Indigo, imported in the s.s. "Indiana," Capt. James Taylor, from Bombay entered by Henry Green & Co. on the 7th November, Warrant issued to Henry Green & Co., subject to the undermentioned conditions. Rent commences on the 7th November, and all other charges from the date hereof:

Mark.	No.	Weight.				Mark.	No.	Weight.					
		Gross.		Tare.				Gross.		Tare.			
		cwt.	qrs.	lbs.	cwt.	qrs.	lbs.	cwt.	qrs.	lbs.	cwt.	qrs.	lbs.
<i>Particulars of the goods according to the above headings.</i>													

A Warrant for the above goods having been issued, no delivery will be made prior to the expiration of the above-named prompt without the production of such Warrant and this Weight Note. The holder of this Weight Note is entitled to the Warrant upon payment of the balance of the Purchase Money at any time before the expiration of the prompt.

After the expiration of the Prompt the Weight Note will be of no validity.

Entered: J. White, Clerk.

Entered: J. White, Clerk.

We engage, after receiving the deposit-money to deliver to *Mr. Thomas Fox*, or Order, the Warrant issued by the Company for the above-mentioned goods, upon his paying the balance of the purchase-money before the expiration of the Prompt.

Signature of the Buyer: Thomas Fox.

Henry Green & Co.

「ウエイトノート雛形」

倫敦セントカザリン倉庫會社
「ニューズトリート」倉庫
 相對ノ延ニテ賣捌キタル貨物

荷口……五八號

在拂期日十一月三十日

十一月七日「ヘンリーグリーン」商會庫入汽船「イアンキア」號(乗組船長「チエーラス・デーラー」)ニテ五買ヨリ輸入品.蓋參拾箱「ウエイトノート」. 預リ證券ハ下記ノ條件ニ準シ「ヘンリーグリーン」商會宛ニテ發行.保簿料十一月七日ヨリ起算其他諸掛ハ當日付ヨリス.

千九百二十九年十一月十五日

荷	印	番號	瓜		袋		荷	印	番號	重		量	
			本	封度	本	封度				本	封度	本	封度
以上ノロカニ貨物ノ明細ヲ記入ス													

以上ノ貨物ニ對シテハ預リ證券ヲ發行シテ前掲ノ在拂期日前ハ該預リ證券及此「ウエイトノート」ヲ共ニ呈示セサレバ藏出ヲ爲スコトヲ得ス. 此「ウエイトノート」ノ所持人ハ在拂期限内何時カリトモ買入代金ノ殘金ヲ支拂ヒテ預リ證券ヲ所有スルコトヲ得. 在拂期日後ハ此「ウエイトノート」ハ無効タルヘシ.

元帳一、二、一六五葉
 當商會ハ内金領收致候ニ付會社ヨリ上記貨物ニ對シテ發行シタル預リ證券ハ「トーマス・グリーン」商會
 へ支拂期日前約定代金ノ殘額御支拂相成候得者無相違御渡申可候
 買主 記名 「トーマス・グリーン」

第四章 裏書及質入

(一)裏書 凡ソ預證券・出庫指圖書、「ウエート、ノート」等、總テ倉庫ニ關スル書類ノ讓渡ハ、我邦ノ如ク皆裏書ニ依ラシムルノ定メニシテ、其書方ハ證券ノ裏書ニ「表記ノ貨物……殿ニ御渡相成度候」(Hold the within at the disposal of……)等ノ文句ヲ認メ、其下部ニ讓渡人自ラ署名スルモノトス、而シテ此裏書モ亦記名式(Special)カ、所持人へ(Is Bearer)ト云ヘル白地式(Blank)カ孰レニテモ可ナレトモ、普通最モ多ク用キラル、ハ白地式、即チ證券ノ裏面ニ單ニ讓渡人ノ姓名ノミヲ記載シタルモノナルヘシ、裏書讓受人ハ往々倉庫ニ對シ、其讓渡ノ記帳ヲ求ムルコトアレト、必ラスシモ斯クセサルヘカラスト云フニハアラサルナリ。

(二)質入 預證券所持人カ其證券ヲ利用シテ、資金ノ融通ヲ附ケントスルトキハ、銀行、仲立人其他時トシテハ倉庫自身ニ依頼シ、之ヲ擔保トシテ提供スルトキハ、相當ノ利息ヲ以テ、容易ニ金額ヲ貸與スヘシ。而シテ借主ハ此場合ニ於テ、單ニ白地ノ裏書ヲ爲シタル預證券ヲ渡スマテニテ、別ニ此裏書中ニ貸借ノ條件等ヲ附記スルノ必要ナシ、唯貸主カ預證券ノ性質、貸借高、及其返濟期限ヲ認メタル預狀(Letter of Deposit)ヲ作り、之ヲ借主ニ交付シ置クヲ常トスルノミ。借主期限迄ニ借入金及其利息ヲ返却スレハ、預證券ヲ取戻シ得ルハ勿論ナルモ、一旦預證券ヲ擔保ニ差入ルルトキハ、他ニ證券ノ流用スヘキモノ之ナキヲ以テ、寄託品ヲ賣却スルコト能ハス、取

引上不便少カラサルカ故ニ、借主ハ會社ヨリ「ウエート、ノート」ヲ乞ヒ受ケ、之ヲ手元ニ存シ、之ニ伴フ賣買證券ヲ貸主ニ交付スルヲ常トス。

斯クテ借主タル荷主ハ返濟期前ト雖モ、「ウエート、ノート」ニ依リテ貨物ヲ讓渡スコトヲ得ヘク其讓受人ハ更ニ裏書ニ依リテ第二ノ買手ニ讓渡シ、漸次轉帳シテ最後ノ所有者ニ至レハ、期日ヲ待テ借入金ヲ返附シ、貸主ヨリ賣買證券ヲ受取り、「ノート」ト共ニ之ヲ倉庫ニ呈示シテ、貨物ノ引渡ヲ求ムルモノトス、然レトモ契約期限ニ至リテ尙ホ貸金ノ返濟ナキトキハ、貸主ハ證券ノ所有者ト爲リ、當然公賣ノ手續ニ依リ、借主ノ計算ニテ貨物ヲ處分シ、元利金、公賣費其他ヲ控除シ、殘金アラハ之ヲ借主ニ返附シ、不足アルトキハ借主其他裏書人ニ請求シ得ヘキハ、我邦ノ質入證券ニ於ケルカ如シ。

第五章 米國ノ倉庫

米國ニ於テ倉庫事業ノ發達セルハ、前世紀ノ中葉以後ニ屬ス、然レトモ產物ノ夥多ナルト、交通ノ普及セルト、政府カ自由主義ヲ採レルトハ、相俟テ斯業ノ勃興ヲ促シ、一般商業ノ倉庫ヲ始メ穀物、棉花、羊毛、煙草、冷蔵、家具、農具等諸種ノ特別倉庫カ競テ設立セラレタルコト、既ニ述ヘタル所ノ如シ、就中穀物倉庫カ荷主ヲ區別セス、同種類、同品位ノ貨物ノ混合保管ヲ行フノ盛ナル、他國ニ其比ヲ求ムヘカラス、而シテ他國ニ在ツテハ、倉庫ハ多ク輸入商ノ便益ノ爲メニ

設ケラル、モ、米國ニ在ツテハ、農産品ノ輸出及ヒ内國商業ニ便センカ爲メニ生レ、又鐵道業ノ盛ナル爲メ、鐵道會社ト倉庫業トハ密接ノ關係ヲ有シ、倉庫ニシテ鐵道會社ニ附屬スルモノ少カラサルカ如キ、開港地ニ於ケル倉庫ハ、漸ク舊式ノ宏壯ナル建設物ヲ減シテ、船渠及ヒ上屋的ノモノ之ニ代ルノ風アルカ如キ(註)蓋シ亦此國ニ於ケル斯業ノ一特色ト謂フヘシ。

倉庫證券ハ純粹ノ一枚證券主義ヲ採リ、禁流通預證券ノ外、賣買、質入孰レノ處分法ニモ用キラル、而シテ米國ニ於テハ各州ノ任意ノ立法ニ委スルヲ以テ、從來流通不便ナルコト少カラサリシカ、米國(聯邦)倉庫證券法制定以來、殆ント皆之ヲ採用シ(四州ヲ除ク)倉庫業者ノ責任モ統一セラレ、大ニ便宜ヲ加ヘタルモノ、如シ。

[註] 往時交通ノ便完カラス、需要供給ノ數量亦未知スルヲ難シトセシ時代ニ在ツテ、水陸交通ノ聯絡點ナル開港地ニ、多ク貨物ヲ藏置スル、亦已ムヲ得サル場合アリシト雖モ、現今ニ於テハ貨物カ水路ヨリ來ルヤ、直ニコ、ニ保管シ、或ハ積ミ代フル爲メ、棧橋上ニ於ケル車輛ヲ利用スルヲ得ヘク、需要ノ時機モ略豫知スルヲ得テ、中途ノ港ノ如キハ、船積ノ便ヲ待ツ爲メ、僅々二三日間留メ置クニ過キサリナリ。

米國ニ於ケル倉庫業ノ種類ハ既ニ詳説セシヲ以テ、茲ニハ公認穀物倉庫並ニ冷蔵倉庫ヲ説明スヘシ。

第一節 公認倉庫

一、緒言 米國ニ於ケル穀物倉庫ハ、世界ニ於テ最モ發達セルモノ、一ニシテ、盛ンニ混合保管

ヲ行フ、之ニ對シテ發行シタル倉庫證券ハ、農産取引所内ノ重要取引物タリ、從來鐵道會社、穀物會社、穀物仲買等ノ經營ニ屬スルモノ多カリシモ、近來普通ノ會社ニ依リテ營マル、モノ少ラス、其容量少ナルモ五百「ブツシエル」ヨリ、大ナルハ貳萬「ブツシエル」ヲ收容スルニ足ルモノアリ、(「ブツシエル」ハ凡ソ我一斗九升五合ニ當ル貳萬「ブツシエル」ハ約四千石ナリ)而シテ其所在地モ大抵鐵道、海運ノ中心點ニ在リ、出入庫ノ手續ノ如キモ頗ル完備ノ域ニ達セリ(倉庫ノ構造、出入庫ハ經營ノ部ヲ觀ヨ)。

穀物倉庫ニ二種アリ、一ハ鐵道會社ニ附屬スルモノ、他ハ專門ノ倉庫是レナリ、孰レニセヨ、物產取引所理事會ノ認定ヲ得テ、始メテ、取引所ニ上リ得ヘキ倉庫證券ヲ發行スルコトヲ得ルモノトス、所謂正則倉庫(認定倉庫)ナルモノハ、即チ認定ヲ經テ、其監督ノ下ニ經營スル斯業專門ノ倉庫ナリ。

二、取引所ト穀物倉庫、米國ニテモ「ミネソアボリス」州ノ如キハ、商業會議所カ其定メタル規則ニ從テ經營スル倉庫ヲ監督シ、州政廳ノ官吏カ入庫穀類ノ重量ヲ検査シ、検査官ハ時々検査ヲ行ヒ、記録吏ハ各庫出入ノ穀類ノ種類、品質、數量等ヲ記録シ置クヲ以テ、一目各倉庫ノ状態ヲ窺フヲ得ヘシ。

又紐育ニテハ物產取引所 (Produce Exchange) カ、取引所内ニ於テ取引セラルヘキ、穀物ヲ保管スル各倉庫ヲ嚴重ニ監督ス、例ヘハ次ノ如シ。

一、穀物委員。

取引所理事會ニ於テ會員中ヨリ五名ヲ任命シ、之ニ穀物取引所ニ關スル全權ヲ附與ス、委員ハ理事會ノ承認ヲ經テ検査員、及書記長ヲ任命シ、又時々穀類検査料ヲ定メ、取引所ノ監督員ヲシテ徵收セシメ、之ヲ穀物資金トシ委員ノ承認スル賠償金等ヲ支拂ハシム、穀類検査ニ伴フ俸給其他ノ費用モ、亦之ヨリ支辨スルモノトス。

二、検査員。

ノ行フヘキ職務ハ略次ノ如シ

- (1) 紐育ノ倉庫ニ格付穀物 (Graded Grain) トシテ保管サレ、之ニ對シテ、倉庫證券ヲ發行サルヘキ、總テノ穀物ヲ検査類別シ、其重量ヲ監督スヘシ
- (2) 倉庫ヨリ出庫スヘキ總テノ格付穀物ヲ検査シ、及ヒ其重量ヲ監督スヘシ。
- (3) 各倉庫ヨリ出入セラル、穀物ノ品質、數量ニ付テハ、明細ニ記録スヘシ。
- (4) 毎日其帳簿ノ寫シヲ書記長ニ送リ、以テ當日午後六時マテノ出入庫ヲ報告スヘシ。
- (5) 格付穀物ノ總テノ出入庫ニ付キ、倉庫業者ニ正複本ノ報告ヲ直ニ交付スヘシ。

三、書記長。

ハ倉庫證券、其他ノ記録ヲ司ル、即チ

- (1) 取引所理事會カ認定セル諸倉庫ノ記録ヲ徵收シテ之ヲ保管ス。
- (2) 紐育ニ於ケル諸認定倉庫ニ付キ、其各倉庫毎ニ一帳簿ヲ備ヘ、格付穀類ニ對シ發行セル倉庫證券ヲ記入スヘシ、之ヲ記入スルニ當ツテハ、先ツ各倉庫ニ於ケル検査員ノ廻付スヘキ報告ト、各倉庫證券トヲ比較シ、若シ符合セサル點アルトキハ、其原因ヲ探リ之ヲ訂正スヘシ。
- 右帳簿ニ記録スヘキ證券ニ誤ナキトキハ、其裏面ニ、證券ヲ差出シタル「日附」及ヒ「紐育農産取引所書記長」ト刻シアル印ヲ捺捺スヘシ。
- 右ノ帳簿ニ正當ニ記録サレタル、格付米ノ認定證券ノ外、賣買ノ目的物ト爲スコトヲ得ス。
- (3) 書記長ハ特約アル各鐵道會社毎ニ、一帳簿ヲ備ヘ、之ニ定期取引ノ穀物ニ對シ發行セル各穀物證券及ヒ鐵道證券ノ正シキ記入ヲ爲スヘシ、誤謬訂正其他賣買ノ效力等前ニ同シ。
- (4) 書記長ハ検査員及ヒ各倉庫業者ヨリ廻付セル、穀類ノ出入庫ニ對スル總テノ報告ヲ保存シ、而シテ各倉庫ニ於ケル諸穀

物ニ付キ相當ノ帳簿ニ詳記シ、出庫ノ際、出庫報告カ證券ト一致スルトキハ、其日付ヲ有セル消印ヲ捺捺スヘシ。
(5) 書記長ハ毎週月曜午前ニ、紐育物產取引所ノ監督官ヘ、前週土曜日マテノ各倉庫殘品ノ精密ナル報告ヲ爲スヘシ。

此他倉庫ハ地位設備等ニ關シテモ、取引所ノ規則ニ合格セサルヘカラス。

取引所内ニ於ケル穀物ノ定期取引ハ、一定ノ立會時間ニ於テ、取引所會員間ニ任意ニ行ヒ、受渡ハ約定ノ月ノ中ニ於テ、賣手ノ希望スル日ヲ撰ミテ之ヲ了ス、例ヘハ十月ニ、十二月引渡ノ小麦ヲ賣レハ、十二月ニ入り、賣手ハ一日ヨリ三十一日マテノ間ノ或一日ヲ撰ミテ、貨物ノ受渡ヲ行フカ如シ、尤モ毎日行ハル、幾百千ノ取引ハ賣買縱横ニ行ハレ、相互ニ差別勘定ト爲リ、其差金ヲ以テ決済シ、又物品モ漸次轉賣セラレテ、現物ノ受渡ハ極メテ少數ナリト云フ。

三、倉庫證券 紐育ニ於テハ、取引所カ認定セル倉庫ノ認定證券ニアラサレハ、取引所ニ於テ取引スルコト能ハス、倉庫ノ認定ヲ得ンニハ、倉庫所有者、借主又ハ取引所ノ會員ニシテ、其重役タル者ヨリ、次ノ如キ申込狀ヲ差出スヘシ。

- 一、倉庫ノ位置、名稱、容量、一時間ニ出入庫セラルヘキ穀類ノ數量、穀物器ノ數及ヒ手入ノ設備ヲ記入スルコト。
- 一、倉庫ハ理事ノ示セル、取引所ノ定メタル、倉庫會社ニ關スル規則ヲ守ル旨、及ヒ今後理事會ノ命令ニ從フヘキ旨ノ承諾ヲ含ムコト

右ノ如キ申込狀ヲ提出シ、且ツ取引所會員ニシテ穀物業ニ從事セル者五名以上ノ推薦ヲ得、理事會ノ意見ニ依リテ始メテ認定倉庫ト爲スコトヲ得。

認定倉庫ハ散ト俵入ナルトヲ問ハス、穀類カ各所有者ヲ區別セスシテ保管スルモノ、即チ混合保

管ヲ行フモノ、ミニ限ル、尤モ荷主カ特ニ其マ、區別シテ保管センコトヲ乞フトキハ、之ヲ不合格ノ穀物、又ハ個別穀物トシテ取扱フコトアリ、此場合ニハ勿論取引所ニ於テ賣買シ得サルモノトス。

穀物ノ所有者又ハ荷受人ノ申込ニ依リ、倉庫業者ハ倉庫證券ヲ發行スヘシ、此證券ニハ次ノ諸項ヲ記載ス。

- 一、入庫日
 - 二、穀物ノ數量及ヒ検査濟格付(等級)
 - 三、穀物ハ倉庫ニ入レ、他ノ同品位ノ穀物ト混合シテ保管サレアルコト。
 - 四、裏書シ、且ツ保管料支拂ノ上、證券引換ヘニ、穀物ヲ引渡スコト。
 - 五、同一倉庫ヨリ發行セル、總テノ穀物倉庫證券ハ、順次ニ番號ヲ有スルコト。
同一年内ニ同一番號ヲ有スル證券ヲ發行スルコトヲ得サルモ、證券ヲ紛失シテ、新證券ヲ交付スルカ如キ場合ハ、此限リニアラス
 - 六、穀物ヲ船舶ヨリ入庫シタルトキハ、船舶ノ名稱及ヒ其運送シ來レル數量ヲ證券面ニ記スヘシ。
- 次ニ格付穀物ノ認定倉庫證券ヲ示スヘシ。

REGULAR WAREHOUSE RECEIPT FOR GRADED GRAIN.

No.

This Grains is subject to our
advertized rates of storage.

Kind of Grain

Bushels

Grade 19

(Date)

Received in Stores

From Bushels.

of subject.

only to the order hereon of

and the surrender of this receipt, and payment of charges.

It is hereby agreed by the holders of this receipt that the Grain herein mentioned may be stored with other Grain of the same quality by inspection, in accordance with the Rules and Regulations of the New York Produce Exchange.

Loss by Fire or Heating at owner's risk.

REGULAR WAREHOUSE RECEIPT FOR CRADED GRAIN.

認定倉庫格付穀類預證券

第 號

此穀類ノ保管料ハ當會社 ノ廣告セル割合ニ依ル	穀物ノ種類.....
	「アツシユル」.....
	格 付.....
(日 付).....19.....
	「アツシユル」ヲ..... 殿ヨリ
右ハ.....	倉庫ニ入庫仕候
且ツ諸費用御支拂濟ノ上ニテ御引渡可申候	殿ノ指圖先ニ限リ此證券引換ヘニ
證券ノ所持人ハ検査上同品質ト認メラレタル 他ノ穀物ト混合保管スルコトアルハキ旨ヲ承 認ス但シ此保管ノ細育物産取引所ノ規則ニ依 ルハキモノトス	火災又ハ熱氣ニ因ル損害ハ所有者ノ負擔ニ歸 スルコト

認定倉庫格付穀類預證券

引渡、一部損敗、保管料、報告等ニ關シ詳密ナル規定アリ、其二三ヲ舉クレハ次ノ如シ。

- 一、倉庫ハ自己ノ判断ニ依リ、最初ニ入庫セシ穀物、又ハ最も長ク倉庫ニ在リシ穀物ヲ出庫セシムルコトヲ得。
- 一、穀物類別ノ標準力變更セラレタルトキハ、此改正前入庫セシ、總テノ穀物ハ、倉庫證券發行ノ時ニ於ケル標準ニ依リテ引渡サルヘキモノトス
- 一、熱氣ニ因リテ生セシ損害ハ、倉庫力穀類ヲ取扱ヒ保管スルニ就テ、適當ノ注意ヲ爲サ、リシコトヲ證明スルニアラヘシムルコトヲ要ス。
- 一、火災ニ因ル損害ハ穀物ノ所有者ニ分擔セシムルヲ普通トス。
- 一、右執レノ場合ニ於テモ、倉庫ハ其旨ヲ取引所報ニ公告スヘシ。
- 一、一部損敗ノ場合ニハ、最も古キ證券ノ所持人ニ出庫ヲ求め、二日以内ニ出庫セサルトキハ、亦取引所報ニ揭示セテ、保管料ヲ引上ケルコトヲ得。

四、代用證券 米國ニ於テモ三十年乃至三十五年前マテハ、倉庫證券ニ送狀ヲ添付シテ商店間ニ轉讓セラレタルカ、近頃ハ取引所ニ於テ「引渡時間」(Delivery session or hour)ヲ設ケ、引渡ヲ行フヘキ會員ハ、此時間内ニ集リテ證券ノ受授ヲ行ヒ、尙ホ大量取引ノ行ハル、取引所ニ於テハ、出庫指圖書(Delivery notice; Transferable notice, Transferable order, Notice)ヲ用ヒテ證券ニ代用シ、裏書ニ依リテ會員間ニ交付セラレ、最後ノ所持人カ之ヲ指圖書ノ作成者ニ提出シテ、本證券ニ引換ヘ居レリト云フ、指圖書ノ普通ノ要件ハ次ノ如シ。

- (一)書面トスルコト(二)發行者ノ名稱及營業所ヲ記載スルコト(三)本證券ノ事項ヲ記入スルコト(四)契約代金(五)保管料ノ

五、其他ノ認定倉庫 米國ニテハ近年穀物ノ外棉花、砂糖、珈琲、米、食料品、植物油等ノ取引所ニ於テモ亦倉庫證券ヲ認定シ、取引所ノ受渡ニ使用スルニ至レリ、即チ(一)棉花取引所ハ紐育「ニューオルレアンズ」及「シカゴ」ノ三市ニ在リテ一定ノ倉庫ヲ公認シ「シカゴ」ハ「ガルヴェストン」「テキサス」等産地ノ倉庫ヲ公認ス、(二)砂糖及珈琲ノ取引所ハ紐育ト「ニューオルレアンズ」ニ在リ、米モ亦後者ノ取引所ニ於テ公認セラレタル倉庫證券アリ、食料品ハ「シカゴ」「カンサス」「ミルウォーキー」「フィラデルフィア」、其他「シント、ルイズ」、紐育等ニ於ケル取引所カ公認シタルモノアリ、油ハ「シカゴ」其他ニ於テ公認證券ヲ使用シ居レリト云フ。

第二節 冷蔵倉庫

一、米國冷蔵倉庫ノ盛況 歐米ニ於ケル冷蔵事業中最モ發達セルハ、蓋シ米國ニシテ、之ニ次クヲ英國トシ、獨、佛ハ其三四位ニ列スルノ順序ナリ、戰前ノ統計ニ據レハ、米國各地ニ於ケル冷蔵會社ノ數八百内外、放資金額一億五千萬圓ニシテ、收容能力約二億立方呎、寄託セラル、腐敗シ易キ商品ノ價格十億圓乃至十五億圓ニ達ス、冷蔵用ノ製氷機械ヲ製造スル會社ノミニテモ實ニ百以上ニ及ヒ、紐育市ノミニテ使用スル製氷機械ノ噸數三萬六千噸ニシテ、之ヲ全部製氷ニ使用スルモノトセハ、一日ノ製氷一萬八千噸(我四百三十一萬餘貫)ニ達ス、各州ニ於テモ人口一千

以上ノ小邑ニハ、大抵一二箇所ノ製氷會社アリテ、我邦ノ牛乳配達ノ如ク、毎朝製氷ヲ需用者ニ配達シ、需用者ハ各自備フル所ノ冷蔵函 (Ice-box) ニ移シテ、食品貯藏ニ供シ、或ハ「アイス、クリーム」、又ハ氷水等ヲ作ルノ有様ニテ、肉類、牛酪、鶏卵ノ如キ、農産品中腐敗シ易キモノ、寄託高、近年著シク増加シ、例ヘハ牛酪ノ如キモ、其製造所ニ於テ造ラル、ヤ直ニ冷蔵所 (Cooler) ニ移サレ、之ヨリ停車場ニ送り、冷蔵車 (Refrigerated car) ニ依リテ市場ニ搬出セラレ、次ニ卸賣商ノ冷蔵室ニ移サレ、或ハ往々數箇月ニ互リテ冷蔵會社ニ寄託セラレ、小賣商カ之ヲ仕入レタル後モ亦其冷蔵装置ヲ利用シ、消費者自ラモ冷蔵函ヲ利用スルカ如キ次第ニテ、殆ント産出ヨリ消費ニ至ルマテノ全期間冷蔵セラル、ヲ見ルヘシ、但此間製造場ヨリ停車場ニ送ル間、又ハ冷蔵車ヨリ卸賣商ニ達シ、若クハ小賣商ヨリ消費者ニ引渡サル、短期間ニ於テ、氣温高キトキハ、損敗スル虞アルニ過キスト云フ、然レトモ米國ノ如ク冷蔵利用熱ノ熾ンナル國ニ於テモ、冷蔵會社ヲ利用スルモノハ、未タ是等貨物ノ一部分ニ過キスシテ、一九〇九年——一九一一年ノ二ケ年ノ統計ニ依レハ、一ケ年ノ産出高ニ比シ、寄託ノ割合ハ生牛肉三・一分、生羊肉四・一分、生豚肉一・五分、牛酪九・六分、鶏卵一五・〇分ナリシト云フ。

〔註〕冷蔵方法 ニハ米ヲ用フル場合ト化學的方法(機械的冷蔵法)即チ「アンモニア」法若クハ鹽化「カルシウム」法ニ依ル場合ノ別アリ、小賣商又ハ一般消費者ノ如キハ、専ラ米ヲ用ヒ、地方ノ牛酪製造所ノ如キモ尙ホ米ヲ用フル者多ク、冷蔵車モ米ヲ用フルモ、輸入商中ニハ化學的方法ニ依ル者少カラス、冷蔵會社ノ如キハ孰レモ後者ノ装置ヲ備フト云フ。

温度ハ保管貨物ニ依リテ、各適當ニ保有セシムル爲メ、各別ノ室ヲ作リテ年内同一ノ温度トシ、零度又ハソレ以下ヨリ十五度(華氏)ニ及フ、例ヘハ牛酪、肉類、魚類ノ如キハ氷結状態ニテ保存シ得ヘキモ、鶏卵「チルス」ノ如キハ氷結セシムル能ハサルヲ以テ、零度近クニ止ムルカ如シ。

最近ノ發達 米國ニ於テハ其後著シク發達シ、同國農務省ノ調査ニ依レハ、一九二三年末ニ於テ同省ニ報告セル冷藏庫ノ總數(報告セサルモノハ百分ノ一以下ナラント云フ)、千三百五十四ニシテ、此容積五億八千五百四十萬立方呎ニ上レリ、其割合ハ次ノ如クニシテ、營業的倉庫ノ外、工場、鐵道會社、仲立業者、問屋、小賣大商店、「アイスクリーム」製造所、魚問屋、並ニ小數ノ罐詰業者ヲ含ミ、苟モ冷藏設備ヲ有スルモノヲ包含ス。

米國冷藏庫統計表(一九二三年末)

冷藏庫ノ種類	倉庫數		冷藏容積(立方呎)	
	歩合	歩合	歩合	歩合
公共倉庫	三六九	二七	二〇五、九三五、九九二	三五
私有倉庫	三〇七	二三	二四、〇七六、八八六	四
公私兼業倉庫	二一八	一六	四六、三一二、五一一	八
肉類罐詰業者ノ倉庫	四三三	三二	二六一、四四八、八四八	四五
肉類罐詰兼公共倉庫	二七	二	四七、六三〇、三九七	八
合計	一、三五四	一〇〇	五八五、四〇四、六三四	一〇〇

〔備考〕 米國ニ於テハ大戰後食糧管理局ノ存在セシ時代ニ於テ、冷藏庫(Cold storage warehouse)ノ定義ヲ示シタルカ、其意義ハ「統一冷藏庫法」(Uniform Cold Storage Act)ニ依ヒタルモノニテ、即チ次ノ如シ。

冷藏倉庫トハ人工的且ツ機械的ニ、温度ヲ華氏零度以上四十五度以下ニ冷却シテ、食糧品ヲ藏置シ、且ツ三十日以上保管スル場所ヲ云フ。

尙ホ冷藏倉庫業者ヲ大別シテ次ノ三種ト爲セリ。

- (1) 公共冷藏倉庫業者……營業トシテ、食糧品ノ冷藏業ヲ營ムモノ。
- (2) 私有冷藏倉庫業者……ハ本業ノ附屬業務トシテ冷藏倉庫ヲ有シ、自己ノ所有シ、若クハ取扱ニ係ル食糧品ヲ保管スルモノ。
- (3) 公私兼業冷藏倉庫業者……營業トシテ冷藏スル外、直接間接ニ自ラ所有シ、取扱ヒ、若クハ利害關係ヲ有スル食糧品ヲ保管スルモノ。

右ノ定義ニ依レハ、毛皮、皮革、羊毛、織物ノ如キ貨物ヲ冷藏スル装置ハ、之ヲ含マサルヲ以テ、是等ヲ加フレハ、更ニ尠大ナル數字ヲ示スヘシ。

前記ノ數字ハ米國ノ食糧冷藏業カ如何ニ發達セルヤヲ示スモ、此中約五割三分ハ、肉類罐詰業者ニ依テ支配セラル、ヲ以テ、一般的ニハ尙ホ不足ヲ感シ居レリト云フ。

二、營業ノ範圍 冷藏機械ノ應用セラル、範圍ハ頗ル大ニシテ就中著シキモノハ、一般冷藏、製氷、麥酒釀造、屠獸肉冷却等ニシテ、其他、「コンデンス、ミルク」、油蠟、煙草、砂糖、寫眞、「ゴム」、製藥、爆發、園藝、穀物、製鹽、製革、凝凍、魚飼、養蠶、製菓等ヨリ旅館、割烹、運搬等ノ諸業ニ應用セラレ、就中洋服商カ特ニ設ケタル冷藏庫ニ依リテ、毛織物、毛皮類ヲ貯藏シ

製鐵所カ冷却機械ヲ以テ、空氣中ノ水分ヲ除去スルカ如キハ、最新ノ應用ニ屬ス、殊ニ斬新ノ利用ハ、歐米ノ大都市カ市立冷藏所ヲ設ケ、行倒レ、溺死者、轢死者等ヲ、或時期ノ間收容シテ、其何人ナルヤヲ知ラシメントスルモノナリ。

一般冷藏倉庫ハ、從來主トシテ肉類ノ保存ニ用キラレシカ、近來ハ果物、鶏卵、鳥類、「バター」、「チーズ」等ノ運輸及ヒ保存ニ用キラレ、是等ノ貨物ハ或ハ數千哩ノ遠地ヨリ集リ來リテ、數箇月間貯藏セラレ、價格ノ騰貴ヲ待チテ賣出スノ便益ニ浴スト云フ。

齊シク腐敗シ易キ商品ニテモ、其性質ニ依リ、冷藏倉庫利用ノ程度ヲ異ニス、即チ次ノ如シ。

(1) 著シク損敗シ易クシテ、冷藏裝置ニ依ルモ、長ク保存シ得ヘカヲサルモノ、例ヘハ苺、桃、「トマト」、梨瓜ノ類ニテ、是等ノ貨物ハ冷藏船車ニ依リテ市場ニ到着スルヤ、成ルヘク迅速ニ消費者ニ達スルヨウ手配セサルヘカラス、從テ販賣費用比較的高キヲ常トス。

(2) 半ハ腐敗性ヲ有スルモノ、例ヘハ林檎、西洋梨、柑橘類ノ如ク、長期間保存ニ耐フルモノ。

(3) 夏期ノ溫熱ニ遇フトキハ損敗シ易キモ、著シク品質ヲ害セスシテ長ク保存シ得ルモノ、例ヘハ「チーズ」、鶏卵、肉類、魚類ノ如シ。

此他腐敗性ナキモノト雖モ、冷藏庫ヲ利用シ得ルコト前述ノ如シ。

入庫時期ハ各商品生産期若クハ輸入時期ニ最モ多キハ當然ニシテ、藏置期間モ亦商品ニ依リテ異レト、嘗テ米國ニ於テ調査セシ結果ヲ見ルニ、生牛肉二・二八月、生羊肉四・四五月、生豚肉〇・八

八月、牛酪四・四三月、家禽二・四二月、鶏卵五・九一月ナリシト云フ、尤モ等シク鶏卵ニテモ四五月産出ノモノハ七八月ノモノニ比シ長ク藏置セラル、カ如ク、産出時期ニ由リテ異ルモノモ少カラスト云フ。

此ノ如ク米國各地ニハ冷藏會社ノ設備アリ、之ニ關聯シテ、陸ニハ鐵道會社ノ冷藏貨車、冷藏倉庫アリ、海上ニハ冷藏船舶ノ往復スルアリ、加フルニ各戸ハ冷藏函ヲ備ヘテ、斯業ノ圓滿ナル利用ニ至テハ、實ニ遺憾ナシト云フ。

三、營業法 冷藏會社ハ多ク株式組織ニシテ、幹部ハ少キハ一二人、多キモ四五人ニテ組織シ、技術者、人夫等比較的多クヲ要セスト云フ、今其營業方法ヲ觀ルニ大凡次ノ四種アリ、土地ノ狀況ニ依リ組織ヲ異ニスルモノト知ルヘシ。

(第一) 一定ノ保管料ヲ徵收シテ貨物ヲ保管スルモノ。

(第二) 會社自ラ貯藏品ノ賣買ヲ兼ネ行フモノ。

(第三) 冷却機械ヲ運轉シテ冷氣ヲ供給スルモノ。

(第四) 以上二種又ハ三種ヲ兼ネ行フモノ。

保管料ノ單位ハ冷藏庫内ノ立方呎ニ依ルモノアレハ、又貯藏品ノ重量若クハ容積ニ依ルモノアリテ一定セス、但冷氣ヲ供給スルモノニ在リテハ、孰レモ室ノ立方呎ニ依ル、此場合ニ於テハ、需要者自ラ冷藏室ヲ作り、冷藏會社ハ冷藏ニ要スル所ノ「アンモニア、パイプ」若クハ「ブライン、

パイプ」並ニ其附屬品ヲ据ヘ附ケ、一箇月若クハ一箇年一立方呎ニ就キ、若干歩合ノ料金ヲ徴收シテ、冷氣ヲ供給スルコト、恰モ電燈會社又ハ瓦斯會社カ、電氣若クハ瓦斯ヲ供給スルカ如シ、冷蔵會社ハ預ケ主ノ請求ニ依リ、其保管セル物品ニ對シ預證券ヲ發行シ、保管物品ニ火災保險ヲ附シアルモノナランニハ、銀行ハ悅ンテ貸付ノ依頼ニ應ジ、冷蔵會社自ラモ之ニ對シテ融通スルコトアリ。

又保管物品ニシテ腐敗、毀損等ノ事アルモ、一定ノ溫度、濕度等ニ於テ、會社ニ過失ナシトセハ、會社ハ毫モ責任ヲ負ハサルモ（會社カ例ヘハ鶏卵、又ハ果物ノ如キモノ、保管ヲ引受クルモ、一々其腐敗セルヤ否ヤヲ検査スルコト、到底實行シ難キ所ナルヲ以テ）若シ過失ニ因ルモノナランカ、法律上、德義上、之ヲ賠償スルヲ常トス、是レ法律上ヨリモ、寧ロ米國人ノ商業道德ニ依ルモノニテ、一例ヲ舉クレハ、會社ニテハ一日數回各倉庫内ノ溫度及ヒ濕度ヲ點檢シ、之ヲ鉛筆ニテ簡單ニ帳簿ニ記入シ置キ、若シ溫度又ハ濕度ヲ誤リテ、保管物ニ腐敗ヲ來サシメンカ、會社ハ其損害賠償ヲ快諾シ、決シテ一旦記入セシモノヲ改竄スルカ如キコトナシ、又庫内ニハ林檎、橙果、鶏卵等直ニ味ヒ得ルモノ、積ンテ山ヲ成スニモ拘ラス、其使用人夫ノ如キモ、一個タニ盜ミ喰フカ如キコト之ナシト云フ。

四、保管料 米國ニ於ケル冷蔵庫ノ保管料ハ、次表ニ示スカ如ク、貨物ノ一單位ニ對シテハ極メテ僅少ノモノニシテ、此外荷役賃、火災保險料、金利等ヲ加算スルモ、尙ホ輕微ノモノニ過キス、

而モ牛酪、鶏卵ノ如キモノニ對シテハ、普通入庫期節ヨリ翌年一月マテ特別率ト爲シ、且ツ數量ニ應ジテ、割引ヲ行ヒ、例ヘハ鶏卵ノ保管料ヲ見ルニ、一九一四年ノ入庫期ヨリ一九一五年ノ一月マテ、五百兩未滿ハ一兩(三十打入)ニ付四十五仙、ヨリ一萬兩以上ハ三十五仙マテ引下クルヲ以テ、四箇月乃至六箇月間ノ保管料ハ一打ニ付キ一仙六分ノ一乃至一仙半、即チ一個我二厘五毛以下ニ過キササルナリ。

紐育市ニ於ケル假定原價ニ依ル食料品ノ保管費用

商 品	假定ノ原價	保 管 料 (6ヶ月分)	保 險 料 (@.4166ヶ月)	利 息 (4.50% 6ヶ月)	保 管 費 ノ 合 計	保 管 ノ 爲 メ ノ 原價ノ増加
牛 酪	\$.95 lb.	.01	.000725	.0075	\$.263225	.013
家 禽 卵	.18 #	.01	.000522	.0054	.196222	.016
雞 卵	.50 doz.	.0089	.00059	.006	.51519	.013
干 果	.15 lb.	.006	.000135	.0045	.16365	.011
干 果 物	.10 #	.00333	.00029	.003	.10623	.007
堅 果 (殼付)	.15 #	.0075	.000435	.0045	.126435	.012
堅 果 (殼去)	.30 #	.005	.00057	.009	.31487	.015
香 果 物	2.50 bbl.	.50	.00725	.075	3.0825	.682

六、冷蔵庫ノ利害及政策 ハ大體上普通倉庫ノ利害ト異ナルコトナキモ、亦少差ナキニアラス、今其利益ヲ舉クレハ次ノ如シ。

- (1) 市場ヲ擴張シ販賣高ヲ増加スルコト。
- (2) 農業、牧畜、漁業ヲ發達セシムルコト。
- (3) 販賣費ヲ低減セシムルコト。
- (4) 生産者ニ對シテハ市價ヲ高メ、消費者ニ對シテハ市價ヲ低カラシム。
- (5) 貨物ノ損敗ヲ防キ、衛生ニ利アリ。
- (6) 消費者ヲシテ、孰レノ期節ニ於テモ、世界各地ノ果物、野菜、肉類等ヲ生ノマ、味ハシム。又冷蔵庫ニ對スル非難ハ

- (1) 冷蔵倉庫會社ハ「トラスト」ヲ組織シ、自ラ商品ノ買占ヲ行フコトアリ。
 - (2) 卸賣商ハ冷蔵庫ヲ利用シテ投機的賣買ヲ行フコトアリ。
 - (3) 生産期ニ於テ買入レテ之ヲ貯藏シ、沈滞期ニ於テ市價ヲ吊上ク。
 - (4) 品質低下セル商品ヲ市場ニ販賣ス。
- 等ニシテ此制度モ亦多少ノ短所ナキニアラスト雖モ、米國ノ經驗ニ依レハ、(1)(2)ノ非難ハ事實上稀ニテ、(3)ハ自ラ市價ノ調節ト爲ルノ利益アレハ、強チ其弊ノミヲ見ルハ當ラス、(4)ハ多少ノ事實ハ之ナキニアラサルモ、近年大ニ改良セラレタリト云フ、尙ホ冷蔵庫ノ設立増加シテ以來一般

食料品ノ市價騰貴セリトノ非難アリシモ、市價ノ騰落ハ其他種々ノ原因ト錯綜シ、此設備カ如何ナル程度マテ影響セシヤ、之ヲ判知スルハ頗ル困難ナレトモ、大體上却テ騰貴ヲ防キタル傾向アリト云フ、然レトモ米國ニ於テハ從來前記ノ如キ種々ノ非難アリタルヲ以テ、州法ヲ以テ各種ノ制限ヲ設ケタルモノ少カラス(一九一五年迄三十一州アリキ)。尙ホ進ンテ國法ヲ以テ統一スルノ方針ナルカ如シ、今各州法共通ノ重ナル規定ヲ見ルニ次ノ如シ。

- (1) 冷蔵庫トハ人工的ニ華氏四十度以下ノ溫度ニ冷却スル倉庫ニシテ、三十日以上保管スルモノナルコト。(其後統一法ノ定義ハ四十五度以下ト爲セシコト、前記ノ如シ)
- (2) 之ヲ州ノ衛生局又ハ食糧局ノ管理ノ下ニ置クコト。
- (3) 商品ニハ必ラス入庫ノ日附ヲ記シ、又場合ニ依リ出庫ノ日ヲモ表記スルコト。
- (4) 保管期間ヲ制限スルコト(多クハ十二箇月ナリ)。
- (5) 冷蔵貨物ヲ賣捌ク小賣商人ハ、何等カノ方法ニ依リテ、之ヲ明カニスルコト。
- (6) 保管セル食糧品ノ數量ヲ州廳ニ報告スルコト。
- (7) 當局ヨリ營業ノ免許ヲ得ルコト。

七、英佛獨ノ冷蔵庫 冷蔵倉庫ニ關シ、參考ノ爲メ歐洲ノ概況ヲ述フヘシ。

米國ニ於テハ海上ノ冷蔵業ヨリモ、比較的陸上ノ冷蔵業カ發達セルモ、英國ハ之レニ反ス、是レ一ハ尤大ナル國土ヲ有シ、他ハ環海ノ島國ナルカ爲メナルヘシ、現今英領各殖民地及ヒ其他ノ諸

國ヨリ英國ニ回航スル冷藏船ハ百七十二艘ノ多キニ達シ、各種ノ食物、就中濠洲、ニュージラ
ンド、「アルゼンチン」等ヨリ輸入スル凍肉ハ、一箇年一億六千萬圓乃至一億八千萬圓ニ及ヒ、
而モ年ヲ追フテ増加ノ勢ヒアリ、此他漁業上ニ用フル冷藏用ノ氷モ、尠少ナラスト云フ。

佛國ハ世界ノ美食國ニテ、假令腐敗セサルニセヨ、日ヲ經タル物ヲ喰フヲ好マサルハ、一般ノ風
習ナルヲ以テ、冷藏業尙ホ微々タリ。獨逸ハ英國ニ及ハサルモ、尙ホ佛國ニ比シテハ盛ンニシテ
其冷却機械ハ主トシテ麥酒醸造ニ使用セラル。

〔註〕 日本ノ水産冷蔵獎勵 我邦ニ於テハ食糧問題解決ノ一策トシテ、大正十二年五月農商務省令ヲ以テ「水産冷蔵獎勵規
則」ヲ發布シ、冷蔵設備及貯氷庫ニ對シテ、次ノ如キ割合ノ補助金ヲ支出スルコト、爲セリ、此政策ノ一ツノ目的ハ中央卸
賣市場ノ冷蔵設備ヲ補助スルニ在ルモ、之ヲ爲メニ其他ノ冷蔵裝置モ多少増加スルニ至ルヘシ。

(一) 冷蔵庫……ニ對シテハ土地ノ價格ヲ除キタル冷蔵裝置及建設費ノ三分ノ一以下。

(二) 冷蔵船……ニ對シテハ(イ)船體及機關價ノ二割以下、冷蔵設備費ノ五割以下ヲ併セタルモノ。

(三) 貯氷庫……冷蔵庫ニ同シ。

大正十二年ノ補助金額七十萬圓、十三年モ亦同様ナレトモ、十三年末頃ノ水産冷蔵業者中著シキモノハ葛原冷蔵、林兼商店、
氷室組貯蔵庫、又製氷庫中有名ナルハ日東製氷、帝國冷蔵、森本冷蔵、三陸水産冷蔵等ナリシカ、未ダ微々タルモノナルニ、
最大ノ葛原ハ倒産セシテ以テ、現在ノ狀態ハ尙ホ頗ル幼稚ナリトス。

第六章 佛、獨、奧其他ノ倉庫業

(一) 緒説 佛國ノ倉庫ハ十九世紀ノ中葉商業恐慌ノ際、金融疏通ノ目的ヲ以テ設立シタルモノナ
ルヲ以テ、元來英國倉庫ノ金融及商業上ニ及ホス效力ノ大ナルヲ見、之ニ倣ヒテ創立シタルモノ
ナレトモ、英國ノ自由主義ナルニ反シ、スヘテ干涉主義ニシテ、其設立ニハ認可主義ヲ採リ、地
方長官ノ認可及ヒ巨額ノ保證金ノ納付ヲ要シ、其營業ニ對シテモ特許主義ヲ採リテ、法定事項以
外ノ業務ヲ取扱ハントスルトキハ、特ニ所轄官廳ノ認許ヲ得ルモノト定ム、今佛國ノ之ニ關スル
規定ヲ見ルニ、營業者ハ先ツ貨物ノ庫入所及ヒ公開ノ卸賣場所ヲ設置スルコトヲ得ル外、税關及
入市税徵收署ノ手續、轉地、藏移ノ事、船主及荷主ノ間ニ於ケル船舶雇入、其他ノ關係、配達、
運送、船舶ヨリノ積卸又ハ積込、關係當事者ノ申出ニ依リ、貨物ヲ警察ニ保護セシムル事等ヲ荷
主ノ委託ニ依リ、其代理人トシテ取扱フコトヲ得可ク、ナホ又企業航海上ノ利便ヲ圖ルコトヲ得
ヘシ。

以上ハ所謂法定ノ業務ニシテ、別ニ認許ヲ乞フヲ要セサルモノナルモ、此他ノ業務モ、地方長官
ノ認可ヲ得テ行ヒ得ルハ前述ノ如シ。

(二) 倉庫證券 佛國ニ於テモ初メハ一枚主義ヲ採リ、預證券ノミヲ發行シテ賣買質入兩様ニ使用

セシメタルモ、後チ種々ノ不便アルヲ發見シ、現今ハ白耳義、埃地利其他大陸諸國ト共ニ二枚主義ヲ採ルニ至レリ、即チ預證券 (Recepisse) 及ヒ質入證券 (Warrant) ノ連結セルモノニシテ、其性質運用ノ方法ハ、殆ト我邦ノソレニ異ナラス、例ヘハ其ニ物權的效力ヲ有シテ貨物ヲ代表スル點、一ヲ賣買讓渡ニ供シ一ヲ質入擔保ニ用フル點、質入證券裏書前ハ預證券ヲ分離シテ讓渡スコト能ハサルノ點、質入證券質入ノ際ハ、預證券ニ債權金額、期限、利息等ヲ記載セシムルカ如キ、全ク我邦ノ預質證券ト同様ナルヲ以テ、茲ニハ重ネテ之ヲ説カス、唯佛國政府カ質入證券ノ割引ニ關シテ與フル保護ノ如キハ、我邦ニ於テハ稀ニ行フ所ニシテ、佛國ノ諸銀行中佛蘭西銀行ノ如キハ、他ノ銀行ニ比シ確實ヲ旨トスルカ故ニ、信用アル商業手形ト雖モ、通常三人ノ確實ナル保證人ヲ要スルコト、爲セルモ、質入證券ニ關シテハ二人ヲ以テ足レリト爲セリ、是レ一ハ質入證券カ其擔保トシテ貨物ヲ有スルニ因ルヘシト雖モ、其主ナル理由ハ畢竟倉庫證券ノ流通ヲ獎勵セントスルニ在ルヤ明カナリ、我邦ニ於テハ斯ノ如キ質入證券ニ對スル特別ノ保護制度ナクシテ、其分離流通ノ盛ナルヲ望ム、亦難イ哉。

〔尤モ日本銀行ハ、諏訪倉庫ノ證券ヲ擔保トスルヲ許シタルコトアリ、又近頃蠶絲倉庫會社ノ倉庫證券ヲ見返品ト爲スニ至レリ〕

(三) 獨逸 獨逸帝國ノ商法ハ一枚主義ノ指圖式ノ倉庫證券ヲ認メタルモ、其施行法ニ依リ、各州特別ノ證券制度ヲ採ルコトヲ許シタルヲ以テ、實際上區々ニシテ、或ハ州政廳ノ特許ヲ得テ、商法ニ依ル證券ヲ發行スルモノアレハ、又普通ノ倉庫、即チ特許ヲ得サル倉庫カ、記名、無記名、乃至指圖式ニテ發行スルモノアリ(註)、或ハ制度上一枚、二枚任意主義ヲ採リ、質入證券ハ預證券

ノ所持人カ、質入ヲ要スル場合ニ交付スト爲スモ、實際上質入證券ヲ發行セシコト稀ナル、即チ事實上ノ一枚制度ナル「ブレイメン」州ノ如キモアレハ物權的效力モ有セス、裏書讓渡モ許ササル、單純ノ受取證ヲ發行スルニ過キサルモノアリ。

〔註〕 普通倉庫證券ハ完全ナル物權證券ニアラサリシモ、實際ノ取扱、及法律ノ解釋上ニ於テ物權的效力ヲ有シ、之ヲ以テ貨物ヲ移轉シ得ル、商法上ノ證券ト同一ト爲リ、唯商法上ノ證券カ、證券面ノ文言ニノミ依リテ、文言上ノ權利ヲ讓受ケルモノナルニ反シ、此證券ハ前者ノ權利ヲ其儘承繼シテ、讓受ケルニ過キス、隨テ寄託主ト倉庫ノ關係ハ、漸次證券ニ追隨シテ讓受人ヲ拘束スト爲ス説、可ナルカ如シ。

獨逸ハ「ブレイメン」及「エルサス、ロートリンゲン」二州ヲ除クノ外、一枚證券制度ヲ採用ス、此證券ハ讓渡又ハ質入執レニモ使用シ得ラル、モ、質權ノ讓渡 (Übertragung des Pfandrechts) ニハ使用スルコトヲ得ス、是レ露國ノ一枚證券等ト趣テ異ニスル所ナリ、是ヲ以テ獨逸ノ證券ハ金融上ノ缺點アリト云フ者アリ、嘗テ伯林商人團ハ倉庫證券ノ實質、並ニ獨逸帝國ニ於テハ如何ニ之ヲ規定スヘキカ、或ハ倉庫證券ノ實質ニ關シ、他ノ模範トシテ推獎スヘキモノ、及如何ナル傾向ニ依リ進歩スヘキ者ナルカ等ノ問題ニ關シ解説ヲ求メンカ爲、懸賞金貳千五百馬克ヲ投シテ「歐米諸國ニ於ケル「ワラント」流通ノ經濟的發達ノ理由」ヲ募集シタル事アリキ。

(四) 埃地利 ハ二枚證券制度ニシテ、原則トシテハ二證券一體ヲ成シ共同作用ヲ爲スモ、又分離流通スルコトアリ、合一シテ裏書セラル、場合ニハ、預證券ノミニ裏書スルヲ法トスルモ、若シ質入證券ヲ利用スルトキハ、之ニ(一)質入證券被裏書人ノ氏名住所(二)質入貨物ノ質權ニ對シ支拂フヘキ金額及其利子(三)質金額ノ滿期日ヲ記載スルト同時ニ、預證券ニモ是等ヲ記入スヘキモノトス、此他英國ノ「ワラント」流通ニ關スル規定モ亦有效ニシテ、若シ滿期日ニ至リ質入證券

預證券ノ裏面(上部)

預 證 券		
裏 書	日 附	摘 要
殿又ハ同人ノ指圖先	1929 9月1日	100 (壹百) 梱 ブレーメン倉庫會社 取締役 ばうる。しゅみつと ふ-ご-れ-く
年 月 日		

質入證券ノ裏面(上部)

質 入 證 券

第一裏書

拙者等ハ千九百二十九年十月一日限りぶれ-めんノ獨乙銀行ヲ支拂場所トシ
 貳萬貳千馬克 ナ ぶれ-めんノふり-どりつひりひてる殿又ハ同人
 指圖先ニ御支拂可申候

拙者等ハ此金額ニ對シ當質入證券ニ記載シアル商品ヲ質入仕候

ぶれ-めん千九百二十九年八月一日

げぶらうは。しゅ-れる

カ支拂ハレサル時、其所持人ハ手形法ノ拒絶證書作成期間内ニ、拒絶證書ヲ作成スヘキモノニテ
 質入證券ノ支拂ナク、此期間ヲ經過シタル時ハ、貨物ヲ賣却スルコトヲ得ヘシ、而シテ斯ク貨物
 ヲ賣却シテ充分満足ヲ得ルコト能ハサリシ場合ニ於テハ、此不足額ニ對シテ、自己ノ前者中己レ
 ノ欲スル者ニ對シ、償還請求ヲ爲ス事ヲ得、此請求權ハ拒絶證書作成ノ日ヨリ起算シテ三十日以
 内ニ貨物ノ賣却ヲ爲ササリシトキハ、時效ニ依リテ消滅スヘキ規定ナリトス。

(五)和蘭 和蘭ノ倉庫ハ自由ナル保税倉庫多ク、其證券モ地方ニ依リ同シカラサレト、今「アム
 ステルダム」某倉庫ノ發行スルモノヲ見ルニ、記名式及無記名式ノ二種アリ、記名式ノ倉庫證券
 ハ裏書讓渡ヲ禁スルヲ通例トシ、若シ入庫貨物ヲ讓渡サントスルトキハ、特別ノ契約ニ依リ、讓
 受人ハ新證券ノ交付ヲ求ムヘキモノトス、之ニ反シ無記名證券ハ、讓渡自由ニシテ寄託主ノ請求
 ニ依リ、何枚ニモ分割シ得ルモノトス。

(六)白耳義其他 白耳義、伊太利、匈牙利等ハ大體佛國ト同シク、二枚證券制度ヲ採ル。

Rückseite des Lagerscheines (oberer Teil)

Lagerschein.		
Indossamente.	Datum.	Abschreibungen.
Für an die Order de Herr	1929 Sept. 1.	100 (Hundert) Ballen. Bremer Lagerhaus-Gessellschaft. Der Vorstand. Paul Schmidt. Hugo Schieck.
den 19		

Rückseite des Warrants (oberer Teil)

Warrant.

Erstes Indossament.

Am 1 Oktober 1929 zahlen wir an Herrn Friedrich Richter in Bremen oder Order Mark Siebenundzwanzigtausend, zahlbar bei der Deutschen Bank in Bremen. Wir verpfanden für diesen Betrag die durch diesen Warrant bezeichneten Waren.

Bremen, den 1. August 1929.

Gebr. Schürer.

BREMER LAGERHAUS-GESELLSCHAFT

staatlich ermächtigt durch Senatsbeschluss vom 22 Mai 1877.

Lager-Nr. 567

Bremen, den 1. August 1929

Lagerhaus Speicher III.

Nr. 123

Reg. D Fol. 75

Warrant an Order

Mark 27000.—
Fällig am 1. Oktober

laut Lagerschein Nr. 7654 in Namen und im Auftrage der Herren Gebr. Schürer in Bremen eingelagerte Waren:

Marke und Nummer	Zahl	Art der Ware nach Angabe der Einlagerer; Gewicht
R. S. T.	100 (Hundert)	Ballen amerikanische Baumwolle, Btto. 22600 kg. Brutto Zweiundzwanzigtausend sechshundert Kilogramm.

angebracht von Neworleans per Dampfer Teutonia.

Die Auslieferung dieser Waren an den Inhaber des Lagerscheines erfolgt nur:

1. nach Zahlung der Lagermiete und der für die Erhaltung der Ware, Versicherung etc. aufgewendeten Kosten seit dem 1. August 1929;

2. nach der Lückgabe dieses Warrants.

Die Ware ist gemäss der Betriebs- und der Warrant-Ordnung gegen Feuergefahr versichert. Die „Bremer Lagerhaus Gesellschaft“ hält obige Waren zur Sicherheit des Warrantinhabers für den Betrag von.

Mark Siebenundzwanzigtausend

und hat diesen Warrant in ihr Register-Buch D Fol. 75 und in den Lagerschein über diese Waren eingetragen.

Durch die Annahme eines Lagerscheines oder Warrants unterwirft sich jeder den Bestimmungen des Gesetzes vom 13. Mai 1877 sowie der Betriebs- und der Warrant-Ordnung der „Bremer Lagerhaus-Gesellschaft“.

Bremer Lagerhaus-Gesellschaft.
Paul Schmidt, Director. Hugo Schieck, Prokurent

ぶれーめん倉庫會社

倉庫 穀物庫 3

倉庫番號 567

帳簿 D 75頁

番號 123

指圖式質入證券

次ノ如シ

千八百七十七年五月二十二日元老院決議ニ依リ政府認可

ぶれーめん千九百二十九年八月一日

倉庫證券第7054號ニ依ル ぶれーめんノ げぶらうは、しゆーれる 農ノ名義及指圖ニ依ル寄託商品

記號及番號	個數	寄託主ノ記載ニ係ル商品ノ種類・重量
R. S. T.	100 (壹百)	(相入)米國産棉花總量 22600 キロ 總量貳萬貳千六百「キログラム」

汽船といとにお號ニテねらおるれあんすヨリ到着

此商品ノ交附ハ唯本倉庫證券ノ所持人ニ限ラル、但シ

1. 貸庫料及商品ノ保管料保険料等千九百二十九年八月一日以後ニ要シタル費用支拂後トス

2. 此ワーラントノ還附後トス

ぶれーめん倉庫會社ハ上掲商品ヲ質入證券所持人ノ保護ノ爲メ總額貳萬七千馬克ヲ保管ス。而シテ此質入證券ハ帳簿D 75頁及ヒ此商品ノ預證券ニ記入ス。預證券又ハ質入證券ヲ受取リタル者ハ千八百七十七年五月十三日ノ法律規定並ニぶれーめん倉庫會社ノ營業規則及質入證券規定ニ從フキモノトス。

ぶれーめん倉庫會社 社長 ばうるレウみつと 支配人 ふーごー、しい

BREMER LAGERHAUS-GESSELLSCHAFT

staatlich ermächtigt durch Senatsbeschluss vom 22. Mal 1877.

Bremen, den 1. August 1929.

Lagerhaus Speicher III.

Nr. 7654

Reg. III Fol. 54

Lager Nr. 567

Lager-Schein an Order

uber folgende

in Namen der Herren Gebr. Schurer in Bremen eingelagerte und an deren Order abzuliefernde Waren:

Marke u. Nummer	Zahl	Art der Ware nach Angabe der Einlagerer:
R. S. T.	100	Hundert Ballen amerikanische Baumwolle, Bto. 22600 kg.

angebracht von Neworleans per D. Teutonia.

Die Auslieferung dieser Waren erfolgt an den Inhaber des Lagers

chens:

1. nach Zahlung der Lagermiete und der für die Erhaltung

der Waren, Versicherung etc. aufgewendeten Kosten seit

dem 1. August 1929;

2. nach der Rückgabe des Warrants.

Die Ware ist gemäss der Betriebsordnung gegen Feuergefahr ver

sichert. Durch die Annahme eines Lagerscheines unterwirft sich

jeder den Bestimmungen des Gesetzes vom 13. Mai 1877 sowie

der Betriebs- und der Warrant-Ordnung der „Bremer Lagerhaus-

Gesellschaft“.

Bremer Lagerhaus-Gesellschaft.

Der Vorstand.

Hugo Schieck.

Herren Gebr. Schürer haben die durch diesen Lagerschein bezeichneten Waren für Mark Siebendundzwanzigtausend, falling am 1ten Oktober 1905, zahlbar bei der Deutschen Bank in Bremen, an Herrn Friedrich Richter, Bremen, durch Warrant verpfandet.

Eingetragen Registerbuch D Fol. 75, Bremen, den 1. August 1929. Bremer Lagerhaus-Gesellschaft. Der Vorstand. Paul Schmidt. Hugo Schieck.

ぶれーめん倉庫會社

千八百七十七年五月二十二日元老院決議ニ依リ政府認可

帳簿 H H 54頁

ぶれーめん千九百二十九年八月一日

倉庫 穀物庫 3
番號 7654

指圖式預證券

倉庫番號 567

ぶれーめんニ於テげぶらうは、しゆーれる殿ノ名義ニテ預ケ入レ、其指圖人ニ交附スヘキ商品ハ即チ

げぶらうは しゆーれる殿
ハ此倉庫證券ニ記載シアル商品
貳萬七千馬克
ニ對シ千九百〇五年十月一日限りぶれーめんノ獨
逸銀行ニ於テ支拂フベクぶれーめんノふりーどり
つひ りひてる殿ニ買入證券ニ依リ買入致候
記入帳簿D75頁
ぶれーめん千九百二十九年八月一日
ぶれーめん倉庫會社
取締役
ばうる しゆみつと ぶーーしーく

記號及番號	個數	寄託主ノ記載ニ係ル商品ノ種類、重量
R. S. T.	100	米國產棉花壹百捆 總量22600「キログラム」

次ノ如シ

げぶらうといふは、此倉庫證券ニ記載シアル商品ハ即チ
此商品ハ本倉庫證券ノ所持人ニ交附ス 即チ
1. 貨車料及商品ノ保管料保險料等千九百二十九年八月一日以後ニ
要シタル費用ノ支拂ヲ受ケタル後トス
2. 買入證券ノ還附以後トス
商品ハ火災ニ對シテハ營業規則ニ依リ保險ニ附ス
倉庫證券ヲ受取タル者ハ千八百七十七年五月十三日ノ法律並ニぶ
れーめん倉庫會社營業規則及買入證券規定ニ從フキモノトス
ぶれーめん倉庫會社
取締役
ばうる しゆみつと ぶーーしーく

第七章 倉庫ノ經營

第一節 倉庫ノ位置及構造

倉庫會社ノ資金ヲ要スルハ、主トシテ敷地及ヒ倉庫ニシテ其位地ノ便否、結構ノ良否ハ、直ニ營
業ノ隆替ニ關スルコト大ナレハ、位置ハ水陸交通ノ要衝ヲ選ビ、建物ハ水火、震災、盜難ニ耐ヘ、
蟲害、鼠害、微ヲ防キ、其他空氣ノ流通、惡疫ノ豫防等ニ於テモ充分ノ設備ヲ爲シ、現在ハ
勿論將來ノ需用ニモ適應シテ、遺憾ナカラシメサルヘカラス、是レ想フニ内外ノ倉庫業者カ常ニ
理想トシテ研究セラル、所ナラシ、然レトモ交通ノ要衝ハ地價多ク不廉ニシテ、完全且ツ廣大ナ
ル倉庫ハ莫大ノ經費ヲ要ス、倉庫業モ亦一種ノ營利事業ナル以上ハ、先ツ如何ナル種類ノ商品ヲ
幾何依頼スル者アリテ、保管料其他ノ收入大凡幾何ナルヘキカラ豫定シ、之ニ應スル設備ヲ行ハ
サルヘカラス、敷地ノ選定等ニ於テ將來ノ發展ヲ豫測スル、固ヨリ必要ナルニ相違ナキモ、猥リ
ニ將來ノミニ着眼シ、設立當時ハ收益ヲ顧ミサルカ如キハ、大資本ヲ擁スル個人ナレハ兎ニ角、
株式組織ノモノニ在リテハ、蓋シ株主等ノ承認セサル所ナラン、是レ特ニ倉庫業ニ限ラレタル困
難ニハアラサルヘキモ、資本ヲ固定スルコト多キ斯業ノ如キニ於テハ、頗ル重要ノ問題ナラスン
ハアラス、以下參考ノ爲メ、主トシテ本邦及ヒ米國ノ倉庫ニ關スルモノヲ述フヘシ。

第一款 倉庫ノ位置

倉庫ハ或ハ河川、港灣ノ沿岸ニ在リ、或ハ鐵道停車場ノ附近ニ在リテ、貨物ノ運送、及ヒ出入ニ便セサルヘカラス、港灣ハ多ク鐵道運輸ノ便アルモノナレハ、普通ノ倉庫ヲ之ニ設クルハ、策ノ得タルモノナルノミナラス、兼テ保税倉庫業ヲ營ムモノ、如キハ、輸入手續、稅關等ノ關係上、特ニ地ヲ開港埠頭ニ設クルヲ可トス、是レ歐米ニ於テモ、本邦ニ於テモ倉庫會社ノ大ナルモノカ、多ク貿易港ニ設立セラル、所以ナルヘシ、然レトモ特別倉庫、例ヘハ專ラ農産品ヲ保管スルモノノ如キハ、勢ヒ其產地ニ於ケル集散點ヲ選ヒ、必ラスシモ港灣ニ限ル能ハス、例ヘハ米國ノ穀物倉庫ハ多ク西部ノ停車場附近ニ在リ、本邦ノ藪倉庫カ上、信武諸國ノ養鷺地ニ在ルカ如シ、其他冷蔵倉庫、家具倉庫ノ如キ、亦之レト同シク、需要者ノ如何ニ依リテ其ノ位地ヲ選定セサルヘカラサルモノナリ。

第二款 倉庫ノ構造

第一項 緒言

倉庫ヲ如何ニ建築スヘキカハ、倉庫營業上ノ重要問題タルヘシト雖モ、事建築技術ノ專門ニ屬シ且ツ其建築法モ普通倉庫、藪倉庫、冷蔵倉庫等、倉庫ノ種類ニ依リテ、同シカラサルヲ以テ、以

下我邦及ヒ米國ノ普通倉庫、及ヒ特別倉庫中重要視セラル、穀物倉庫ニ關スル建築ヲ略説シ、且ツ其入庫及ヒ出庫手續ヲ舒述スヘシ。

第二項 我邦ノ倉庫

(一)構造 我邦ノ倉庫ニハ煉瓦、石造、土藏等種々アルモ、最モ多キハ舊式ノ土藏造ナルヘシ、大震火災前ニ於ケル東京深川邊ノ米藏ノ如キモ、多クハ土藏ニシテ俗ニ三口ト稱スル間口三間、奥行三間ノ平家建倉庫ナリ、其ノ構内運輸、火災豫防、空氣ノ流通等ノ設備モ特ニ擧ケテ言フニ足ルヘキモノ少キカ如シ。

實際家ノ說ニ依レハ、米藏ノ如キハ煉瓦造ヨリ寧ロ土藏ノ方優レト云フ、是レ煉瓦ノモノモ、二三年ハ別ニ缺點ヲ表ハサルモ、土藏ヨリ乾燥スル爲メカ、入庫セル米ノ減リ方多キカ爲メナリトカ。(東京深川山崎廻米問屋ノ倉庫ハ理想的米藏ナリト云フ(田尻博士談))

米藏ハ實際上、年ヲ經ルニ從ヒ、米ノ減リ方多シ、其原因ハ明カナラサルモ、別ニ空氣ノ流通惡シキ爲メニアラスシテ倉庫ヲ間斷ナク使用スルトキハ、庫内ノ濕氣ヲ減シ、米ヲ乾燥セシムルカ爲ナラン、現ニ乾燥セル煉瓦入レタル後ニ、米ヲ入ルルトキハ、非常ナ減リヲ生シ、又古來堆荷ノ上ニハ鹽ノ空俵ヲ擴ク置クヲヨシト言ヒ傳フルニテモ、此說ノ架空ナラサルヲ知ルヘシ云々。(農業倉庫ノ節參照)

三菱倉庫會社神戸支店ノ構造及ヒ設備ハ新式洋風ニシテ、本邦ニ於テハ之ニ及フモノ少カルヘシ、次ニ其要點ヲ述ヘン。

神戸支店ハ、和田倉庫(地坪壹萬坪)、島上倉庫(同四千五百坪)、高濱倉庫(同壹萬五千坪)及ヒ小野濱倉庫(同六千八百坪)ノ四箇所ヨリ成リ、上屋ヲ合セテ、總坪數三萬六千ニ達ス、高濱ハ主トシテ砂糖、内國米ヲ、小野濱ハ主トシテ輸入雜貨、鐵類ヲ、島上ハ主トシテ内國米ヲ保管シ、海陸聯絡點タル和田倉庫ハ主トシテ棉花ヲ收ム。

(同倉庫ハ去三十九年六月始メテ日本棉花同業會ノ要求ヲ容レ、輸入棉花ノ爲メ諸般ノ設備ヲ加ヘ、陸揚荷捌ノ事業ヲ開始シ次テ棧橋建造、海陸聯絡ノ企テ起スニ至リタルモノナリ)

倉庫ノ設備ハ一面ニ平滑ナル「ベトン」ヲ以テ敷キ擴ケ、内壁ヲ設ケス、打通ト爲シ、左右ノ外壁ハ煉瓦、屋根ハ亞鉛葺ノ構造トス、就中重要ナル建物ハ鐵骨「コンクリート」ヨリ成リ、神戸各倉庫中異彩ヲ放ツ、此倉庫ハ白石工學博士及ヒ高橋學士カ、傍ラ我邦ノ建築界ニ範例ヲ示スノ目的ヲ以テ、建築シタルモノニテ、壁、柱、天井、屋根、扉ニ至ルマテ、一木、一石ヲ用キス、悉ク「コンクリート」ヲ以ツテ固メ、柱ノ中ニハ四本ノ鐵幹ヲ建テ、壁、扉、天井等ニモ、相當ノ鐵幹ヲ塗リ入レテ之レカ支骨ト爲シ、更ニ天井ニハ鐵網ヲ張込ミテ其ノ墜落ヲ防ク、其ノ面積四百六十坪ヲ有ス、試ミニ屋中ニ入レハ、一個ノ鑄型ニ流シ込ミタル長方形ノ石牢ノ如ク、之レヲ打テハ確々トシテ鐵巖ノ如シ、外壁ニ沿フ階段ヲ上レハ、屋上ハ緩勾配ヲ有スル廣キ平面ニテ、處々ニ破風アリ、光線取並ニ換氣ノ爲メニ備ヘラレ、屋上優ニ「テニス」ヲ闘ハスニ足ル。〔近年ハ珍シカラサルモ、其當時ハ出色ノ建築ナリキ〕

解舟ニ對スル陸揚設備トシテハ、専ラ海岸ニ設ケタル六基(一噸半ツツ)ノ蒸汽起重機(Steam Crane)ニ依リ、重量品ハ五十噸ノ海上起重機ニ依レトモ、尙六噸ノ輕便起重機(Portable Crane)ハ棧橋上ニ据付ケ、陸揚ニ便セントスル計畫中ナリ。

庫内ノ運搬ハ主トシテ人力ニ依レトモ、棉花ノ如キ大貨物ヲ積ミ上ルニハ、勢ヒ機械ノ力ヲ借ラサルヘカラサルヲ以テ、頭上起重機(Overhead Crane)ヲ天井ニ備ヘ付ケ、電力ヲ以テ之ヲ運轉シ、且ツ其位置ハ自由ニ之ヲ變更スルヲ得ヘカラシム。

倉庫ノ設備中特ニ注意スヘキハ火災殊ニ内部ヨリスル發火ノ豫防ナリ、三菱倉庫モ深ク此點ニ留意シ(同社兵庫支店ノ倉庫ハ二回罹災セシカ、皆内部ヨリ出ツ)構内一切火氣ノ使用ヲ禁シ、發電所ヲ設ケテ總テノ動力ヲ電氣ト爲スノ計畫ナリ(尤モ棉花ノ如キ點火シ易キモノハ、電氣ニテモ危険ナレハ、特別ノ用意ヲ要ス)又毎日四回庫内巡檢ヲ行ヒテ、火氣ヲ防クノミナラス、構内ニ徑四吋ノ鐵管ヲ通シテ、棧橋ノ給水管ニハ八個ノ水栓ヲ作り、尙所屬ノ小蒸汽船ニハ強力ノ「ポンプ」ヲ備ヘテ萬一ノ變ニ應セシメ、保管貨物ニハ明治火災保險會社ヲ始メ、其他外國三會社ノ保險ヲ附シ居レリ。(明治四十一年ノ夏頃)

現在ノ施設 用地面積五七、〇〇〇坪、海岸線延長五、五〇〇尺、保管倉庫ノ延坪二六、一〇〇坪(内高濱一〇、九一〇坪、和田九、九〇〇坪、新港九、四四六坪ナリ)荷捌上屋一五、三〇〇坪、鐵道延長九哩二九鎖、起重機三〇臺、起重機船三隻、エレヱター八臺、テルフアー二臺、ホイスト及デリック四五臺、シユート及コンヱイヤー三臺、小蒸汽船十一隻、船一五一隻ニ及フ

第三項 米國ノ倉庫

(一)構造 ノ要點ヲ述フヘシ。
 (A)高サ。我邦ニ於ケル倉庫ハ、平家若クハ二階建ナリ、是レ震災、火災、貨物ノ出入庫等ニモ便ナレトモ、交通ノ便ナル地ハ、漸次地價ノ騰貴ヲ來スヘキカユヘニ、今後ハ、多少其ノ層ヲ増加スルノ必要アルヘシ、米國ニ於テモ、平家建倉庫ノ割合最モ多キモ、四五層ノモノモ亦少カラズ、最モ多キハ十四階ノ高樓ナリ、今米國農商務省カ千六十三ノ倉庫ニ付キ調査シタル結果ハ次ノ如シ。

階數	倉庫數	百分率	階數	倉庫數	百分率
一	三六一	三四九	八	一六	一・五
二	一七三	一六三	九	八	〇・八
三	一五二	一四三	十	五	〇・五
四	一三〇	一二二	十一	一	〇・一
五	一〇二	九六	十二	一	〇・一
六	八四	七九	十三	一	〇・一
七	二七	二五	十四	一	〇・一
合計	一、〇六三	一〇〇・〇			

各階間ノ高サニ付テモ異説アリテ、或ハ「七呎ヲ可トス、積出積入ノ爲メニ堆荷ノ上部ニ多少ノ

空間ヲ存シテ、此高サナルトキハ、積出積入ニ便ナリト云ヒ、或ハ九呎ヲ可ナリトシ、又九階建十呎ノモノヨリ十階建九呎ノモノ優レリト云フ、今一階建、二階建等ニ分チテ、階ノ高サヲ比較セル表ヲ見ルニ、次ノ如シ。

- 一階建……最モ多キハ十一呎、次テ十六呎、二十呎、三十呎、十二呎等ニテ、平均ハ約十七呎ニ當ル。
 - 二階建……最モ多キハ十二呎、次ニ十、十四、十五、十八呎ニテ、平均十三呎半ナリ。
 - 三階建……最モ多キハ十呎ニテ、其三分ノ二ヲ占メ、之ニ次クテ十二呎トス、平均十一呎半ナリ。
 - 五階建……最モ多キハ十呎半、及ヒ十二呎、平均十呎四分ノ三ナリ。
 - 六、七階建……最モ多キト十二呎ナレトモ、七階ハ十呎ナリ。
- (各倉庫間ノ距離ハ成ルヘク多クシ、少クモ三十呎ヲ存スヘク、水面ニ向フモノナルトキハ、入口ヲ中央ニシ、之ニ向ハシムヘシ。)

建坪ハ調査倉庫三百十一中、次ノ割合ニテ、一倉庫ノ平均建坪二萬四千五十方呎(凡ソ我六百七十坪)ニ當ル。

倉庫數	面	積	割合
五二	五、〇〇〇方呎以下		六分ノ一
七三	五、〇〇〇—一〇、〇〇〇方呎		四分ノ一弱
七七	一〇、〇〇〇—二〇、〇〇〇方呎		四分ノ一
四〇	二〇、〇〇〇—三〇、〇〇〇方呎		—

三〇	三〇,〇〇〇—五〇,〇〇〇方呎	—
二七	五〇,〇〇〇—一〇〇,〇〇〇方呎	—
一二	一〇〇,〇〇〇方呎以上	—

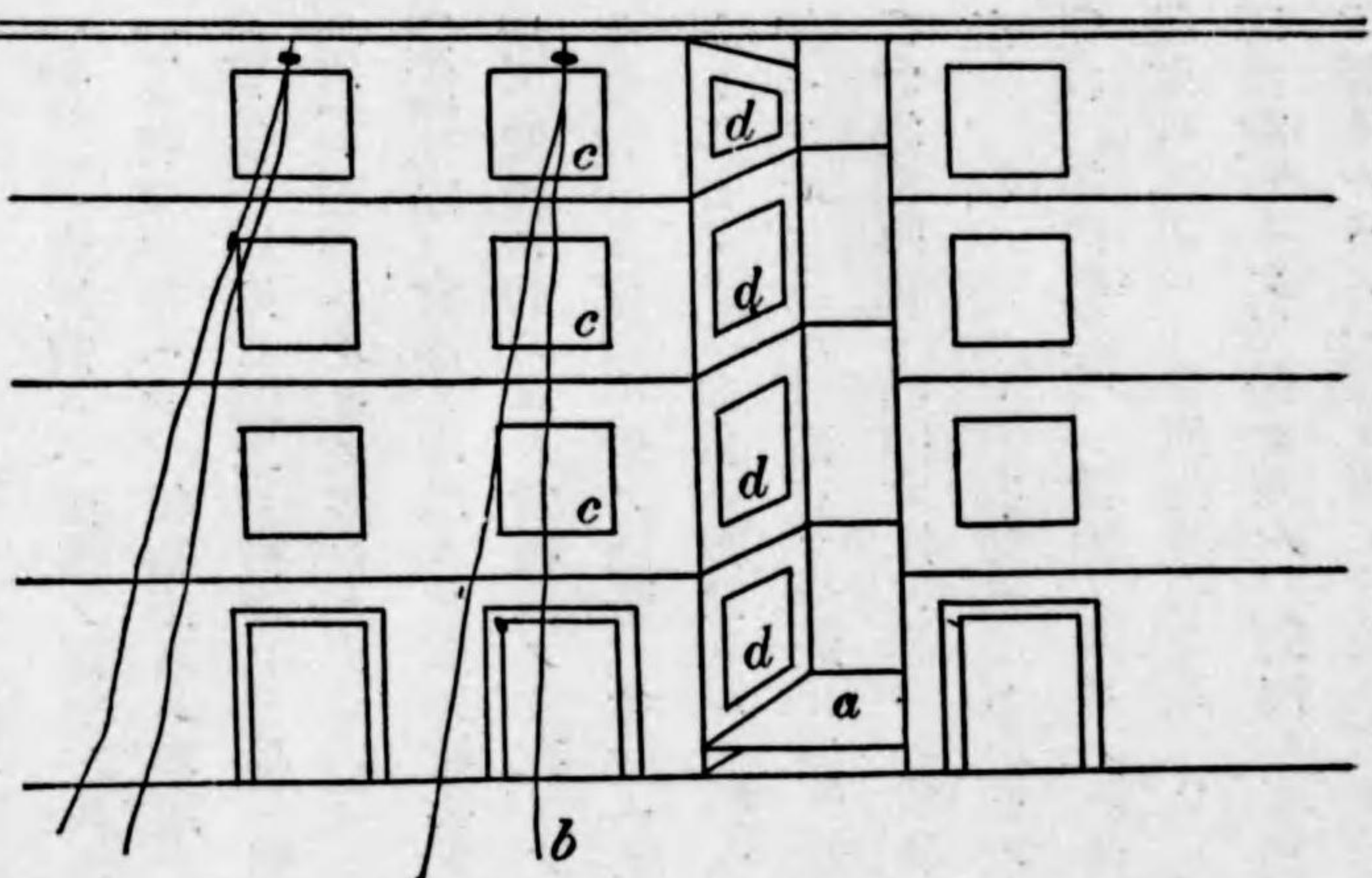
(B)材料 倉庫ノ材料ハ入庫貨物ニ依リテ異ナリ、一概ニ煉瓦ヲ可ナリ、鐵筋「コンクリート」ヲ最上ナリト云フコト能ハサルヘキモ、米國ノ如キモ最モ多キハ亦煉瓦ナリ、今六百二十六倉庫ニ付テ調査セル結果ヲ見ルニ次ノ如シ。

煉瓦	五六・三九%	煉瓦及石材	五九・一%
木	一六・六二%	其他	三・二六%
煉瓦及木材	七八・二%	計	一〇〇・〇%

(C)收容力 米國百二十三會社ノ平均面積ハ八萬六千方呎、倉庫建物カ壁、柱、梯子、昇降器等ニ依リテ占メラル、割合ハ、平均一割九分餘ニシテ、床上ノ平均積載力ハ、一方呎ニ付キ三百四十封度(凡ソ我四十貫)ナリ、即チ次ノ如シ。(最近ノ調査ハ第二章第二節第四款參照)

壁及柱	……三〇・六	昇降器及梯子	……二・八五	通行路	……二・九五
計	……一九・三二				

(二)構内設備 設備ニ就テ先ツ述フヘキハ昇降器(Elevator)ナリ、米國ノ倉庫カ多ク高キ爲メ、此器械ヲ設クルハ勿論ナレトモ、之アルカ爲メ、階數ノ多キハ著シキ障碍ト爲ラサルカ如シ、「ブ



第七章 倉庫ノ經營 倉庫ノ位置及構造

ツシユ」倉庫ノ如キハ、孰レノ室モ、前後ニ昇降器用ノ大ナル窓口アリ、我邦ノ窓ト稱スヘキモノナシ、而シテ同一階上ニ在ル相隣レル室ノ間ハ、相交通スルコトヲ得ルモ、各階ノ上下間ヲ通スヘキ口之ナシ、是レ昇降器ニ依リテ通スルカユヘナリ上圖ハ倉庫ヲ前面ヨリ觀タルモノナリ、(a)ハ即チ昇降器ニシテ、其兩側ニ出入窓(d)アリ、昇降器ニ依ル貨物ハ此窓ヨリ出入セシム。其他ノ貨物ハ鐵條(b)ニ依リテ、各階ノ窓(c)ヨリ出入セシム、火災ニ對スル設備トシテハ、其外壁、家根等ヲ以テ外部ノ火ニ對スルヲ得ヘキモ、内部ノ火災ニ對シテモ亦相當ノ設備ヲ爲シ、假令出火スルモ成ルヘク其災害ヲ少カラシメサルヘカラス、是ヲ以テ自動放水器ヲ倉庫内ニ備ヘ、其一部ニ火災起レハ、其室ヲ水ヲ以テ満たサル、カ如ク爲シ、或ハ室ト室トノ間ノ戸カ自然ニ閉ツル如クシテ、同時ニ其自動報知器ニ依リ、火災ヲ通報スルカ如ク

(此他點燈ヲ電氣燈ニ限リ、夜間ノ出入ニ安全燈ヲ用井、喫煙ヲ禁止スルコト等モ必要ナリ)

【聯絡】 倉庫前ニハ幾多ノ屋根アル上屋的ノ船付場アリ、數多ノ汽船ハ同時ニ之ニ依リ貨物ノ積卸ヲ行フヲ得ヘク、棧橋上ニハ軌道ヲ延長シテ、汽船ヨリ直チニ列車ニ積ミ移スコトヲ得ヘシ、故ニ僅々兩三日陸上ニ置キテ、他ニ船積セラル、モノハ倉庫内ニ入レス、上屋ニ留メ置キ、直ニ他船ニ積替ユルモノ多シ。

【事務所】 倉庫ノ本社カ倉庫ノ建物ト離レ居ルモノ多キヲ以テ、倉庫構内ニ事務所ヲ設ク、事務所ハ我邦ノ如ク單ニ貨物係ノミ在リテ、貨物ノ出入ヲ貨物出入傳票ニ記入スルノミニアラス、證券發行ヨリ會社一般ノ庶務、會計ニ至ルマテ、皆此所ニ整理セラレ、又事務所ト本社トノ間ニハ私設電話アリテ自由ニ對話スルヲ得ヘク、大會社ノ本社ニ有リテハ、殆ント各札上ニ卓上電話ノ備ヘアルヲ見ル、而シテ會社ノ小汽船絶ヘス其間ヲ往來シ、構内列車モ亦其便ヲ助ク。

(三) 構内運輸 我邦倉庫ノ多クハ貨物ヲ荷車ニテ積ミ來リ、之ヲ倉庫ノ前ニ卸シ、人夫ノ手肩ニ依リ、積ミ込マレ、其船ヨリスルモノハ、構内ノ小堀ヨリ直チニ倉庫ニ積ミ入ル、ヲ得ルモ、起重機、構内軌道等ノ設備アルモノハ少シ、紐育倉庫ノ如キハ、入庫貨物ノ陸路ヨリスルモノハ、鐵道列車ノマ、倉庫内ニ引キ入レラレ、停車場ヨリ河ヲ越ヘテ來ルモノハ、鐵道會社ノ船又ハ貨車積載船ニテ曳船シ來ル、對岸ニ至レハ其マ、軌道ニ依リ、倉庫ノ前ニ曳キ入ルヘク、又荷車ニテ積來ルモノハ馬ヲ用ヒ、船ニテ來ル貨物ハ倉庫前ノ棧橋ニ横附クト爲リタルマ、之ヲ積卸シ

如何ニ巨大ナル船舶ニテモ、此處ニ來リテ荷役ヲ爲スコトヲ得ルユヘ、到底我倉庫カ往々舳舂ノ便ヲモ有セサルト、同日ノ談ニアラス、貨物ノ出入庫ハ階下ノ外スヘテ昇降機ニ依ルコト、次款ニ述フルカ如シ、又上屋ニハ内部マテ軌道ノ横ハルアリテ、貨車ヨリ直ニ積出、又ハ積入ル、モ、普通倉庫内ノ貨物ノ轉搬ハ人力ニ依ル。〔近年我邦ニ於テモ三菱、東神、住友等ノ如キ大倉庫ハ外國ニ劣ラサル荷役ノ設備ヲ設クルニ至レリ〕

右ハ一般倉庫ニ就テ述ヘタル所ナレト、穀物倉庫、冷蔵倉庫等、入庫貨物ニ依リテ、特別ノ結構ヲ要スルハ勿論、上屋、穴倉、〔タンク〕等モ亦特有ノ構造アルヘシ。
上屋 (Roof) ハ一時貨物ヲ假置スル建物ニシテ、粗末ナルモノハ「トタン」葺キ、外壁ナシノ柱立ニ過キス。
穴倉 (Cellar) ハ即チ地下倉庫ニシテ、多ク液體、濕氣物ヲ入ル。
〔タンク (Tank)〕 石油貯藏所ニシテ、火災豫防ノ爲メ、水中ニ設クルモノアリ、大ナルハ二千噸乃至三千噸ヲ收容スト云フ。

第三款 積込及積出手續

本款ニ於テハ、倉庫中比較的發達セル、穀物倉庫ニ關シ、我邦及ヒ米國ニ於ケル貨物出入庫ノ手續ヲ述ヘントス、是レ其設備ノ研究資料タラシメンカ爲ナリ、尤モ我邦ノ分ハ深川邊ノ某倉庫、米國ノ分ハ紐育ノ某倉庫ナリト知ルヘシ。

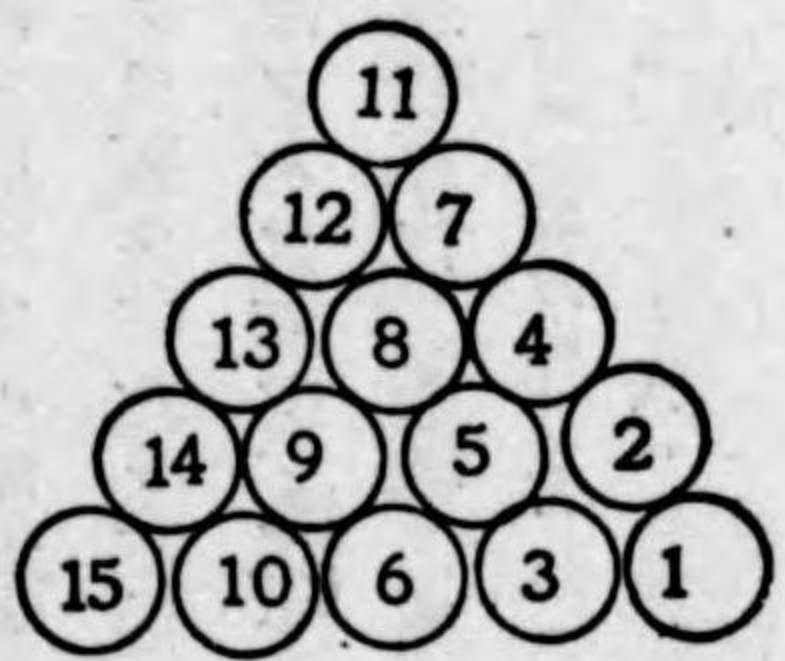
第一項 我邦ノ米倉出入庫

一、陸揚 先米俵ヲ積ミ入レタル船カ、會社ニ來ルトキハ、運送店ノ代理人ナル荷捌人立會ノ上

荷物ヲ引渡ス、此ノ際船ヨリ陸ニ揚ケ、倉へ入レ、樹ヲ附クルハ出入扱方タル人夫ノ仕事ナリ、時ニ習慣トシテ、陸揚スルマテハ「水揚」ト稱スル特別ノ人夫ニ取扱ハシムルコトアルモ、都合上水揚ヲ使用セサルモ妨ケナシ。

二、水揚廻シ 「樹廻シ」即チ數俵ノ實際樹目ヲ見テ、平均ノ入りヲ定ムル方法ハ、陸揚後、庫入前ニ行フ手續ニシテ、斯ク入庫ノ際ニ行フ樹廻シヲ「水揚廻シ」ト云ヒ、其目的、産地ニ於ケル入レ樹ノ見當ヲツケ、併セテ賣買ノ際ニ於ケル賣値ノ參考ト爲スニ在リ、此際水揚ハ俵數、輕目アルカ、澤手アルカ等ヲ水揚帳ニ詳記シテ、倉庫及ヒ得意先ニ報告ス。

三、出庫 賣買ノトキハ、買方ノ出入扱方ト樹取トハ倉庫ノ出庫指圖書ヲ携ヘ現場ニ至リ、常夫ノ指圖ニ依リ、其倉庫ニ付キ貨物ヲ改ム、常夫トハ會社ニ專屬スル使用人ニテ、出入庫ノ監督者ナリ。



賣買ノ約定ハ時ニ荷物現狀ノマ、定マル事アレト、多クハ貨物ノ一部ヲ抽キ出シテ改ム、若シ貨物ヲ出シタルノミニテ、折合ハサルトキハ、貨物ノ一部ニ就キ、次ノ方法ニ依リ、實際ニ検査ヲ行フ。

先ツ出庫セル米俵ヲ上圖ノ如ク幾ツカノ山形ニ積ムヘシ、山形ニ積ムヲ「本俵」ト稱シ、正當ニ入り居ルヘキ樹目アルモノ、ミニ限リ、輕目、澤手ノ如キハ之ヲ傍ニ除キ置キ、此本俵ニテ平均ノ樹目ヲ量リシ後、

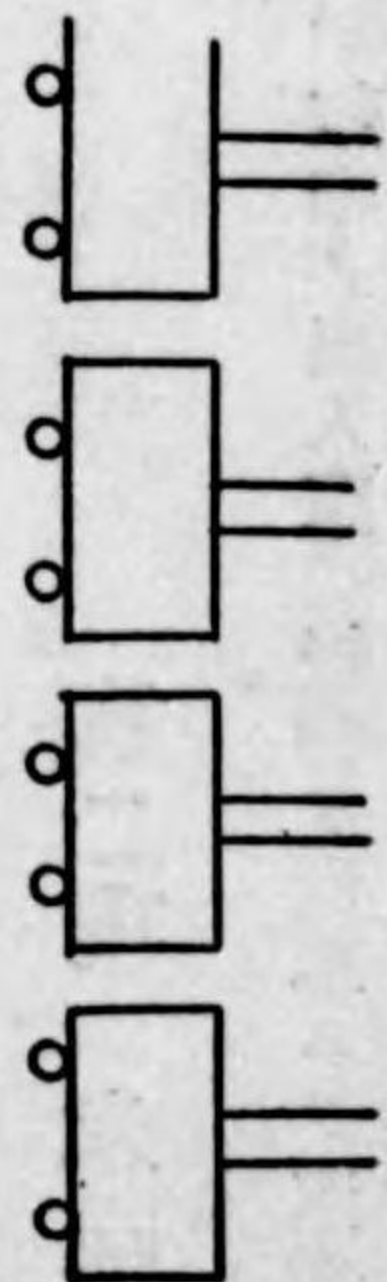
引石ト稱シ何程カラ割引シテ賣買セラル、輕目、澤手ヲ除キ去ルハ人夫ノ熟練ニテ、肩ニテ之ヲ知リ、本俵ハ別ニ積ミ置クナリ、一積ミノ俵數少キハ十俵多キモ三十六俵ヲ超ヘス。

各堆積米中實際ニ検査ヲ施スヘキ俵ハ、抽籤、(一ヨリ三十六マテヲ刻シアル棒ヲ袋ニ入レ置キ、之ヲ抽ク)ニ依リテ之ヲ定ム、例ヘハ一回ニ三ノ數出テタルトキハ圖ノ如ク山ノ一端ヨリ數ヘテ第三ノ俵ヲ出シ、次回ニ九、其次ニ十一ト云ヘル如ク大低三俵ヲ抽キ出シ、(十五俵ノ山ニテ十七ノ數ト云ルカ如キトキハ、廻リテ第二ノ俵ヲ採ル)此撰出俵ニ付キ樹取リハ其經驗ニ依リテ之ヲ持テ上ケ、手加減ニテ米ノ樹目ヲ見ル、此際賣方ノ樹取リハ三俵中ヨリ一俵ヲ除外スルコトヲ得、是亦熟練セル小揚カ其重量、品質等ヲ見定メタル後行フモノトス、斯クテ残りノ二俵ニ付キ、實際ノ樹目ヲ量リ、其平均樹目ヲ以テ賣買ノ標準トス。

検査済ノモノヲ船ニテ運搬センニハ、出入扱方カ之ヲ船積ス、尤モ船頭、扱方、樹取等ハ倉庫會社ト直接ノ關係ヲ有スルモノニアラスシテ、船頭ニハ親方アリ、出扱方人夫ニハ人夫頭アリ、樹取ニハ其元締アリテ、是等ノ親方等カ會社ニ對シ賃銀其他ノ交渉ノ任ニ當ル、尤モ小揚ハ荷主ノ人夫カ運搬スルコトアル爲メ、會社ハ之ニ關係セサルヲ常トス。

第二項 米國ノ穀倉出入庫

一、穀物ノ出入庫 穀物ヲ汽車ニテ運搬スルトキハ、多ク散ノマ、貨車ニ積ミ入ル、ヲ以テ、此貨



車ヲ倉庫内ニ曳キ入レ、之ヲ揚穀器 (Elevator) ノ脚ニ配置ス、貨車ノ長サハ、多ク三十六呎 (我六間) ナルヲ以テ揚穀器ハ其間隔ヲ三十七呎前後トセハ可ナラン、

(即チ前圖ノ如シ) 然ル時ハ揚穀器ハ其桶ニテ穀物ヲ倉庫ノ最高所ニ持チ上ケ之ヲ秤箱ニ落シ、之ヲ秤リタル後、穀物貯藏函ナル穀箱内ニ落シ入ル、モノトス。船積セントスルトキハ、先ツ下ニ落シ、次ニ揚穀器ニテ最高所ニ持チ來リ、之ヲ秤箱ニ落シ、ソレヨリ積出箱 (Shipping Bin) ニ入レ、其底部ヲ開キ、管 (Spout) ニ依リテ、貨車又ハ船内ニ流シ込ムモノトス、之ヲ圖解スレハ次ノ如シ。

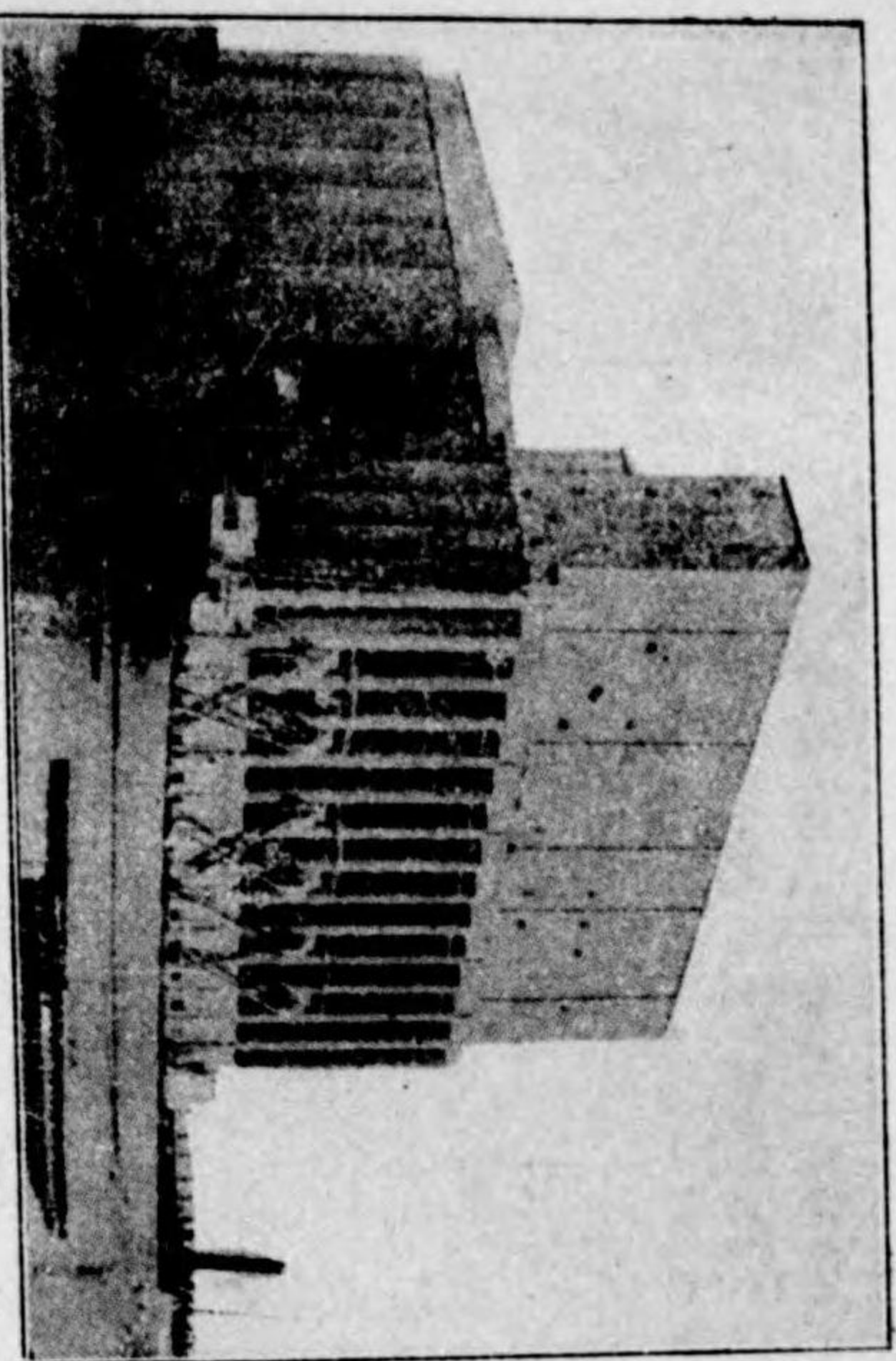
此設備中重ナルモノハ穀箱、揚穀器及ヒ運搬器ナリ。

(甲) 穀箱……ハ穀物貯藏所ニシテ、其形四角、六角或ハ圓形トス、圓形ハ堅固ナレトモ、四角ハ造リ易キ爲メナリ、又六角ハ兩者ノ折衷形ニシテ、多ク費用ヲ要ス。

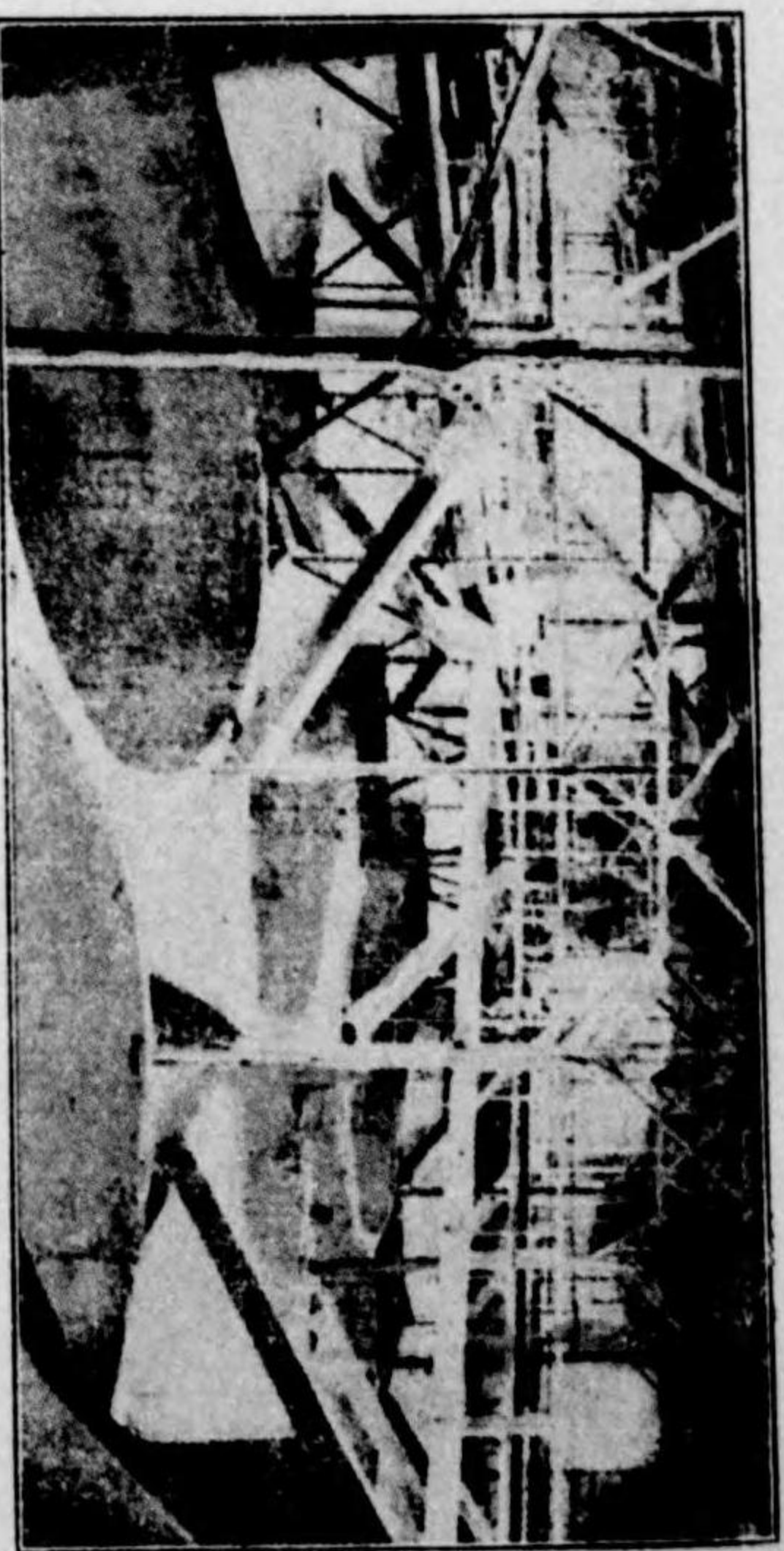
材料ハ鐵、煉瓦、「コンクリート」木材等區々ニシテ、其特色ヲ舉ケレハ、木材ハ費用ヲ要セサルモ、燃焼シ易キ缺點アリト雖モ、米國ハ木材ニ富ムヲ以テ、木材ノ箱多キヲ占ム、鐵及鐵ハ建築上ノ便利アルノミナラス、堅牢ニシテ火災ニモ耐ユルモ、穀物ノ濕氣其表面ニ凝結シテ錆及微チ生シ易シ、尤モ之ヲ防クニハ、箱ノ内面ニ「セメント」ヲ用フレハ可ナルモ、斯クスルトキハ費用ヲ増スノ缺點アリ、煉瓦及ヒ「コンクリート」ハ最も多ク英國ニ用ヾラレ、重量多キモ耐火性ニシテ熱及ヒ寒サヲ導クコト少シ。

(乙) 揚穀器……ノ目的ハ穀物ヲ高所ニ揚クルニ在リ、即チ船ノ荷倉又ハ埠頭ヨリ、欲スル所ヘ位置ニ穀物ヲ舉グルニ在ルナリ最モ普通用ヾラル、ハ、無數ノ「バケツ」チ皮「ツツク」又ハ「ゴム」ノ帶ニ附着セシモノニテ、此帶ハ木又ハ鐵ノ棒ヲ通シテ

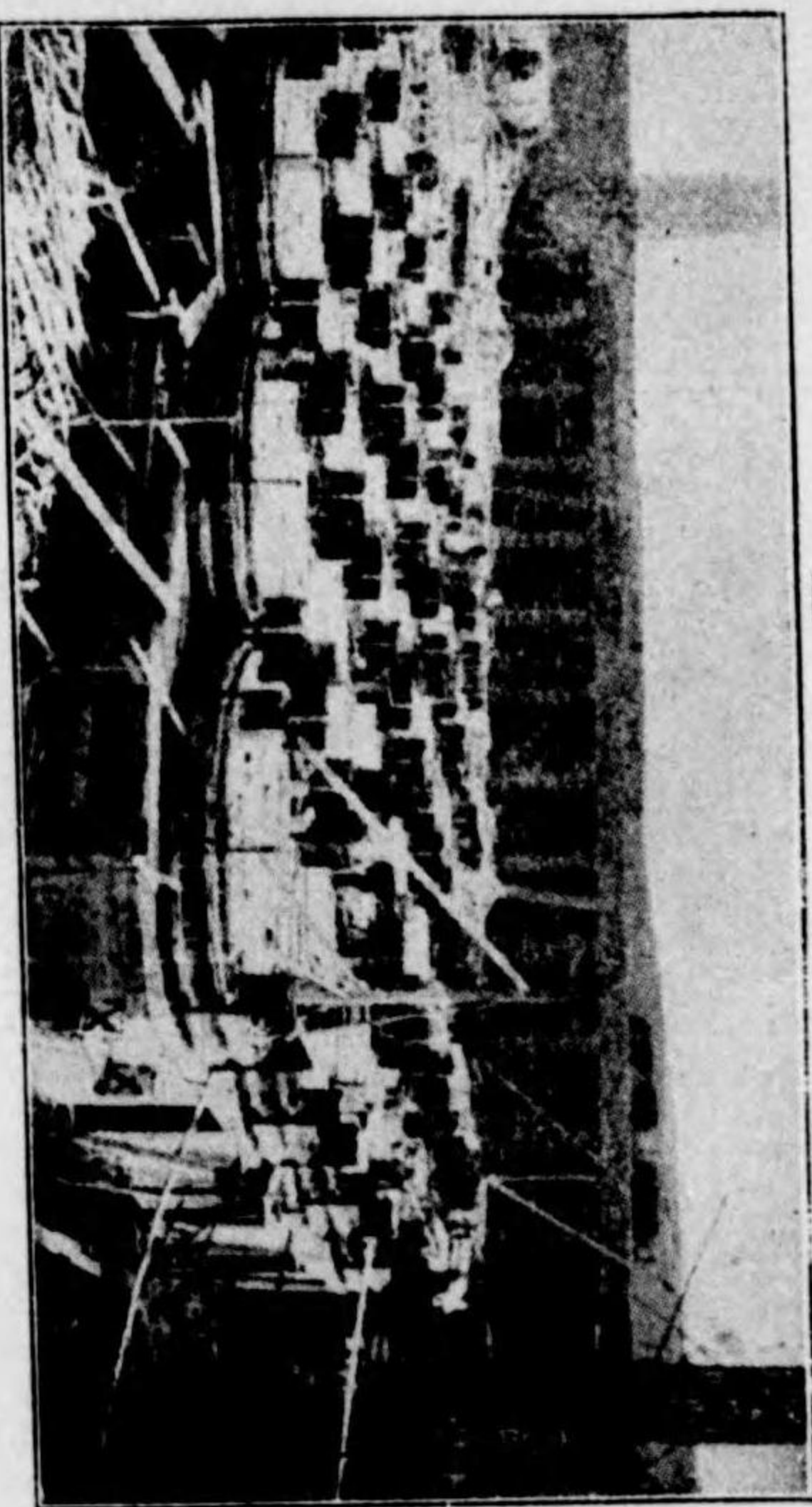
米國穀物倉庫ノ圖 (Grand Trunk Pacific Elevator)



(全 景)



(穀 槽)



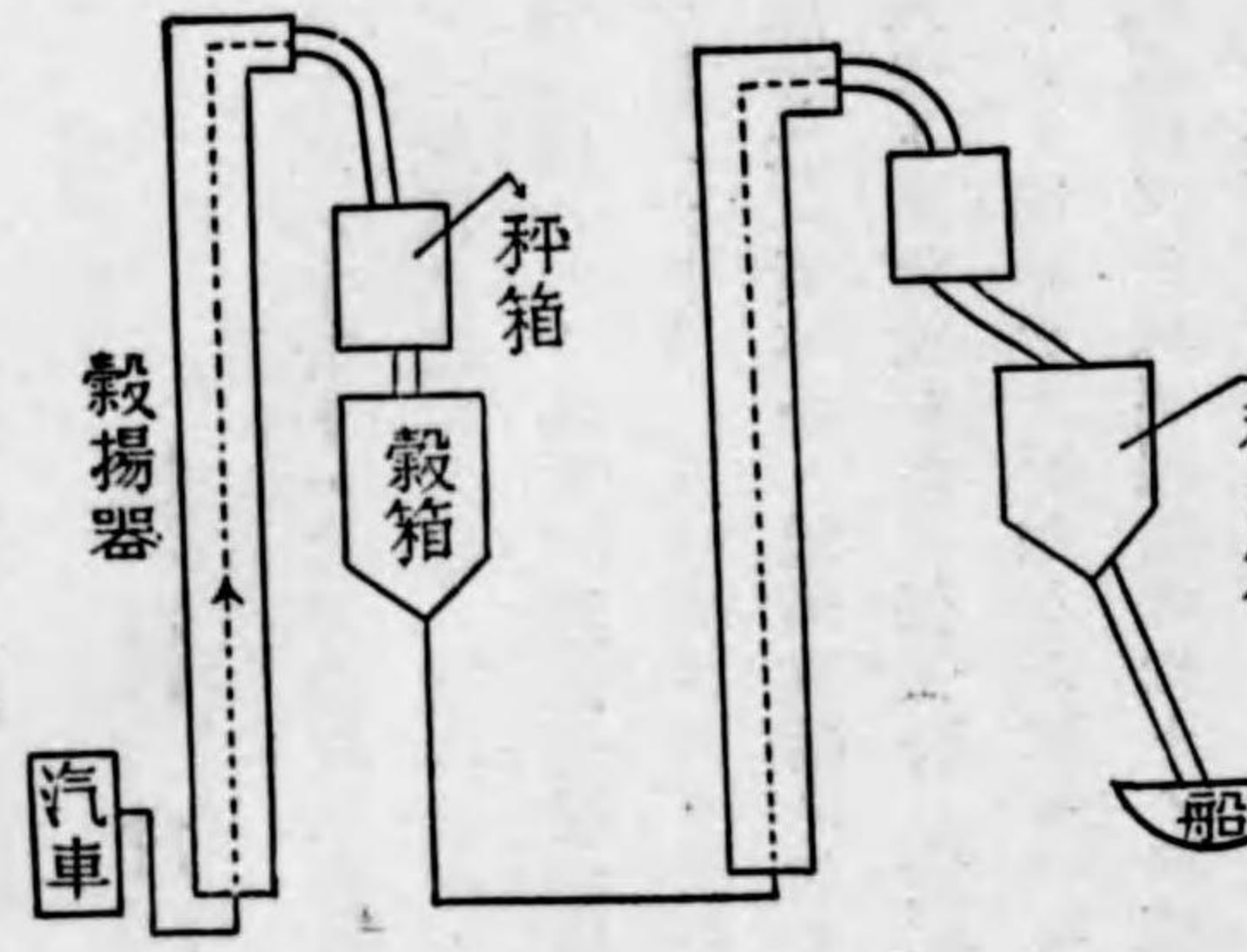
(基 礎)



(穀槽ノ底及吐出ノ管)

廻り、最下部ニ在ル「バケツ」ハ、穀物ヲ取り入レ、最高部ニ來ルトキハ、穀物ハ其惰力ニテ投ケ出サル、揚穀器廻轉ノ速力ハ普通一分間三百五十呎ヨリ四百五十呎トス、上部ニ在ル滑車ノ大サハ十八吋乃至四十二吋ニシテ、滑車ノ大サヲ増スニ從ヒ、速力モ増加シ得ルモノトス、下部ノ滑車ハ狭小ノ所ニ入ル、爲メ、上部ヨリ小ナリ、此兩車ノ距離ハ變更シ得ヘク作ラレ、又鎖ハ所々取り外シテ爲シ得ル爲メ、伸縮自在ニテ、殊ニ雨露ニ曝ラサレタル場合ニハ革帶ニ優ルモノトス。

積出箱



(丙)運搬器……ハ種々アレトモ最モ、實用的ニシテ、運搬スヘキ距離十五碼以上ノトキハ革帶ヲ用ユ、其穀物ヲ受取ル端ヨリシテ、數尺ノ間ハ兩側ヲ高クスルコト便利ナレトモ、其後ハ此必要ナシ、此帶ヲ造ルニハ「ローラー」ヲ用ユ「ローラー」ハ或ハ中實ナル堅キ木材又ハ中空ノ鐵材ナリ。普通四吋ヨリ六吋ノ直徑ヲ有ス、六呎ヲ離レテ置ケヘク、下部ノ帶ハ其倍ノ距離ニ之ヲ置ケヘシト雖モ、下部モ運搬ニ使用サル、トキハ、距離ハ上部ノ帶ト同一ニス、此帶ハ普通建物ヲ通シテ走り、若シ倉庫力煉瓦又ハ他ノ耐火的區劃ニテ分タレタルトキハ、此帶ヲ通スヘキ穴ヲ有スル鋼鐵ノ戸ヲ以テ保護シ、此戸ハ帶カ動キ居ラサル時ニノミ閉チ置ク様ニスルヲ可トス。運搬器ハ揚穀器ト同一ノ速力ヲ有スルモ、物品ノ輕重ニ依テ力ヲ異ニシ、例ヘハ玉蜀黍ノ如キ重キモノハ、燕麥ノ如キモノヨリ、速力ヲ速ムルモ差支ナキカ如シ(重キモノハ飛ハサルカユヘナリ)

(丁)穀物運搬器……右ノ外、壓縮空氣ヲ應用シ、吸收及ヒ吐出ノ作用ヲ行ハシムル、兩者兼帶ノモノアリ、就中倫敦某會社ノ技師カ發明セシモノハ屈伸自在ナル管ヲ通シテ穀物ヲ吸收セシメ、之ヲ他ノ管ニ入レ、是ヨリ欲スル所ニ在ナル管ヲ通シテ穀物ヲ吸收セシメ、此管ノ吸收口ヲ軌レノ部分ニモ、軌レノ種類ノ穀

送り出サシムル者ニテ、此器械ノ特色ハ、穀物ヲ船ヨリ荷揚スル場合ニ、此管ノ吸收口ヲ軌レノ部分ニモ、軌レノ種類ノ穀物ニモ應用シ得テ、人力ニテ掻キ集ムル勞力ヲ省クニ在リ。

第七章 倉庫ノ經營 倉庫ノ位置及構造

右ノ如ク穀物ノ出入庫上無上ノ便アルノミナラス、近年内地ニ在リシ製粉所ハ、漸ク海岸埠頭ニ接近シテ、穀物倉庫トノ間ノ運搬上ノ手數ト費用ヲ省クノ傾キアリ。

第二節 倉庫ノ會計

茲ニ倉庫ノ會計トハ、普通倉庫會社ノ營業ニ關スル收支顛未ヲ整理スル方法ノ謂ヒニシテ、官設若クハ私設ノ保税倉庫ニ關スルモノヲ含マス、是レ官設保税倉庫ノ會計ハ官廳事務ニ屬シ、會計法規ニ涉ルコト多ク、私設保税倉庫ノソレハ、税金ニ關スル事項ノ外、普通倉庫ト著シキ相違ナキカ爲メナリ。

倉庫會社ノ資本ハ、地所建物ノ如キ不動産ニシテ、單ニ他人ノ貨物ヲ出入セシメ、若干ノ事務員ト人夫トヲ使役シテ、保管料、貸庫料等ヲ得ルヲ以テ目的ト爲スモノナルカ故ニ、其會計整理モ亦極メテ簡單ナルカ如シト雖モ、一見容易ナルカ如キ貨物ノ出入ニ關シテモ詳密ナル記帳ヲ要シ其他銀行又ハ火災保險會社トノ關係、若クハ代金取立ニ關スル賣主及ヒ買主トノ關係等、頗ル複雑ナル事項アルヲ以テ、多クハ種々ノ精密明瞭ナル補助簿ヲ作りテ、之カ整理ヲ爲スヲ常トス。尤モ其主要簿ハ普通商業簿記法ノ所謂主要簿、若クハ銀行簿記ノ主要簿ト大差ナキモノニシテ、其業務ノ性質上異ナル所ハ、唯補助簿及勘定科目ノ二者ニ在ルナリ。

第一款 勘定科目

簿記法上勘定科目トハ、日々ノ取引ヲ整理記帳スル手段トシテ、同種又ハ類似ノ取引ノ目的物ヲ集メ、之ニ適宜ノ名稱ヲ附シタルモノニ外ナラス、隨テ同シク倉庫會社ト云フト雖モ、其取扱フ所ノ業務ノ種類ト、規模ト大小トニ依リテ同シキヲ得ス、殊ニ倉庫ノ帳簿整理ハ、銀行簿記ノ如ク、殆ント規則ヲ以テ一定シタルカ如クナルモノ、比ニアラス、又會計主任者ノ意見ニ依リテ定ムルノ有様ナルカ故ニ、茲ニハ暫ク三菱倉庫株式會社ノ帳簿ヲ模範トシテ説明スヘシ。〔現在ハ多少異ナルヘシ〕

甲 資産負債ニ屬スル勘定科目

一 借方勘定 トハ簿記法ノ所謂借方ニ顯ハルヘキ勘定、即チ倉庫ノ債權タル勘定中、或ル特別ノモノ、總稱ニシテ、其内譯次ノ如シ。

當座預ケ金 倉庫會社カ其取引銀行ニ預ケ入タル當座預金ナリ。

假 拂 時貸シ、其他一時假リニ支出シタルモノ。

立 替 金 庫入貨物ノ運賃、其他ノ立替金。

二 貸方諸勘定 トハ諸種ノ預リ金ニテ、倉庫ノ債務トナルモノナリ、即チ

假 納 一時ノ都合上、荷主ヨリ預ケ置クヘク依頼サレタル如キモノ。

未 決 ハ以下ノ差金釣銭及辨濟金ト共ニ取立代金（重ニ米穀ノ）一種ニシテ、

庫入貨物ノ買主カ、例ヘハ米ナレハ實際ノ損廻シヲ爲シ、賣買價格決定前、見積代金トシテ倉庫ニ渡シタルモノ。

差 金 價格決定精算ノ結果、銀行ヘ支拂フヘキ辨濟金ヲ差引キタル殘額ニシテ荷主即チ賣主ヘ渡スヘキモノ。

釣 錢 前記殘額ノ内、買主ヘ返戻スヘキモノ。

辨 濟 金 銀行ニ代リ、貸付金ノ辨濟トシテ受取リタルモノ。

取立代金 價格ノ決定シタル物品ノ取立代金。

借 入 金 金融ノ都合上、一時銀行ヨリ借入レタル借金。

備使人扶助基金 下級ノ手代、給仕、小使等ノ爲メニ、ソレ／＼積ミ立テ、洋服新調、

其他不時ノ必要費タラシムルモノ。

三、支店勘定 支店ニ關スル貸借ヲ明カニスル爲メニテ、各支店毎ニ一科目トス、例ヘハ「大阪支店」「神戸支店」等ノ如シ。

四、諸會社株券 倉庫ノ財産トシテ株券ヲ得タル場合ニ整理スル勘定科目ニテ、例ヘハ「中央倉庫株式會社株券」等ノ如ク、會社毎ニ一科目トス。

五、所有物勘定 倉庫ノ所有スル動産、不動産(前記株券及現金ヲ除ク)ヲ包含ス、例ヘハ「地所」「建物」「什器」「大阪材木置場勘定」ノ如シ。

六、株主勘定 株主ニ關スル諸勘定ニシテ、之ヲ「株金」「積立金」「割賦金」「前半期繰越高」「前半期損益」(以上貸方科目即チ倉庫ノ債務)及「拂込未済金」(借方科目)ニ分ツ、此中前半

期損益トハ例ヘハ前期ノ利益金ニシテ、未タ總會ニ於テ、「積立金」又ハ「割賦金」等ト決定セサルモノニテ、決定後ハ固ヨリソレ／＼振替フルモノトス。

七、金銀勘定 現金ノ出納ヲ明カニス。

乙 損益ニ屬スル勘定科目

之ニ屬スルモノハ、「保管料」「貸庫料」「利息」「雜收入」「貨物揚卸人足賃」「營繕費」「借庫料」

「借地料」「貨物火災保險料」「用品」「諸税金及印紙」「雜費」「給料」「旅費」「辨償金」「藏移賃」

及「所有物銷却金」ニシテ、就中説明ヲ要スト思ハル、ハ左ノ二科目ナリ。

借庫料 倉庫會社ハ他人ノ貨物ヲ預ルモノナレハ、固ヨリ相當ノ倉庫ヲ所有スルモ、又庫入貨

物ノ増加スル毎ニ、悉ク引受ケ得ルカ如キ、充分ナル設備ヲ爲シ得ルモノニアラサルヲ以

テ、臨時ニ個人又ハ會社ノ倉庫ヲ借入ル、コトアリ(殊ニ出保管ノ場合ニ多シ)、本科目ハ

即チ此料金ヲ整理センカ爲メニ設ケタルモノニ外ナラス(此料金ハ建物ノ構造ニ依リテ臨

機ニ定ムルモノニテ、大抵一箇月一坪何程トス)。

藏移賃 會社カ荷主ノ依頼ニ依リ、或ル貨物ヲ庫入レセンカ爲メニ、甲ノ建物ニ在ル元ノ貨物

ヲ、乙ノ建物ニ移サ、ルヘカラサルコトアリ、此場合ノ人夫賃ハ即チ此科目ヲ起シタル所

以ニシテ、依頼主ヨリ中受クルヲ常トスルモ、營業上往々會社自身カ負擔スルコト之アリト云フ。

第二款 帳簿ノ組織

倉庫ノ帳簿モ亦主要簿及補助簿ノ二種ニ分ツヲ得ヘシ、主要簿トハ、全般ノ會計即チ財産ノ増減變化ヲ一目瞭然タラシムルモノ、及ヒ其根本ノ材料タルモノニテ、補助簿トハ、或特殊ノ取引ヲ詳密ニ記入シタル備忘録ノ謂ヒナリ、而シテ主要簿ノ組織ヲ見ルニ、或ハ仕譯日記帳、金銀出納帳及元帳ノ三者ヲ用フルモノアレト、此會社ハ銀行ニ倣ヒテ、日記帳（増補日記帳ヲ含ム）及元帳ノ二種ヲ備フ、又補助簿ノ如キハ、會社ニ依リ種類、名稱、形式ヲ異ニスルコト前述ノ如クナレトモ、最近三菱倉庫ノ使用スル重ナルモノト、之カ記入材料ト爲ル傳票トヲ示セハ次ノ如シ。

(甲)貨物ニ關スルモノ

(一)入庫報告(雛形一) 倉庫ノ現場係(出入庫ニ關スル一般事務ヲ取扱フ)カ寄託者ノ差出シタル寄託申込書ニ依テ作成スル傳票ニシテ、之ヲ保管係ヘ廻付シ、次ニ保險係ニ廻リ、ソレノ材料ヲ供シ、最後ニ料金係ヘ廻付セラル、最モ重要ナル材料ナリ。

(二)水揚カード(雛形二) ハ各現場ヲ統轄スル保管係カ現場係ヨリ廻付サレタル入庫報告ニ依リ作成スル貨物臺帳ニシテ(證券作成前ニ於ケル)、茲ニ示スハ雜貨水揚カードナレト、此他

殆ント同様ノ形式ナル普通「カード」、保稅「カード」等アリ。

(三)證券原票(雛形三) 保管係カ、水揚「カード」又ハ寄託申込書ニ依リ、普通ノ貨物ニ對シテ倉庫證券ヲ發行スル毎ニ、各證券ニ付キ作成スル「カード」ニシテ、銀行關係ヲモ記入シ、裏面ニ出庫内譯ヲ詳記ス。

此外之ト同種類ノ「カード」ニ(一)保稅證券原票(二)砂糖證券原票アリ、保稅ノモノハ、關稅額、庫入免狀、其他稅關關係ヲ記シ、裏面ニハ納稅内譯、出庫内譯ノ外、銀行割引關係ヲ記入ス、砂糖モ亦稅務關係ノ記入欄アルヲ異レリトス。

(乙)保險ニ關スルモノ

入庫報告カ保險係ニ廻サル、トキハ、此係ハ臺帳(雛形四)ニ記入ス、此他保險差引票、火災保險票等アリ、保險會社トノ關係ヲ明カニス。

(丙)料金ニ關スルモノ

料金係(保管料、人足賃等ノ事務ヲ取扱フ)ハ保險係ヨリ廻付サレタル入庫報告ニ依リ、其臺帳ナル保管料、荷役賃計算票(雛形五)ヲ作成シ、之ニ依リ請求書(雛形六)ヲ作成ス。(此票ノ實物ハ表裏共ニ同一形式トシテ一枚ノ「カード」ト爲リ居レルモ、表面ノミヲ示ス)

(丁)出庫傳票 荷物ヲ出庫セントスルトキハ、證券發行ノ場合ニハ、其裏面受取欄ニ、又證券未發行ノ場合ニハ貨物受取證(後掲)ニ申込ノ際届出テタル印ヲ捺シ、之ヲ倉庫ニ提出スルトキハ、倉庫

(雛形一號)

入庫報告

昭和4年8月8日

現	場	保管係	保險係	料金係

寄託主記	太平洋貿易會社	入庫番號	0565
號口	◇ 195	藏番單	佐賀町越5
高品名	249	量荷造	75斤
個數	加州碎白米	袋入	才積
保險總額	七拾袋 <70>	運搬便	解揚
單價	Y 805 00	荷扱店	⊕
摘要	Y 11 50	保管料	圓2錢5厘
	輕袋10	荷役賃	入 3錢0厘 出 2錢0厘

第七章 倉庫ノ經營 倉庫ノ會計

三菱倉庫株式會社東京支店

三三七

ハ既ニ示シタル出庫指圖書ト同一形式ノ出庫傳票、出庫指圖書、及出庫報告ノ三枚式ノモノヲ作リ
 (内出ノ場合ニハ同様ノ内渡傳票、内渡報告、及控ノ三枚ヲ用フ) 指圖書ハ藏方ニ配附セラレ(又
 ハ貨主ニ交付シ、貨主ヲシテ藏方ニ差出サシム、此方カ寧ロ正式ニテ、營業規則ニハ斯克定ム)、
 藏方ハ之ニ依リ貨物ヲ引渡ス、引渡カ終ルトキハ指圖書ハ現場係ノ手ニ保存サレ、出庫傳票ハ保
 險係、料金係ヘ廻付サレ、ソレソレ、臺帳ヲ整理シ、保險金額ヲ減シ、保管料ヲ算出ス、出庫報
 告ハ水揚「カード」ヲ取扱フ係、即チ保管係ニ廻サレ、倉庫全體ノ出庫高ヲ知ルノ材料ニ供セラレ。

三三六

(雜貨水揚力-P)【表】

入庫番號	Y 9 0	寄託主	金子商會	藏番	越 4	承辦	空函 1 個	本船名	
種類品質	Whisky			荷造才積	融入	入號	輕毛ノ 25	荷投店	
品實				保險單價	(a) 3300	保管料	11.88	荷役賃	2.83 1.86
記號單量	 45#					摘要			

月 日	摘	要	入庫高	出庫高	殘 高	月 日	摘	要	入庫高	出庫高	殘 高
11 20			200		200						

(表面ヨリ繰越)		番號	寄託主	品名	才積	單價	【裏】				
月 日	摘	要	入庫高	出庫高	殘 高	月 日	摘	要	入庫高	出庫高	殘 高

四月期渡米

證 券 形 三 號) 原 票 [表]

番 號	丑 1,234	總 量	約 100 石	券 作 成 日	4 年 4 月 21 日	保 管 場 所	松 賀 町 松 7.
寄 託 主	大和仁五郎	量 單 量	約 4 斗	入 庫 日	4 年 5 月 17 日		
品 名	大正13年 朝鮮米 250	保 管 料	壹ヶ月 6s 3	保 期 管 限	4 年 5 月 20 日		
個 數	石 叭 入	總 額	4,000.00	摘 要	慶尚道産		
記 荷	石 叭 入	火 災 保 險 災 金	1600				

4/21以後
清野善次郎

(内票及證券發行前ニ於ケル事項)

藏 番	B381	品 名	朝鮮米	記 號	石 叭 入	荷 造	石 叭 入	單 量	4斗	個 數	250	火 災 保 險 金 額	4,000-	完 寄 託 主	同 人	摘 要	眞 盛 丸 振 井 田 振
-----	------	-----	-----	-----	-------	-----	-------	-----	----	-----	-----	-------------	--------	---------	-----	-----	---------------

4/28以後
恒川新一

銀 行	三 菱 銀 行 深 川 支 店	藏 番	4	年 月 日	4 25	摘 要	清野善次郎 恒川新一	個 數	100	出 庫 高	50	火 災 保 險 金 額	4,000-	完 寄 託 主	同 人	摘 要	眞 盛 丸 振 井 田 振
附 設	250	解 除	100	年 月 日	27	摘 要		個 數	50	出 庫 高	50	火 災 保 險 金 額	4,000-	完 寄 託 主	同 人	摘 要	眞 盛 丸 振 井 田 振
日 附	21	解 除	53	年 月 日	28	摘 要		個 數	100	出 庫 高	50	火 災 保 險 金 額	4,000-	完 寄 託 主	同 人	摘 要	眞 盛 丸 振 井 田 振

出 庫 内 譯 [表]

銀行	設 定	解 除	殘 高	割 合	取 引 番 號	藏 番	年 月 日	摘 要	個 數	出 庫 高	殘 高	藏 番	年 月 日	摘 要	個 數	出 庫 高	殘 高
日 附																	

(雜形四號)

藏別カ一P

番	號	寄託主	藏番	品名及口高		保險金一個割合	月口	差	額	摘要	
				記號荷造及一個量							
年月日	摘要	出庫高	入庫高	殘 個數	高 火災保險金	年月日	摘要	入庫高	出庫高	殘 個數	高 火災保險金

保管料荷役賃計算票

(雜形五號)

番	號	寄託主	品名	記號及 荷造及 單價	單價	年月日	摘要	入庫高	出庫高	殘高	期間	枚數	保管料	荷役種類	荷役賃

(總形六號) 保稅倉庫料請求書

三菱倉庫株式會社東京支店

總計 〆

月日	證券番號	品名	記號	入庫高	出庫高	殘高	期間	積數	保管料	倉役賃	摘要	
									一月一圓二角	金 額	金 額	

毎月廿日締切以降入出庫分ハ翌月御請求可申上候也

第八章 保稅倉庫及保稅工場

第一節 緒說及保管

(一)保稅倉庫ノ特色 保稅倉庫モ亦普通ノ保管倉庫ト同シク他人ノ貨物ヲ保管シ、各自倉庫ヲ備フルノ勞費ト危險トヲ省キ、且ツ貨物ヲ代表スルノ證券ヲ發行シテ、賣買質入等、金融上ノ便益ヲ與フル一種ノ商業機關ニ外ナラスト雖モ、又一面ニ於テ關稅ノ徵收ヲ猶豫シテ通過貨物ノ吸收ヲ圖リ、依テ以テ通過貿易ヲ盛ンナラシメンカ爲メノ設備タリ、而シテ普通ノ倉庫カ輸入稅ト何等ノ關係ナキニ反シ、此倉庫ニ保管セラルヘキ貨物ハ、多ク輸入手續未済ノモノナルヲ以テ、稅關ノ監督嚴重ナルト、自己ノ貨物ヲ保管スルモノアルカ如キ差アリ。

又保稅倉庫ハ輸入稅ニ關スル點ヨリ、稅關ニ屬スル官營ノモノト、普通ノ倉庫會社ノ兼業トシテ營ミ、若クハ自己ノ貨物ヲ保管スル私設ノモノト二種アリテ、其私設ノ保稅倉庫ト雖モ、設立、保管、貨物ノ種類、營業期限、入庫、出庫、稅金納附等ニ關シ、種々ノ干涉ヲ受クルモノトス。然レトモ輸入貿易商ハ此設備アルカ爲メニ、輸入ト同時ニ稅金ヲ納附スルヲ要セス、一時稅金未済ノマ、此倉庫ニ寄託シ置キ、徐ロニ商況ヲ觀察シテ、或ハ稅金ヲ納附シテ内地ニ輸入販賣シ、或ハ其儘更ニ他ノ地方ニ移シ、若クハ再ヒ海外ニ輸出スル等、己カ欲スルマ、ニ、有利ニ貨物ヲ

處分シ得可シ、而シテ普通倉庫ハ主トシテ商法ノ規定ニ依ルヘキモノナルモ、保税倉庫ハ先ツ明治三十年三月二十六日法律第十五號(同四十年三月並ニ昭和二年四月改正)ヲ以テ發布セラレタル、保税倉庫法及ヒ同法施行規則(昭和二年八月十六日大藏省令第三十三號)ニ據ルヘキ相違アリトス。

昭和二年改正ノ要旨ハ次ノ如シ。

(一)倉庫内ノ手入ト内國貨物 從來保税倉庫ニ於テハ貨物ノ藏置ノミヲ認め、唯貨物ノ保存上必要ナル作業ヲ特ニ許可シタルニ止リタルヲ、今回之ヲ改メ、第一條ノ二ニ於テ、税關長ノ許可シタル範圍内ニ於テ、貨物ノ改装、仕分其他ノ手入ヲ爲スコトヲ得ルモノト爲セリ、歐米ニ於テハ此種ノ手入ヲ許スモノ少カラス、英國ノ如ク葡萄酒ノ混合ヲ認め、米國、獨逸ノ如ク加工サヘ許シタルモノアレハ、手入ヲ許シタルハ蓋シ一進歩ナリト謂フヘシ、然レトモ保税製造(Manufacturing in bond)ト保税保管(Warehousing in bond)トヲ明カニ區別スルコト我邦ノ如ク、別ニ保税工場ニ於テ混合、加工、製造ヲ認め、改装、仕分其他ヲ許可スル制度ニ在ツテハ、保税倉庫ハ手入ノミニ制限スルヲ便トスヘシ、寛ニ過クルトキハ脱税ノ危険ヲ誘フ虞アレハナリ。

第一條ノ二ノ後段ニ於テ内國貨物ノ使用ヲ許ス爲メ、其藏置ヲ認めタルハ、手入ヲ許シタル結果ニシテ、施行規則ニ依リ認許スヘキ内國貨物ノ種類ヲ次ノ如ク定ム。

一、輸出スヘキ貨物

二、改装、仕分其他ノ手入ノ爲メ使用スヘキ貨物

三、保税倉庫所在地ノ狀況ニ依リ、特ニ必要アリト認めタル場合ニ於テ、税關ノ許可シタル貨物(但シ外國貨物ヲ藏置スル爲メ必要アルトキハ、税關長ハ何時ニテモ其出庫ヲ命スルコトヲ得)

内國貨物ハ特ニ税關官吏ノ認可ヲ受ケタル場合ノ外、外國貨物ト區別シテ藏置スヘキモノトス。我邦ニ於テハ明治四十年三月マテハ外國貨物ノ藏置ノミヲ許シタリシガ、同年三月内國貨物ノ保管ヲ許シ、唯「輸出スヘキ」モノニ限リタルヲ、今回改正シタルモノニテ、手入ノ材料トシテ使用スル場合ニモ、税關ノ承認ヲ經テ内國貨物ヲ藏置キシ得ルモノト爲セルモノナリ。

第九條ノ三ニ於テ、税關長ハ取締ノ必要アリト認めタル場合、藏置貨物ノ手入ノ停止又ハ庫出ヲ命シ、其ノ他必要ノ處分ヲ爲スコトヲ得ヘシト定メタルハ、取締上當然ナル規定ナリ。

(二)課税數量 保税倉庫ヲ利用スル輸入品ノ中、内地ヘ輸入セラル、モノハ輸入税ヲ納附スルコト勿論ナルカ、其輸入税率ハ庫出ノ日ニ行ハル、法規ニ依リテ賦課セラル、ヲ以テ、課税ノ數量モ亦其時ノ現狀ニ依ルヘキヤト云フニ、從來ハ保税倉庫法第三條ニ依リ「其ノ最初庫入ノ時ノ性質及數量ニ依リ之ヲ徵收ス、但シ災害ニ因リ滅失若ハ變質シ、又ハ政府ノ承認ヲ得テ滅却シタル貨物ハ此限ニアラス」ト定メ、所謂庫入課税主義ヲ採レリ、然ルニ實際ニ於テ藏置中數量カ減少シ又ハ變質スルコトアリテ、減税セラルヘキ筈ナルニモ拘ラス、「災害」ニ因ル場合ノ外、斯ル特典

ニ浴スルコト能ハサルカユヘニ、貨主ノ損失少カラストノ理由ニ因リ、倉庫業者ノ希望ヲ容レ、
 (一)ノ手入、(三)ノ期間ノ如キ孰レモ然リ)輸入ノ時ノ性質及數量ニ依リ徵收シ、從テ庫入ノ時
 ハ検査ヲ行ハス、庫出ノ時之ヲ行フ(保税工場モ)コト、爲スモ、若シ輸入商カ希望スルトキハ、庫
 入ノ時検査ヲ行ヒ、其時ノ性質及數量ニ依リ徵收スルコト、爲セリ、即チ原則トシテハ庫入ノ時
 ハ一切検査ヲ行ハス、取引ノ急速ヲ要スルモノ、ミ、任意庫入ノ時検査ヲ受クルヲ以テ、證券ノ
 交付モ敏速ト爲リ、荷主ノ便利少カラサルヘシ、但シ庫入検査ヲ行フコトヲ任意ト爲スハ、他人
 ノ貨物ヲ保管スル普通ノ保税倉庫ニシテ、自己ノ貨物ヲ藏置スル保税倉庫ニ藏置スル外國貨物ハ、
 必ス庫入ノ際検査ヲ受クヘキ定メナリ(施行規則第九條)、而シテ前者ノ場合ニ於テハ、庫入ノ際
 検査ヲ受ケタル貨物ハ、之ヲ受ケサル貨物ト區別シテ藏置セサルヘカラス(同規則第二條)。

然レトモ内地消費ノ有稅輸入品ヲ一時保税倉庫ニ寄託スルハ、畢竟徵稅ヲ猶豫スル目的ナルヲ以
 テ、庫入ノ時検査ヲ行ヒ、其時ノ性質及數量ニ依リテ課稅スルヲ可トス、藏置中數量カ減少シ殊
 ニ變質スルモノ、如キハ比較的少數ナルヲ以テ、之ニ對シテノミ、庫出ノ時ノ數量ニ依ルコト獨
 逸ノ如ク爲スカ、又ハ英國ノ如ク減量ニ對スル輸入稅ヲ還付セハ可ナルヘシ、改正法ノ如クスル
 トキハ、寄託者ニ對シテ多少ノ便宜アランモ(是レスラ、取締規定ヲ嚴重ニスルトキハ、之カ爲
 メニ拘束セラル、缺點アリ)是亦脫稅ノ危險少カラサルヘケレハナリ。

獨逸ノ規定 獨逸ノ官設保税倉庫(普通倉庫)ニ於テハ、原則トシテ庫入ノ時ノ性質及數量ニ依リ、改裝若クハ過熱ノ原因

ニ因リテ減量ヲ來スカ、又ハ庫出ノ際ノ減量カ蒸發塵埃若クハ普通ノ漏損ニ因リタルコト明カナルトキハ、庫出ノ時ノ重量
 ナ標準トス、但シ(一)出庫者カ庫入ノ時ノ重量ヲ標準トスルコトヲ望ミ、又ハ(二)脫稅ノ疑ヒアル場合ニハ、庫入ノ時ノ重
 量ニ依ルモノトス、藏置中全然損敗シ、其結果トシテ稅關ノ監督ノ下ニ減却シタル場合ハ課稅ヲ免除ス。

以上ハ内地消費ノ爲メニ藏置スル場合ニシテ、再輸出ノ目的ヲ有スルモノハ、普通庫出ノ時ノ重量ヲ標準トス(即チ検査ヲ
 行フ)

英國ノ規定 (一)船内ニ於テ、若クハ船卸、陸揚、庫入ニ於テ、或ハ藏置中、避クヘカラサル災害ニ因リ喪失若クハ減却シ
 タルトキハ、輸入稅ヲ免除シ又ハ還付ス。(二)輸入稅ハ一般ニ陸揚ノ數量ニ依テ納附スヘシ、但シ特定ノ貨物(煙草、葡萄
 酒、火酒、乾無花果、乾葡萄)ハ庫出ノ際、現實引渡ノ數量及力(Shedule)ニ依リテ課稅セラル、但シ不足又ハ差額カ不法
 ノ方法ニ因リテ生シタル疑アルトキハ此限ニアラス。

第三條ノ後段ハ災害ニ依リ滅失若ハ變質シ、又ハ稅關ノ承認ヲ經テ減却セラレタルトキハ、現存
 スル部分ニ付、輸入ノ時ノ性質及數量ニ依ル旨ヲ規定シタルモノニシテ、政府ヲ稅關ト改メタル
 外ハ前段ノ改正ニ伴フ結果ナリ。

(三)藏置期間 ハ明治四十年三月マテ一箇年ナリシヲ、同年二箇年ニ改メ、今回更ニ一箇年延長
 シタルモノナリ、抑モ保税倉庫ノ藏置期間ヲ制限シタルハ主トシテ政府ノ歲入ト、倉庫ノ整理ト
 ヲ目的トシタルモノナレトモ、通過貿易ヲ獎勵スル趣旨ヨリ觀レハ、制限セサルヲ便トス、英國
 ノ如キモ最初ハ期限ヲ定メ、各國之ニ倣ヒタレトモ、現今ハ斯ル制限ヲ設ケサルカ如シ、而シテ
 歐米各國ニ於テハ、官設ト私設トニ依リ、倉庫ノ種類ト商品トニ依リ、或ハ庫入ノ目的(内地消
 費カ、再輸出カ)ニ依リ、六箇月乃至五箇年ノ期間ヲ定ムルモ(倉庫ノ種類參照)、是亦獨逸ノ私設

保税倉庫ノ如ク、内地消費ノ場合、即チ單ニ徵稅猶豫ノ場合ト、積戻ノ場合トヲ區別シ、前者ヲ二箇年後者ヲ三箇年トセハ足レリト信ス(期限ヲ設クルモノトセハ)、積戻ノ目的ヲ有スルモ三箇年以上藏置スル必要アルモノハ極メテ稀ナルヘケレハナリ、而シテ商業ノ狀況ニ依リ之ヲ延期シ得ル規定ヲ設クルモ亦可ナルヘシ。

藏置期間ヲ經過シタル貨物ハ如何ニスヘキカ、各國ハ廣告シタル後競賣シ、其代金中ヨリ輸入稅保管料其他ノ費用ヲ控除スルコト、猶ホ我邦ニ於ケル收容貨物ノ處分ノ如ク爲スモノ多シ、我邦ニ於テハ改正法第九條ノ二ニ於テ(一)「利害關係者ノ費用及危險ニ於テ、其ノ貨物ヲ收容シ、(二)又ハ庫主ヨリ其ノ輸入稅ヲ徵收スルモノト爲セリ、即チ舊法ニ於テハ官設保税倉庫ニ對シテ(一)ノ規定ヲ設ケ、(第十六條)又私設保税倉庫ニ對シテ(二)ノ規定ヲ設ケタルヲ(第二十三條)兩者ヲ併合シテ一條文ト爲シタルモノナレトモ其結果ハ從來ト異ラス、私設保税倉庫ノ庫入貨物カ、藏置期間ヲ經過シタル場合ニ於テハ、庫主カ關稅納付ノ責任ヲ負フ筈ナリ。

收倉 我邦ニ於ケル「收容」ナル手續ハ元來稅關構内(上屋ヲ含ム)ヲ整理スル爲メ、七日以内(實際ハ十五日位)ニ搬出又ハ庫入セサル場合ニ行フモノナレト、保税倉庫法第九條ノ四(舊法ノ第十六條後段)ニ依リ、保税倉庫ノ藏置貨物ノ收容ニモ準用セラル、其要點ハ次ノ如シ。

貨物ヲ收容スト云フハ、英米ノ如ク特別ノ倉庫ニ入ル、ト、現在ノ場所ニ藏置スルトチ間ハサレトモ、特定ノ藏置場ニ移スト常トス、而シテ收容シタルキハ三日以内ニ其旨ヲ揭示スルヲ以テ、其解除ヲ得ントスル者ハ、六箇月以内ニ稅關ニ申告シ、其貨物ニ關スル一切ノ費用及敷料(收容敷料ニテ、搬出ヲ促ス爲メ、高率ト爲スチ常トス)ヲ納メ、免許ヲ受ケサルヘ

カラス收容ノ日ヨリ六箇月以内ニ解除ノ申告ヲ爲ス者ナキトキハ、稅關ハ貨物ノ記載、番號、種類、個數ヲ公告シ、公告ノ日ヨリ一箇月以内ニ解除ノ申請ヲ爲ス者ナキトキハ、之ヲ公賣ニ付シ、關稅、敷料其ノ他貨物ニ關スル一切ノ費用ニ充テ、殘金アルトキハ之ヲ貨主ニ交付ス、但シ生活物、腐敗物、他ノ貨物ヲ害スル虞アルモノハ、急速ノ處分ヲ爲スコトヲ得ヘシ。(實際ハ七箇月以後ニ於テモ解除ヲ認ムト云フ)買受人ナキトキハ、稅關ニ於テ適宜之ヲ處分スルモノトス。

收容貨物ヲ公賣シタル場合、關稅、敷料其他ノ費用ヲ控除シ、殘金アルトキハ可ナルモ、若シ市價低落シ、不足ヲ生シタルトキハ、其損害ハ何人カ負擔スヘキモノナルヤ、聊疑ナキ能ハス、米國ニ於テハ一箇年間無請求品トシテ藏置セラレタルモノハ固ヨリ、三箇年ノ期間ヲ經過シタルモノハ委付(Adjoining)シタルモノト認メ(申告後十日以内ニ委付シ、納稅義務ヲ免ル、コトヲ得)競賣代金ニテ不足ヲ生スルモ庫主ノ負擔ニ歸スルカ如シ、我邦ニ於テハ、殘金ヲ貨主ニ交付スル點ヨリ觀レハ、不足金ハ貨主ニ請求シテ可ナルカ如クナレトモ、第三條後段ノ如ク、現存スル部分ニ對スル輸入稅ヲ徵收スル規定ヲ考フレハ、貨主ノ責任モ亦庫主ノ責任モ之ナキカ如ク見ユ、或ハ官設倉庫ノ藏置貨物ニ關シテハ貨主ニ責任アリ(又ハナシ)、私設倉庫ニ就テハ庫主ニ負擔セシムヘキ(第二十條ノ規定ニ依リ)モノトモ解セラレサルニアラス、孰レニシテモ此點ヲ明カニスル必要之アルヘシ。

(四)認可ノ手續 從來保税倉庫ノ特許、貨物保管規則、庫敷料等ハ大藏大臣ノ認可ヲ要スルモノトセシカ、手續ヲ簡易ナラシムル爲メ、稅關長ノ權限ニ移スコト、爲セリ。

(五)罰則 法ノ改正ニ伴フ罰則ヲ加ヘ、且ツ罰金額ヲ増加シ、私設保税倉庫ノ庫主、輸出入商人

若クハ税關貨物取扱人ノ代理人、使用人又ハ雇人ナトカ處罰セラレヘキトキハ、原則トシテ庫主又ハ營業者ヲ處罰スルコト、定メ、其責任ヲ重カラシメタリ。

(六)私有保税倉庫 保税倉庫法施行規則ニ於テ(第九條及第二十三條)他人ノ貨物ヲ藏置スヘキ保税倉庫ト、自己ノ貨物ヲ藏置スヘキ保税倉庫トノ區別ヲ認メ、後者ヘ庫入スル外國貨物ハ、庫入ノ際必ス検査ヲ受クルヲ要シ、前者ノ特許ヲ受ケントスル場合ニハ、出願ト同時ニ貨物保管規則及庫數料ノ認可ヲ申請スヘキモノト定ム、孰レニセヨ明文ヲ以テ私有保税倉庫ヲ認メタル理ナレトモ、斯ル種類ノ倉庫ハ、商法ノ所謂倉庫營業ニハアラサルナリ。〔英米ナトニモ、斯ル種ノ類ノ保税倉庫ハアリ〕

(七)保管貨物 ノ制限ヲ寛大ニシタルハ次ニ述フル所ノ如シ。

(一)保管貨物ノ種類 保税倉庫ノ保管スヘキ貨物ハ、特別ノ目的ヲ有スル内國品ヲ除キ、輸入手數未済ノ貨物就中有税品ニシテ、輸入税未済ノ貨物ナレトモ、其性質保管ニ適セサルモノハ、普通倉庫ノ如ク之ヲ保管セス、從來保税倉庫法施行規則ハ其第一條ニ於テ官設保税倉庫ニ藏置スヘカラサル貨物ヲ列舉シ、私設保税倉庫モ亦稍之ニ類シタル規則ヲ設ケタルモ、改正施行規則ハ、斯ル除外品列舉主義ヲ改メ、第一條ニ於テ藏置スヘキ内國貨物ノ種類ヲ定メ(既述)第三條及第四條ニ於テ、危險貨物ノ藏置方法ヲ定ムルニ止ムルコト、爲セリ、即チ次ノ如シ。
(一)他ノ貨物ヲ損傷スル虞アル貨物 ハ他ノ貨物ト混同シテ藏置スルコトヲ得ス。
(二)發火質、燃燒質又ハ爆發質ノ貨物 ハ特設ノ倉庫ノ外之ヲ藏置スルコトヲ得ス。

即チ是等ノ制限ニ抵觸セサル貨物ハ、内國貨物タルト外國貨物ナルト、又有税品ナルト、無税品ナルトヲ問ハス、之ヲ保管スルコトヲ得ル筈ナレトモ、私設保税倉庫ニ藏置スヘキ貨物ノ種類ハ

保税貨物寄託申込書

第 一	記 號	荷 造	數 量		庫入免狀 交付日	庫入免狀 番 號	最 初 陸揚日	仕 出 港 名	搭 載 船 名	入庫日	保管期日	保管場所	保管料	評 價		關稅額	要 摘	
			總量	壹個 平均										總價	單價			
					昭和 年 月 日		昭和 年 月 日			昭和 年 月 日		私設保税倉庫						

右 寄 託 候 也

昭和 年 月 日

帝國倉庫株式會社御中

第八章 保税倉庫及保税工場 緒説及保管

税關長ノ許可ヲ得ルヲ要シ、之ヲ變更セントスルトキモ亦許可ヲ要ス、手入ニ使用スヘキ貨物ノ種類(手入ノ種類)モ亦同シ。

(三)入庫手續 保税倉庫ニ庫入スヘキ貨物ノ包装不完全ナリト認メラル、トキハ、改装ヲ命セラレ、カ故ニ、豫メ包装ニ注意シテ、之ヲ完全ニシ、先ツ倉庫所在地ノ税關又ハ税關支署ニ庫入申告書ヲ差出スヘシ、即チ外國貨物ナルトキハ「外國貨物庫入申告書」(規定ノ書式ニ依ル)ヲ、又内國貨物ナルトキ「内國貨物庫入申告書」ニ仕入書又ハ明細書ヲ添附シテ提出シ、其許可書ヲ受ケ、私設保税倉庫ナル時ハ、之ニ右ノ如キ「寄託申込書」ヲ添ヘテ其向ノ係ニ提出スヘシ、税關ノ開應時間ハ普通日出ヨリ日没マテニシテ、税關ノ休日ニハ倉庫モ亦開扉ヲ許サ、ルノ定メナルヲ以テ、日没ヨリ日出マテノ間、及ヒ日曜日又ハ大祭日ノ如キ税關ノ休日ニ於テ、倉庫ノ開扉ヲ要スル者ハ、税關又ハ税關支署ニ「保税倉庫臨時開庫申請書」ヲ差出シテ其特許ヲ受クヘシ、而シテ私設保税倉庫ニ於テハ、入庫ノ前日マテニ此許可ヲ得テ、會社ニ通知スヘキ旨ヲ定ムルモノ多キカ如シ。

(四)保管ノ場所及見本抽出 保税倉庫ニ庫入シタル貨物ハ、未タ輸入シタルモノト看做サ、ルヲ以テ、其在庫中ハ、税關ハ特ニ嚴密ナル注意ヲ施サ、ルヘカラス、保税倉庫ニ庫入シタル貨物ハ税關官吏ノ指定シタル場所ニ配置スヘキモノト規定セルカ如キモ、畢竟之カ爲メニシテ、若シ保管ノ場所ヲ變更セントスルトキハ、當該官吏ノ許可ヲ經ルヲ要シ、内外貨物ハ特許ヲ得タル場合ノ

外、區別シテ藏置スルコトヲ要ス、又貨物ニシテ他ノ貨物ヲ傷害若シクハ汚損スルノ虞アルモノハ、他ノ貨物ト混同シテ藏置スルコトヲ許サ、ルノミナラス、總テ保管中ハ倉庫内ニ火氣ヲ入ルルコト能ハス、唯己ムヲ得サル場合ニハ、税關ノ許可ヲ受ケタルモノヲ携帯スルコトヲ許スノミ。寄託主又ハ證券所持人カ寄託貨物ノ見本ヲ取出サントスルトキハ、「見本取出申請書」ヲ、税關若クハ税關支署ニ提出シ、「見本取出許可書」ヲ得テ、證券ト共ニ倉庫ヘ差出スヘシ、然ルトキハ税關(又ハ支署)又ハ會社ハ、抽出シタル見本ノ數量及取出ノ年月日ヲ證券ニ記入シテ、還付スヘシ、而シテ寄託主又ハ證券所持人カ貨物ヲ調査シ、又ハ保存上必要ノ行爲ヲ爲サントスルトキモ、亦税關ノ許可ヲ受ク可キコト、之ニ異ナラサルナリ。

(五)入庫貨物ノ手入 庫入貨物ノ改装、仕分其他ノ手入ヲ爲サントスルトキハ、施行規則ノ定ムル「保税倉庫藏置貨物手入申請書」ヲ税關ニ差出シ、其許可ヲ受クヘシ、而シテ官設保税倉庫ニ於テ之ト行ハンニハ、申請書ニ預證券ヲ添附シ、手入ヲ終リタルトキハ「保税倉庫藏置貨物手入濟申請書」ヲ遲滞ナク税關ニ差出シ、其貨物ニ付検査ヲ受ケ、之カ爲メ貨物ニ異動ヲ來シタルトキハ、其事項ニ付預證券ニ記入ヲ乞ヒ、其返還ヲ受クヘシ。

(六)庫出及庫移 保税倉庫ヨリ貨物ヲ庫出セントスルトキハ(一)輸入、輸出、積戻若クハ運送ノ免許ヲ受クルカ、(二)又ハ庫移ノ許可若クハ保税工場ヘノ移入ノ許可ヲ受ケタル場合ノ外、「庫出申告書」ヲ税關ニ差出シテ其許可ヲ受クヘシ、手入ノ材料トシテ使用シタル内外貨物ヲ庫出スル

場合モ亦之ニ準ス、而シテ藏置貨物ヲ庫移セントスルトキハ、「庫移申告書」ヲ税關ニ提出シテ許可ヲ受クヘキ定メナレトモ、外國貨物ノ庫移ヲ爲ス爲メ、運送ヲ要スルトキハ、其必要ナキモノトス。

(七)保管期間 保税倉庫ノ保管期間ハ、庫入免狀交付ノ日ヨリ三箇年ニシテ、假令他ノ保税倉庫ニ庫移ヲ爲スモ、此入庫ノ日ヨリ通算シ、又期限經過後尙ホ貨物ヲ引取ラサルトキハ、私設保税倉庫ニ於テハ輸入税ノ納附等、税關ニ對スル相當ノ手續ヲ經テ、其寄託物ヲ普通倉庫ニ移シ、或ハ税關ニ收容ヲ求メ、官設保税倉庫ニ在リテハ之ヲ收容スルコト既述ノ如シ、尤モ官設保税倉庫ニ於テハ、引取ノ權利ニ就キ訴訟アリタルトキニ限り、此期限ノ延期ヲ求ムルコトヲ得ルモノト定ム。

(八)保管料及其他ノ費用

(甲)保管料 保税倉庫モ普通倉庫ノ如ク、貨物保管ノ報酬トシテ保管料ヲ徵收スルモノニシテ、其官設ナルト私設ナルトニ依リテ多少ノ差異アリ。

(A)官設保税倉庫敷料 ハ昭和二年八月十六日大藏省令第二十四號ヲ以テ改正セラレタルモノニシテ、一號ヨリ三十三號ニ至ル三十三類、四十一種アリ、主トシテ每百斤、又ハ每立方尺ヲ單位トスル從量率ナレトモ、懷中時計及ヒ貴金品ハ、從價千分ノ五ノ從價率ト定メ、表ニ掲ケサルモノハ、每立方尺、一箇月四錢トス、一方尺及百斤未滿ハ切上ケ、一月ヲ十五日ノ前後ニ分チ、

十五日迄ハ半月分、十五日後ハ一箇月分ヲ出庫ノトキ徵收ス、(庫敷料ハ倉庫ノ狀況其他ノ事情ニ依リ特ニ必要アルトキハ、低減スルコトヲ得ル規定アリ)

庫敷料ノ數例 (一)穀類、豆類、種子(每百斤三錢)、(二)粗糖(百斤五錢)、(三)精糖(百斤四錢)、(四)布帛及布帛製品(衣類共)(每立方尺五錢)、硝子板(每立方尺二錢)ノ如シ。

(B)專用料 官設保税倉庫ニ於テ藏置貨物ノ手入ヲ爲ス爲メ、其土地又ハ建物ヲ使用スル者ハ、一坪ニ付一箇月二圓ノ專用料ヲ納付スヘキ定メニテ、庫敷料ト異リ一月毎ニ前納スヘキモノトス。

(C)私設保税倉庫保管料 ハ税關長ノ認可ヲ經ヘキ定メニシテ(保管規則モ亦然リ)今三菱倉庫東京支店、東神倉庫東京支店、渡邊倉庫、帝國倉庫運輸會社、澁澤倉庫株式會社、住友倉庫東京支店、東神倉庫橫濱支店、橫濱船渠株式會社倉庫部、橫濱商品倉庫、橫濱新港倉庫、浪華倉庫橫濱支店、三菱倉庫橫濱支店ノ京濱聯合倉庫カ協定シタル割合ヲ示セハ左ノ如シ。

私設保税倉庫保管

品目	荷造	單量	1箇月	從量率	從價率 萬分ノ	
(第一)米及雜穀	穀	袋入	170斤	1袋	42	21
		同	75斤	"	25	"
	雜穀	同	200斤以下	"	44	"
		同	150斤	"	42	"
(第二)砂糖及粉類	糖	又袋入	100斤	1個	28	30
		同	170斤	"	40	"
	入	同	50斤	"	15	"
		同	350斤	"	200	"
		同	500斤	"	270	"
		同	50封度	1袋	13	24
粉	同	100斤	"	30	"	
(第三)皮革	各種皮革	—	—	1才	24	24-30
(第四)糸線及	各種糸及纖維	—	—	1才	24	24-30
	人造絹糸	—	—	"	30	30
	ロ	—	—	"	30	21
(第五)布帛及製品	各種織物	—	—	1才	30	21-30
		鐵締	—	"	30	26-30
	ガンニ-パツク	—	—	"	30	30
	衣服及附屬品	—	—	"	40	21
	織毛臺布類	—	—	"	40	26
(第六)紙類	紙	板締	10才迄	1個	200	24
		同	20才迄	"	200	24
	同	同	20才以上	"	360	24
		同	—	100封度	50	21

料定率表 {大正13年1月定} {昭和4年8月現行}

品目	荷造	單量	1箇月	從量率	從價率 萬分ノ		
(第七)金物及金物製品	丸鐵	釘	樽入	100斤	1樽	40	24
			—	84斤	1卷	30	"
	力	板	函入	100封度	1函	20	"
			樽入	420斤	"	200	"
	鉛	浪鐵	東	84斤	1束	25	"
			同	84斤	"	30	"
	鐵	管	—	3吋迄	1噸	80	以上
			—	3吋ヲ超 ユルモノ	"	100	以上
	鐵地	金	材	—	"	50	以上
			類	—	100斤	25	"
(第八)陶磁器及陶磁子	磁器	子	—	1才	50	24	
		子及子	函入	100斤	1函	40	"
(第九)藥品染料油	藥品染料	樽入	—	1才	40	24-40	
		袋入	—	"	30	"	
(第十)飲料食品	酒類	樽入	—	1才	40	26	
		函入	—	"	30	21	
	食料罐詰	同	—	"	25	"	
(第十一)器具機械	學術及醫療器具 其他ノ機械	—	—	1才	100	24	
		—	—	"	40-80	"	
(第十二)贈品	貴重品高價品	—	—	—	—	30-50	
		—	—	1才	25-70	24-30	
	雜品	—	—	100斤	40-100	"	

規定

- 一、保管料ハ從價率ト從量率トニ依リ算出計シタルモノトシ、一箇月ヲ曆日ニ依リ一日ヨリ十日、十一日ヨリ二十日、二十一日ヨリ末日迄ノ三期ニ分チ、一期ヲ單位トシテ申受クヘシ。
- 二、從價率ハ寄託貨物ノ火災保險金額又ハ申込價額ニ依リ算出ス。
- 三、本表ノ保管料割合中ニハ火災保險料ヲ含ム。
- 四、本表ニ掲ケサル物品ハ、表中類似品ノ定率ニ依ルモノトス。

(乙)其他ノ費用 官設保稅倉庫ニ藏置ノ貨物ニ關スル運搬費、公告料、其他貨物取扱上ノ一切ノ費用ハ、總テ貨主ノ負擔ニシテ、貨物出庫ノ際、稅關又ハ稅關支署ニ納付スヘク、諸申告書ヲ稅關又ハ稅關支署ニ差出スニ當リテハ、相當ノ手数料ヲ收入用紙ニテ納ムヘシ、而シテ私設保稅倉庫ニ在リテハ、貨物ノ出入、運搬、廣告、檢査、競賣ニ要スル費用、倉荷證券、書替、分割手数料其他貨物ニ關スル一切ノ費用ハ、寄託主又ハ預證券所持人ヨリ、其都度之ヲ徵收スト爲スモノ多シ。

(九)腐敗貨物ノ處分 保稅倉庫法第十七條ニ曰ク「藏置(官設倉庫ニ)ノ貨物、腐敗其他ノ事故ニ因リ、倉庫又ハ他ノ貨物ヲ害スル虞アルトキハ、當該官廳ハ公告シテ指定ノ期限内ニ其引取ヲ命スヘシ、此期限ヲ經過スルモ、其貨物ヲ引取ラサルトキハ、當該官廳ハ之ヲ滅却スルコトヲ得、但シ緊急ノ必要アルトキハ、期限内ニ於テモ、仍ホ之ヲ滅却スルコトヲ得、前項ニ依リ滅却シタル貨物ニ對シテハ輸入稅ヲ徵收セス」ト、是レ蓋シ至當ノ規則ニシテ、此處分ハ稅關及ヒ荷主双方ノ利益ナルカ故ナリ(公告ハ關係稅關若クハ稅關支署ニ揭示スル外官報ニ三日以上廣告ス)、而シテ私設倉庫モ亦此ノ如キ場合ハ、普通倉庫ノ如キ取扱ヲ爲シ、貨物保管中、腐敗變質損傷ノ虞ア

ルトキハ、寄託主又ハ預證券所持人ニ對シ新聞廣告又ハ書狀ヲ以テ寄託物ノ處分ヲ催告シ、之カ處分ヲ怠リタル爲メ倉庫又ハ他ノ貨物ニ損傷ヲ及ボシタルトキハ、會社ハ其寄託物ヲ競賣ニ附シテ其賠償ニ充テ、尙ホ不足アルトキハ寄託主又ハ預證券所持人ニ對シテ其償還ヲ求ムルヲ常トス。

(十)保管貨物ニ對スル倉庫ノ責任 保稅倉庫法ハ此點ニ關シ、何等ノ規定ヲ設ケサルカ故ニ、官設保稅倉庫内ニ藏置中ノ貨物カ、不可抗力以外ノ原因ニ因リテ、滅失又ハ毀損シタルトキハ如何ニスヘキヤ、普通倉庫業者ノ如ク損害賠償ノ責任ニスヘキヤ、將全ク無責任ナルヤ、少シク疑ナキ能ハサレトモ、官設保稅倉庫ノ準據スヘキ法令ハ、保稅倉庫法及同施行規則ヲ主トシ、之ニ別段ノ規定ナキトキハ、商法ノ規定(第二條、公法人ノ商行為ニ付テハ法令ニ別段ノ定メナキトキニ限リ本法ノ規定ヲ適用ス)ニ據ルヘキモノナルヲ以テ、商法第三百七十六條ニ據リ、自己又ハ使用人カ貨物ノ保管ニ關シ、相當ノ注意(善良ナル管理者ノ注意)ヲ爲シタルコトヲ證明スルニアラサレハ、滅失又ハ毀損ニ付キ損害賠償ノ責任ニ任セサルヘカラス、舊假置場法ハ、其第十條ニ於テ「政府ハ藏置貨物ノ損害ニ付賠償ノ責任ニ任セス」ト明定セルヲ以テ、此點ヨリ推測スルトキハ官設保稅倉庫ニ藏置ノ貨物ニ對シテモ、亦損害賠償ノ責任ヲ負ハサルノ意思ナランカ、若シ果シテ此推測ノ如シトセハ、不親切ノ甚シキ者ニシテ、想フニ政府ノ意思ハ官設保稅倉庫ハ倉庫營業ニ非ラスト認ムルカ、或ハ輸入稅ハ陸揚ノ際直ニ徵收スヘキヲ、特ニ恩惠的ニ稅金未濟ノマ、庫入ヲ許スモノナレハ、損害ノ賠償マテ爲サ、ルモ可ナリトノ說ニ出テシモノナランカナレトモ、既

ニ保税倉庫ナル輸入税未済貨物保管場所ノ必要ヲ認めテ其業務ヲ行ヒ、殊ニ相當ノ料金ヲ徴收シ、預證券ノ發行ヲモ行フ以上ハ、貨物ノ保存管理ハ充分ノ責任ヲ負フテ爲スヘキコソ當然ナルヘシ、翻テ私設倉庫ノ側ヲ見ルニ、三菱倉庫ノ如キハ、普通ノ保管倉庫業者トシテノ責任ト同一程度ノ責任ヲ負ヒ「氣候ノ變遷、防疫鼠害蟲入、貨物ノ性質若クハ瑕疵、荷造ノ不完全又ハ抗拒スヘカラサル災厄ニ因リ受寄物ニ生シタル損害ニ付テハ當會社其責ニ任セス」ト定メ其他ノ損害ハ火災ニ因ル例外アル外、總テ負擔スルコト、爲セリ、是レ固ヨリ私設倉庫カ主トシテ商法ノ規定ニ據ルカ爲メナルヘキモ、官設ノ倉庫ト雖モ、此位ノ責任ハ負擔シテ差閤ナカルヘシト信ス。

第二節 藏置貨物ノ庫移、積戻及運送

(一)庫移 藏置貨物ヲ庫移セントスルトキハ、「庫移願書」ヲ税關又ハ税關支署ニ差出シ、「庫移免狀」ヲ受クヘキノ定メナレトモ、庫移ノ爲メ運送ヲ要スルトキハ、「運送免狀」ヲ乞ヒ受クヘキヲ以テ、別ニ「庫移免狀」ヲ求ムルノ限リニアラス、又庫移貨物ノ庫置期限ハ凡テ最初庫入ノ日ヨリ通算スルコト前述ノ如シ。

(二)積戻 トハ税關又ハ私設上屋ニ陸揚シタルカ、保税倉庫ニ庫入シタルカ、若シクハ保税工場ニ移入シタル貨物ニシテ輸入手數ヲ爲サ、ル前、再ヒ之ヲ外國ニ積戻スノ謂ヒニシテ、其手續ハ通常「積戻申告書式」ニ記入調印ノ上、之ヲ總務課申告係ニ差出シ「積戻免狀」ヲ受クルノ外、一切輸

出手續ニ異ナルコトナシ、唯輸入港以外ノ地ニ在ル保税倉庫へ、運送庫入シタル場合ニ於テハ、最初税關ヨリ得タル「運送免狀」ヲ添ヘテ、「積戻申告書」ヲ積出地ノ税關ニ差出スヲ要ス。

(三)運送 我關税法ニ「運送」ナル語アリ、外國貨物ヲ海路又ハ陸路ニ依リ開港間、保税地域間又ハ開港ト保税地域トノ間ニ運搬スルコトヲ云フ、畢竟保税運送(Bonded transportation)ニ外ナラス(此場合ニハ税關ニ申告シテ許可ヲ經ルヲ要ス)輸入手數未滿ノ貨物ヲ保税倉庫ニ、又ハ保税倉庫ヨリ運搬スルコトモ、亦運送ノ一種ナレトモ、モト之ヲ「回送」ト呼ビ、運送通路ト通路ヲ異ニシタルヲ以テ、回送ナル名稱ハ廢止セルモ、其實體ハ存在シ、通路モ亦別ニ規定セラル、保税通路ナルモノ即チ是レナリ。

保税通路ノ二三例

横濱東京間……東横濱ヨリ汐留ニ至リ、又ハ品川、赤羽、日暮里ヲ經テ南千住ニ至ル鐵道線路、又ハ横濱港ヨリ開田川口及小名木川ヲ經テ表龜高ニ至リ、又ハ開田川口ヲ經テ南千住ニ至ル直航水路。
横濱川崎間……横濱港ヨリ川崎ニ至ル直航水路。
横濱名古屋間……東横濱ヨリ名古屋ニ至ル鐵道線路(此他十四線アリ)

輸入手數未済ノ貨物ヲ右ノ規定ニ背キテ運搬シタルトキハ、百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處セラルル規定アリ、而シテ右貨物運搬ノ際、税關又ハ税關支署ニ於テ必要ト認ムルトキハ、貨主ヲシテ輸入税ニ相當スル擔保ヲ差出サシムルコトヲ得ヘク、斯クテ運送シタル貨物仕向港ニ到達シタルトキハ、其運送免狀ニ仕向港税關又ハ税關支署ノ證明ヲ受ケ、之ヲ發送地ノ税關支署ニ差出シ、

擔保ノ下戻ヲ請求スルコトヲ得、又右貨物カ當該官廳ノ指定期限内ニ仕向港ニ到達セサルトキハ其輸入税ヲ徵收ス、但シ税金假納ノモノナルトキハ、之ヲ以テ税金ニ充ツヘキモノト定ム、此他必要ト認ムルトキハ、運搬中ノ貨物ヲ検査スルコトヲ得ヘキ規定アリ。

第三節 輸入税ノ納付

保税倉庫ニ庫入シタル輸入貨物ノ輸入税ハ、普通内地へ輸入スル爲メ庫出スルトキ之ヲ徵收スルモ、私設保税倉庫ニ藏置セル貨物カ盜難ニ罹リ又ハ紛失シタル場合、他ノ保税倉庫ニ運送セントシテ、指定期間内ニ仕向地ニ到達セサル場合ニモ亦輸入税ヲ徵收ス、然ルニ課税ノ標準ハ原則トシテ輸入ノ時ノ性質及數量ニ依ルコト、爲セルヲ以テ、盜難又ハ紛失ノ場合ニハ如何ニスヘキヤ明カナラサレトモ、斯ル場合ニハ例外トシテ庫入申告ノ時ノ性質及數量ニ據ル外ナカルベシ、而シテ税率其他ノ法規ハ庫出ノ日ニ行ハル、法規ニ依リ、藏置期限若クハ運送期限經過ニ依リ關稅ヲ徵收スル場合ニハ、期間滿了ノ日ノ翌日、收容貨物ハ公賣ノ日ニ行ハル、法規ニ依リテ課税セラレ、モノトス、官設保税倉庫ニ於テハ、三箇年ヲ經過シテ引取者ナキ貨物ハ、前述ノ如ク收容シテ公賣シ、此代金中ヨリ輸入税其他ヲ控除スルモノナレト、私設保税倉庫ニ在リテハ少シク趣ヲ異ニシ、私設保税倉庫ノ庫主ハ其保管スル貨物ノ輸入税ニ就キ責任ヲ有スルヲ以テ、開業前、特ニ金錢又ハ國債證券ヲ擔保トシテ供託スヘキ定メナルカ故ニ(後出)、保管期間經過前、輸入手續完了

ノトキ、又ハ期間滿了ノ時、寄託主又ハ證券所持人カ寄託物ヲ引取ラス、若クハ普通倉庫ニ移ササルトキハ、之ヲ普通倉庫ニ移シタル後、倉庫所在地ノ新聞紙ニ廣告シ、相當ノ期間ヲ定メテ、其引取ヲ催告シ、尙ホ引取ル者ナキトキハ、商法第三百八十一條ニ依リテ競賣シ、此代金ニテ不足スルトキハ、更ニ寄託主又ハ證券所持人ニ對シテ賠償ヲ求ムト爲スモノ多シ。

第四節 倉庫證券ノ發行

(一)緒説 保税倉庫ノ目的ハ、主トシテ輸入税納附前ニ於テ、貨物ヲ處分セシムルニ在ルヲ以テ其手段トシテ、普通ノ倉庫ノ如ク貨物ヲ代表スヘキ證券ヲ發行セシメサルヘカラス、是レ法律カ保税倉庫ヲシテ證券ヲ發行セシムル所以ニシテ、其性質、條項等モ亦普通ノ倉庫證券ト大差ナキモ、輸入税ニ關スルト、官設ノモノアルトニヨリ、多少制限ノ加ハ、ルアリテ、又趣ヲ異ニスル所ナキニアラス、以下官設倉庫ノ預證券ト、私設倉庫ノ證券トノ二項ニ分チテ略説スヘシ。

(二)官設保税倉庫ノ倉庫證券 私設ノ保税倉庫ニ於テハ、寄託主ノ請求ヲ待チテ始メテ證券ヲ發行シ、其證券タルヤ預證券及質入證券ノ二葉又ハ一枚ノ倉荷證券執レニテモ可ナレトモ(尤モ現今ハ一般ニ倉荷證券ノミヲ發行ス)官設保税倉庫ニアリテハ、入庫ノ際必ラス記名ノ預證券一通(卷末ノ雛形ヲ見ヨ)ヲ交付スヘキ定メニシテ、左ノ條項ヲ備ヘ、税關長(又ハ税關支署長)ノ署名捺印セルモノナルヲ要ス(保税倉庫法第十條以下並ニ同法施行規則第十四條乃至第二十條參照)。

輸入手數未済ノ貨物ナルトキハ

- 一、貨物ノ品名、品質、記號、番號、包裝ノ種類、個數及數量
 - 二、貨主ノ住所及氏名又ハ商號
 - 三、庫入年月日
 - 四、倉庫所在地及倉庫番號
 - 五、庫敷料
 - 六、預證券ノ作成年月日
 - 七、庫入ノ際ニ於ケル検査ノ濟否及検査ヲ受ケタル貨物ニ在リテハ其輸入税額又ハ輸入税率又内國貨物ノ預證券ニハ前記(七)ヲ除キタル六項目ヲ記載スヘキコト、爲セリ。
- 預證券ハ每品一通ヲ以テ本則トスト雖モ、荷主ハ都合上一種類ノ物品ヲ數團ニ分割シ、其各部ニ對スル數通ノ證券ヲ請求スルコトヲ得ヘク、又一部ヲ出庫シタルトキハ、庫出貨物ノ個數、數量及庫出ノ年月日ヲ預證券ニ記入セシメテ返還ヲ受クヘシ、而シテ證券カ盜難ニ罹リ、又ハ紛失若クハ滅失シタル場合、新證券ノ交付ヲ乞ハントスル者ハ、「再交付申請書」ニ除權判決書ノ謄本ヲ添へ、其證券ヲ發行セル税關又ハ支署ニ差出スヘシ、汚損其他ノ申由ニ依リ書換ヲ乞ハントスル者ハ「書換申請書」ニ預證券ヲ添付シ、發行税關ニ提出スヘシ、總テ證券ノ分割、再交付又ハ書換ヲ請フ者ハ、其都度手數料トシテ一通ニ付キ金參拾錢ヲ納ムヘキ規定ナリトス。

既ニ預證券ヲ發行スル以上ハ、其流通ニ依リテ貨物ヲ轉讓セシメサルヘカラサルヲ以テ、之カ裏書讓渡ヲ認ムルハ當然ニシテ、其方法ハ被裏書人ノ氏名又ハ商號及裏書ノ年月日ヲ記載シ、裏書人即チ讓渡人ノ署名(又ハ記名捺印)シタル所謂記名式ヲ常トスルモ、單ニ裏書人ノ署名ノミニテ、別ニ被裏書人ノ氏名ヲ記載セサル、所謂無記名式(即チ白地裏書)ノモノニモ爲スコトヲ得ヘシ、而シテ官設ノ倉庫ハ唯一通ノ證券ヲ發行シ、別ニ質入證券ノ發行ナク、又保税倉庫法ニ於テモ、質入ニ就テハ言及セサルヲ以テ、或ハ質入ヲ以テ不可能ナルヤニ考フル者ナキニアラスト雖モ、法カ其規定ヲ缺クハ、預證券發行ノ主タル目的カ、其賣買ニアルカ爲メニテ、既ニ證券カ貨物ヲ代表シテ物權的效力ヲ有シ、又法ニ禁止ノ明文ナキ以上ハ、偶證券所持人ノ都合上、之ヲ擔保ニ供シテ金錢ヲ借入レ、動産質ヲ設定スルハ、毫モ違法ノ行爲ニアラス、恰モ普通倉庫ノ發行スル預證券及質入證券ノ二者ヲ、連結ノマ、擔保ニ供シテ、資金ヲ借入ル、ノ敢テ差闕ナキカ如シ。

預證券所持人カ證券ヲ紛失シタリトテ届出ヲ爲シ、前證券ヲ無効ト爲スヘキ除權判決ヲ求メタルニ、更ニ自分コソ正當ノ證券所持人ナリトテ、最初ノ證券所持人カ真正ノ權利者ニ非サル旨ヲ申出テタル者アルトキハ、訴訟ニ依リテ權利者ヲ確定セサルヘカラス、隨テ斯ル場合ニ一般ノ通則ニ依リテ無申告品ト爲スハ、證券所持人ヲ保護スル所以ニアラサルヲ以テ、例外トシテ藏置期限ノ延期ヲ求ムルコトヲ許スモノトス、而シテ此種ノ訴訟アル場合ニ於テ、藏置期限ノ延期ヲ乞ハ

ントスルトキハ、豫メ期限ヲ定メ品名、數量等ノ外出訴ノ年月日、事由及出訴シタル裁判所ノ名稱等ヲ記載シタル「藏置期限延期申請書」ヲ、税關又ハ支署ニ差出シテ認許ヲ受クヘク、若シ豫定期限内ニ事件終結セサルトキハ、更ニ延期ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス。

(三)私設保税倉庫ノ倉庫證券 保税倉庫法ニハ、私設保税倉庫ノ倉庫證券ニ關シ何等ノ規定ナキモ、私設保税倉庫ト雖モ證券ヲ發行セサルニアラス、唯官設保税倉庫カ保税倉庫法ノ規定ニ基キ必ス一葉ノ預證券ヲ發行スルニ反シ、私設保税倉庫ハ寄託者ノ請求ニ依リ、商法ノ規定ニ從ヒテ預證券及質入證券又ハ倉荷證券ヲ發行スルノ差異アリ、從來三菱倉庫ノ私設保税倉庫倉荷證券ニ記載セラレタル條項ハ、商法第三百五十九條ニ依ル要件(註)ノ外、内國品ナルトキハ、庫入免狀交付ノ年月日、輸入手數未済ノ貨物ニ對シテハ、尙ホ塔載船名、庫入免狀交付ノ年月日、及有税品ナルトキハ關稅額等ナリシカ、施行規則改正後ハ、之ニ準シテ多少改正セラルヘシ、此種倉荷證券ノ(三菱倉庫株式會社)英文雛形ハ卷末ニ附スルカ如シ。

〔註〕 商法第三百五十九條ニ依レハ、預證券及質入證券ニ記載スヘキ事項ハ次ノ如シ(倉荷證券モ亦之ニ準ス)。(一)受寄物ノ種類、品質、數量及ヒ其荷造ノ種類、個數並ニ記號、(二)寄託者ノ氏名又ハ商號、(三)保管ノ場所、(四)保管料、(五)保管ノ期間ヲ定メタルトキハ其期間、(五)受寄物ヲ保險ニ付シタルトキハ保險金額、保險期間及ヒ保險者ノ氏名又ハ商號、(六)證券ノ作成地及作成ノ年月日、(七)證券ノ番號、(八)倉庫營業者ノ署名。

私設保税倉庫ノ證券ハ、其性質、運用等全ク普通倉庫ノ證券ニ異ナラス、隨テ證券所持人ノ權利義務モ亦、普通倉庫ノ證券所持人ノソレト同様ナレトモ、其輸入税ニ關係アルカ爲メニ、例ヘハ

貨物引取ノ際、税關ノ免狀ヲ添ヘ、證券ノ裏面ニ其要件ヲ記入シテ、會社ニ差出ス等ノ少差アルハ免カレサルトコロナリ。

第五節 私設保税倉庫

(一)緒說 以上官設倉庫ト私設倉庫トヲ併論シタレトモ、私設倉庫ハ其設立認許、擔保ノ供託、業務ノ執行等ニ關シ、全ク官設倉庫ト異ナルモノアルヲ以テ、茲ニ一節ヲ設ケテ説明スルコト、爲セリ。

(二)設立認可、期限及消滅 保税倉庫ハ屢述ヘタルカ如ク多ク、輸入税未済ノ貨物ヲ保管スルモノナルヲ以テ、個人若クハ會社ヲシテ此業務ヲ營マシムルニ當テハ、其監督ヲ嚴重ニセサルヘカラス、是レ即チ種々ノ制限アル所以ニシテ、其設立ノ如キモ、之ヲ設立セントスル者ハ、其地區ノ位地、面積、倉庫ノ構造、棟數、坪數、藏置スヘキ貨物ノ種類及特許年限、改装、仕分其他手入ヲ爲サントスル者ハ、手入ノ種類、及手入ニ使用スヘキ貨物ノ種類ヲ記シタル書面、及倉庫並ニ附近ノ圖面ヲ添ヘ、所轄税關長ニ出願シ、其特許ヲ得ヘキモノトス、而シテ會社ナルトキハ、其會社ノ登記謄本及定款ノ謄本ヲ添ヘ、他人ノ貨物ヲ藏置スヘキ倉庫ハ、同時ニ貨物保管規則及庫敷料ノ認可ノ申請ヲ爲スヘキモノトス。

私設保税倉庫ノ特許期限ハ、特許ノ日ヨリ三十箇年以内ニ於テ、相當ノ期限ヲ定メ附與スルモノ

ニシテ、期限經過後營業ヲ繼續セントスルトキハ、申請ニ依リ三十箇年以内ニ於テ更新スルコトヲ得、我邦ノ倉庫ハ大抵最長期ヲ採リ、滿三十箇年ト爲スモノ多キカ如シ、而シテ此特許カ消滅スヘキ原因トシテ、保税倉庫法ノ規定スル處ヲ見ルニ次ノ如シ。

- 一、庫主其營業ヲ廢シタルトキ
 - 二、庫主死亡シタルトキ
 - 三、庫主破産ノ宣告ヲ受ケタルトキ
 - 四、特許ノ期限滿了シタルトキ
 - 五、税關長ニ於テ特許ヲ取消シタルトキ
- 特許ノ消滅原因ハ右ノ如クナレトモ、消滅後ト雖モ一箇月以内ナルトキハ、新ニ特許ヲ出願シテ、前營業ヲ引繼クコトヲ得ルモノト定ム。
- 更ニ營業ノ特許ノ取消ヲ命スルコトヲ得ル場合ハ、次ノ如シ。
- (1) 業務ニ關スル法律命令ニ違背シタルトキ
 - (2) 庫主輸入税ノ負擔ニ堪ヘサルノ疑アルトキ
 - (3) 庫主禁錮以上ノ刑ニ處セラレタルトキ
- 前掲ノ理由ニ因リ、私設保税倉庫營業ノ特許消滅シタルトキハ、税關ハ其旨ヲ公告シ、(揭示スル外三日以上官報又ハ新聞紙ヲ以テ公告ス)貨主ヲシテ指定期間内ニ引取ラシムルヲ以テ、庫主ハ當

該官廳ノ指定期間内ニ、荷主ヲシテ藏置貨物ヲ處分セシメサルヘカラス、荷主若シ此期間内ニ引取ノ手續ヲ爲サ、ルトキハ、税關長ハ荷主ノ費用ヲ以テ、官設又ハ私設保税倉庫ニ庫移シスヘシ、而シテ庫主又ハ其相續人ハ、引取又ハ庫移手續終了マテハ、私設保税倉庫ニ關スル一切ノ責任ヲ免ル、コト能ハサルモノト定ム(保税倉庫法第二十七條)。

(三) 擔保物ノ供託 私設倉庫ノ庫主ハ納税ニ關シ重大ナル義務ヲ負フモノナルヲ以テ、之ニ對シ相當ノ擔保物ヲ差出サシムルハ、洵ニ當然ノ規定ナリト謂フヘシ、即チ保税倉庫法第二十一條及同法施行規則第二十五條以下ノ明文アル所以ニシテ、私設保税倉庫營業ノ特許ヲ得タル者ハ、遲滞ナク左記ノ割合ニ依ル擔保物(金錢又ハ國債證券)ヲ供託シ、其供託受領證ヲ、税關又ハ税關支署ニ届出ツヘキモノトス。

貨物ヲ藏置スヘキ場所ノ面積三百坪迄 金二千圓
 同 三百坪ヲ超ユルトキ 以上二百坪ヲ増ス毎ニ金千圓ヲ加フ

(四) 擔保ノ増減 私設保税倉庫ノ坪數ヲ増加シタル爲メ、擔保物ノ増加ヲ要スルトキハ、庫主ハ其増加額ニ相當スル金錢又ハ國債證券ヲ供託シテ、其受領證ヲ提出スヘク、又坪數ヲ減少シタル爲メ、擔保ニ過剩ヲ生シタルトキモ、庫主ハ亦税關長又ハ支署長ニ申出テ、其減少ヲ求ムルコトヲ得ルモノトス。(保税倉庫法施行規則第二十七條及第二十八條參照)。

(五) 藏置貨物 私設保税倉庫ニ藏置スルコトヲ得ル貨物ノ種類ハ、既述ノ如ク税關長ノ認可ヲ得

ヘキ規定アリテ、其變更ノトキモ亦届出ノ上認可ヲ經サルヘカラス、而シテ發火質、燃燒質又ハ爆發質ノ物品ハ、特設ノ倉庫アル場合ニ限り藏置スルコトヲ得ヘク、藏置中ノ貨物異常ヲ呈シタルトキハ臨檢ヲ受クヘシ、腐敗、損傷其他ノ事故ニ因リ滅却ヲ要スルトキハ、其旨ヲ申出テ、承認ヲ受クヘシ、檢査ノ場所ハ税關長又ハ支署長ノ指揮ニ從ヒテ設置シ、且ツ器具、器械等必要ノ設備ヲ爲スナト、檢査上一切ノ便宜ヲ與フヘシ、貨物カ盜難ニ罹リ又ハ紛失シタルトキハ、其輸入税ヲ納ムヘシ、(一)許可ナクシテ庫入又ハ庫出シタルトキ、(二)認可ヲ受ケタル貨物保管規則ニ依ラスシテ、貨物ノ取扱ヲ爲シ、(三)認可ヲ受ケサル庫敷料ヲ徵收シタルトキ、又ハ貨物又ハ帳簿ノ檢査ヲ拒ミ、妨ケ又ハ忌避シタルトキハ、百圓以下ノ罰金又ハ科料ニ處ス等、綿密ナル規定アリ、而シテ私設保税倉庫ノ實際ヲ見ルニ、其保管規則ニハ他ノ貨物ヲ汚損スルモノ、若クハ危險物等保管セサル貨物ヲ示シ、更ニ積極的ニ保管スヘキ物品ヲ列擧スルコト、料金表ノ如クナルモノ、事實保税倉庫ニ寄託スル貨物ハ、砂糖、米等輸入税多ク容積大ナルモノ大半ヲ占ムト云フ、蓋シ容積大ナルモノハ倉庫ニ託スルニ適シ、税金多キモノハ(砂糖ノ如ク輸入税ノ外消費税アルモノハ殊ニ然リ)其利子ノミニテモ利スル所少ナカラサルヘケレハナリ。

(六)開閉、從業者、人夫及帳簿 私設保税倉庫ニハ二重ノ鎖鑰ヲ設ケ、其一個ハ税關官吏之ヲ保管シ、他ノ一個ハ倉庫之ヲ所持スヘク、凡テ倉庫ヲ開閉シ、又ハ貨物ノ出入ヲ爲ストキハ、税關官吏ノ立會ヲ要スルモノトス、而シテ私設倉庫ノ業務ニ從事スル者、即チ支配人ノ如キ者ノ氏名ハ

庫主ヨリ税關又ハ税關支署ニ届出ツヘク、官設倉庫ニ於テ貨物ノ取扱ニ從事スヘキ人夫モ亦貨主ヨリ届出テ、税關ノ承認ヲ經ヘシ、又庫主ノ雇人及人夫ニシテ、倉庫内又ハ其構内ニ出入スル者ニ付テハ、倉庫會社ニ於テ相當ノ取締ヲ爲スヘキ規定アルカ故ニ、大抵會社ノ鑑札ヲ所持スル者ニアラサレハ、貨物ノ出入ヲ爲サシメサルノ内規アリ、此他藏置貨物ニ關スル帳簿ヲ備ヘ、其出入及手入ヲ明カニスヘキ義務之アリトス。

(七)檢査及帳簿 私設保税倉庫ハ建物、藏置貨物、及帳簿ノ檢査ヲ受クルノ義務アリ、建物(倉庫)ハ特許ヲ得タル者ハ開業前、又改築、構造ノ變更若クハ増減ヲ爲サントスルトキハ、豫メ税關ノ承認ヲ受ケ、工事落成ノトキ税關ニ申出テ、檢査ヲ受ク可ク、當該官吏ハ必要ト認ムルトキハ、何時ニテモ貨物(運搬中ニテモ)又ハ帳簿書類ヲ檢査スルコトヲ得、之ヲ避ケ又ハ妨ケタルトキ相當ノ制裁ヲ加ヘラル、コト後述ノ如シ、而シテ又庫主ハ税關又ハ税關支署ノ要求ニ依リ、何時ニテモ其營業ニ關スル諸般ノ報告書ヲ差出スヘキ義務アルヲ以テ、常ニ帳簿ノ整理ニ注意スル必要アレト、次ノ事項ハ必ス帳簿ニ記入スルノ義務アリ。

(一)庫入又ハ庫出シタル貨物ノ記號、番號、品名、内外貨物ノ區別、個數、數量、價格及庫入又ハ庫出ノ年月日

(二)改裝、仕分其他ノ手入ヲ爲シタル貨物ニ在リテハ、其品名及之ニ使用シタル貨物ノ記號、番號、品名、内外國貨物ノ區別、個數、數量、價格、手入ノ種類及檢査濟ノ年月日

以上述へタルカ如ク、私設保税倉庫ノ營業ハ頗ル面倒ナレトモ、是等ノ煩瑣ナル制限ノ下ニ、擔保金マテ差出シテ、斯業ヲ營ム（多クハ普通倉庫業ノ兼業ナリ）者多キヲ見レハ、輸入商モ漸ク其便益ヲ認メ、倉庫モ亦從テ相當ノ利益ヲ收メ得ルカ爲メナルヘシ。
 次ニ參考ノ爲メ我邦ニ於ケル保税倉庫ノ箇所及坪數ヲ示スヘシ。（大正九年九月一日現在）

保税倉庫坪數表

官 設	私 設		計	
	箇所	坪數	箇所	坪數
横濱	二	三四五	二五	一七、二七四
神戶	一	三六	一一	一〇、七三七
大阪	一	一	一七	九、〇八四
長崎	一	三七	二	一、三二二
門司	一	一〇	三	一、三二二
函館	一	九〇	一〇	四、〇九八
計	五	五〇八	六六	一、五一三
				四四、〇二八

第六節 保税工場

(一) 保税工場ノ特質 保税工場 (Manufacturing warehouse) トハ外國貨物ヲ移入シ、輸入手數未済ノマ、加工、製造又ハ混合シ、若クハ改装、仕分其他ノ手入ヲ行ヒ、再ヒ之ヲ輸出セシメンカ爲メニ設ケラレタルモノニテ、若シ之ヲ内地へ輸入セントスルトキハ、普通製品トシテノ輸入税ヲ徵收ス、然レトモ便宜上(一)原料ニ内國貨物ト外國貨物トヲ混用シ、(二)内國貨物ノミヲ入レテ、之ニ加工製造又ハ混合ヲ爲スコトヲ許シ、(三)作業ノ際外國原料品ノ検査ヲ受ケタルトキハ、原料ノ性質及數量ニ課税スルモノト定ム、即チ主トシテ所謂加工貿易ヲ獎勵センカ爲メニ設ケラレタル制度ナリ。

即チ保税工場内ニ於テ行ヒ得ヘキ作業ヲ列舉スレハ次ノ如シ。

- (一) 加工 (Improvement; Working-up).....トハ貨物ニ一定ノ作業ヲ施シ、而モ原形原質ヲ變化セサル程度ニ止ムルモノニシテ、簡易ノ製造トモ稱スルコトヲ得ヘシ、例ハハ陶磁器ノ生地ニ上繪ヲ施シ、之ヲ焼附ケ、或ハ布帛ヲ漂白、染付、捺染シ若クハ刺繍ヲ施スカ如キヲ云フ、手工ヲ施スモ單ニ保存ノ目的ナルトキ、例ハハ金ノ鍍ヲ除キ、油ヲ塗抹スルカ如キ作業ハ手入ニシテ加工ニハアラス、捺糸作業ノ如キハ製造ニ近キモ、加工ト稱スルヲ適當トスヘシ、但シ我保税工場ニ於テハ手入ヲ許ス外、製造加工執レオモ認ムルヲ以テ、此區別ハ重要ナラス。
- (二) 製造 (Manufacturing).....トハ原料品ニ工作ヲ加ヘテ別種ノ貨物ヲ造リ、其價値ヲ増加セシメントスルモノニシテ、例ハハ砂糖、小麥粉等ヲ用ヒテ菓子ヲ造リ、大豆ヲ搾リテ油ト糖トニ分チ、金屬ヲ分解シ、革ヨリ靴ヲ造リ、其他醬油、石鹼、木箱、蠟燭、氷砂糖ノ製造ノ如キモノニシテ、是等ハ現在保税工場制度ヲ利用シ居レリ。
- (三) 混合 (Mixing).....酒類、穀物ノ混合ノ如シ、我邦ニ於テハ之ヲ製造ト看做スモノトス。
- (四) 手入 (Manipulation).....トハ貨物ノ原質、原形ヲ變化セス、販賣ニ便スル爲メ、若クハ保存ニ必要ナル簡易ナル作業ヲ云フ、我邦ニ於テハ之ヲ次ノ三種ニ分ツ。

(a) 改裝 (Re-packing)……トハ包裝即チ荷造ヲ改ムルコトヲ云フ。
 (b) 仕分 (Sorting; Division)……トハ品質ニ依リテ分類スルコト、雜物ヲ除去スルカ如キ作業ヲ云フ。
 (c) 其他ノ手入……ハ掃除、油指其他ノ手入ヲ云フ。

(二) 我邦ノ沿革 我邦ニ於テハ從來通過貿易ノ機關トシテ保税倉庫及ヒ税關假置場ヲ置キ、又加工貿易獎勵策トシテ輸入原料品ノ戻税及免税ノ制度ヲ設ケ、保税倉庫ハ單ニ輸入手數未済ノ貨物ヲ其マ、藏置スルニ止リ、税關假置場ニ於テハ、改裝、仕分其他ノ手入ヲ爲スコトヲ得セシメタルヲ、明治四十五年七月税關假置場ヲ單ニ「假置場」ト改稱スルト同時ニ、(一)加工製造(混合ヲ含ム)ヲ許シ、(二)之カ爲メニ用フル内國貨物ノ使用並ニ藏置ヲ許シ(三)私設假置場ヲ許シ(四)藏置期間ヲ六箇月ニ延長シ(モト三箇月)、一大改革ヲ施シタリ、從テ

保税倉庫 内ニ於テハ加工製造ハ固ヨリ改裝、仕分其他ノ手入ヲ許サス(但シ輕微ナル手入、並ニ保存上必要ナル行爲ハ認可ヲ受ケテ行ハシメタリ)

假置場 内ニ於テハ改裝、仕分其他ノ手入ハ固ヨリ加工、製造ヲモ許ス。

然ルニ昭和二年三月末日兩者ノ法律ヲ改正シ、保税倉庫内ニ於テモ改裝、仕分其他ノ手入ヲ行ヒ且ツ之カ爲メ内國貨物ヲ使用シ得ルコト、爲リタルヲ以テ、舊假置場ノ中是等ノ目的ノミヲ有スルモノハ、其必要ノ程度ヲ減シタルコト、爲レリ、但シ是等ヲ目的トスル場合ニ保税工場ト爲スカ、保税倉庫ト爲スカハ、當業者ノ便宜ニ因ルモノニシテ、單ニ自己ノ貨物ノ手入ヲ行ハンニハ

保税倉庫ノ如ク擔保ヲ提供スル必要モナケレハ、尙ホ保税工場ト爲スヲ便トスヘシ。
 改正保税工場ハ、舊法第一條ニ於テ「外國貨物ヲ假ニ藏置スル所」ト爲セルヲ改メ、外國貨物ノ加工又ハ製造ヲ主トスルコト、爲リタルヲ以テ、加工貿易獎勵ヲ主トスル機關ト爲レリ、但シ事實上ニ於テハ、明治四十五年以後今回ノ改正前ハ、斯ル状態ナリシヲ、條文ニ現ハシタルモノト觀ルヲ得ヘシ。

我邦ヲ始メ各國ニ於テ、國內ノ製造業ヲ獎勵スル策トシテ(一)原料品ヲ免税トシ(二)輸入製造品ニ重課スルヲ以テ方針トス、我邦ニ於テ棉花、羊毛、繭ヲ無税トシ、綿絲、綿織物、毛織物、生糸、絹織物ニ對シテハ、相當ニ課税スルカ如シ、然ルニ原料品中我邦ニ於テモ生産セラル、モノハ、多少課税シテ内地ノ生産業ヲ保護スルヲ以テ、是等ノ原料ヲ使用スルモノハ、ソレタケ不利益ヲ蒙ルニ至ル、又鋼鐵、砂糖ノ如キ一種ノ製品ニハ保護關稅アルヲ以テ、是等ヲ原料トシテ使用スル者、即チ造船業者、製菓業者ノ如キモ同様ノ地位ニ立チ、輸入ノ製品ニ加工スル者亦然リ、是ニ於テ、是等ノ利害衝突ヲ調和センカ爲メニ、各國ニ於テ種々ノ制度ヲ行フコト、爲セシカ、我邦ニ於テモ亦次ノ如ク種々ノ方法ヲ講スルコト、爲セリ。

(1) 輸入ノ日ヨリ一箇年以内ニ再ヒ輸出スル目的ヲ以テ、陶磁器、織物、毛皮等ヲ輸入シ、之ニ加工シテ輸出スル場合。ニハ其輸入税ヲ免除スルモ(關稅定率法第八條ノ一)此場合ニハ相當ノ擔保ヲ提供セシム。